

マット界に激震走る!
A大塚、衝撃発表!!

読者が書き倒す『10.11』!
その後の『高田vsヒケソン戦』

紙のフレス

RADICAL

No. 7

鮮烈ロングインタビュー

田村潔司

垣原賢人 / 富宅飛駈

長州引退に
いま何思う **木村健悟**

混乱期のいまこそ考えろ!

『女子プロレス
とは何か!?』

**アジャ・コング
ジャガー横田**

RADICAL初登場!

**冬木弘道
MEN'Sテイオー
モハメド・ヨネ**

絶好調! 殺戮連載!!

前田日明の
メガバトル人生相談

独占告白! みちプロ経営危機の真実
ザ・グレート・サスケ

a sword of dis-obedience

反骨の剣

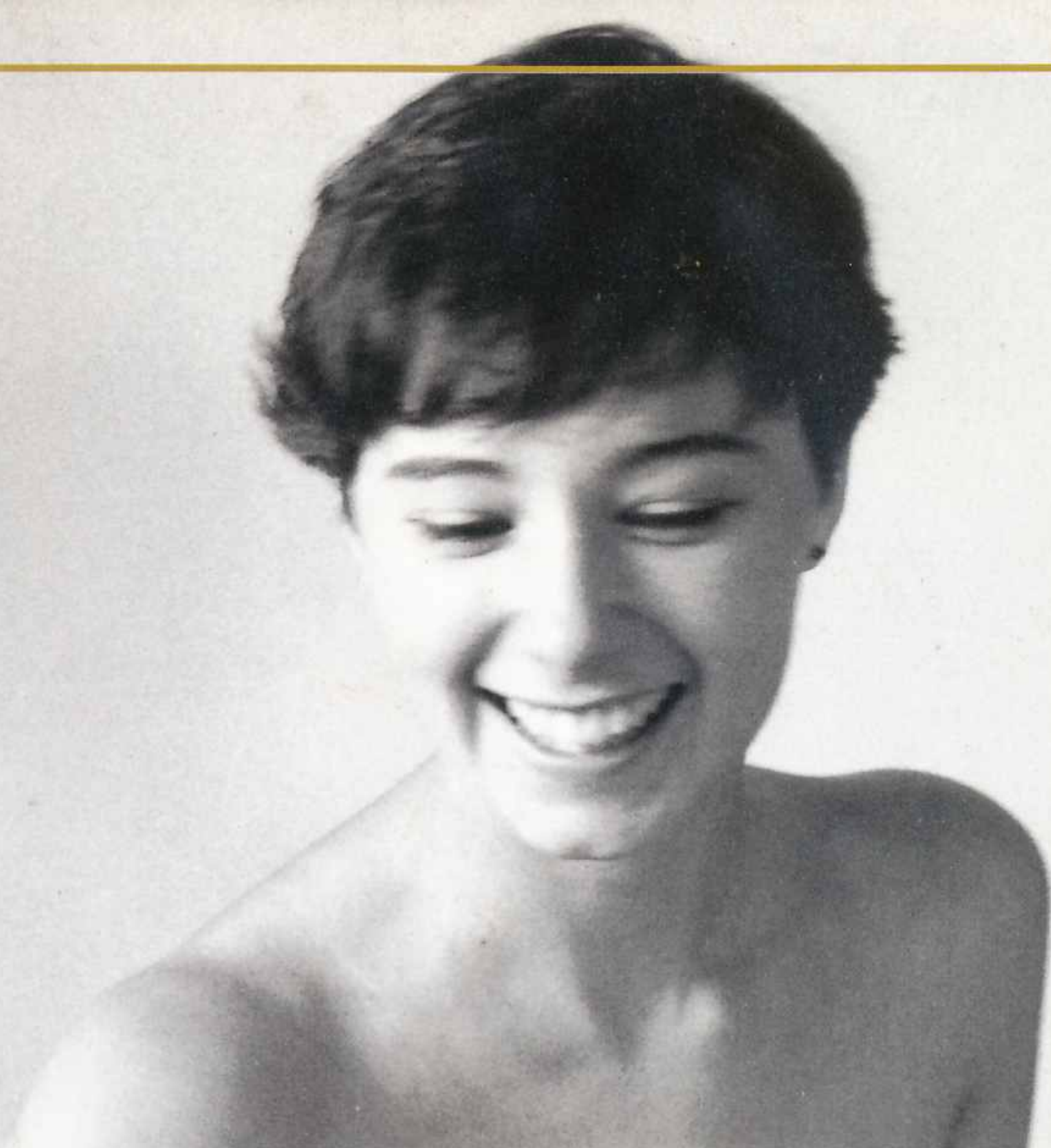
紙のフレス RADICAL
No. 7
1998

反骨の剣を研げ!!

発売元: (株)フニマガジン社 〒160 東京都新宿区内藤町1番地 電話/03-3357-2911
発行元: (株)ダブルクロス 〒151 東京都渋谷区千駄ヶ谷3-11-3-702 電話/03-3403-5188

フニマガジン社 定価: 本体648円 + 税

マイレーベンで、
ボクには自信が
彼女には笑顔が戻った。



米ヌカからヒントを得て、
13年以上の歳月をかけて
研究開発された、
驚異の育毛効果!

米ヌカに多く含まれる
ビタミン類“ナイアシンアミド”
が育毛の常識を変えた!

ナイアシンアミドとは人体の成長促進因子として作用するビタミンです。このナイアシンアミドをはじめ米ヌカにはビタミン類が豊富に含まれており細胞の新陳代謝(=育毛)に不可欠な栄養素が含まれています。

TV・雑誌・新聞で取り上げられた話題の育毛剤

MYLEBEN
MY=私の LEVEN=命
育毛剤 マイレーベン

医薬部外品 承認番号(07D)第0068号

製造元:(株)ノムラ 宮崎県宮崎郡清武町大字今泉丙1864-16



口コミで広がったウワサの育毛剤!

75ml
12,000円
(税抜)

資料請求および
商品のお申し込みは
お電話かFAX、
おハガキで。

●お電話の場合

[電話受付時間(月~金) 9:00~18:00 (土) 9:00~12:00]

☎ **03-3711-5447**

●FAXの場合(24時間受付)

FAX. **03-5704-0700**

●おハガキの場合

(オモテ面)

(ウラ面)

50円
152-□□
東京目黒区鷹番3-1-3
朝日生命ビル5F
オフィス・モリ
アクションカメラ増刊号係

マイレーベン購入希望

●金額/数量
(12,600円(税込)× 本)

●ご住所(フリガナ)

●お名前(フリガナ)

●お電話番号/FAX番号

■お支払いは商品到着時に代金引換で
お願いします。

■商品到着後7日以内で未開封の物の
み返品・交換ができます。ただし返品
送料はご負担下さい。

効き目を実感! マイレーベン1本を無料進呈

無料モニター大募集!

応募者の中から抽選で10名様に“マイレーベン1本(約1ヵ月分)”を無料にてご提供致します。ただし、ご使用1ヵ月後に、感想等を記入した簡単なレポートをご提出頂きます。

無料モニター応募要項

抽選で10名様に進呈。ご応募はハガキかFAXで今すぐ!

FAXかハガキに(1)ご住所・電話番号・FAX番号(2)氏名(3)性別(4)年齢(5)他社育毛剤使用経験の有無(有の場合商品名もご記入下さい)をご記入の上、下記までお申し込みください。なお当選は商品の発送をもってかえさせていただきます。

■FAX送付先/03-5704-0700 ■ハガキ郵送先/〒152 東京都目黒区鷹番3-1-3
朝日生命ビル5F オフィス・モリ『マイレーベン モニター募集(アクションカメラ増刊号)』係宛

Kiyoshi Tamura

a sword of dis-obedience

「反骨の剣」—— !!

前田日明が新日本プロレスのレスラーを相手にキック攻撃を繰り出す度に、当時の実況アナウンサーである古館伊知朗はこう叫んだ。

前田の反骨心が宿った”蹴撃”は際限なく見るもののヴォルテージを上げ、一撃の度に観客の細胞に”Uの理念”を植え付けていった。

第1次UWFが解散し、前田をはじめとするU勢が古巣のリングに活路を見出そうとしていた、昭和60年頃の話である。

そういえば、田村潔司の最近のたたずまいを見てみると、この「反骨の剣」という言葉が思い起こされる。

広辞苑の『反骨』の項目には、『容易に人に従わない気骨。権力に抵抗する気骨』とある。田村潔司が、何に対して「反骨の剣」をふるおうとしているのか。

剣のふるいどころは、比較的無口な田村からは言語化されていないし、ファンの目の前にも立ち現れていない。

ただ、田村潔司が、ひと昔前のプロレスラーが背負ってきた「鎧」を脱ぎ捨て、研ぎ澄まされた「剣」を持った、新しいプロレスラー像を構築しようとしていることだけは確かなのである！

反骨の剣

**Kiyoshi
Tamura**

聞き手／山口日昇
interview by Noboru Yamaguchi

撮影／斉藤ユーリ
photographs by Yuri Saito

of dis-obedience

Kiyoshi Tamura

69年12月17日岡山県生まれ。空手、相撲経験を経て第2次UWFに入門。89年5月にデビュー。同年10月の前田日明戦では右眼窩底骨折で長期欠場に追い込まれる。第2次UWF解散後は、UWFインターナショナルに旗揚げから参戦。しかし、新日本プロレスとの対抗戦に突入したのをきっかけにして、96年にリングスに移籍。Uインター時代には「高田さん、ボクと真剣勝負してください!」、リングスに上がってからは「リングスを乗っ取る!」など、鮮烈で物騒でセンセーショナルな発言も多いが、97年にはアマチュア対象のジム「U-FILE CAMP」を開くなど総合格闘技の底辺拡大を見据えた地道な活動も忘れない。180cm/87kg

田村潔司



a sword

——田村さんは、はたして怒りっぽいのか、それとも怒りっぽくないのか、どっちなんですか。

田村 うーん……フツーだと思いますけどね。

——なんとなく、毎日同じトーンで生きてる人じゃないな、という気はするんですけどね。

田村 うーん……フツーですね。

——自分の性格を自分で分析すると、どういうふうになるんですかね。

田村 うーん……フツーだと思いますけどね。

——あの、禅問答じゃないんですから（笑）。

田村 ただ、例えば高校生が夜とかに煙草吸ってるじゃないですか。携帯電話持ちながら。

——高校生!? なんだなんだ。

田村 フツーじゃない大人は、それを見てみぬふりをするじゃないですか。でも、**大人は注意する権利がある**んで、そういうのは自分はややと注意しますけどね。「なんで吸ってるの?」って。

——そこで「うるせえな!」って言われたらどうするんですか?

田村 しめしめって思ってた（笑）。

——じゃあ、結構狙ってるんですか?

田村 いやいや、狙ってないです。大人は注意する権利はありますからね。**「ま、ここじゃなんだから警察行ってもいいよ」**って言うと、シユン



となって「すみません」ってなりますから。

——あ、警察に連れていく方に持っていくんですね。

田村 そういうふうになれば。

——じゃあ、例えばその高校生が「おまえ、ふざけんなよ!」ってエリ首掴んできたなら、どうなっちゃうんですかね。田村潔司という男は。

田村 いやッ、警察行くと**思いますよ**。

——ガクッ。やっぱり警察行くんですか（笑）。田村さんって、もしキレちゃた場合、何かフツーの人じゃ手が届かないキレ方しちゃいそうなイメージがあるんですよ。

田村 でも、そんなにキレるってことはないですけどね。だから、注意することはあっても、**ブチ切れる**ことはもうないですよ。

——もうないってことは、昔はけっこうあったんですか?

田村 いや、昔も……ないですわいす。

——何かを隠し持ってるというか秘めてる雰囲気があるんですよ、田村潔司という男は。何がそう感じさせるのかっていうのが前からの関心事だったんですけど。

田村 **あんまりしゃべらないから**

じゃないですか?

——はあ。で、今日はですね、田村潔司の『プロ観』をバツと聞いてみたいんですけど。

田村 （声を出さずに笑う）。

——いや、笑わないでくださいよ（笑）。田村 いやッ、大丈夫ですよ、大丈夫です（といって声を出さずに笑う）。

——ダハハハ。続けますよ。で、UWF以降の選手は古典的なギミックとかハタリとかコワモテといった、昔ながらの“プロレスラーとしての鑑”を、**どどん脱いで**いって、“技術という剣”を携えるレスラーが多くなってきましたよね。

田村 ああ、そうですね。

——田村選手はその代表格だと思うんですよ。で、並のレスラーや格闘家は“技術という剣”を持つことに必死になると、それだけにどまっちゃって、今度はプロとしての光を失っちゃうんですよ。勝負論だけに埋没させて、なかなか見てる人を満足させるレベルまで行くことができない。だけど田村選手は“技術という剣”を持つてもプロとしての光を失わない。両輪を見事に転がしてるわけですよ。それがなんでなのか探ってみようというのが、今日のテーマなんです。

田村 ああ、そうですね。

僕はちよつと名前があつて、ちよつと強いだけ名前がなくても強い人はいますから

「まあ、しゃべってくれたらいいだけなんですけどね（笑）。いったい田村潔司という男が、何を考えているのかって尻尾をちよつとでも掴まえられるればいいなあなんて。」

田村 あ、でも、それは簡単に言ったら、それが僕の目指すスタイルですわね！ だから、初めて来た人が見ても、玄人の人が見ても、「凄い！」って言われる試合ですか？

わかりやすく言えば、初めて見に来た人が、厳密な寝技の攻防なんかわかんないじゃないですか。だから、ローをいい音させて蹴るとかしたら、「凄い！」ってなりますよ、単純に。例えば相手が利いてないとしても。あとは寝技だったら、腕十字の入り方とか切り方、膝十字の入り方、ま、いろいろですけど、そういうのを見てもらえる試合をやりたいと思うんで。それはもう、つねづね田村さんが言ってることですわね。

田村 そうですね、はい。

ところで昨日の辰吉（丈一郎）の世界戦って見ました？

田村 うーん、6か7ラウンドぐらいからですね。

「じゃあ、一番いいところからですね。しかし凄い盛り上がりでしたよ。辰吉が「不利だ不利だ」と言われる中で、最終的に勝ったと。辰吉というのは、見事に辰吉流の『プロ観』を持ってる人だと思えますよ。」

田村 （うなずく）。

「見事なプロ観を持った辰吉が見事に勝つと、あれだけ冬の時代だと言われたボクシング界が、それによって一

a sword of dis-obedience

気に盛り返す気運が出てきたわけですよ。ね。「なんでプロレス界はこうならないんだろう」と、見てて単純に思ってたんですけど。

田村 でも、高田vsヒクソンの時に、高田さんが勝てばああいうふうになってましたよ。

「そうですね。だから、高田さんが負けたからどうこうじゃなくて、あそこで勝てれば凄い盛り上がり局面を迎えてたと思うんですよ。」

田村 うん、そうですね。

例えば、田村さんの中では、別に相手がヒクソンじゃなくてもいいけど、「その相手に勝って盛り上がるんなら、勝っちゃおうか」みたいな思いはないんですかね。

田村 いやッ、凄いありますよ！

めっちゃめっちゃ！ うーん、でもね、それが凄く難しいんですよ。そっちに行っちゃうと、そういう目で見られちゃいますから。

ただ、ファンからしたら田村選手が「最後の砦」みたいな雰囲気もあるじゃないですか。

田村 いやッ、そんなことないんじゃないですか？

「前田さんとはちがいですよ。」

田村 うーん……でも、僕はちよつと名前があつて、ちよつと強いだけであつて、僕より名前がなくて強い人がいっぱいいますから。

「ゲ！ それはまた驚きの発言ですね！」

田村 名前があつてちよつと強い人だったら、僕が最後の砦だとは思ってんですけど、名前がなくても強

い人はいっぱいいますよ。

「はっはー。あ、そうだ。『週プロ』のインタビュで「サンボかなんかの練習に行くと、60キロぐらいの選手に極められてしまうこともある」みたいなこと言ってましたよ。これって、いままでのプロレス界、格闘技界の中では出てきなかった発言ですよ。」

例えば昔の空手家にしてもプロレスラーにしても「自分たちが最強である」という打ち出し方をしてきたと。だから、田村さんのあの発言を見て「確実に新しい時代が変わってるんだなあ」という気がしたんですよ。

田村 あ、そうですね。

実際にサンボの練習に行つて、60キロぐらいの人に極められちゃうと、単純に「あー、極められちゃった」って思うものなんですか？ それとも、「極められちゃマズイだろ、俺」みたいに感じるものなんですか？

田村 だから、その人に対して信頼があるからですよ。だから、ハズそうと思えば無理にやればハズせるんですよ……。

「ああ、なるほど。」

田村 別に極められたから、それですべて終わりじゃないですからね。じゃあ今日は一本取られたけど、取られたことによって、自分が学習することってあるじゃないですか。今度、取れないようにという。

「まあ、その場では練習なわけですからね。」

田村 技が入っちゃえば、僕はすぐ諦めますね。練習の中ではですよ。そこで無理にハズしても、自分が怪我

する場合があるし、逆に僕の下の手とやつて、その下の選手が自信がつくかもしれないじゃないですか。これはだから、うまい具合にわざとっていうか。取っても取られても、お互いにとってプラスになればいいんじゃないですかね。

「わざと取らせていい人といけない人がいるわけですね。」

田村 取られたことが、すべて僕のものになってますからね。サンボのアキレス腱の取り方って、また独特なんです。だから、それを取られることによって、アキレス腱に対する防御の学習ができるわけですから。

「じゃあ、練習上ではプロもアマもない、という感じなんですかね。」

田村 練習においてはプロもアマもない、とは思ってんですけどね。でも、僕もプロとしてのプライドって凄くあるから。

「ないわけじゃないですよ、田村さんが（笑）。」

田村 だから自分が認めた人には、頭下げますよ。年下でも、体重がない人でも。

「逆に言えば、プロでも自分の認められない人には、頭を下げたくないということですね。」

田村 それはもちろん！ 頭なんか下げないですよ。

「そこら辺が、『赤いパンツの頑固者』といわれる所以なんですかね（笑）。」

田村 いやッ、でも、フツーだと思えますよ。

「またフツーだ（笑）。自分では頑固者だとは思ってないんですか？」

田村 頑固だとは思うんですけど。掌を返すのが嫌なんですよ。調子良くできないタイプっていうんですか。

——凄く芯が太いって感じはしますけどね。それがリング上から伝わってくるんですよ。ところで、ぶっちゃけた話をしちゃいますけど、僕、以前は田村選手を見て「つまらないな」って思ってたことあるんですよ。

田村 いつ頃ですか？

——Uインター初期の頃から一連の桜庭（和志）戦の前くらいまでですね。それはなんでかって言うと、ズバリ言ってる単なる「カッコつけしい」だと思っただけですよ（笑）。いるじゃないですか？ ただ単にUWFのスタイルを表面的にカッコだけ真似して、理念も何も考えずにやってる人って。

田村 いやッ、いる……いますかね？

——そういう人だと誤解をしてたんです。で、桜庭戦を見て「あれ？」って思っただけで、でもまだ単なる「カッコつけしい」だろうと思って、でも、それ以降は時々、田村選手の表情とかから、「これはとてつもないタマなんじゃないか」って思ってたんですよ。

田村 なるほど、なるほど。

——で、それが顕著になったのがリングス入りしてからなんです。Uインター時代には、「新時代の旗手」みたいなレッテルが貼られつつあったんだけど、僕には「生の田村潔司」が伝わってこなかった。マジメな青年ふうで見た目もつまらないし、スポーツ至上主義みたいな感じだったから（笑）。

田村 （宙空を見上げる）。

——その辺はどうですかね。「ふざけ

a sword of dis-obedience

んな！」でもなんでもいいんで、答えてくれるとありがたいんですけど。

田村 いやッ、だから……それは、いいことだと思いますけどね、僕にとっては。昔のビデオを最近見たことがあるんですけど、そういうふうに思えますよね。

——インター後期は、不満とか鬱憤をすべてリング上につけてました？ 僕なんかからすると、「もっとぶつかりやいのに」と思いましたけど。

田村 そうですね。でも、ぶつけたから、リングスに来たんですよ。

——あ、そうか。でも、なんでリングスでこんなに光っちゃったんでしょうかね。

田村 うーん、なんでですかね……。タイミングが良かったんじゃないですかね。すべてね。もう、ありがたいことです。

——ところでいま、リングスって、プロレス界に入れられることもあるし、格闘技界って括られることもありますよね。そのあたりは何か思うところはありますか？

田村 うーん……。

——単純にどっちに入れられるのが嬉しいですか。

田村 両方ですかね。僕も都合のいい時は格闘家だったり、都合の悪い時はプロレスラーじゃないって言ったりするんですよ（微笑）。

——実に正直ですね（笑）。

田村 逆に、プロレスファンがいれば「僕は格闘家だ」って言いますし。プロレスファンじゃない人に「何やってんの？」って聞かれ

たら「プロレスやってます。プロレスラーです」って言いますね。

——実に面白いですね！

田村 めんどくさいんですよ。いちいち説明するのが。

——あの、マスコミの中では、これらの時代は、プロレスと格闘技を融合させた『プロ格』の時代だ、とか一部で言われてますよね。このプロ格って言葉についてはどう思いますか？

田村 プロ格、プロ格……。プロ格は、いいんじゃないですかね。いいんですけど、世間に対する絶対的な知名度がないですからね。「プロの格闘家です」って言われても、なんかわからないですよ。プロレス、サッカー、野球っていったら、「あつ、ああいう選手なんだ」っていうイメージがありますからね。

——でも「プロ格」っていうのは、なんか変じゃないですか？

田村 変ですか？

——何でかっていうと、UWFは「プロレスじゃない」っていう打ち出し方をしてきましたけど、いま考えると、UWFは「プロレスは格闘技である」というルネッサンス運動みたいな部分が大きかったと思うんですよ。

田村 （小刻みにうなずく）。

——で、僕は個人的に、プロレスも格闘技もまったく区別して見ないタイプで、「プロレスの根っこには当然、格闘技がある」っていう青臭い主張も持ってたんですよ。

田村 ああ、なるほど。うん、うん（大きくうなずく）。

——だから、プロレスと格闘技を融合

させるっていうと、プロレスはもう出生からして500%ショーで、格闘技は真剣勝負でっていうふうに分かちあって、その二元論は、なんか最初から勝負を投げてるようであんまり気持ちよくないんですよ（笑）。

田村 なるほどね。そうですね……。プロレスは格闘技だから……（納得した感じで少し考えて）……うん、わかります！ そう言われたら、そうなのかなあって思うんですけど、僕が育ってきた中、新生Uに入ってたときた中ではプロレスじゃないですよ。格闘技ですよ。だから、入った時点で違う練習をさせられるわけじゃないですか。ロープに振ったり、飛んだり跳ねたりじゃなくて。苦しい、キツイ、痛い練習をさせられるんですよ。だからプロレスはプロレス、僕がやってるのは格闘技、というふうに分かちあってきたんですよ。

——そういうふうな育てられ方をしましたよね。

田村 プロレスがどっからどうなったか僕もわからないですけど、プロレスっていったら、椅子で叩いたり血が出るっていうイメージが付いていましたからね。

——でも、この間、何かの本を読んでたら、「もしUWFがなかったら、新日本か全日本かみちプロに入ってた」っていう田村選手の発言があって、ビックリしたんですよ。

田村 なんですとか？ だってフツ

——ホントにフツ好きですね（笑）。

なんでいきなり、みちのくなんだろう
と思ってる。

田村 あー、でもみちプロは面白い
ですからね。

それは、見て面白いつていうこ
とですよ？

田村 いやッ、やっっても面白いと
思いますけどね、選手も。

——やっっても面白い！

田村 昔、プロレスごっこをやったじ
やないですか？ やっっても面白いじゃ
ないですか。その延長上にお客さん
がいて、やってる方は、見てる人以
上に楽しいんじゃないですかね。僕は
そういう考えだと思います。

——そういう部分での偏見はないんで
すね。

田村 はい。

——そこら辺が僕は面白いと思っ
たんですけどね。

田村 いやッ、フツ―ですけどね
(笑)。マスコミの人も考え過ぎなん
ですよ、周りの人もみんな。

——田村選手の中では、フツ―にし
やべってるだけと。

田村 フツ―ですよ。僕が一番ま
もだと思えますよ。

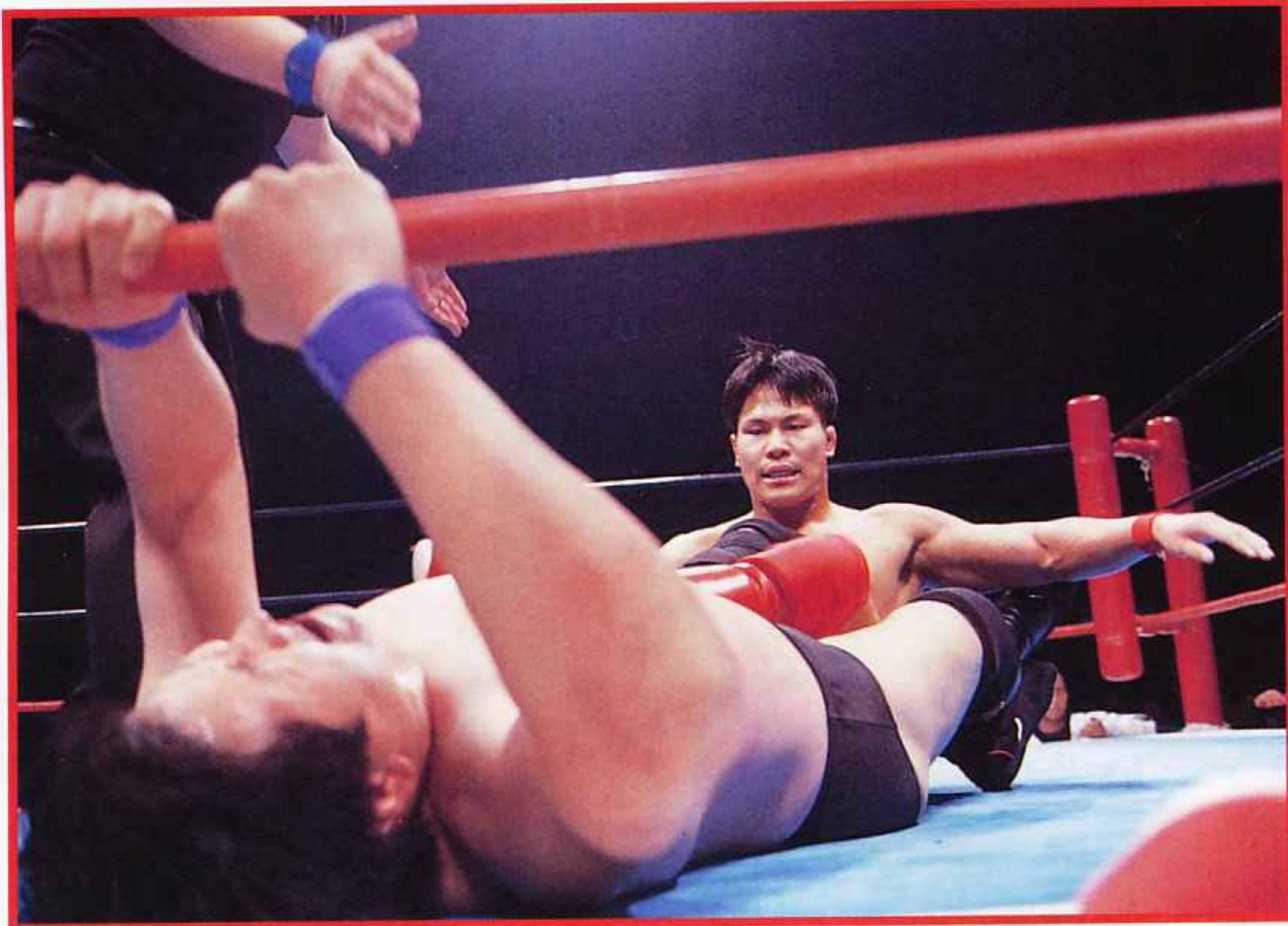
——自分が一番まもだと思ってる人
は周りから見ると、やっぱり変わっ
てるんですよ。

田村 いやッ、そうですかね？

——UWFから入ってきて、いま現在
ルチャ・リブレとかを、やらなくて良
かったなあという思いはありますか？

田村 うーん……そうですね。いやッ、
みちプロ入っても面白かったと思うん
ですけど、なんて言うんですかね。そ

プロレスファンには「格闘家」、そうじゃ ない人には「プロレスラー」と言ってます



3月に行われた前田戦。敗れたもの
の、高速ローと高速ミドル、おま
けにグラウンドでもギリギリ舞い
させた。2人の再戦は12・23福岡。
田村の前田越えラストチャンス

の、**オーラ**が出るっていうんですか。
やっぱ強い人には、オーラが出ると思
いますから。強い人にみんな憧れると
思いますし。だから、僕は高田さん
が見ながら育ったんですよ。高田さん
は、凄い機嫌がいい時と悪い時が極端

なんで、あの人も凄いプライドの高い
人ですから。そういうのを見て育った
んで。やっぱり、高田さんがいれば
怖いっていうか、**雰囲気**が締まる
んですよ。で、やっぱり、凄いオー
ラが出る時期を知ってるんで、僕も
ああいうふうになりたいなっていう憧
れの目で見ましたから。

——でも、田村さんもここまでのレベ
ルになっても、別に周りを怖がらせ
たりとか、そういうことは特にしてない
ですよ。

田村 してないですね。してないで
すけど、**しなくちゃいけないかな**、
とは思いますがね。

——エ!? そんなんですか。じゃあ例
えば、昔のプロレスラーのビビらせ方
でいうと、飲んでる時に、グラスをバ
リバリ食っちゃったりとかして(笑)。

田村 いやッ、そういうのはないで
すけど(笑)。

——黙ってても、オーラが出てて近寄
り難いという雰囲気を出したいとい
うことですか。

田村 出したいですね、それは。ただ、
変に、なんて言うんだろうな……やっ
ぱり試合とかでも練習とかでも、**強
さとか巧さとかをビシッと見せな
ければ、そういうオーラって出な
い**と思うんですよ。そういうことをし
てないと、そういう視線も感じないで

すから。僕も一歩外へ出たら、**フ
ツ―のお兄ちゃん**ですし。でも、
練習になれば、やっぱりキツイことも
言うし、そういう目で見られたりする
んで、その辺のギャップっていうのが、
たまーにこんがらがるときがあるん
ですよ。

——あー、なるほど。

田村 自分は自分で、強いから偉そう
にするとかじゃないんですけど、なん
かね、いま言ったような全然違う世界
を行ったり来たりしてるんで、なんか、
わけわかんなくなってるね。本当に、
昨日の辰吉選手じゃないですけど、
あとサッカーのワールドカップ出た選
手とかは、外を歩いててもそういうオ
ーラが出てるじゃないですか。僕も本
当は、テレビの全国ネットで出るとか、
そういう舞台があれば、例えば街に出
ても、**常にオーラが出る状態**まで
いけると思うんですよ。それを出せな
いのが悔しいっていうのがありますけ
ど。

——でも、全国ネットで流れたからっ
てオーラを感じない人もいますよね。
サッカーのカズにしても、野球のイチ
ローにしても、僕はオーラなんかこれ
っぽくも感じないですからね。

田村 え？ 感じないですか？

——感じないですね、全然。辰吉には
感じますけど。それは僕個人の好みな

のかもしれないですけど。

田村 いや、実際見れば感じるでしょ？ 感じると思いますよ。

——うん、ミスターな部分で「あ、イチローだあ！」っていうのはありますよ、当然。でも、オーラっていうことでいったら、多分感じないという自信はありますね（笑）。

田村 あ、そうですかね？ へえ。面白いですね。

——プロレスラーという存在は力道山時代から「プロレスラー」という鎧をずーっと着続けてきたと思うんですよ。

田村 ああ。

——世間からは八百長だなんだと言われて、でもそれに対して「最強」とか「怖い」とかの鎧を自分の身と心に貼り付けるように教育されてきたわけですよ、昔のレスラーは。例えその鎧が重く感じても脱げないわけだから、それはそれでシンドイ作業だと思っんですよ。精神的にタフじゃなきゃもたないだろうし。

田村 そうですよ。

——だからさっき田村選手が自分のことを「外に一步出ると、フツの兄ちゃんみたい」だって言ってたけど、そう見えちゃうことは食い足りない部分でもあるんですね。でも、力道山時代や馬場・猪木時代とは時代が違うわけだしね。だから田村選手はこれからどういう鎧を着ていくのかっていうのが、すごく興味あるんですよ。

田村 新しい時代のってことですよね。

——そのへんの具体的なものは……考

a sword of dis-obedience

えてないですよ（笑）。

田村 いやッ、考えてますよ！ 考えてます！

——え！ ホントですか！

田村 考えてるっていうか……ト
イレ行ってきたいいですか？！

——ガクッ！ どうぞ、行ってきてください（笑）。

（約3分後、田村潔司帰還）

——お帰りなさい（笑）。

田村 ……えーと、なんでしたっけ？ プロ格ですよ、要は。

——あ、そうですよね。あれ、そうでしたっけ？（笑）。じゃあ、それでいいです（笑）。

田村 うーん、でもね、極論から言え
ばね、楽しいものとか、凄いものとか
を見せればいいと思うんですけどね。
新日本がやってるプロレスも、全
日本がやってるプロレスも、みち
のくもパンクラスもお客さんが面白
いとか凄いか思ってたから、それ
でいいと思うんですよ。だからね、嘘
のないリングで、そういう面白い
とか凄いか思ってたから、それ
でいいですよ。だから、それ
を僕がやんなきゃいけない世代な
んだと思って。

——つまりは剣を持った上で、新しい
時代の鎧を着る。剣と鎧の両方を持つ
と。あるいはその剣を世間に対しての
鎧の役割にもするってことですよ。

田村 田村さんなら簡単にできそうですね。
田村 いや、シンドイっすよ（笑）。
めっちゃめっちゃシンドイっすよ。胃が
痛いっすから（笑）。

——田村選手はとてつもないビッグ・





ハートなのか、気が小っちゃいのか、どっちだかよくわかんないところがありますよね（笑）。

田村 よくわかんないですよねえ（笑）。

——ガハハハ。あ、ご自分でもわからない。

田村 いやいや、自分でもそう思いますよ。

——悪い意味じゃなく、田村選手は二面性を持っていますよね。

田村 うん、ああ、そうですね。でもね、僕は気が弱いんですよ。インターの時に新日本に出なかったことにしても、リングスを選んだことにしても、ジムをやることにしても、**僕がやらなきゃできないこと**なんですよけど、そういう流れっていうんですかね。子供が生まれて、小学校入って、中学校入って、高校卒業して、就職してって

いうのは、みんなが通る当たり前の道

じゃないですか。僕も、流れるには一般の人と違うことをやってるかもしれないんですけど、**そういうルール**ができてるんじゃないかと思うんですよ。リングス選んだことにしても、凄

い悩んだんですよ！ **UWFを捨てて行く**わけですから。だけど、そういうのが運命なんですかね。

田村 そうですかね？

——掴み所がないといえ言葉は悪くなっちゃうんだけど、自分のために“という顔と”自分以外の何かのために“っていう二つの顔が、クルクルとすごい速さで回っているのが、田村

潔司っていう人だと思っんですよ。田村 そうですねえ、自分のことばかり考えている人は、出世できたとしても、いつかは仮面が剥がれますよね。僕は、自分のことはもちろん可愛いですが、**自分のことも考えつつ、人のためっていうか、これからの**

この世界のためにやってる部分が凄く占めてますからね。 まあ、そう考えると、**僕はすごい奴だと思っんですけどね**（微笑）。

——いや、いい奴でしょう。でも、悪い奴でもあるんですよ、見る人によつては（笑）。その二つものすごい速さで回転してるような気がするんですけどね。

田村 昔はねえ、気イばかり使ってたんですよ。自分のこと考えないで。っていうか、周りに気を使ってね。やっぱり、怖かったんでしょうね。だけ

新日本に出なかつたことも、リングスを選んだことも、そういうルールがあつた

ただ関節を極めたから「俺は強いんだ」 じゃなくて、殻を破っていいかないと！

ど、なんて言うんですかね、昔は嫌いな人でも合わそうとしてたんですけど、最近は嫌いな人は嫌いな人でいいんじゃないか、っていうふうになってきたんで。意見が合わなければ、それで対立しますし、でも、対立したことによって、また絆が深くなることもありますから。だから、自分を正直に出したほうがいいですよ。

田村さんはストレスを溜めないタイプですか？

田村 いや、僕、ストレスはね、すごい溜まるんです。

—あ、溜まりますか（笑）。

田村 はい。リングスのことも、自分のジムの経営者としても考えないといけないし。経営してみるとわかるんですけど、**見えない部分で大変なことっていっぱいあるんですよ。**選手も育てなきゃいけないし、会員さんに接する態度にも気を使わなきゃいけないし、これからプロの選手を目指すコが出てきて、そういうコに対しては考えなければいけないですし、もういっぱいいいっぱいい気を使っていますからね。気を使っているように、気を使っているんですよ。

—それ、使いすぎなんじゃないですか（笑）。そのストレスは、田村選手はどこで発散してるんですか。

田村 もつ、女遊びしかないです

よね。

—ガハハハハ！ 女遊び！

田村 いやッ、その女遊びっていうのが、変な遊びと思われたら嫌なんですけど、ただ単純にお酒飲んで、みんなワイワイできれば、それでいいんですよ。ただ、男だけじゃ面白くないから、女の子がいたほうが面白いじゃないですか。

—気が使えど欲深い？

田村 欲はありますね。でも、欲っていうか、嫉妬深いんじゃないですかね？ 人と同じことをやりたくないし。嫉妬深いというか負けず嫌いないうか。

—何かこう、ジツクリ構えてるようで、パツと「先手を打つ」タイプっていうか。

田村 他団体がやってないことを何かやんなきゃいけない、というか考えなくちゃいけないですよ。

—じゃ、そういったプランは頭の中に渦巻いてるわけですね。

田村 うーん、そんなに……いやッ、渦巻いてますね！ だから、こういうふうにはやったらいいんじゃないかな、というやり方がありますし。時代は流れますからね！ 昔のやり方じゃ古いなという思いもありますし。

—例えばそれは、興行的なものとか、

そういったことも含めてですか。

田村 はい。興行的にもそうだし、選手の手育て方もそうだし。昔は、みんながお山の大将だったじゃないですか。でも、強い人には頭を下げないっていうか、強い人は強いですが、強い人にはそれなりの待遇も与えなきゃいけないです。例えばU—FILEで寮を作るとしたら、寮生の中でも、年とか関係なく、強かったら個室とか、弱い選手は2人部屋、3人部屋とか。いくら若くても、強ければ掃除はしなくてもいいとか。そういうのがないと、いけないかなとは思いますが。

—なるほど。そうすると完全実力部屋って感じですね（笑）。以前、ウチのインタビュで、「発想的にはパンクラスと同じ発想だ。ただスタイルが違っただけ」って発言をしてたんですけど、それは覚えてますか？

田村 はい、覚えてますよ。

—僕なんかはリングスとパンクラスがやったら面白いなあと思うんですよ。まあ、これはキナ臭い話抜きでの夢物語ですけど。

田村 やればいいですね。

—これも田村選手の世代が種を蒔いてかないと実現できないことですよ。

田村 それは**対抗戦**ってことです

か？

—個人的には田村vs船木なんて、死ぬまでにはぜひとも1回は見たいカードですけど、いまこの時点での話は対抗戦じゃなくてもいいです。例えば、部分交流であつてもいいし、アマチュアの交流でもいいし。

田村 うーん……でも、もうねえ……いまの時点では、他の人とやるって**発想はあんまり良くない**ですね。

—良くないですか！ リングスもU—FILEも、パンクラスも、シューティングも総合格闘技としてアマチュアを育成してる。そのアマチュアが繋がれば、総合格闘技の底辺は拡がっていくじゃないですか。そういうのは、田村選手の発想にはないんですか。

田村 ないですねえ。

—どうしてですか？

田村 **スタイルが違う！** シューティングはガードで足を組んでいいんですよ。僕は足を組ませないスタイルなんです。だから、それはシューティングはシューティングで、パンクラスはパンクラスでルールがあるわけですから。要はルールひとつ違うことで、強い弱いがまた全然違ってくるんで、やっても意味がないと思うんですよ。だから、パンクラスとリングスがやったらとしても、パンクラスは馬乗りになって叩いてもいいですよ。リングスはダメなんですよ。それがあつたのとないのでは全然違いますし。

—じゃ、総合格闘技と呼ばれているものの、ルールを全部統一しちゃおうとか大それた構想はないんですか？

田村 統一……うーん、僕のいまやっていることがひとつの競技のルールです。だから、本当にゼロから選手を育てていかないと。リングスついで、世界があつて、そこで選手を育てて、外人だったらその外人が育てた選手と、僕の育てた選手がリングスルールでやると。よそから来たっていうのはなしで、やりたいですよ。

——じゃあ、例えばP's LABから、U-F I L Eに移籍してくれればいいわけですか。

田村 うーん……よそから来たのは難しいですね。練習をみんなと一緒にやらないとダメですね。で、まず**相手の強さを認めない!**
——はっは!

田村 よそから来ると、絶対勝ち負けにこだわっちゃうんで。例えば僕とV・ハンとの試合がある。僕はハンを認めているから、**向こうも認めてくれると思うんですよ。**だから、変な言い方ですけど、**わざと逃がしてあげて、一歩先を読んで、その隙をついて取るとか、技術の凌ぎ合**いができるということですよ。

——よく田村選手が言う、「自分が3の力でいったらハンも3の力できて、ハンが5の力できたら自分は5の力で仕留めたい」ということですよ。

田村 はい。
——そういう考えは、UWFに入門した頃からあったんですか?

田村 いえいえ、全然。段階がありますよね。入門して1年間ズーッと関節決められて防御を覚えて、また2年目で新弟子相手に極める楽しさを味わっ

a sword of dis-obedience

で、今度極めるだけじゃ、面白くないんですよ。3、4年目には、ここでわざと袈裟の態勢から逃げさせて、「こう逃げるだろうな」と思って、僕もそれに合わせて動く。で、相手も僕の動きをまた読んでくると、僕は次の手をやるとか。**だから、あるところまでいったら殻を破っていかないとダメだと思っ**んですよ!



いやッ、いつでも芸術的な闘い模様となる田村vsハン戦。9.26札幌では試合後、ファンが総立ちで「タムラ・コール」を送った。トーナメント決勝(98.1.21)もこのカードとなるか!?

不穏な空気が流れた前田vs長井戦にすくなく影響されたのか11.20のトーナメント2回戦
メインにも関わらず本領発揮ならず。立ち止まるな、田村!



(弘光II現キングダム)とかとやって、極まらないんですよ。**極まんないのが悔しいから、2時間ぐらいやる**んですけど、で、それはやってればやるほど、極め方ってのを覚えてくるんですよ。「極まらないからもういいや」じゃなくて、極めるまで納得するまでやってましたね。

——いやあ、田村さんは、技ひとつに對しても負けず嫌いなんですね(笑)。
田村 はい。負けず嫌いなっていうか、悔しいんですよ(微笑)。
——昔、「相手が5の力しかなかったら、7の力まで引き出して、さらに10の力で叩き潰す」っていうことをアントニオ猪木が言っていましたけど、プロレスだからどうのこうのじゃなくて、人間と人間との闘い模様にはそういう駆け引きは出てきますよね。

田村 **ありますね。**

——ただ、それがプロレスでは誇大解釈されて、最初からインプットされたような、とても闘いとはいえない試合ばかりが横行していたわけですよ。で、それに噛みついたのが前田日明というわけなんですけど(笑)。
田村 いやッ、だから**前田さんはやっぱり凄いですよね。**

——田村さんは、いま前田さんをどう思っ

るんですか?

田村 ……いやッ、大変だと……他の人がついていけないんじゃないですかね。前田さんが大変過ぎて。人間は大変過ぎると、絶対に**理不尽**なことを言いますから。

——理不尽なこと(笑)。

田村 まあ、前田さんはもともとと言う人かも知れないですけど(笑)。

ただ関節極めたから「俺はもう強いんだ」じゃなくて、相手をわざと逃がして、相手のどんな動きにも、一歩先を読んで対応するということですよ。

——その一歩も二歩も先を読むところに芸術性が出てくるわけですよ。

田村 昔はね、もう2時間くらい金原

前田さんのヒクソン戦？ 凄いことだと 思います。凄いリスクのある闘いですから



——ガハハハ。そうなんですか？（笑）。

田村 わかんないですけど、若い選手とかフロントね、愚痴ってナンボですけど、でも、前田さんから見れば、そんなのは本当にちっちゃい世界なわけです。前田さんは本当にもう……見えな

いところで苦労されてると思うんです。——例えば前田さんの苦労みたいなものは、U—F—I—L—Eの経営者として踏

み出してから見えてきた部分もあるわけですね。

田村 ありますねえ、はい。この間、大阪大会終わった後にC・ドールマンと契約の話をしてるって聞いたんですよ。フツー試合が終わったら、飲みに行ったり食に行ったりしたいじゃないですか。それを、仕事やってるわけですから。で、僕なんかは、リング

スでは契約選手でお金貰えれば、それだけでいいですからね。だけど、僕らがお好み焼きを食ってる、若い選手が何か食ってる間にも、毎晩そういう交渉をね……大阪の興行もきつかったらしいんで、そういうのも頭を悩ませていると思いますからね。そういうふうにと考えると、やっぱり大変だなとね。

——若い選手は、もっと前田さんをフォローしてあげたほうがいいと思うんですか？

田村 いやッ、フォローしなくてもいいですし、してあげてもいいと思うんですけど。……両方ですかね。

——両方が好きですね、田村選手は！

田村 いやいや、いやッ、それはね、

人の考えですから。上と下の間が離れ過ぎてるんですよ。

前田選手がヒクソン戦をブチ上げたことについては、率直なところどう思ってるんですか。

田村 (かなり長い間考えて) ……えーっと……………。

率直には言えないですか。

田村 いやいや、うーん……………いやッ、凄いことだと思います！凄いいリスクのある闘いですからね。一歩間違えたらねえ……………本当にまた、下に落とされるわけですから。

ただ、前田さんは高田さんが負けた姿を見て、高田さんの方が強いと思うろうっていう気持ちの方が強いと思うんで。自分がヒクソンに勝ってやろうという気持ちもあるんだと思うんですけど、やっぱり高田さんが負けたから俺が仇を取ってやるって。頼もしいですよ。他にいないですからね。

名乗りを挙げたのは、前田さんだけですからね。

田村 その辺は、本当にもう楽しみですけどね。

田村 選手には、そういう気持ちはないんですか。

田村 僕ですか。僕はねー、いまはまだ言いたくないんですけど……………いま

の気持ちは、前田さんの結果によっでは。だから、いまは前田さんが、ああいうふうに言ってるから、前田さんに頑張ってもらいたいですよね！

じゃあ、仮定の話ですけど、前田さんがヒクソン戦をブチ上げなかったら、田村選手はどういう行動を取ったんでしょうかね。その時になってみない

a sword of dis-obedience

いとわかんないでしょうけどね、当然。田村 ハハハ、いやッ、それはわかんないですけどね。歯車が狂う時ってあるじゃないですか。例えば、試合の組立て方にしても、僕の試合が2試合目

だとして、第1試合目がシーンとしてたら、ちよつと入場から盛り上げようかなとか、第1試合目が盛り上がってたら、2試合目は緊張感ある試合をやるのかなとか、そういう流れってあるんですよ。で、NKの時に前田さんのマイクがあつて、流れるには、僕はあんまり出ないほうがいいかなとかあるじゃないですか？ 僕がセミだつたら、僕がマイク持ったかもわからないし。前田さんがマイクで言わ

なかったら、僕がメインでマイク取ったかもわかんないし。だから、前田さんが言っちゃった以上、僕が口出すことじゃないですよ。前田

さんがやるって言ってるんですから。

高田 vs ヒクソン戦の影響なのかどうかは一概には言えないとしても、11月20日の大阪大会にしても興行的に苦戦しましたよね。マット界自体が実際に冷え込んでると思うんですよ。で、田村選手が、その辺をどう打開しているかと思ってるのか興味あるんですけど。

田村 うーん、マット界ですか？ やっぱヒクソンを倒さないとだめですよ。ね！

やっぱ、そうなりますかね。それ以外では盛り上がりませんか。

田村 何かあります？

田村 田村さんに期待します(笑)。

田村 (微笑)。盛り上がるようなこ

とをしていけば、周りは絶対ついてくると思うんで。いまは地道にやるしかないんじゃないですかね。

浮き足立たずに。

田村 はい。でも、ファンは何を期待しますかね。僕に対して、リングスに対して。

多分、ファンが望んでることも、具体的なものってないと思うんですよ。とにかく、理屈抜きに面白いもの、感動できるものが見たいというね。でもやっぱり、vs ブラジルに勝つのは近道っちゃー近道ですよ。

田村 ……いやッ、それか、

リングスのワールド・トーナメントの決勝を見るしかないんですかね。

シメにかかってますね(笑)。決勝に行く気マンマンってところですね。

田村 でも、今度はベルト懸かってますからね。見る価値はホントに凄

いあると思いますけどね。

そうなんです。見る価値は大アリなんです。でも、いまはU系のファンは、正直、意気消沈してますよね。

田村 それはだから、グレイシーのあれですよ。でも、そういう盛り上がる試合ってね、毎回やれって言われて

も無理ですから。サッカーのワールド

カップにしても、40年かけてみんなが熱狂するわけですよ。辰吉選手にした

って、十何回も日本が世界挑戦に失敗してるから、ああいうふうな盛り上がるわけじゃないですか。だから、これ

から、もう10年グレイシーに負けないと。

うあッ！ もう10年負け続ける。きついですよ、それは(笑)。

田村 その10年間溜めたストレスが、バーンッとなるのが、思いきり盛り上がる日かもしれないです。ね。でも、そういうお膳立てを作るのは難しいですよ。

でも、もしかしたら、もっと負け続けてもいいっていうのは面白い発想かもしれないですね。でも、そうなる

と一気に爆発させるのは、田村さんじゃないとダメなんです。

田村 えっ？

それを言っちゃった手前ね(笑)。

田村 いやッ、じゃあカットしてください(笑)。

今日は長々とどうもありがとうございました。

田村 ありがとうございます！
[11月26日、六本木アートセンターにて収録]

U-FILE CAMP 入会のご案内

U-FILE CAMPとは
寝技・立ち技・ウエイトなどを
総合的にマスターできる格闘技ジムのことだ！
シェイプアップ、体力づくりから
ストレス解消、(もちろん女性もOK！)
本格的な練習をしたい人も大歓迎！！

●入会金
25000円
(プラス入会時に会費前納2ヵ月分)

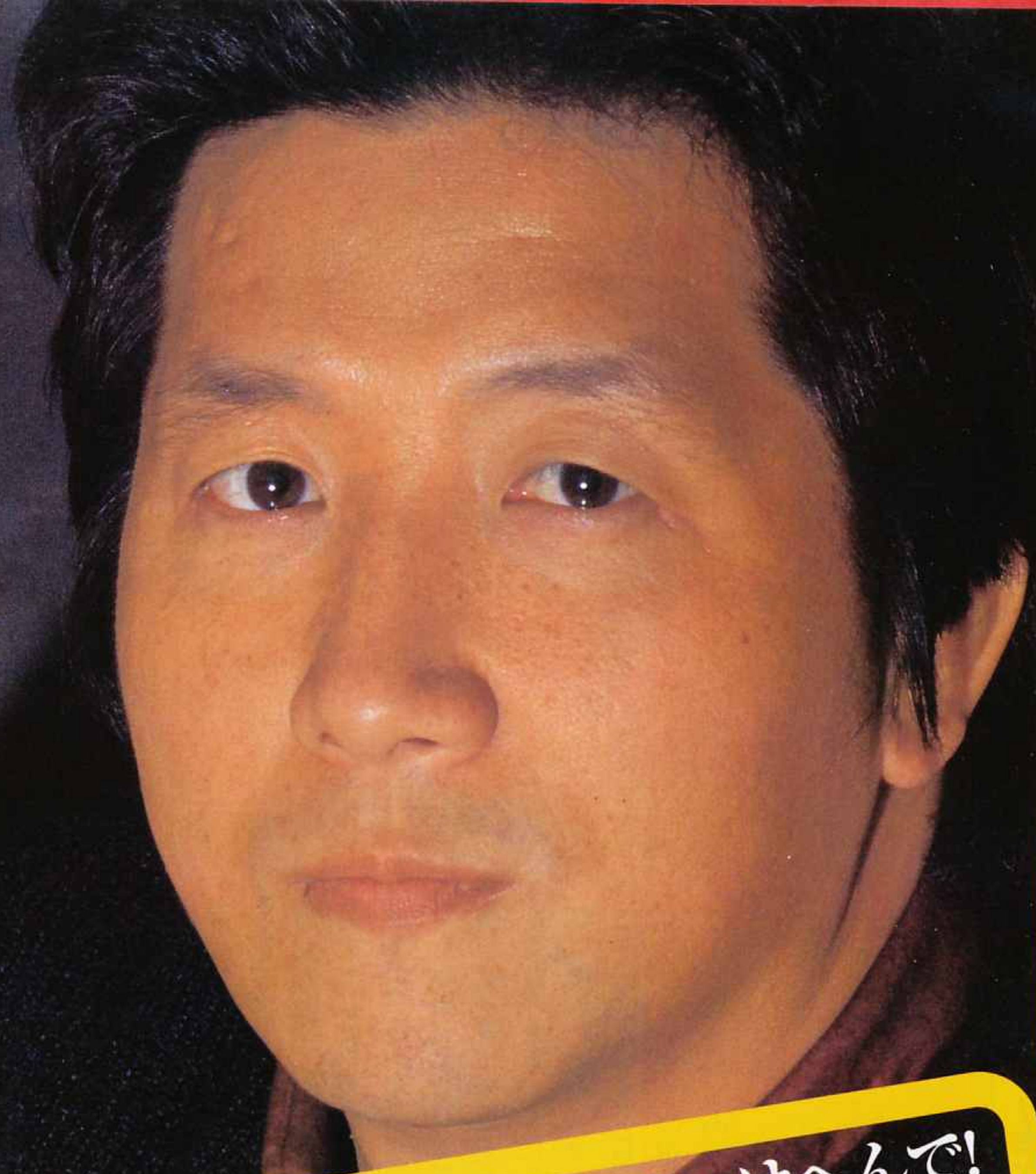
●月会費
12000円(一般)
10000円(学生・女性)

●練習時間
火～土曜/16:00～22:00
日曜/12:00～18:00

詳しいお問い合わせ先

川崎市多摩区登戸1568
(登戸郵便局前)
TEL.044・932・0282(代表)

……ああ、好評すぎて怖い



あのね、眠たい相談は受けつけへんで!

前田日明の
“ワールド” メガバトル人生相談

「人生は語らず」

第3回

構成／山口昇
撮影／遠藤政文

寸止めなしの殺戮連載!

【日明兄さんの朝礼】

先日、いろんな出会いがあって、夜中の1時に、東京湾の一番奥の東京マリーナというところから伊豆の大島までヨットで帆走した。そこで驚いたのが、一歩東京湾に出ると、夜空には満天の星があったり、街の方を見ると照明やネオンの光がその街をドームのように包んでいる、えもいえぬ綺麗な景色だった。さらに驚いたのは、あらためて思っで笑ってしまったが、夜の海のせい、足下に暗く揺れている海を眺めて「海にはこんなにたくさんさんの水があるんだなあ」と思ったことだ。

乗ってる船自体もエンジンを止めて風の力だけで走っている。

波を切る音と風の音。

それがすごく新鮮だった。

そんな海でもいったん荒れてしまえば、牙を剥いて怖いところなんだろうけど、自然というのは人間の中にある気持ちをすごくロマンティックにしてくれる。だから、自然とふれあうっていうことは、自分の感覚を磨くためにもいい勉強になる。そういう磨かれた感性があるから、俺はバンクラスのことをボンクラスという。

Q

ノストラダムスが地球の終わりを予告した1999年の7月まで、あと2年を切ってしまった。人間が行ってきた数々の狼藉を考えると、そういう天註が下っても仕方ない! 正直言ってボクは怖くて怖くてしょうがない時があります。かといって、こんなことを人に相談してもバカにされるだけだし、ズバリ言っけこう重要な研究材料だと思うんですが、前田さんの意見を聞かせてください。

(世田谷区・カタストロフィ大佐・20歳・男)

A

なに暇なこと言ってるんや! みんなで死ぬことよりも、こういう時が来たら一人だけ生き残る方が怖いでしょ。だから、そういう時、万が一死ねない場合に備えて、「自殺のすすめ」とかいふ本があったじゃない?

あれを熟読して、それに備えて対処すると。

あと、もしハルマゲドンが来なかった時、一番悪いのは「ノストラダムスの大予言」を解説した五島勉！ あの人をみんなで張り付けにして、私は「あの本のお陰で人生が狂ったんや！ どうすんねん！ なんとかせえ！」とスゴみましよう（なんかいいことあるかもね）。この場合、警察に訴えられないようにカワイクやりましょうね。どっかでこの人に会ったら、ラーメンの一杯でもおごってもらいましょう、ということやね。

そんなことよりも俺ね、いまから5年くらい前に、母親が慌てて「ちよっとお前、大丈夫か？」と電話してきてね。「どうしたんや？」って聞いたら、母方のおじいさんが、妹とおふくろの夢枕に立って、「日明は38歳のときに死ぬ。だからおまえらは、そういうふうには覚悟せい」と言ってきたらしいんや。

で、その母方のおじいさんが生き死にに関することで夢に出てきた時は、それまで外したことがなかったんだよね。それでドキッ！ とした経験があるから、もうノストラダムスなんて全然なんともないわ。

だって、38歳っていまの俺やで！ だから最近、俺がアントニオ猪木とも対談し、長州力とも対談し、ボンクラスとも喧嘩しと、いろいろ善行を重ねてるのは、いつ死んでも「前田はい奴やったな」と言われるようにという願いを踏まえてのことやね。

でもね、もしもみんな死んだらオモロイで！ だって、あの世にはモナリザも楊貴妃もマリリン・モンローもみんないるやんけ。でね、あの世は肉体も何もない世界だから、「処女膜破れた」とか「犯された」とかいう概念はないでしょ？ だから、やり放題やんけ！ というわけで、ハルマゲドンの時にはみんな素直に死になさい！

しかし、私はたとえ地球の終わりが来たとしても、数多くのベッピンな女とともに生き残る覚悟がある！ アンゴルモアの大王がなんぼのもんじゃ！

寝言は寝て言え！ 若者よ、目を覚ませ！

Q 「私は侍である。だから死ぬのは怖くない」というようなことをヒクソン・グレイシーは言っていました。それに対し、もしヒクソンとの対戦が実現したら、「その試合で俺がわからせてやるよ。死ぬことより生き抜くことのほうがよっぽど怖いことをね。死ぬなんて簡単なことだよ。本当の恐怖は、人生を信念を曲げずに生き抜くこと、生き残ることなんだから」と某誌のインタビューで前田さんは言っていました。私もそういう考えなので、その言葉はすごく印象に残りました。ヒクソンとの対戦のことも聞きたいんですが、今回は「生き抜くこと」のほうによっぽど怖い」という意味をもっとも深く教えてください。

（山形県・長尾はじめ・25歳・男）

A 「死ぬのは怖くない」と言うんやったら、自分で自分の首でも締めとけばええんやんけ！ それだけの話やで。

武道っていうのは、もともと生き残るための、サバイバルの技術や。なんのために生き残るかという、儒教を理解していない人にはわかりづらいけど、個人の欲得を離れて、自分の忠誠を尽くすもののために、自分の命をも投げ打って事に当たると。だから昔の侍はこういうことを言う時に「名こそ惜しけれ」という言葉で象徴的に言ったんや。だからこういう場合は、金とか今流の名誉とはちよっとちゃうで。でも、えてして外国の武士道被れの人たちはね、「私」とか名誉というものを自分の中からはずすことができない。だから中途半端に「死」だけを問題にするんだよ。

武士道でいうところの死っていうのはそういう意味じゃなくて、「人事を尽くして天命を待つ」と。「たとえ自分に宿命的に死が訪れようとも、それをニュートラルな立場とし



AKIRA MAEDA

て受け入れることが出来る」ということを言っているわけですよ。

「葉隠」の思想を説いた鍋島藩の山本常朝って人は、「武士道とは死ぬことと見つけたり」とって書き残したけど、なんでそんなことを言ったかという、あの人は自分の殿様が死んだ時に「殉死させてくれ」と言っただけで断られたんだよね。死ぬことが許されなかったわけや。で、さっき言った意味を踏まえて、自分の武士道を完成させるためのアビールとして「死ぬことと見つけたり」と書いてたんだよ。

でも人の「生き死に」について考えるって、だいたい「死」というのは、誰もが語り得ない議論なんだよ。誰も実際に死んだことないしね。そういうものに対して取るべき態度はニュートラルであること！ 今生に対して未練を残さないこと！ それが最高の立場なんだよね。

それとね、間違いない死ぬかもしれないって状況にあつて、「何か」のために生き残ろうとする勇気っていうのはたいへんなことなんだよね。今も昔も、特攻隊みたいなものは別として、「死ぬのは怖くない」という奴ほど、だいたいが逃げ道として「死ぬ死ぬ」って言ってる感じだよ。「死ぬのは怖くない」なんて言うのは、ただのファッションにしか聞こえない！ こういうのは、いまの格闘家の最新モードになつてきたからね。そういうことは口に出すべきではない。覚悟として心に秘めることだ。

だから死をオカズにしてしか、自分のやってることを語れなかったら、ヒクソンは可哀想やなと思うね。

あとね、ハッキリ言っ、死んだ人は生きてる人間に対して余計なこと何もしないんだよ。生きた人間に、死そのものとか死人まで利用して余計なことをするのは生きた人間でしよ。

地獄界、餓鬼界、畜生界、修羅界、人間界、天上界とかね、仏教でいうところの六道輪廻はこの世に全部あるねん。つまりね、この世には天国から地獄までの全部があるメリーゴーランドとジェットコースターが一緒になったようなところや。死んだらどうなるかわかんね。それだけとって死ぬことより生き抜くことの方

がたいへんなのがわかるやろ。なんと含蓄と知識に富んだこの言葉。……私は死ぬことよりも自分が怖い。……今日は妙に頭が冴えてるな。……ああ、今夜は満月か。ワォー。

Q 前田さん、はじめまして。ボクは前田さんの栄光も過去も知らない、ただプロレスが好きなんです。実は10月11日の高田延彦vsヒクソン・グレイシーの試合からボクは自分からなくなつたのです。あの試合がTVをはじめ各メディアで紹介されて、あまり気にもしてなかったボクにも情報が入ってきて高田さんを目にするようになりました。ボクはどうやら高田さんに恋(?)してしまつたようです。それ以来、高田さんのことは毎日……女性のヌードよりも高田さんの方に魅力を感じてしまっています。ボクっておかしいんですか？ 前田さんの言葉で聞かせて下さい。また、前田さんの知る高田さんって、どんな男か教えて下さい。

（東京都・Such A Lovely Place・19歳・男）

A そこで次郎長ニッコリ笑って、馬鹿は死ななきゃ治らない!! 忙しいときこんなバカな相談を持ってくるなよ。それにしても、こういうのがこの頃多いね。

俺が中学生だか小学生の時、毎日新聞の夕刊に「神への挑戦」という題で、最先端の研究事項の紹介記事が載ってたんだよね。その中で生物学的なアプローチとして人工増加の問題をネズミでシミュレーションしてた記事があったんや。

で、ネズミのなんとかって種類があつて、それがある一定の広さの場所でネズミの個体数をどんどん増やしていくと、まず何が出てくるかという、ホモとレズ！ それらがさらに増えていくと、親が子を傷つけたり食ったり、そのうちにネズミ社会の中に虐待だとかイジメとか出てくるんや。もともと増えていくとどうなるか。互いに殺し合い、そのうちに集団自殺するらしい。

だから、まあ、こういうのも世紀末の景色

の中に溶け込んで一種の風景としてみれば自然なんかな。寂しいヒステリーなオカマたちがわめいてるのも、八ヶ岳で自然に鳥が鳴いてるのと同じようなものというこっちゃね。

Q 私は26歳の看護婦です。26歳にもなつて気持ち悪いとお思いかもしれませんが、実は私、今まで男性とお付き合いした経験がないんです。どうせブスだしスタイルも悪いし、職業上、あまり出会いもありませんし、休日はデートなんかしているより少しでも多く身体を休めたいと思っているので、彼氏がなくても全然平気だったんですが、やはり同期が結婚などというニュースを耳にすると、ちよつぱり寂しく、焦りを感じてたのも事実です。でも先日、こんな私にも交際を申し込んでくる男性が現れたんです。でも私はこの人のことをまったく知りませんし、顔もハッキリ言って全然タイプじゃありません。なので最初は断るつもりでいたんですが、これを逃したらもう一生男性とお付き合いできないんじゃないかとも思います。私もあと2ヶ月で27歳です。このへんで妥協しておくのが賢い女の生き方なんではないでしょうか？

(仙台市・天使のわき毛・26歳・女)

A これはもう大きくゆつたりと考えるしかないね。ニュートラルな立場で、まずは友達づきあいから始めてね、ちよつとでも自分の情に触れるところがあつたら、じらしにじらしでもつたいぶつて、値打ちをつり上げるだけつり上げといて、ちよつとだけやらせる。気をつけなければいけないのは、だいたい男つて、一発やらせると本性現して急に横柄になつたりとかあるから、常に高くもつたいぶつてコントロールするのが尻に敷くコツ。そういう作業をしながら見極めていくと。

それとね、これはすべての女の子にわかってほしいんだけど、男つていうのはいろんなものによって育てられるもんなんだよ。ある人は先輩との上下関係に育てられ、ある人は自分の環境によって育てられる。また、彼女や女房によって育てられる人もおる。いろんな男がいるんだよね。

だからいまのうちに、しつかりカカア天下になるようなトレーニングを積んで、来たるべき大物の出現に備えろ。そして大物が出現したら、パツとそれに乗り換える。それまでは、ある程度スタンスを保ちながらね。

で、そのスタンスを保つて行爲が、また男にとってみると理論的な大人の女性に見えてたりするもんなんや。

でね、世の男どもは、自分が理解し得ないものに対して脅威を感じて尊敬するっていう変な習性があるんで、そこを大いに利用しながら、高いブランドものでもプレゼントしてもらつたりするこつちやね。

ここで教訓！ 女の子が、男とつきあう時に絶対守んなきゃいけないのは、すべてを見せない！ さらけ出さない！ ある部分の秘密はいつも持つこと！

考えてみると、やっぱり最高の魅力は神秘性なんだよね。「あれ？ コイツ、人よりもケツの穴のシワの数が一本多いんじゃないか？」と思うから知りたいわけであつて、男つていうのは本質的に隠されてるもんに対して知りたがるんだよね。

その証拠に、男の子が異性に対して一番最初に目覚めると、肉体に対する直接的な興味よりも、「あのコ、パンツ何色はいてんのかな？」というスカートめくりから始めるでしょ。

だから、その男が何によって育てて欲しい男なのか、自分が持つてるとどういう神秘に対して彼は反応するかをよく見極める。

そして反応した神秘について、もつと装飾して、もつと崇高に聖なるものに崇めたてて、どんどんミツグ君からアッシー君、メッシー君にして、たまにかわいそうだと思つたらチューの一つでもさせてやって、もうちよつとかわいそうだと思つたら3ミリぐらい入れさせてやって、それで「ちよつとなかなかいいテクニシャンだわ」と思つたら、たまにはもつたいつけな

あのね、眠たい相談は受けつけへんで！
前田白明の
“ワールド”メガバトル人生相談
人生は語らず

がら恥じらうフリしてさせてあげましょう。

でも、気をつけなきゃいけないのは、世の中には『逆妊娠固め』という技があるから避妊だけはちゃんとすることやね。中出しはダメよ！ 避妊は忘れずに。

Q 酒とバクチと女に手を出してしまった父親が蒸発して早15年。女手ひとつで私と妹を育ててくれた実の母親なのですが、毎朝5時に起きて、遠い親戚の工場で労働をしていたせいか、遂に最近肺の病気にかかってしまい寝たきりで咳込んでおります。とても仕事に行ける体調ではありません。

せん。かといつて一人にしておけませんので、私がつきっきりで看病しております。妹の嫁さんと私の内職での僅かな給料で私達母子3人が生活していかなければならないのが現状です。母の苦勞は私の想像を絶するものでした。私は今でも感謝していますし、そんな母を放つてなんておけません。心の底からそう思います。ですが、私も年頃なので「そんなことを考えてる場合じゃない」と思いながらも、恋やオシャレやおいしいパフェの店のことを考えてしまふのです。「母がいなければ！」。気が緩むとそんなことを考えてしまつていて、とても恥ずかしいのです。しかし、実際に私も母の看病に疲れています。いずれは私にも限界が来るかもしれない。日明兄さん、私はどうすればいいのでしょうか？ 一家の面倒を見てくれる優しい夫を見つければ一番の近道なのではないでしょうか？

(川崎市・匿名希望・29歳・女)

A 人間こやうやって逆境に入っちゃうと、周りが見えなくなるんだよね。なんでかっていうと、そういう経験に振り回されてしまつて、自分の感性とか感覚がそれに張り付いなくなっちゃうんだよ。

一番大事なのは、私生活でシンドイことがあつたとしても、いつも自分の好奇心を張り巡ら

して、自分自身が本来持つてたフレッシュさ（それが魅力つて言うんだけど）をいつも失わないつていうのは大事だよ。

俺自身もいろんなことがあつたけど、そういう時に新しい展望が開けたりとか、逆境を脱したりとかできたのは何でかつていうと、そういう気持ちを忘れなかったことと、それによく運の正体は人つて思うけど、やつぱり人との出会いがきっかけになるんだよね。

彼女もいま、お母さんの看病に振り回されてしまつて、ストレスになつて周りの人に変にツッケンドンになつてしまつと、人つていう運の正体までも逃がしてしまつから、好奇心とフレッシュさだけは失わないでほしいね。

そういう逆境にあつても、笑えるくらいの感性を磨くつていうのは、彼女の今後の人生にとつて、すごいキープポイントになると思うね。嬉しい時に笑える、悲しい時に泣ける、逆境になつても普段の生活に振り回されない部分の感性を磨いたら、それは誰にも持てない、代え難い大きな魅力なんだよね。特に女の人にとっては。

だからね、婚期なんて問題じゃなくて、あなたがそういうものを見つてくることができた、いろんな男がほつとかないと思うよ。もし、あなたが婚期なんて気にしてるんだつたら本末転倒で、あなたの中で、まだそういうものが育つてないんだよ。そういうものが育つていけば、誰もほつとかないから。

「柳に雪折れなし」つて言うじゃない。いつも柔軟な感性を持つてたら鈍することもないんだよね。それが、えもいえない素晴らしい魅力に繋がるんだよ。

なおかつ、こいつた誰にもできないような経験つていったらなんだけど、こいつた経験つていうのは二通りあつて、「人間つてのは本当に暖かいな」つていう経験もあるだろうし、反対に「人間つてのはなんて冷たいんだろう」という経験もあるだろうし。で、そういうのを自分の中でニュートラルに受け入れるということが、大人として成長するということなんだよね。

あとは、自分で自分の背中をポンツと押せ

るような力を育てることやね。

ただ、いまは視線が、自分の背負ってるものの重さっていうのを考えすぎて、背中が重くなってる、下ばかり見ちゃってるんだよ。ちょっと視線を上に向けて。その気持ちさえあれば、彼女の未来は幸せで溢れていると思うね。

周りでも見る人がいっぱいいると思うんだけどね。自分が気付かないだけで、たぶんいろんな人が応援してると思うよ。こういう熱い人にはね、熱い人が集まってくるよ。それは心配ないよ。だけど、そういう熱い人が集まってきたときに、暗くなるとダメなんだよね。

泣いて暮らしても一日やったら、笑って暮らしても一日。それやったら、笑って暮らした方がええやん。

恋ができるように、オシヤレができるように、パフェが食べれるように、こういう時こそ好奇心を捨てずに何か努力すればいいじゃない。

人生はね、「感じるもの」としては悲劇だけど、考える人にとっては喜劇である」と。

視線を上に向けて考えれば、きつと笑えるはずや！ ヲ上を向いて歩こう、涙がこぼれないように（下を向いたら鼻水垂れんぞ）。

A

これは一回、スツでスツでスリまくるしかないね。そんで、パチンコの魅力よりも後悔が勝ったときに、やっと我に帰れるんだよ。パチンコの魅力が後悔より上の場合、まだまだやめられないね。

スツでスツでスリまくって、いろんな人に白い目で見られて、怒鳴られて、怒られて、ハブツチョにされて、ほんと夫婦別れして一家離散して、友達も一人もいなくなってる、サラ金とかのローンの借金がいっぱい増えて、「このままじゃソープランドに身を売るしかないわ」ってとこになったら嫌でもやめられるでしょ。

Q

いまの世の中ヒマすぎてね、なんでもかんでも勞せずできる世の中だから、みんな単純な毎日に流されちゃうんだよね。本当はパチンコじゃなくても、自分の感覚を張り巡らせて周りを見てみたら、もっと面白そうなのがいっぱいあるはずなのに、パチンコっていう一番簡単なものにはまっちゃってるんだよね。

だから、この人に言えることは、好奇心の欠如！ 先天性好奇心欠乏不全症！ それから後天性欲求不満！

だいたい主婦でこんなになってるってことは、ヒマすぎるからこんなことを考えとるんや。いつまでも子供やとらんと、自分の子を作って親になることやね。パチンコの玉と遊ばずに、別の玉を活用しましょう。

Q

ゲームに熱中し過ぎてしまつて、仕事に手が付きません。夜遅くまで、というか夜が明けるとまでやり込んでしまい翌日は遅刻をしたり、有給を使つてズル休みをしてしまつて今日この頃です。まっとうな社会人としての自分は「会社に行かなくちゃ」と思うのですが、もう一人の自分が「このゲームは楽しいなあ。会社に行きたくないなあ」と耳元で囁くのです。このままでは会社をクビになってしまいます。前田さん、ボクはどうすればいいのでしょうか？ 自分ではゲームのようにうまく出口が見つかりません。

（岐阜県・はらつばさ・24歳・男）

A

こんななん何も心配ないわ。「まっとうな会社員」とかさ「ズル休み」ってことがわかってるんだから、大丈夫でしょ。



MAEDA

それにゲームに集中できることは、自分の中にある集中力、これぐらいのスパンでの凄い集中力があるってことがわかったわけですよ。それだけでもめっちゃもんやんけ。あとはその集中力を他に使う時の方法が必要なんであつて、その方法とは何だろう？ と考えれば問題ないで。

例えば、会社の新入社員の中に自分が気を揉むような若い娘がいたら、その娘の前でええかつこしようとか、そんなでもいいんじゃない。ボーナスいっぱい貰ったら、車買うだの、ジェットスキー買うだの、ヨット買うだの、なんだってあるで。その他にもダイビング・インストラクターの免許を取って女の子をかましまくつたれ！ とかね。

そういうふうもないことから始めて、大望を持つと。目標が大切やね。

でもね、TVゲーム。たしかにあれば時間がなくなるんだよね。前に『信長の野望』を初めてやった時に、昼の12時頃から始めて、ハッとなついたら夜の2時半だったということがあったもんや。

それからね、凄く忙しい時の方がいろんなことでできたりすんねん。女の子ともつきあえるし、趣味のこともできるしでね。反対にヒマになつちゃうと、すべてがヒマになつちゃうね。そういうもんやんけ。

だから何か大望を持てば、ゲームだけに集中してしまつてこともないんじゃない。

【日明先生の総括】

俺の好きな歌に、クレイジー・キャッツの『そのうちなんとかなるだろう』というのがある。

脳味噌の雪解けを待つ諸君！ 相談、受け付けてやってもええで！

悩みがある人は即座に日明兄さんに相談しよう！ ただし、どんな相談に対しても寸止めなしなので、どんな答えが返ってきてても編集部は責任を取りません。あしからず。さあ、勇気を持って初めての相談だ！

〒151 東京都渋谷区千駄ヶ谷3-11-3-702

（株）ダブルクロス 紙のプロレスRADICAL編集部

『日明兄さんのニュートラルが一番』係まで。

「銭の無い奴あ、俺んどこへ来い俺も無いけど心配すんな見ろよ青い空、白い雲」
そのうちなんとかなるだろう
人の生活なんて、すべからくそういうもんでしょう。前ばかり向いてると落とし穴にはまるし、かといって下ばかり見ていると自分の行き先が見えない。
だから、いつもキョロキョロしよう。
カメレオンのように右の目と左の目で違うところが見れたら一人前や。
そういう人間は微々たるもんだけど。そういうえば、格闘技界にもそういう人がいたな。カメレオン・アーミーのように鋭い人がおつたな。



みちプロ経営危機の真実を
ザ・グレート・サスケが独占激白！①

こんな経営をしていたら
50年もつみち。プロが
5年で潰れてしまうっ！

聞き手／山口日昇 (別名・アシュリン)
interview by Noboru Yamaguchi
撮影／斉藤ユーリ
photographs by Yuri Saito

日月末日。経営危機騒動の渦中にいるグレート・サスケ社長が上京しているという情報が入った。間髪入れずにコンタクトを取ってみると、インタビュ어도写真撮影も「NO!」。

『紙プロ』とつきあいの長いグレートから「NO!」という言葉も聞くのは初めてである。しかし、東京の街を焦燥感と逼迫感を漂わせながら、あてどなく歩くサスケ社長を本誌は追った。まさに「撮り殺すぞ、コラァ!」という気迫を持って望遠レンズでの隠し撮りまで敢行したのである。

本誌を見つけたグレートは、あまりのしつこさに閉口したのか、疲れた笑顔で重い口を開いたのだった。話をしてみると、そこには、いつものパワフルな「ガハハハ笑い」をするグレートはいなかった。

——こんな雨の中、今日はどこにいく予定だったんですか？

サスケ うーん、実は明日、朝から膝の検査があったんでね。他に仕事もあったけど、気分転換に夕暮れの東京の街でもブラブラしてみようかと思ってねえ。

——うちのカタブツ君（34歳）なんてズル休みしたから「何してたんだ？」って聞いたんですよ。そしたら「ブラブラしてました」っていうから、「どこを？」って聞いたたら、「家の中」だつて。……聞いてます？

サスケ は……は……（力ない笑い）。いや、でも、『紙プロ』さんって意外にしつこいんですね。他の雑誌でも今回の騒動については、しゃべるのよそうと思ってただけで、負けたわ、うん。なんでも聞いてください。

——あの、山一証券が潰れましたね。

サスケ ……潰れたねー、うん。今日も宮城のトップどころの徳陽シティ銀行、あれが潰れちゃったしね。

もう、地方銀行はバタバタ潰れるんじゃないかな。

——地方に影が落ちてますね。

サスケ （うつむいて）……落ちてるねえ。

——で、地方に根

ざしてやってきた

みちのくは、いま

ホントのところは

どういった状況な

んですか？

サスケ ……ん

——消費者の買い控え、銀行の貸

し渋りっていうのが、そのまんまプ

ロレス業界にも当てはまってるわけだ

ねえ。

——は？

サスケ だから、プロレス見なくて

も生きていけるワ、と。世間でも、

高いもん買わなくても通常に暮らして



いければいいワってことで、消費者が買い控えしてると。そうすると中小企業としては、もう資金繰りに参っちゃって、不良債権を恐れて銀行も貸し渋るし。もう悪循環ですよ！ だから

どんな業界でも、例えば一昨年のウィンドウズ・ブームみたいにね、家電業界が一気に盛り上がるとかね。

そういう現象が起きれば全体の景気も良くなるんですよねー。

でも、いまパソコン・ブームも

すっかり下火で

家電業界も伸び

悩むどころか落

ち込んでる状

態でね……。

——ま、家電業

界はともかく、

みちプロの経営

危機騒動に関し

ては、僕は正直

なところ同情を

買う作戦かなっ

て思ってたんだ

けど、なんか最

近の社長は、職を失った労働者みたい

で元氣ないしね。俺も社長と付き合

いが長いけど、そんな姿見るの初めてだ

し、心のない俺までが心配になっちゃ

ってね。

サスケ ……やっぱりね、発端は

『週刊ファイト』の報道だね。あれ

が、みちプロ経営危機だと煽っちゃっ

てねえ。でも確かに、あの通りだったんですよ。

——え!? あの通り! じゃあ、あれは『ファイト』が流したデマじゃないんですか？

サスケ ただ、……んー、冷静に分析すると、今年に入って急激に観客動

員が東北において落ちたと、それが一つの原因としてあると。……だけど、それは一つの原因に過ぎなくて、まだ傷口もそんなに浅くなかったんですよ。

——「深くない」じゃないんですか？

サスケ そうそうそう。頭イカれちゃったかなあ。深くなかったんですよ。

——そういえば、すっかり忘れ去られてますけど、社長は去年の夏、頭蓋骨骨折という重傷を負いましたね。しかも脳挫傷もあった。これはいまだどうな

んですか？

サスケ あ、それはもう完治してま

すよ!

——ホントですか!?

サスケ してますよ、うん。俺に言

わせればね。後遺症は3カ月ぐら

でなくなりました。我ながら頑丈な

身体だと思ってますよ。

——じゃあ脳味噌の中身が問題なん

ですね。

サスケ うん、中身はね、忘れつ

ぶになりましたね……それはあるなあ。

——じゃあ、膝さえ完治すれば、選手

としての気力は大丈夫なわけですね。

サスケ そうそう、やれる自信もやる

気もあるしね。ただ、その……経

営的にいま、ニツチもサツチもい

かないんでねえ。

結局最後は、みちプロは無くなるんだらうなっていう本音の予感があった

——社長は自分では、もともと経営者としての素質はあると思ってたんですか？

サスケ 俺は向いてないと思ったねえ。ただ、1年目2年目とやっていくうちに、自信はついたよね。

——その自信に足もとをすくわれたと。

サスケ ……それはあるかもしれないねえ。それは、その通りかもしれないねえ。

——一時期もの凄い勢いあったもんなあ。みちプロもグレート・サスケも。サスケ いやあ、そうかなあ……。それはね、『紙プロ』さんが盛り上げてくれたから。『紙プロ』さんと『週プロ』ね。

——『ゴング』は？

サスケ んー、『ゴング』はイマイチだな。ターザン（山本）に持ち上げてもらったのは良かったね。その頃の勢いは良かったね。

——持ち上げられて、とことん調子に乗ってた頃に比べると、いまの元気のなさは信じられないですよ！

サスケ あのね、ひとつ言えるのはね、みちプロを旗揚げした直後ね、『50力年計画』だとか言いましたよね？

——ああ、ブチ上げてましたね。

サスケ ねえ。でも『50力年計画』だなんだって言いながら、結局最後には、みちプロは無くなるんだらうなっていう本音の予感があったんですよ。

11.21全女のリングで勝ち名乗りを受けた（勝ったよね？）正規軍。“みちプロのサスケ”として後楽園のリングに上がるのは12.18が最後になるのだろうか！



——え!? どっかで諦観してたということ。

サスケ 本音の予感があった。ただ、それが50年で来るどころか、5年で来るとは思ってたなかったねえ……。ただね、よくこういうこと言いますよ。同族経営の中小企業は30年で終わるって。全女さんがまさにそうなんです。30年でちょうど終わってるんですよ。

——まだ終わってないじゃないですか！

サスケ 一応、倒産というね、ひと区切りがついたじゃないですか。

——まあ、つけられたというか。サスケ だから、こちらは30年のところを、5年で走り去ってしまったというかね。

——このままでは50年もつみちプロが5年で終わってしまう! ってところですかね。

サスケ ねえ。猪木さんより凄い話ですよ。でもね、俺、なんでも次の段階にステップするためには、1回いまでもあるものを壊して進まないダメだと思っただけ。例えば、一般の人々でも結婚して子供がいるとする。

——ただ何か家庭不和があって離婚したとして、家庭がバラバラになってしまったと。でもね、そういうのも有りかなと思っただけ。俺に言わせればね。それで新しい家庭を作るとかね。そういうことってあっていいと思うんですよ。それは会社に対しても言えることだね。

——人生は永遠の積木崩しですね。サスケ あるいは、まるっきり新しい

ものを作るとかね。僕は最近、そういうことを考えてますね。

——新しいものを作るといふ以前に、選手へのギャラの遅配の件はどうなんですか。

サスケ (うつむいて) ……5年目に初めて選手に対してのギャラの遅配が発生したわけだ。(勢いよく顔を上げて) でも遅配っていつても2週間遅れただけなんですよ! それぐらい、いままではキツチリ払ってたってことですよ。まあ、遅れることは、確かに一般社会にとつては大きいことかもしれないけど、ただ、みちプロも中小企業ですからね! **中小企業においてはあつてもおかしくないことなんですよ!** 俺の理論で言え

——グレート理論で言えね。

サスケ ね? ところが、一部の選手が「フー!」言い出しちゃって、それが『フアイト』に漏れちゃったと。これが真相ですよ。そうすると、あとが大変ですよ! マスコミさんが連鎖反応を起こして、「実際どうなんですか?」ということ、まとめて見解を示さなきゃならない。それで記者会見を開いたと。で、「苦しいことは、苦しいですよ」って言いましたよね。そうしたら! 今度はうちの**メインバンクが、一連の報道記事を見て銀行口座を押さえにかかったわけ。凍結ですよ!**

——八方塞がりですね。

サスケ ただね、口座を凍結するなんてことはあり得ないことなんです。だって、元は俺の金なんだから! ね

え? 返済期日までにいままでちゃんと返してる実績はあるんですよ。そのへんが、俺の言う**銀行の貸し渋り**なんでしょう。で、まず関連業者とか、イの一番に返さなくちゃいけないところに返すから、選手に遅れるんであつてね。……だからあとは**12月の出稼**



ぎシリーズで、東北の10倍の利益をとにかく上げていけば、ギリギリ年を越せるんじゃないかなという気はしますね。ただ、とにかく「ちよつと組織がデカくなっちゃったな」っていうのはあるんですよ。

——は? みちプロでデカイ!?

お互い経営危機同士の絆からか11.21全女の後楽園ホールに友情参戦をはたしたみちプロ勢。全女の道場を借りてトレーニングさせてもらった恩返しだ。



サスケ 50カ年の中のまだ5年目なのにね……**まず所属選手の数が多すぎるわ。**

——へ? いまの数が多い!? じゃあクビにしちゃえばいいじゃないですか。

サスケ それはそうなんです。だから、みんな今年いっぱい契約切れますから、そこで見直しを図りますよ。**一部選手解雇**とかね、実際あるでしょうね。組織がデカくなって、売り上げもデカくなつてればいいんですよ。理想的ですよ。ところが売り上げが伸びてない。ということは無駄な人間を入れてしまったということだね。

——でも、その**無駄な人間**を入れたのは、社長なわけですよ。

サスケ まあね。でもさ、社長としては、無駄な人間とは思ってないわけだ。「コイツが何十人、何百人のお客さんを引き入れるんじゃないか」って期待

をもつて入れるわけだよ。ところが、**貢献どころかマイナス**になつてると。これは……その、予想外ですよ。

——でも、実際問題、社長批判も最近あがつてきてるわけでしょう。

サスケ でもね、俺は面と向かつて聞いたことはないしね! 俺に言わせれば、どんな小さな組織でも上司の悪口は出てくるもんですよ。だから、俺は**まあ屁とも思わねえですね!!**

で、やっぱり、みちプロの資本はサスケ・ファミリーが出してるわけよ。**だから、俺は何も言われる筋合いはねえですよ、誰にもね。** だから、文句を言う仲間がいたら、「悔しかったら、**資本金出してしろ!**」ということですよ。究極の論理を言えば、「**みちプロは俺の好きなように運営させてもらうよ!**」ということですよ。

——さすがグレート! と叫びたいところだけどこういう状況じゃそうも言つてられないんじゃない? レスラー・サスケ批判も内部から出てきてるでしょう。金出してるから好きなようにやるというだけじゃ、レスラーとしてあまりにも寂しいし。

サスケ いや、ところがさ、TAKAみちのくがこの前の『紙プロ』のインタビューで「**サスケは終わった**」とかなんだか言ってるけどさ、俺に言わせりゃさ、「**オメーがまだ始まつてねーじゃねえか!**」って言いいたいよ!! じゃあ、お前の名前前で何人の客が呼べるんだってね。**俺に言わせればね。** だから、今年俺が、一時期ニューヨーク行きますって言って、ち

よつと離れてしまったと。

——みちプロが大変な時に取えて。

サスケ その時にお客さんがガターンと減ってしまったと。これが全ての答えでしょ。ただ、俺も本当にここまで落ち込むとは思わなかったんですよ。

だから、俺は今年前半までは海援隊も強くなってるし、敵ながらあつぱれだ。と。「海援隊？ いいんじゃない、みちプロの中でデカイ顔して」と思ってた。ところどころが、俺がいなくなつた途端、ガッタガタですよ！ だから、「なんだ、みちプロサスケだったんじゃないか」と。だから俺の好き勝手にさせてもらつて、文句も言わせないしね。あとは、やはり多少ギヤラが遅れてもね、外に漏らしてほしくなかったというかね。誰かが漏らしたから、『ファイト』に出ちやつたんだから。

でも、あるレスラーによると、8月9月からズツとギヤラが滞つてると。

サスケ うんうん、確かにそれはありますよ。ただ、それも払える範囲でちよつとずつ払ってるしね。最後は契約通りちゃんと払うって言ってるしね。それでね、デルフィンが10・10の両国以降復帰して東北にも帰ってきたと。そして東北のお客さんがまた増えたんですよ。これは素晴らしいことだよ！ やっぱね、腐ってもデルフィン！ デルフィンはスターですよ。

——腐ってもイルカと。

サスケ そうそう。腐ってもイルカと。やはりデルフィンはスターであり、

海援隊はスターになりきれなかった男たちであると。まだ発展途上かもしれないけど。でも、いま客を呼べるのはサスケとデルフィンですよ。

——でも、サスケ、デルフィン、それに海援隊と揃っても、両国は去年より1000人も客足が落ちたじゃないですか。



「日にちが1日違いでもそれはあんまり関係ないんじゃないですか」って言うたじゃない!!

サスケ んー、言ったはいけどねえ……そこで消費者の買い控えがでてるんですよ!! ひと言で言えば、プロレスバブルが弾けたというわけですよ。プロレスファンの真理として、

いい試合は全部押さえたっていうのがあるでしょう。去年以前、あるいはバブルの絶頂期だったらね、ふたつとも見てたと思いますよ。ところが、今年ぐらいの不景気になると、さすがにファンも選んでしまったと。

——だったら、なおさら、みちプロ全体の敗北として考えないといけじゃないですか!

サスケ (うつむいて) ……高田さんはヒクソンに負けたけど、俺は高田さんに負けたんだと、そういう論理だね。

——切ない三段論法ですね。

サスケ 三段論法だねー。切ないねえ。これは、しょうがないねえ。

——しょうがないでいいんですか!?

サスケ いやいやいや。だから……どうしましょう? 先が見えないんだなあ。

——そんなグレートは見たくないですね。

サスケ でもレスラーとしての悩みは、いまあんまりないですよ! デルフィンが日に日に良くなって頑張ってくれてね。デルフィンと組んだら選手的にはイケルかなっていう気はあるんですよ。例え怪我してても

サスケ (うつむいて) ……落ちたねえ。

——そのへんは、社長の冷静の分析によると。

サスケ これはねえ、『PRIDE

1』に食われましたね!

——前回、ウチのインタビューで

俺はもう、覚悟はできてるよ!!
最悪の場合、覚悟はできてる!!

ね。選手としては、いま、やる気マ

何が悪いんじゃない」という言葉を持つ

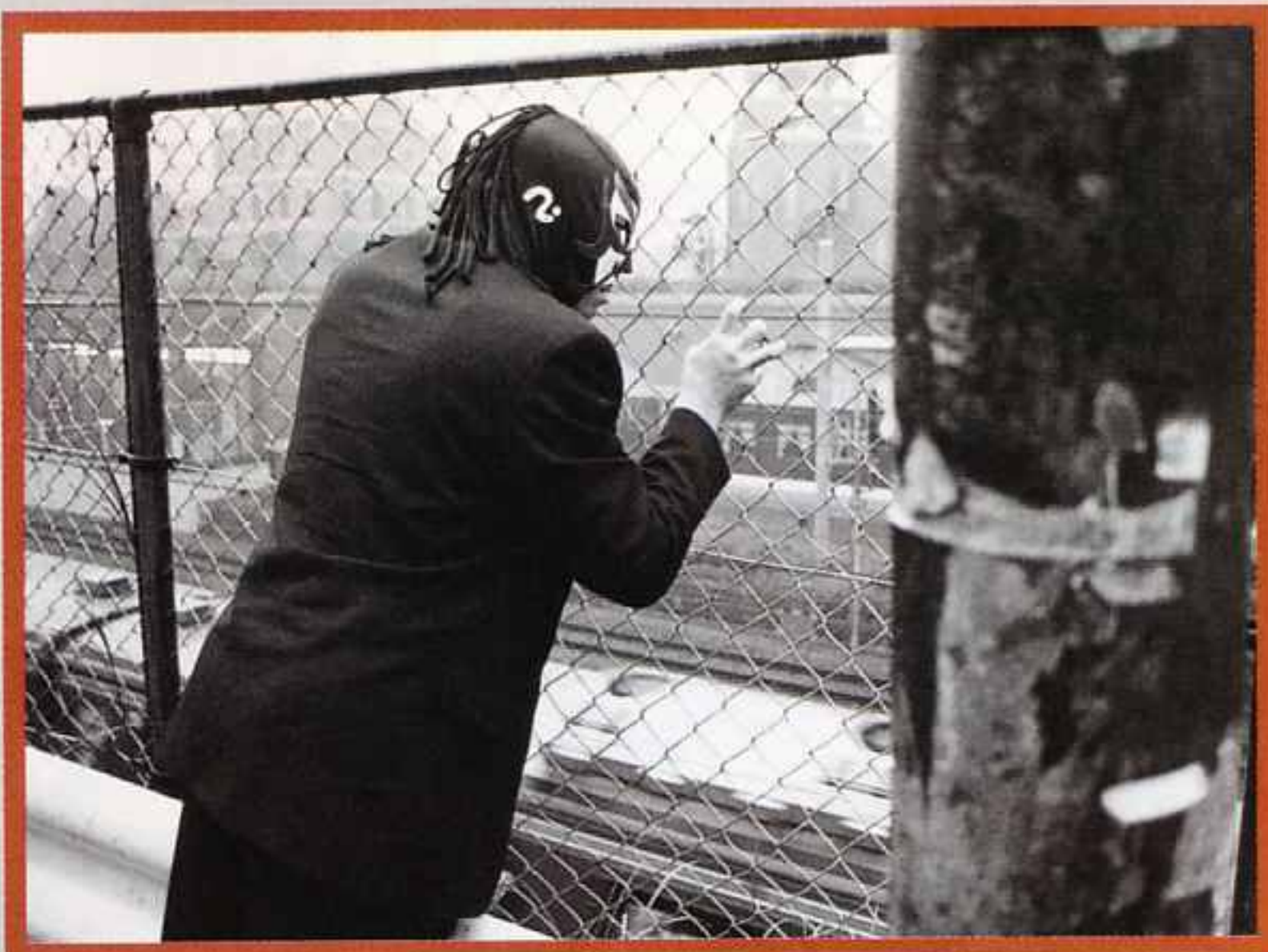
をクロージアアップしなくちゃならない

見てるお客さんは極端な話、新日本・

ね。選手としては、いま、やる気マンマンですよ！

——さっき社長が、プロレスバブルと言ったけども、ズバリ言って、みちのくもそのバブルの一端だったと思っ

ます？
サスケ それはね、言わしてもらっど、ちよつと違う！ プロレスバブルが弾けた後にみちプロができたんだよ。決してウチらはプロレスバブルに



乗ったんじゃないと。逆に言うと、バブルが弾けた後に、スキ間をついたスキ間産業であり、ベンチャー企業である。で、2年目に大ブレイクした時に「一人バブル」は体験しましたよ。そこから、俺の経営の仕方がミスったなっていうのはありますよね。

——UWFの終焉する時期に「邪道で

何が悪いんじゃない」という言葉を持って大仁田厚がスキ間をついた。その後を追従したのが、みちプロであるという事です。

サスケ そうだね、それは言ってるね。でも、大仁田厚もみちのくプロレスも、フェードアウトしかかってますよ。

サスケ ZENも受けなかったしね。……やっぱ、これはヤバイよね。ZENも海援隊も受けなかった。これは寂しいね。

——『ファイト』誌上で、最近磁場が狂いっぱなしのターザン山本が珍しく的を得たことを言ってるね。「今度会う時まではアングル病を直せ」とサスケ社長にメッセージしてたやつは読みました？

サスケ うーん……それは本当に本音の部分なんです。ウチらみたいなローカルで小さな団体が、アングルのようなサイド・ストーリーを持つてしまったのはマズイなっていうのはあるよね。

——本来ならみちプロっていうのは試合を中心にした楽しい空間で魅せる団体だったんですよ。根っこにはルチャがあつて、ルチャの世界は伏線も何も知らなくても、それこそ初めて見た人でも楽しめるもんでしょう。それがいつの頃からか、サイド・ストーリーばかりがクローズ・アップされてますよ。

サスケ 大前提として先に言つとかなきゃなんないのは、別にサイド・ストーリーを俺らは作ってるわけじゃないからね。ただ、そういうもの

をクローズアップしなくちゃならない状況になってきたと。なぜかというといつまでも一話完結の興行だと、東北で見てるお客さんが辛いんですよ。例えばね、月に一度、あるいは何シリーズかに一度、東京から逆密航してくるファンがいっぱいますよ。



ういうファンの方は一話完結で大喜びなんです。ただそれは、なんで面白いかというと、新日さん、全日さんと並べて見るから面白いわけですよ。ああ、こういうのもあるんだというね。——たまには違う食い物もいいなと。

サスケ そうそう。ところが、東北で

見てるお客さんは極端な話、新日本・全日本は見えないんですよ。プロレスはみちプロなんです！ そのお客さんたちは、いつも同じような対戦カードで、いつも同じ雰囲気だったから、それは飽きが来ますよ。だから、それに危機感を感じた海援隊の連中が決起したわけだね。そういう意味では、海援隊は先を読んでるなっていう感じはしますよ。だからね、いま現状のまちプロの方向性が決して間違つてるとは思わないんですよ。ただ、いまはそれを踏まえた上で生まれ変わる時期かな、というのはありますよ。

——ズバリ言って、生まれ変わるんですか？

サスケ まあ12月次第だね。出稼ぎの結果次第だよ。そこでお客さんが判断を下すと思いますよ。みちプロがファンにとって本当に必要かどうかっていうことです。特に後楽園、仙台、札幌の3連チャンで、答えが全部出るんじゃないですか。このまんまフェードアウトするべきかどうか。

——このまんまになる可能性も非常にあります。

サスケ ……俺はもう、(潰れてもいい)覚悟はできてるよ！ 俺ともう一人誰かいればね。瀬野でもいいよ、例えばね。最悪の場合、そつからやり直す覚悟はできてるよ！

はたして、みちプロはどうなるのか!?
サスケの胸中激白はP82へ続く。

RADICAL 独占

超 衝撃

スクープ!!

スーパースター大暴走!!
電撃プロレス界(格闘家)の激闘

がめろめろ!!
(本誌・電撃)



紙プロのことだから、どうせ『どっきり』やる? (デルフィン談)

アムロの結婚&出産よりビツクリしましたよ(大ちゃん談)



我こそはキューピッドと言ってはばからない2人。どっちもキューピッドって柄でも顔でもないけど。ところでこの4ショットの意味は……?



ええ、おめでたいニュースですからいいんですけど、こんなこと、しかもこんなポーズとってる場合じゃ……。



ガンダムを見たり、プラモを作ったり、ゲームしたりと、アレクの横には常にモハメドがいたのに……。



ただ単に、両社長交えて4人で記念写真を撮るって企画だったのに、方向性かなりズレてやしませんか?



ゼヒ読者の皆さんも、本誌とともに二人にエールを送ってやってほしい! それでは皆さん、いきますかーッ! イーチッ、ニーツ、サン、ヨイショッ、ほえッ! (「んむはあ」でもよし)

まったく世の中何が起るかわからない! まさに電撃射撃衝撃的な結婚劇である! 二人は去年の6月、取材を通じて知り合った。しかし、片やレスラーとしては赤マル急上昇中とはいえ、普段は「んむはあ」しか言わないアレク。片や取材中でも「ほえッ」としか言わない本誌の破壊嬢・のものでもある。そんな二人の間に恋愛感情が芽生える隙間など、1ミリたりともなかったはずである。ところが! 好奇心にかけては人一倍旺盛な編集部のみならず、「コーション」を取ることにかけては日本一のボンジョビ島田レフェリーの目までもスリ抜けて、二人は誰も知らないところで愛を育んでいたのである。二人が親密になったのはいつからなのか!? 道場での取材時にイタズラ好きの石川社長が無理矢理くっつけたのか? 今年のヤンジェネで優勝したアレクに、のものが「紙プロ賞」を渡した際に、アレクがリング上で愛の告白をしたのか? それとも、みちプロ東北ドームツアーの際にサスケ社長が愛のキューピットでもしたというのか? まさに謎は深まるばかりである。当初、二人からは「誌面での発表は控えてほしい」という奥ゆかしい申し出があった。しかし、それを聞いた山口編集長は「スキャンダルを経営に結びつけられない経営者は失格だ!」というわけのわからない言葉を発して却下! 一着として、電撃発表ということになったわけである。もちろん、これは大仕掛けのギャグでもなんでもない。ゼヒ読者の皆さんも、本誌とともに二人にエールを送ってやってほしい! それでは皆さん、いきま

おい、ホントかよ!?(ヤスカクさん談)

いや、これホント!! (芳賀玄太談)

木

村

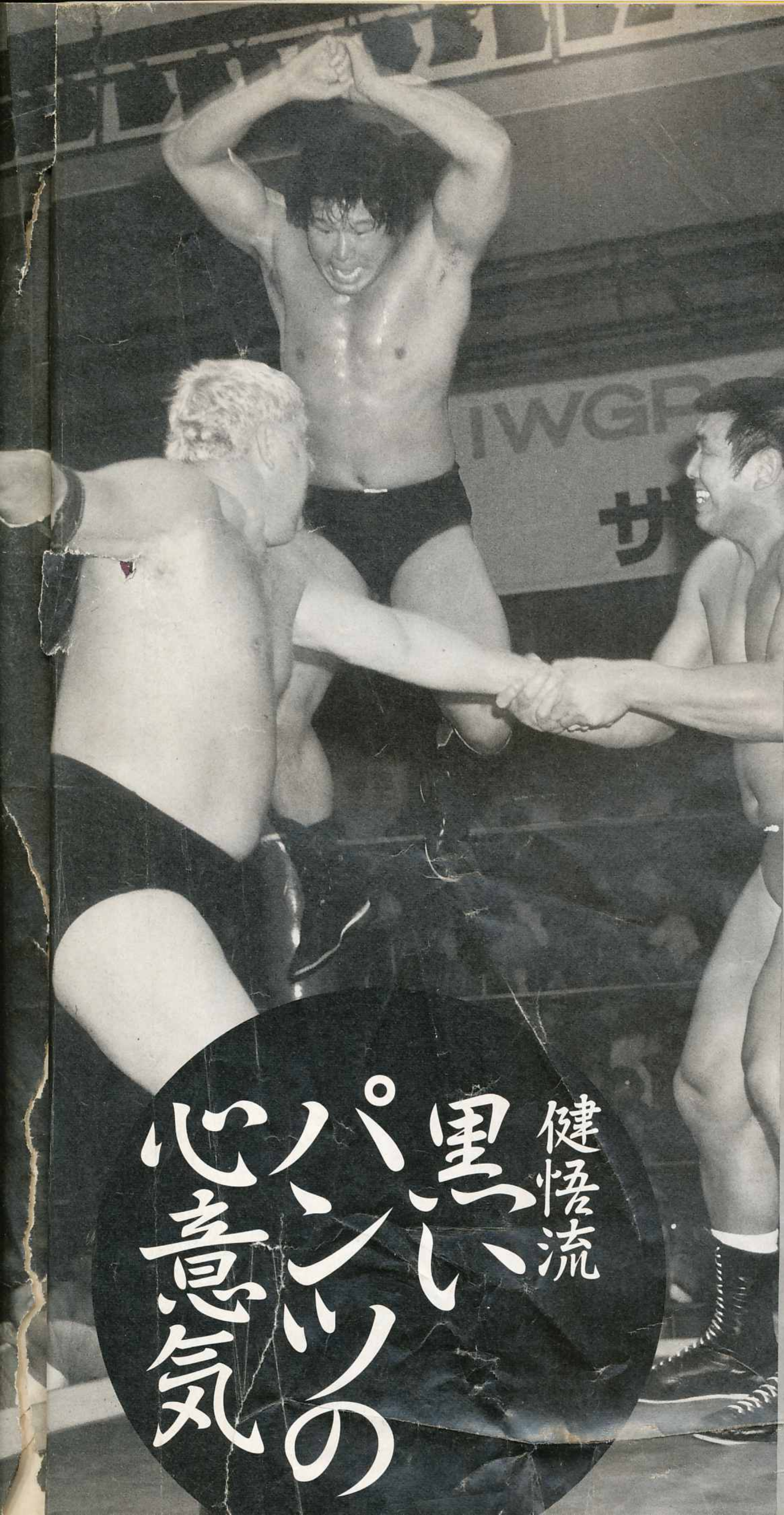
健

悟

ストロングスタイルスピリッツ
新日本魂から長州力引退まで

聞き手／吉田豪
interview by Go Yoshida
撮影／斉藤ユーリ
photographs by Yuri Saito

健悟流
黒い
パンツの
心意気



健悟さんって乙女座なんですか？

健悟 そうそう、乙女座のB型。

ボクも乙女座なんですけど、占いだと必ず「夢見がちなロマンティスト」ってことになっちゃうんですね。

健悟 ボク、凄くロマンティストだから(キッパリ)。自分でもそう思うもん。

——こう見えても夢見がちだと(笑)。

健悟 やっぱり全ての事に関して人間は夢を見るから。例えば星空とかね。

——は？ 星空ですか？

健悟 すっごく星が綺麗などころでのんびりとしていたいタイプなんだよ。綺麗なメロディのような感じでさ。

——綺麗なメロディですか、健悟さんの得意な歌の世界で例えると(笑)。

健悟 いやあ、ボクはバラード系とかすごく静かな音楽が好きなんだよね。歌うとなると、また違うんだけど。

——やっぱ綺麗な星は、パラオの猪木島とかで見るといいんでしょうね。

健悟 ああ、そうですね。あと、長野県の蓼科とかだと星が手に届きそうな感じで。田舎で育ったもんだから、子供の頃にそういうの見てますからね。

——出身は愛媛県の新居浜でしたよね。あの辺りは、けっこう荒っぽい土地柄として有名だと思うんですけど。

健悟 まあ、大変ガラの悪いところで育ちましてね。そういうところで生まれた割には、すごいロマンティスト！

——やっぱり乙女座ですからね。でも子供の頃は、健悟さんも相当のワルだったって噂があるんですけど(笑)。

健悟 まあ、ごく普通の子供たちと大差はないんだろうけども、ちょっと人より多めに警察の厄介になったかな。

——ああ、ちょっとだけ(笑)。

健悟 ちょっと悪いことばかりして、今で言ういじめっ子でね。まあ、すごい悪い感じであつたことは確かですね。

——すごいワルですか(笑)。施設に入るか入らないかのところまで行つたつて、古いプロレス雑誌で読みましたよ。

健悟 ボクはそういうことを何も恥じるわけじゃないけど、子供の頃に良い経験させてもらったということですね。

——そういう施設にも入りましたし、中学校なんか満足に入つてませんし。だから、やっぱり悪かつたんだよね。

——やっぱり(笑)。一体、どんな悪事をしでかしてたんですか？

健悟 そうだねえ。もう喧嘩もそうだし、あとはかっぱらいとかしてましたね。無銭飲食なんてのもやりましたし、無賃乗車でよく捕まったりとかね。

——よく(笑)。いつ頃から健悟さんはそういう悪の道に進まれ

たんですか。

健悟 悪の道じゃないけど、子供の頃から自立心が強かつたんだろうね。だから小学校5、6年の頃から家出をしてね。勉強が大っ嫌いで、身体だけが大きかつたからね。すごいマセてたんでしようね。大人の世界から見たら、生意気なガキに見えたんだろうけど。

——それで家出して東京を目指して？

健悟 いや、大阪目指してた。親父がアマチュアボクシングやつてた関係で、小学校5、6年の頃からボクシングを教えてもらつてたね。ボクシングが好きだから大阪に行つて、プロレスと同じで道場に入っちゃえばなんとかなるか

——っていう。でも、とんでもないですよ。お金を払って練習を受けるつてことを知らないでね。もう、井の中の蛙で自分の世界しか知らないでしょ。だから大変な恥を掻いていたもんですよ。

——ボクサーっていうと、お父さんも荒っぽい人だったんですか？

健悟 凄かつたよ。喧嘩好きで腕っ節が強かつたから、よく殴られた(笑)。

——ボクサーに(笑)。

健悟 だけど体がだんだん大きくなつて

くると素手じゃ追いつかないから、何でもそこにあるもので殴るの(笑)。新でもバットでも。ひどいときは空気入

れで殴られたことがある。あれで腰を殴られた時は腰が抜けたね(笑)。中学

——家出ばかりしてる頃ですね。

健悟 ああ、もう悪かつた頃だね。まあ、でも親父も怖かつたけど、やっぱり反発心があつたんだろうね。プロの世界に行きたいつていう考えは小学校5、6年頃から持つてたから。何にも

——思い入れがなかつたもんね。勉強なんかしたくないつていう。

健悟 したくない(キッパリ)！

健悟 そうだねえ、音楽は得意だったんだよ。なぐんかわかんないんだけど、子供の頃の通知票見たら音楽だけは成績がいいんだよ。5階段(段階?)のうちの4ぐらいは取つたからね。あと体操が4ぐらいでしょ。それ以外はイチニ、イチニでしたからね。

——それでボクサーを目指した、と。

健悟 キックボクサーを本当はやりたかつたんだよね。プロレスに通じる何かがあつたから。よっぽど頭が良ければ、末は博士か大臣かなんて自分でもなりたいなとは思つてただけで、とんでもない話で(笑)。

——それで、とりあえずボクシングのジムには行つてみたんですね。

健悟 そうですね。

ちよつと人より多く、警察の厄介になつたね。

ちよつと人より多く、警察の厄介になつたね。

日プロに飛び込んだら 先に潰れちゃいました

健悟 ええ、行きましたよ。だけど、職場をまず見つけてこいって言われたね。そんなもの、小学校5、6年じゃ仕事もないもんねえ。もちろん「卒業しましたから」なんて言っちゃったけど。とんでもない話ですよ。

—それから、中学にはろくに行かずに暴れ通すわけですか。

健悟 中学1年の途中から3年の途中まで、2年間ぐらい施設にいましたし。

—そのきつかけっていうのは喧嘩？
健悟 もう非行ですよ。要するに、普通の世界に置いていたんじゃないだろうの。このつてことなんだろうね。

—そんなに手が付けられないぐらいのワルだったんですか（笑）。

健悟 うん（キッパリ）。かといって、悪いことやるんじゃないんだよね。

—もっとロマンティックな（笑）。

健悟 酒を飲むわけじゃないし、女をするわけじゃないし、中学生ですからね。ボクは喧嘩でも人を半殺しにするとかじゃなくてね、自分に向かってくる者とか、ちよつと何かあったらすぐやるわけですよ。そりゃもう悪かったですよ。今でも警察に、自分の指紋と写真があるんじゃないですか（笑）。

—まだ残ってますか（笑）。

健悟 だからそれ以来、もう悪いことができなくなりましたね。

—それでボクシングから日本プロレスに入っちゃうわけですか？

健悟 いや、最初はボクシングをやっていたかったんだけど、相撲の世界にスカウトされたんだよね。

—ああ、忘れがちですけど健悟さんは相撲出身なんですよ（笑）。スカウ

トされる
ほど有名だったんですか？

健悟 そうじゃないんです

よ。大阪に出てきてボクシングを目指すには、まず働き口を見つけなきゃいけない。それで腹一杯食えるところっていったら、もう出前持ちぐらいしかないでしょ。

—ボクサーはハングリーですからね。

健悟 それで仕事始めてたまたま出前に行った所が内外タイムズでね。相撲担当の人に「相撲取りにならないか？いいから、まず東京行こう。新幹線に

乗せてやるから」なんて言われ

て。新幹線のスピード

しよ。だから一度乗りたくなって、で、騙されたんですよ。

—騙されたんですか（笑）。

健悟 それで宮城野部屋という所に入りましてね。バンバン殴られるっていうのはある程度わかってましたけど、朝がキツイのつてのは嫌ですねえ。

—毎朝4時起きぐらいですよ。

健悟 夏場なんか4時頃でしょ。冬場でも5時近くで。それに道路歩くんだって浴衣一枚かけて裸足ですからね。

もう大変な厳しい世界ですよ。冬場で裸足なんてのは、相撲取りかニワトリぐらいのもんでね（笑）。まあ、よくそこに一年半ぐらいいたもんだけど、身体がデカくならなかったんですね。

—ああ、食べても太れなかったと。

健悟 あとは締め込みの結びのところで投げられると、腰椎分離症で腰が外れちゃってズレるんだよね。それで寝ちゃったら立ち上がれなくなるようなことになっちゃって、「俺には相撲ってのは向かないかなー」なんて思ってた。それで断念してプロレス入り、と。

健悟 そうだねえ。やっぱり自分はテレビを見て、プロレスの方がいいかな、と（笑）。その頃ボクシングはこっ

ちに飛んでたね。この大きな体でボクシングは合わないなと思いましたよ。

—プロレスラーでは当時、どなたのファンだったんですか？

健悟 あの頃は大本金太郎さんと猪木さんとかいたでしょう。やっぱり、すごく猪木さんに憧れてましたよね。

—猪木さんに憧れていたのに、日本プロレスに入門しちゃうわけですか。

健悟 その頃は猪木さんが日本プロレスから出た後だから、猪木さんが新しく団体を作るだろうなという頭があったんですよ。でも大きい所に入るのと、このまま待って出来たてのまだ不安定な所に入るのとどちらがいいかって考えちゃったんですよ。それで、やっぱり老舗のところが大きいし絶対いいだろうということで日本プロレスに飛び込んだんですよ。そしたら、そっちが先に潰れちゃいましたね（笑）。

—選択を間違えましたね（笑）。

健悟 まあでも、そこで坂口征二って人と会ってね。自分の人生を良くても悪くても大きく左右したのは、やっぱり坂口さんの力つてのがあるよね。

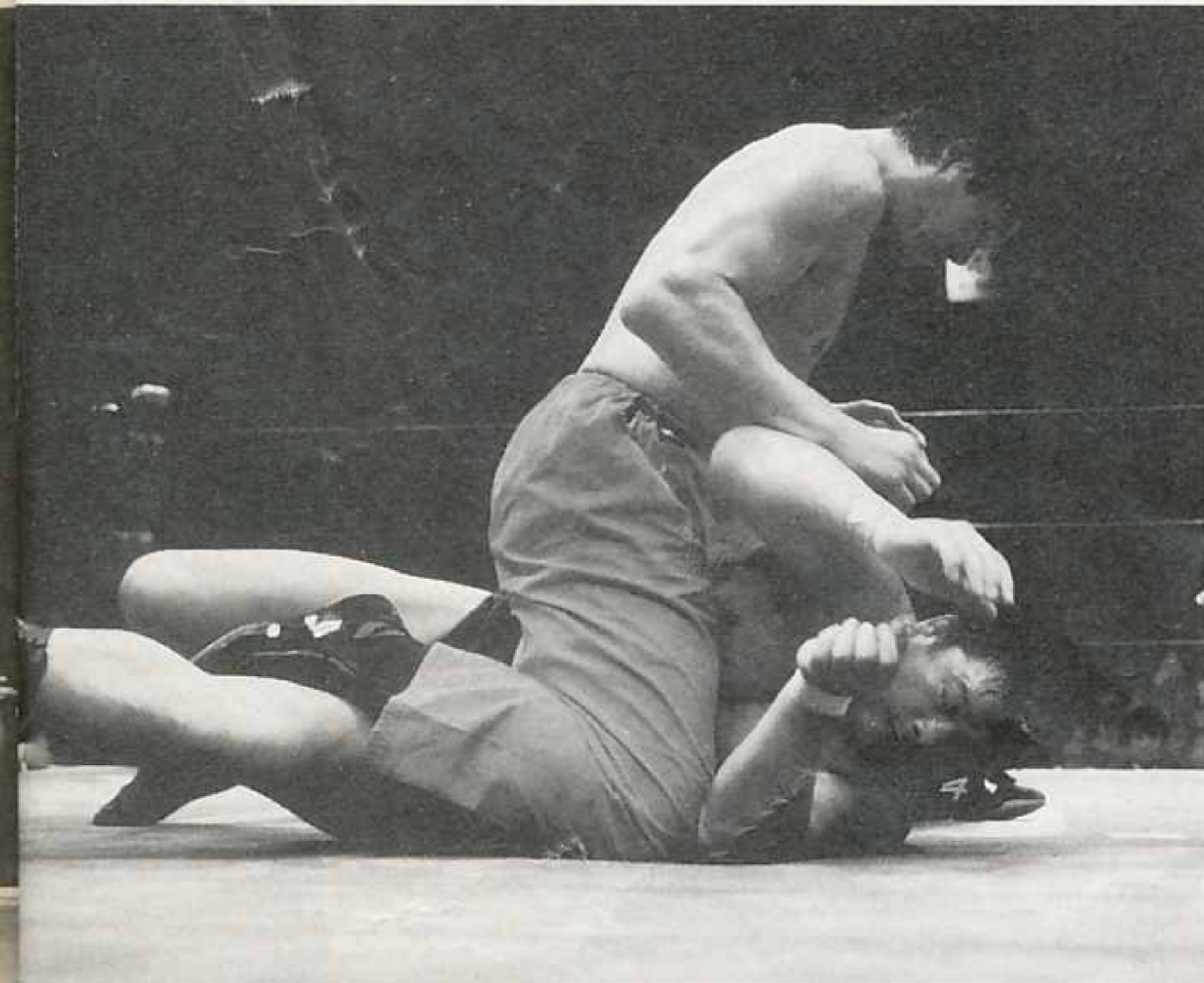
—明らかに健悟さんの師匠は猪木さんというよりも坂口さんですからね。

健悟 そうだねえ。やっぱり何があっても、あの人のことは忘れないね。

—日プロ時代から、坂口さんの付き人をされてなんですか？

健悟 そう。それでずーっときたわけでしょう、26年間。だから、やっぱり普通の人以上に思い入れがあるよね。

—で、そんな坂口さんと一緒に新日に移籍するわけですけど、健悟さん自身にも猪木さんのいる新日に行きたい



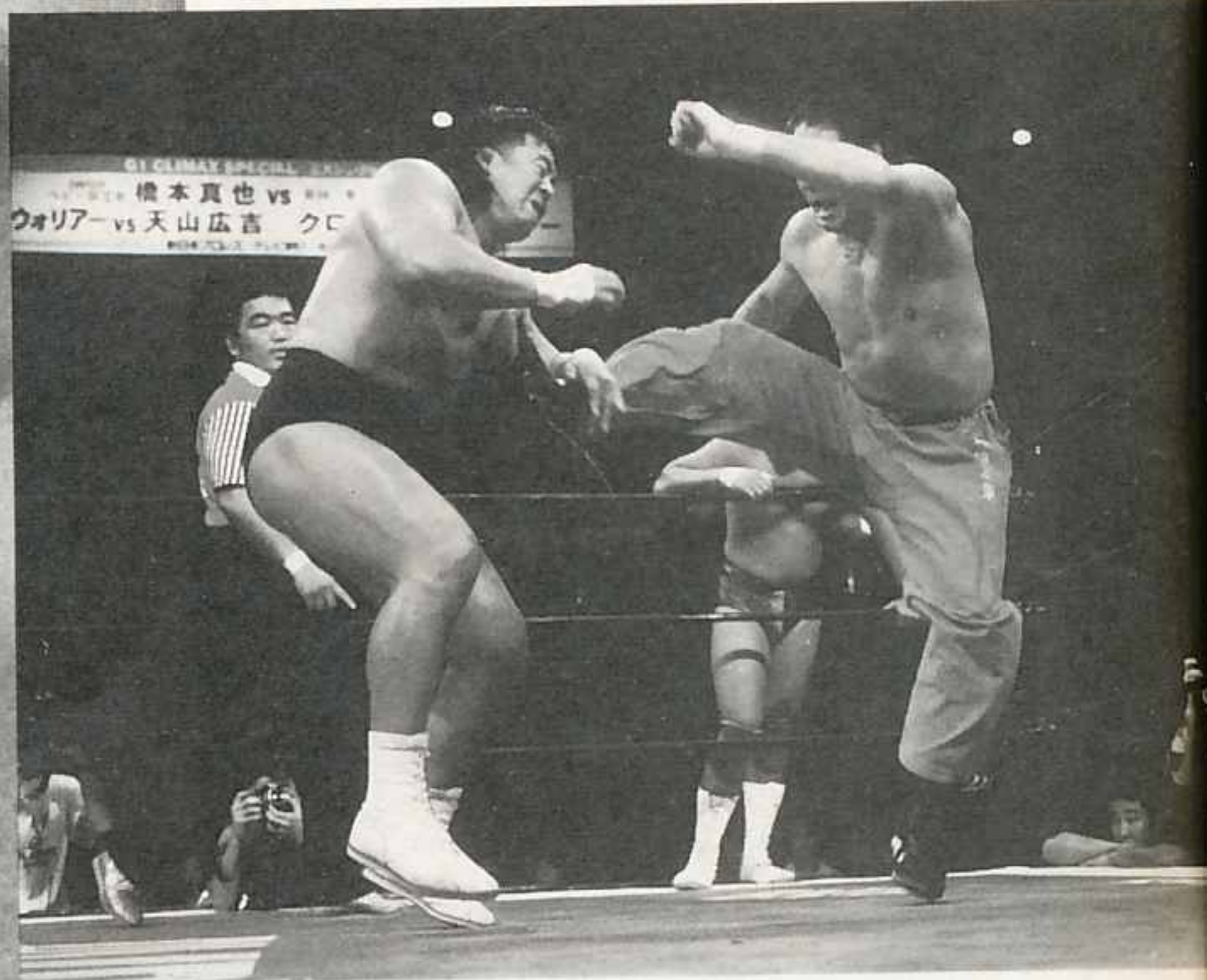
て無茶苦茶珍しい名前なんですけど。

すごいあったんでしょね。

とかいっ思いはあつたんですか？

健悟 やっぱり坂口さんに付いていき
たいってことだったよね。まだ自分は
その頃18歳ぐらいだから、右か左かど
っち選ぶんだって言われても自分の師
匠に付いて行くしかないじゃない。だ
から共同運命体（運命共同体？）って
感じだよ。向こうにしてみりゃ、た
かが一人の新弟子って頭があるけど、
こっちにしてみりゃ絶対について行
くもんだと思ってたもんね。

——その頃の健悟さんは、まだ本名の
木村聖裔のままでしたよね。これっ



て無茶苦茶珍しい名前なんですけど。

健悟 そうですねえ。聖人の聖に末裔
の裔、聖なる神の末裔ですから。この
裔の字はめったに見えないですよ。新聞
で年に1回見るか見ないかぐらいです
から。自分で見るとビックリして、ジ
ーッと穴が開くほど見えますけども。

——見えますか（笑）。

健悟 ええ、それぐらい珍しい字です
から、どっかのお坊さんか宗教の人か
なと思っちゃいますからね（笑）。そ
れほど親父にしてみれば、ちゃんとし
た子供になつて欲しいという気持ち

すごいあつたんでしょね。

——それが、なぜか（笑）。

健悟 どういうわけか期待に反しちゃ
うから、そりゃ親父は厳しくなります
よねえ（しみじみ）。わかりますよ。

——わかりますか（笑）。それから木村
たかしになつて、次は健吾、と。この
名前は一体、どこから来たんですか。

健悟 これはね、ファンの人に「木村
たかしでは、これからレスリングの世
界では出世はしないよ」とか言われて
ね。調べてみたら、やっぱり健吾の方
がいい。それで語呂もいいじゃないで

長州は雑草ではないよ サラブレッド的でしょ



かないね。

前座の試合なん

て、最初から見たいっ

てファンが多かったもん。俺

たちの対藤原戦とか対藤波戦とか対浜田戦とか、いろんなカードがあったでしょ。だから面白かったんでしょ。

——藤原さんと健悟さんとの試合なんて、いまでも伝説ですからね。

健悟 ですねえ。ほんとよくやりましたね。みんな1年中怪我してましたからね。だから変なあだ名が付いちゃって、ぶち壊し屋なんて言われてねえ。

——ああ、当時の健悟さんはクラッシュヤーって呼ばれていたんですね(笑)。

健悟 どちらかが怪我をして、もう絶えず鼻血がでるとかね、ボクは真っ白いタイツでしたからいつも血だらけだったね。やっぱりそれだけ活き良かったですよ。……懐かしいね(笑)。

——しみじみしちゃいますね(笑)。

健悟 いまはもう活きが悪くなっちゃって、目が死んじやってるからね(笑)。

——そ、そんなことないですよ(笑)。

健悟 あの頃が懐かしいね(しみじみ)。まあ、元ワルでクラッシュヤーでって言ったら、そんなの前田さんか健悟さんかっけぐらいですからね。

健悟 まあ、あれほど悪くなかったからね(笑)。アイツの方が、もっと悪かったんじゃないですか？

——やっぱり、その頃が一番ガチガチな試合やってたって感じですかね。

健悟 そうだねえ。ホントに派手な技も使えないしね、もう殴るか蹴るか、あとは基本的なことばかりでしょ。

——当時の新日の前座って、いまでも伝説になってるんですね、本当に喧嘩一歩手前だったというか(笑)。

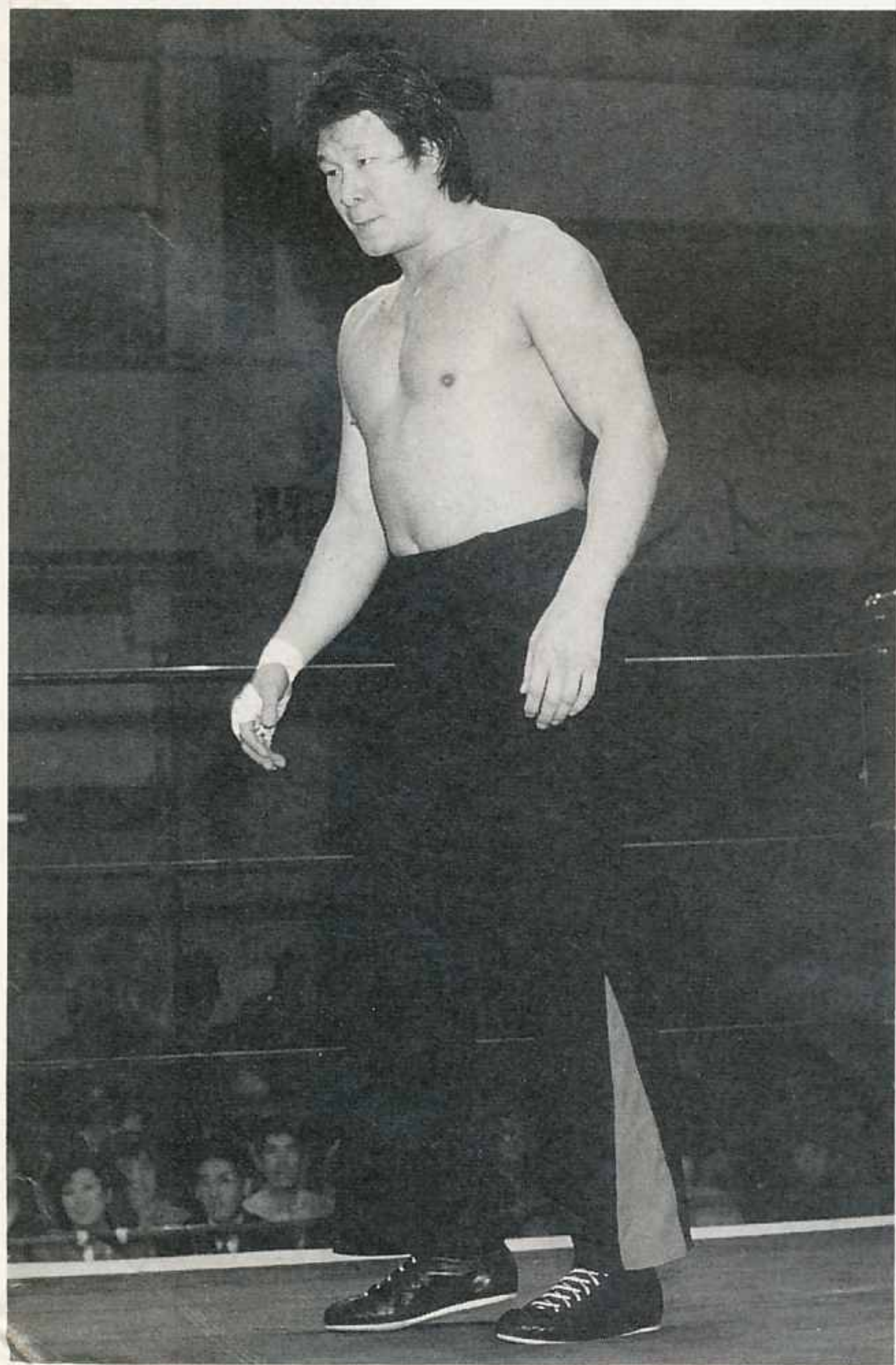
健悟 ホントにそのぐらいの感じでやらないと、気を抜いちゃうと、誰かが駄目になってどっか吹っ飛んじやうとかね。意識失ったりとかね。僕の歯は、

全部自分の歯なんです。人の歯はよくブチ抜いたりしましたけどね(笑)。

——ブチ抜きましたか(笑)。健悟さんの歯は丈夫だったんですか？

健悟 逃げ方が上手だから(笑)。多少、ボクシングが役立ってるのかもね。紙一重で見切ってるわけですね(笑)。その頃、闘って面白かった相手っていうと誰ですか。

健悟 いや、みんな楽しかったよ。その時は苦しかったけどね。今考えてみれば、浜田の試合もそうだしね、ちっこののがちよろちよろして。それから藤原とのゴツゴツした、ガチガチした試合でしょ。藤波さんとのライバル心を剥き出しにした試合でしょ。まあ、長州は全然、別でしたけどね(キッパリ)。栗栖にしても荒川にしても、みんな面白かったですね。考えてみたら、やっぱり健悟さんのライバルとい



猪木が宗教風見鶏なら、健悟兄イはタイツ風見鶏だ。白、黒、赤とフェイバリットカラーも豊富である

健悟 うん。時代もちょっと違うけど、

健悟 俺は藤波も天才だと思ってるし

して健悟さんが入れないのかっていう



昨日の敵は今日の友。ライバルの藤波とは名コンビでもあった（しみじみ）。

うと藤波さんになるんですね。

健悟 そうですねえ。やっぱり自分がここまでこれたっていうのは、目標がいたんだよね。藤波っていうのは同じ年だけど、やっぱりレスリングの先輩だし。猪木さんと坂口さんと互いにライバル意識を剥き出しにした付き人同士でしょ。だから、すごいラッキーだったんだよね。だから第一になくはないのは坂口征二だけれども、自分にとって第二っていうのは猪木さんとやっぱり藤波になっちゃうよね。

——さっき、「長州さんはちよつと違う」

って言われましたけど、それはやっぱり後輩だからってことなんですか？

健悟 うん。時代もちよつと違うけど、

あいつの場合はサブラブレッド的な部分があったでしょ。待遇も、レスリングのチャンピオンっていうのがあったからね。ちよつとそういう若い頃の苦労はないですよ。

——ああ、雑草みたいな部分が。

健悟 あいつは雑草ではないよね。まあ、苦労はしたんだろうけど、自分たちほど苦労はしてないでしょ。それだけの恵まれた環境と素質があったからここまできたんだろうね。まあ、努力もしたんだろうけども。

——それが健悟さんに言わせれば、藤波さんと長州さんとの違いというか。

木村

健悟 俺は藤波も天才だと思ってるし

ね。あんなだけの動きは、やっぱり動物的な運動神経を持ってないとやれないなって。若手の頃でもやっぱり、なかなか勝てなかったもんね。年も一緒だし体力的には変わらない、こっちの方が大きいぐらいなのにどうして勝てないかっていったら、飛ぶことも走ることも何でもできたけど、それ以上に動物的な勘があったんだよね。長州にはそれが無いんですよ。レスリングに関する強さっていうのはありましたけど、後はもう力でねじ伏せるっていう。

——直線的な試合しますもんね。

健悟 だから、あの二人は上手く噛み

合ったんでしょう。だけど、俺と藤波とじゃ噛み合わなかったんだよね。同じようなタイプだから。だから一緒に組んでいてもどちらかが死ななきゃいけない。だけど多分、藤波と長州っていうのはお互いタイプが違うから。

——お互いに光が当たるわけですね。

健悟 だから輝いたんでしょうね。でも、俺がだから陰を見たっていうんじゃないってね、それは努力不足だったのかもしれないし、それだけの力がなかったといえはそれまでだし。

——「俺たちの時代」と呼ばれる輪の中に、どう

して健悟さんが入れないのかっていうのも不思議ですもんね。

健悟 それは要するに人気があるのかなのの違いじゃないの？ どうしても藤波と長州でしょ。それで全日本でも鶴田と天龍とかさあ、そういうふうになっちゃうの。まあ、それは代表的なこと、なにもそういうのに関して俺の名前が出ないから云々じゃなくて。……まあ、わかってくれてる人はわかってるし。どっちかっていうと地味な性格だからさ（笑）。そういう意味では損をしていることは損をしているよね。

——誰かが光ることによって。

健悟 どうしても誰かの引き立て役みたいになつていくことはあったよね。それが俺のレスリングの特色というか、試合の内容もやっぱり相手の力を出し切る、受けて受けてっていう。そういう意味では猪木さんのレスリングに似てるんだけど、猪木さんの場合は人一倍輝くところが俺と違うんだよね。

——猪木さんは、最後に美味しい所を全部持っていくからさ（笑）。

健悟 こっちは受けて受けて最後はやられちゃうんじゃない、えらい違いだからね（笑）。

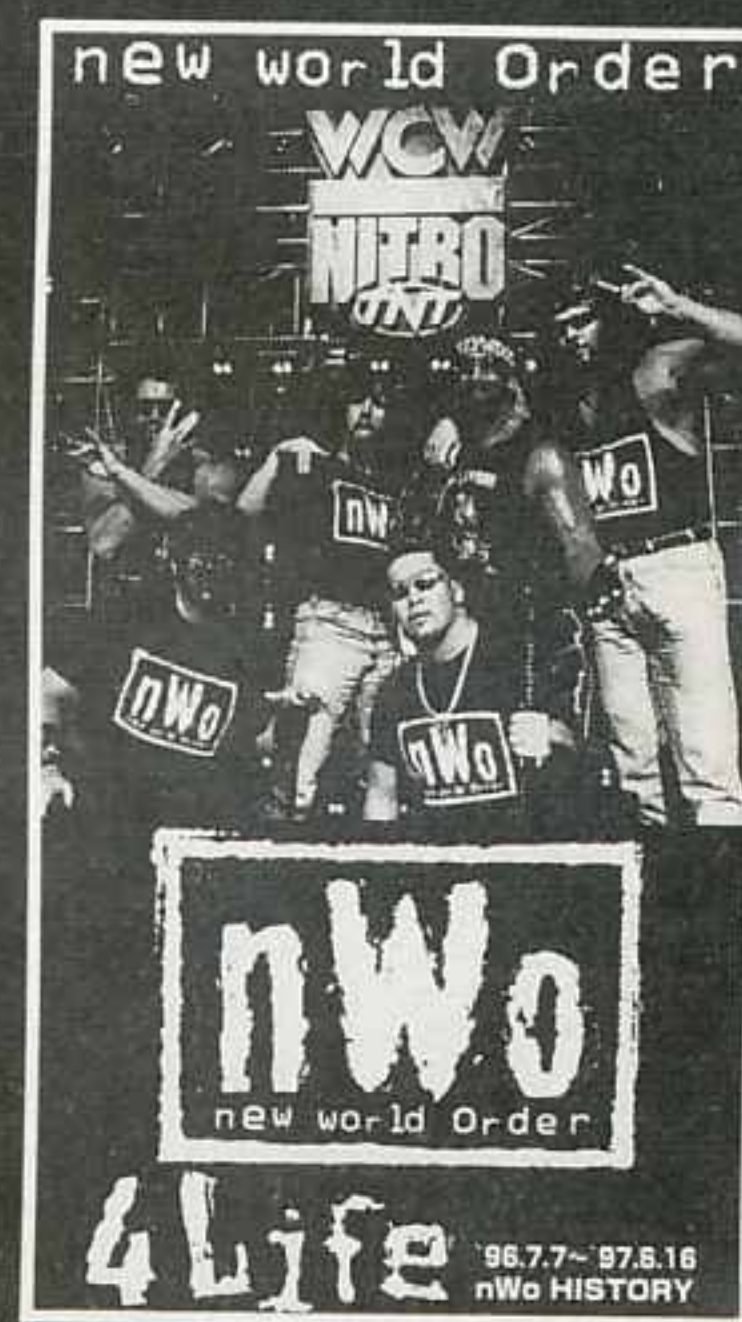
※脱力ギャグを織り混ぜながら「黒いパンツの心意気」として猪木イズムをアピールする健悟兄ィ。次号では「猪木とは何か？」「坂口とは何か？」「長州とは何か？」「クーデターとは何か？」「暴動とは何か？」「UWFとは何か？」「平成の新日とは何か？」「八百長とは何か？」などについて激白しまくる！

【11月24日、後楽園ホール近辺で収録】

このビデオを見ないと 本当の「蝶野正洋の理由」 武藤敬司の謎は解らない。



プロレス史上最大にして極悪なる「黒」の軍団「nWo」
すべてはハルク・ホーガンのヒール転向から始まった——。
ホーガン、ナッシュ、ホール、シックス、そしてロッドマン、
スーパースターたちのド肝を抜くスケール感とケタ外れの面白さ！
NWOの誕生から1年間を初ビデオ化！
これで世界のプロレス界を震撼させたNWOのすべてがわかる！



4Life

'96.7.7~'97.6.16 nWo HISTORY

世界で唯一のNWO公式認定ビデオ
(nWo・4・ライフ)

TOVS-1312 カラー/ステレオ/Hi-Fi/約115分収録
エグゼクティブ・プロデューサー：エリック・ビショフ(NWO会長)

日本語 解説：斎藤文彦
実況：斎藤 充

NOW ON SALE

〈収録内容〉

- '96.7.7 PPV「バッシュ・アット・ザ・ビーチ」
(フロリダ州・デイトナビーチ)
ホーガン、アウトサイダーズと結束。衝撃のヒール転向！
- '96.8.10 PPV「ホッグ・ワイルド」(サウスダコタ州・スタージス)
ホーガンがザ・ジャイアントを破り、WCW世界ヘビー級王者となる！
- '96.11.25 「マンデー・ナイトロ」(メアリーランド州・サリスブリー)
現役のWCW副社長：エリック・ビショフがNWO入り！

- '96.12.16 「マンデー・ナイトロ」(フロリダ州・ペンサコーラ)
蝶野正洋 NWO入りし、クリス・ジェリコと「NWO」デビュー戦。
- '96.12.29 PPV「スターケード'96」(テネシー州・ナッシュビル)
頂上対決！ホーガンvsパイパー 一騎討ち！
- '97.2.24 「マンデー・ナイトロ」(カリフォルニア州・サクラメント)
「マッショマン」ランディ・サベージ NWO入り！エリザベスと復縁！
- '97.3.16 PPV「アンセンサード」(サウス・カロライナ州・チャールストン)
NBAの「反逆児」デニス・ロッドマン初登場！

- '97.5.26 「マンデー・ナイトロ」(テネシー州・ナッシュビル)
蝶野正洋 vs グレート・ムタ、グレート・ムタ NWO入り！
- '97.6.2 「マンデー・ナイトロ」(オハイオ州・デイトン)
蝶野とムタがNWOで初合体！蝶野&ムタ vs スタイナース
- '97.6.16 「マンデー・ナイトロ」(イリノイ州・シカゴ)
「NWO」ロッドマン乱入！遂にリングに登場！

and a lot more

© 1997 NWO ALL RIGHTS RESERVED 発売・販売：東芝EMI(株)
協力：新日本プロレスリング(株) 写真協力：週刊プロレス

売り切れ店続出の為、ファンの皆様には大変ご迷惑をおかけしました。
下記のNWOサポート店で買い求めください。

〈北海道〉■リングバレス■玉光堂夢似店■キクヤ(青森)■新屋 弘前店(宮城)■新屋 仙台店■ジャスコスクラム(福島)■新屋 Q5 郡山店(秋田)■ミュージックショップササヤ(山形)■新屋 山形駅前ビル店■ミュージックライブラリー山形店(石川)■サンミュージック小松店(富山)■フクロヤ野村(新潟)■HIRASEI遊(燕三条店、荒川店、五泉店、上越店、坂井店、新津店、新発田店、新発田豊町店、弥彦店、横越店、亀田店、長岡店、水原店、中条店、安田店)■新屋(新潟丸太店、長岡駅前店)■石丸電気 新潟店■HIE'S新発田店■鳥屋書店 南万代店■上新ディスクピア新潟■アシーネ新潟店(群馬)■新屋 高崎店(栃木)■新屋(カルチュア宇都宮店、小山イズミヤ店)■茨城)■新屋(水戸店、土浦Wing店、日立ヨーカ堂店)■埼玉)■新屋(越谷店、南越谷店、久喜店、Q5志木店、春日部ロビンソン店、入間店、深谷店)■千葉)■新屋(千葉駅前ビル店、Q5柏店)■ヤンレイ松戸店■伊藤ららぽーと■中村屋ステーションモール(東京)■新日本プロレスリング闘魂Shop六本木店■レッスル(渋谷店、池袋店)■新屋(国分寺丸井店、昭島店、新宿靖国通店、カルチュア5新宿店、中野丸井店、荻窪店、飯田橋店、北千住店、上野店、大森店、東大和店、目黒店、吉祥寺ステーション店、武蔵境ヨーカドー店、池袋アルパコ店、CDショップアポロ店、立川ポルト店)■東西書店(三鷹店、小金井店)■帝都無線 紀伊国屋店■ヤマギワソフトショップA館■石丸電気(本店、ソフトワン2F店、6号店)■山野楽器(本店、池袋アルパコ店)■五番街■メイン・サウンドパーク立川店(山梨)■新屋 甲府駅前ビル店(神奈川)■新屋(三ツ境ライフ店、横浜ジョイナス店、茅ヶ崎店、川崎店、溝ノ口店)■ソフトインDio ヤマギワ横浜店■キイチ 横浜高島屋店■タハラ本店■ミュージックショップ・イズミ 梶ヶ谷店(静岡)■すみや(沼津バイパス店、高台店)■長野)■新屋(松本駅前ビル店、長野駅前ビル店)■平安堂(MUSIC若槻店、南千歳店、川中島店)■岐阜)■サンジョルディ(愛知)■新屋 一宮店■いまじん尾張旭店■ヤマギワ(メルサ、ナディアパーク)■ヤマト楽器精文館■ヤンレイ名古屋店(京都)■JEUGIA四条店■ビーバーレコード京極店(滋賀)■JEUGIA草津店(大阪)■新屋(守口店、なんば店)■上新ディスクピア(日本橋店、阪急三番街店、梅田店)■徳島)■フクタクレコード(高知)■宮地無線(広島)■新屋 広島店■デオデオ(本店、DISC City紙屋町店)■福岡)■サウンド ヒロカネ ビブレ店■LIMB福岡本店(大分)■新屋 大分アルパコ店■ミュージックETO(鹿児島)■十字屋■ミュージックスペースCROSS

■通信販売をご希望の方は闘魂SHOPまで ☎03(5411)5959

お求めは全国のレコード店、書店、プロレス・ショップ及び闘魂SHOP他にてお求め下さい！

●お問い合わせは：東芝EMI(株) 映像部 ☎03-5512-1749 ●ご注文についてのお問い合わせは：同 販売3部 ☎03-5512-1558

TOSHIBA EMI

特別価格
¥5,000
(TAX IN)

紙のプロレス RADICAL

1998 11.7

おめでとう! アレク&のものも!!
そして、悲しいかなのものも!!
キミはもうすぐバトバトの人間に
なってしまうんだね?(ウウ...)

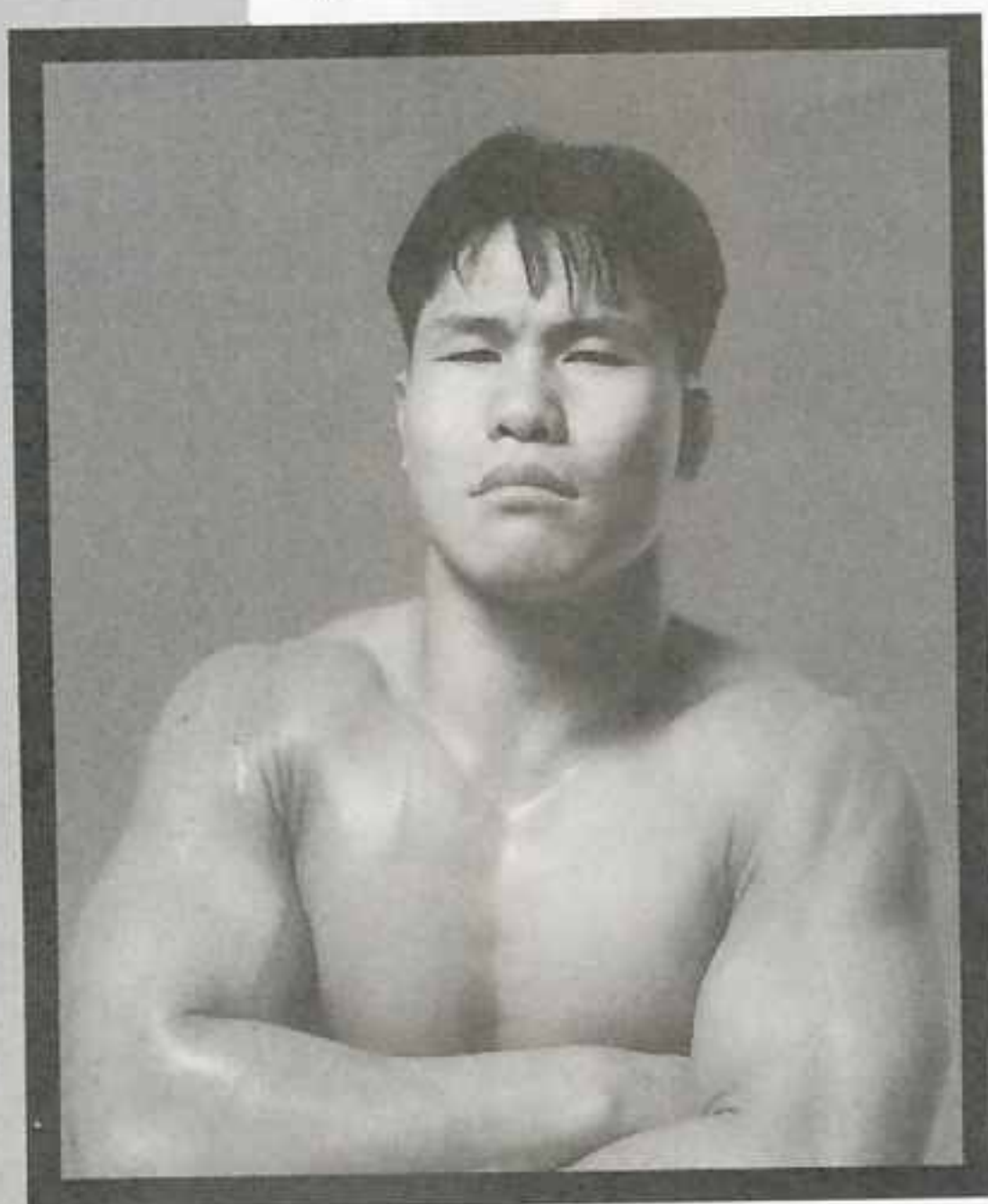
紙のプロレス・ラディカル

CONTENTS

●NO.7 MAIN-EVENT

「鎧」と「剣」——二つ、我にあり!!

a sword of dis-obedience!



反骨の剣

RINGS

今回は連載3回目っちょーこっちょ!

前田日明の人生相談

『人生は語らず』

AKIRA MAEDA JINSEIWA KATARAZU

14

PANCRASE

富宅飛駈

TAKAKU FUKU

65

KINGDOM

垣原賢人

MASAHITO KAKIHARA

72

NORTH EASTERN WRESTLING

ザ・グレート・サスケ

THE GREAT SASUKE

18&82

HEISEI ISHINGUN

木村健悟

KENGO KIMURA

26

特集:女子プロレスとは何か!?

アジャ・コング/ジャガー横田

AJA KONG

JAGUAR YOKOTA

121

一気に3人! RADICAL初登場!

冬木弘道(冬木軍プロモーション)

MEN'Sテイオー(海援隊★DX)

モハメド・ヨネ(格闘探偵団バトラーツ)

130

134

138

RADICAL INTERVIEW PART2!

全女会長・松永高司

テリー・ファンク

49

89

RINGS/U-FILE CAMP

田村潔司

KIYOSHI TAMURA

●SCANDAL&SCOOP

独占スクープ!

あのアレクサンダー大塚と
本誌の破壊嬢・のものが
電撃射撃撃結婚!!

24

RADICAL COLUMN

「鎧と剣」「熱狂と観察」——プロレスという概念'98 34

第1回『紙プロ』賞! 読者が書き倒す!
その後の「10・11」(高田×ヒクソン戦) 40

プロレスラーの鎧をまとった格闘家、UFC・Jに到来!

タンク・アボットインタビュー

78

混迷期の女子プロをRADICALリポート

新団体とは何か?

118

●RADICAL FIGHT

紙プロ的・RADICAL観戦記っちょー観戦記なんです!

「RADICAL BOUT REVIEW」

57

多角的ワイド企画

新生・全女の秘密兵器「中原奈々」とは何か?

86

●SPECIAL NOVELS

格闘プロレス小説第7回『無比人』

100

真樹日佐夫

●COLUMNS

RADICAL MYSTERY TOUR

プロレス版たまに行くならこんな店「鮎島しま田」

104

プロレスマスコミ観察雑記・外伝

93

コラム・サロン「ふぞろいのリングたち」

花くまゆうさく/加藤賢崇/Show氏

116

地球征服! 石川雄規の「闘いの美術館」

98

ベジタリアン! 日佐夫くん人生劇場「書評の星座PART2」

114

完全肉食主義! のものもの「ガールズはガールズ」

113

●ANOTHER

ピンボー団体を救え! バトラーツオークション情報

62

みちプロパンフ展覧会「パンフは最高!」

63

読者ページも新世界! ウィー・アー「ハガキングダム」

106

カタブツは永遠に伝説です! 「バカ日誌」

108

のものものクリスマスカラスプレゼント

142

※ターザン山本の間合い地獄連載2本「ザ・ドマイナー・パワー」と「ザッツ・レスラー」

は今回も新日本が載ったのはまったく関係なく休載です。うふ。うふ。

※椎名基樹&せきしろ氏は宇宙一周の旅に出ちゃったため休載です。通だね〜。

Art Director

出田さん●San Ideta

Design/two-three

村松さん●San Muramatsu

ヒサくん●Kun Hisa

マツ●Matsu

古川ふるーる●Furuuru Furukawa

表紙モデル/田村潔司

撮影/斉藤ユーリ

スタイリング/Kiyoshi Tamura

ヘア&メイク/Kiyoshi Tamura

※98年も元気でいきますかーっ!!

「RADICAL」は「根源的」「根本的」という
意味でとらえてくれると非常に嬉しい!!

ヒクソンは地球の裏側からやってきた
「もうひとつのプロレス」の偉大なる王者である。

日本。プロレス界よ、

敬意を

もつて

グレイシーを潰せ!!

「鎧と剣」「熱狂と観察」

——二つ、我にあり!

山口日昇

(やまぐち・ひかのぼる)

ヒクソンは最高級のプロレスラーでもある。

バンタムに始まり、バンタムに終わる。去る11月22日、ボクシングの辰吉丈一郎が世界バンタム級王座に返り咲いた一戦は、久々に胸躍るプロレスを見た思いだった。

試合は後半、接近してのドツキ合いの様相を呈し、場内には「大タツヨシ・コール」が巻き起こった。

「熱狂」に身を委ねてリング上の闘いを見つめるというのは実に気持ちいいものである。

そして迎えた7R！レフェリーが試合を止め、辰吉が喜びのあまりリング上を跳ね回ると同時に、場内はまさに蜂の巣をつついたような大歓声に包まれた。

デビュー4戦目での世界王座奪取、網膜剥離、薬師寺戦での敗退、国内での試合出場停止、海外での再起、そして断崖絶壁の今回のチャレンジ――。

辰吉がそれまでに描いてきた軌跡が一瞬にして、鮮やかにリング上から立ち昇った一戦だった。

辰吉丈一郎という生き方を見事に演出してきた辰吉のセンス。

そのセンスが生み出してきた数々の偶然のドラマ。

凄絶な打ち合いというリアリティ。

「圧倒的不利」の声が多かった下馬評のなかでのタイトル奪取という鮮烈すぎるハプニングと感動。

敗れて泣き崩れてしまった、若きタイの王者のプライドを上回った勝負根性。

入場からリングを降りるまでの間に辰吉は、これだけのことを見ている者の細胞に刻み込んでしまったのだ。

しかも、最後には「つづく」というクレ

ジットが入り、辰吉主演のドラマはこれからまた新たな展開をみせようとしているのだから、期待感が高まるばかりである。

これによって、16回連続で世界挑戦に失敗している日本ボクシング界にも光明が射し込み、復興の気運は大いに盛り上がった。こんなプロレス的空間はいまやプロレス会場でもめったにお目にかかれるものではない。

この日の一戦は、まさに気持ちのいいプロレスであり、やっぱり浪速のジョーは、小さな「プロレスラー」だった。

さて97年、辰吉以外にも、超一級品の「プロレスラー」としてのたたずまいをみせてくれた人間がもうひとりいる。

その名は、ヒクソン！

もちろん、10・11に東京ドームで高田延彦を破ったヒクソン・グレイシーのことがある。

プロレスはエンターテインメントで、格闘技は真剣勝負。だから、まったくの別物という見方は、あまりにも窮屈なところで真面目すぎる。

競技としては別であっても、闘いを「生業」にしているというところにおいて

は同じである。大きな概念として捉えなければ、「プロレス」も「格闘技」もあまり

にもチンケになってしまいうるのだ。お互いに無視できない存在であるのが「プロレス」と「プロ格闘技」であり、相手を驚異に感じれば感じるほど、近親憎悪に近い感情が湧き出てくる。

ということは、実際のプロレスも「格闘技側」に相手にされなくなったらそれこそ終わりであり、それと同じことは反対にも

いえるはずである。

10・11――ヒクソンは、思わず見とれてしまうほどの「鎧」を着て、実に鋭利な「剣」を携えてリングに上がった。

鎧と剣――二つ、我にあり！

その二つの間を振り子のように、目にもつかない早さで振幅し、人々に感動を与える闘いを突き刺していく。

それが「プロレスラー」である。

その意味でいえばヒクソンは最高級のプロレスラーということになる。

では、鎧とは何か？

この間読んだ本に『破滅の美学』という本がある。

著者は笠原和夫さんという人で、『仁義なき戦い』を始め、東映の「ドル箱」といわれた、一連のヤクザ映画の脚本を書いていた人だ。

いまでもヤクザは嫌いだという笠原さんが、取材を通して接したヤクザの世界に生きる男達の生き様やエピソードを絡めながら、なぜ自分は「映画のつくり手」として極道の世界に惹かれていったのかということを書いたものである。

そして、全体の背骨には、『鎧』とは何か？ という壮大なテーマが貫かれていた。

その本にはこんな素敵なエピソードが書いてあった。

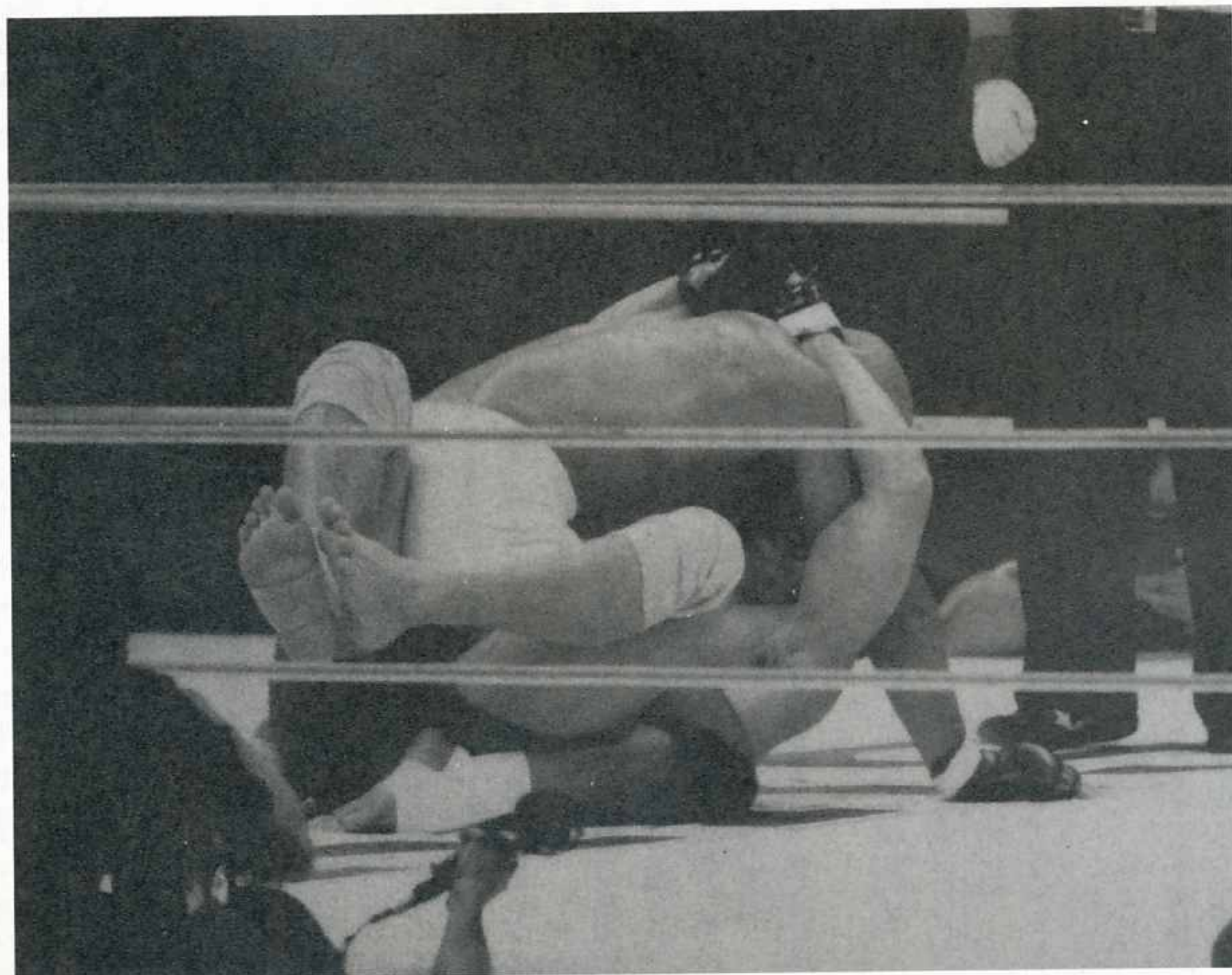
昭和30年代――。広島の実に「人斬りの哲」と呼ばれた組長がいたらしい。

彼の自宅の居間には、年代もののドデカイ鎧が飾ってある。チョイとやっかいな客の場合はその居間に通して、それとなく威圧感を

与える目的もあったらしい。

しかしある日、その鎧を前にして、「人斬りの哲」はしみじみと舎弟にこう語ったという。

「昼は若い衆に取り囲まれて威張っている。酒が入れば気も大きくなって極道くらい楽しいものはない。しかし、夜中にひとり煙草を吸っていると、早く堅気にならなさんと、そればかり考えてしまう。」



グレイシー柔術は地球の裏側の「裏プロレス」だ！

しかし、一度着てしまった「鎧」はなかなか脱げないものだ。この頃は鎧が重くなっ
てしまつて、脱ごうにも身動きできなくな
つてしまつてるようで恐ろしくなる——
それから間もなくして、「人斬りの哲」
は銃弾五発を身体に浴び、最後まで「極道
という鎧」を着たまま絶命したらしい。
人斬りの哲の話は、凄絶ではあるものの、
どこか童話のようでもある。
しかし、鎧はなにも極道だけが着ている
ものではないのだ。
死期が近いというのに、机にしがみつ
くようにして書き続けた「作家」という鎧を
着た男。

過労死するまで「企業戦士」という鎧を
着続けた会社員。

「勝負師」という鎧を着て破滅へまっし
ぐらに進むギャンブラー。

そして「最強」という鎧を着たプロレス
ラー。

そういえば、力道山時代からプロレスラ
ーは、まるでおとぎ話のように「プロレス
ラー」という名の鎧を着つづけた。

カナヅチでガンガンと手の甲を叩き空手
チョップを磨き上げた力道山、前頭部で板
に釘を打ちつけて額を鍛えた一本足頭突き
の大木金太郎、硬球を思いきり顔面にぶつ
けられてもヘーゼンとしていた上田馬之助

——。彼らは24時間プロ

レスラーであることを肝
に銘じ、決して世間に対
して隙を見せなかった。
精神と肉体の両方を衆目
に晒しながら、タフとい
う言葉では括れないほ
ど、まがましいほどに
己を鍛え上げたのだ。

古き良き時代の「プロ

レスラー」という名の鎧！
彼らは例え重く感じて
も、一度着た「プロレ
スラー」という名の鎧は
脱げなかった。その鎧を
身体と心に張り付けるこ
とによって、世間が描い
ている「強い・怖い・凄
い」といったプロレスラ
ーのイメージに、自分の
実像を近づけようとする

シンドイ作業をしてきた。

そして鎧を最後まで背負いつづけた者に
しか出せない「凄み」というものを醸し出
していたのである。

しかし、力道山が死去してからは徐々に、
プラスチックで出来た鎧や、段ボールにマ
ジックで色を塗ったようなハリボテの鎧を
着て、「俺もヨロイ着てるもんね」とい
う顔をしたプロレスラーが時代の主流を占
め始めるようになっていく。

そんな風潮に待ったをかけたのが、若き
日のアントニオ猪木というわけである。

カール・ゴッチの元で、近代プロレスが
錆びつかせていた、技術という名の「剣」を
もう一度磨き直し、イザというときのた
めに、ストロング・スタイルという名のピカ
ピカの鞘に、その剣をしまいこんだのだ。

しかし、やがてアントニオ猪木率いる新
日本プロレスも、剣をより鋭利にする作業
よりも、鎧に金フレームの装飾をほどこす作業
に偏っていった。

そこに、剣も研がんとね、鎧だけ磨いて
ね、そんなハリボテみたいにしてどうす
んの！ なあ？ おたく問題あるよ！ この
業界の害虫みたいな人はテ・ツ・テ・イ・

テ・キにやりますよ！ と突っ込んだのが
UWFという運動体だったのである。

そのヘソはもちろん前田日明である。

そしてUWFが動き出してから約15年、
Uの理念に憧れてプロレスの世界に飛び込
んだ若者たちは、剣をさらに鋭くしてい
たものの、今度は剣を研ぐことで容量が一
杯になり、鎧なんて重くて邪魔なだけ、と
簡単に脱ぎ捨ててしまった。現在のU系の
若い選手からは、いわゆるプロレスラーの

匂いは漂ってこない。

もはや、古き良き時代の「プロレスラー
という名の鎧」などはノスタルジーでしか
ないというわけである。プロレスラーらし
いプロレスラーが少なくなったと古いファ
ンが感じるのも当たり前の話なのだ。

それが老舗であっても同じだ。リング上
では「プロレスラー」という名の鎧を感じ
させるレスラーでも、リングを降りればす
ぐに鎧を脱いでしまう。

彼らにとつて、プロレスは生業ではなく、
仕事なのである。

しかし、鎧を簡単に脱ぎ捨てられるプロ
レスラーに、凄みを見つけることは難しい。
いまや、アルティメット系の大会に出る
格闘家やK-1戦士たちは、ヘタすると、
プロレスラーよりもプロレスラーらしい鎧
を着はじめていく時代である。

本当にうかうかはしてられないのだ！
タンク・アボットなど、その過去のエピ
ソードといい、原始的な闘い方といい、ま
るで力道山時代に来日した強豪ガイジンレ
スラーのようではないか。

さて、ヒクソンである。

彼の着ている鎧は、「グレイシー神話」
であり「400戦無敗」である。その鎧は
彼の心と身体にピタリと張りついている。
おまけにヒクソンは「自分の見せ方」とい
うのを知っている。ヒクソンであることの、
あるいは人々が自分を「ヒクソン」と認知
してくれるためには何をなすべきかを熟知
しているのだ。

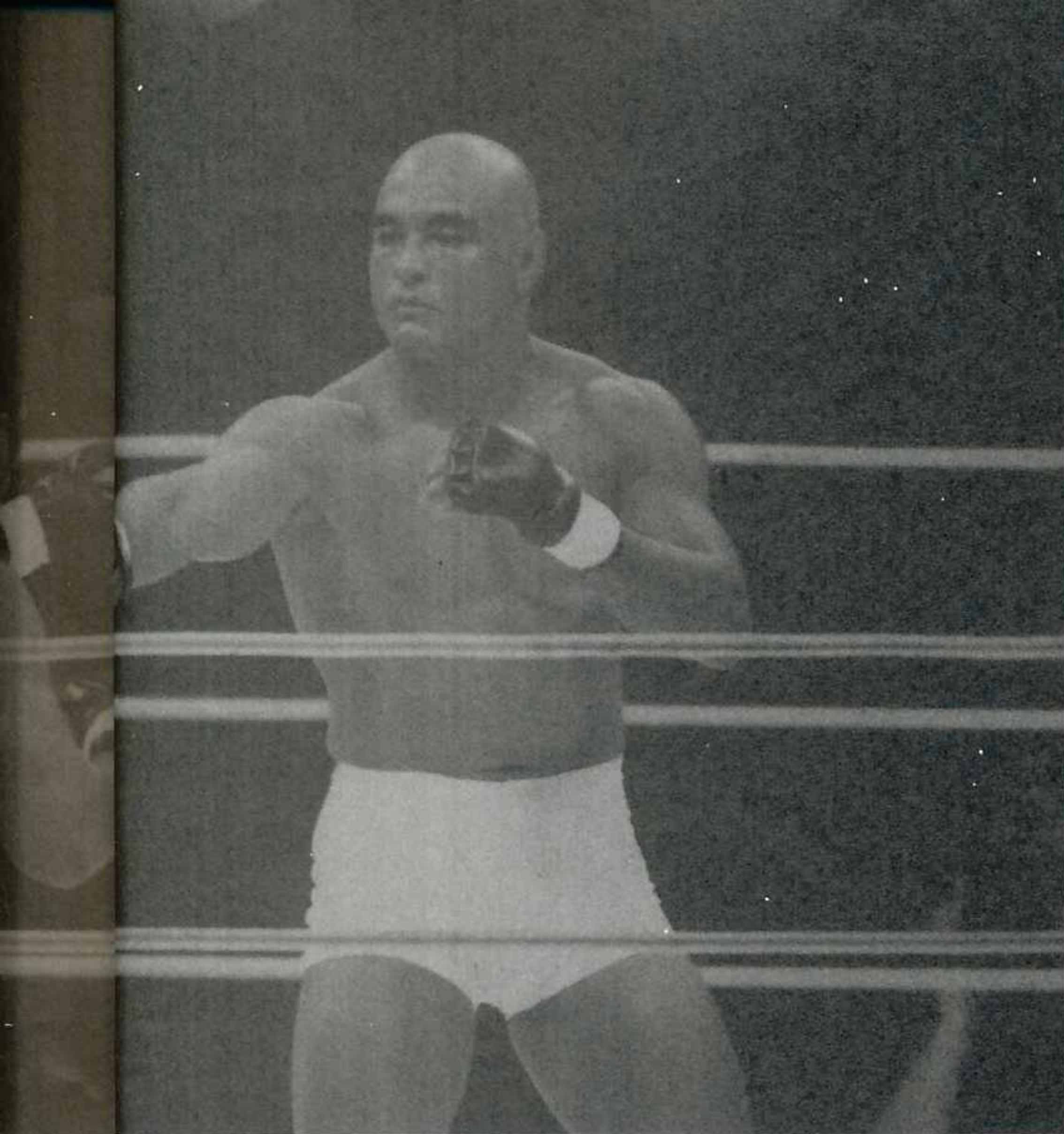
そして何よりも、鋭利な剣そのものが、
すでにヒクソンの鎧となっている。

鎧と剣——二つ、ヒクソンにあり！

ないだけで、道場経営と

ての剣——その二つを追求している。

いいかといえば、クソ真面目に見なければ



98・1・18 PRIDE-2 カード決定！
この大会を受け入れるか、吹き飛ばすか？
プロレス界・プロレスファンは何を考える！？

ホイス・グレイシー、日本初上陸

世紀の一戦、高田VSヒクソンを実現させた『PRIDE-1』に続いて、『PRIDE-2』が98年1月18日、横浜アリーナで開催される。

最注目のは、ヒクソンの実弟・ホイスの日本初登場！ 最近ではヒクソンの陰に隠れがちだったホイスだが、オクタゴンの中で、ひとり異質な光を放っていた頃のホイスが、はたしていまだ「ホイス」なのかどうかは興味深い。



遂に日本初上陸をはたすホイス。どんな色気を見せてくれるだろうか

そのホイスの相手は第14回、15回のUFCを連覇し、ヒクソン相手でもいけるのではないとも言われている超実力者、マーク・ケアーに決定した。世間を巻き込むインパクトには欠けるものの、実にスリリングなカードである。

その他、10・11ではヘンゾ・グレイシー相手に善戦し「何が黒船じゃ〜、何がグレイシーじゃ〜！」と叫んだ慧舟会の突貫小僧・小路晃がモット柔術の雄、ジュアン・モットと対戦。同じく10・11で無効試合に終わった、B・シカティックとR・ホワイトの因縁の再戦。そして、リングスのリング上でバトラーツの田中稔を破った『トーナメント・オブ・J』2連覇の実績を持つ菊田早苗がヘンゾに挑むなど、格闘技ファンにとっては興味深いカードが揃った。

また、他にも隠し玉があるという噂も業界中を駆けめぐっているが、はたして最終的なラインナップはどうなるのだろうか。

本当にホイスはヒクソンの1/10の強さなのか？ ホイスの“色気”の正体は！？ プロレスは格闘技畑の大会を無視するべきかどうか？ プロレスファンにとっては、勝敗以外にこの大会の意義をいかに見つけられるか、というのが観戦上の勝負となってくるはずだ。

1月18日、いよいよホイスの“生”をみるときがやってきた！

PRIDE-2

98年1月18日(日)
横浜アリーナ 17:00試合開始〜
【対戦カード】

- ホイス・グレイシーVS マーク・ケアー
- ブランコ・シカティックVSラルフ・ホワイト
- ヘンゾ・グレイシーVS菊田早苗
- 小路晃VSジュアン・モット
- その他の参戦予定選手／

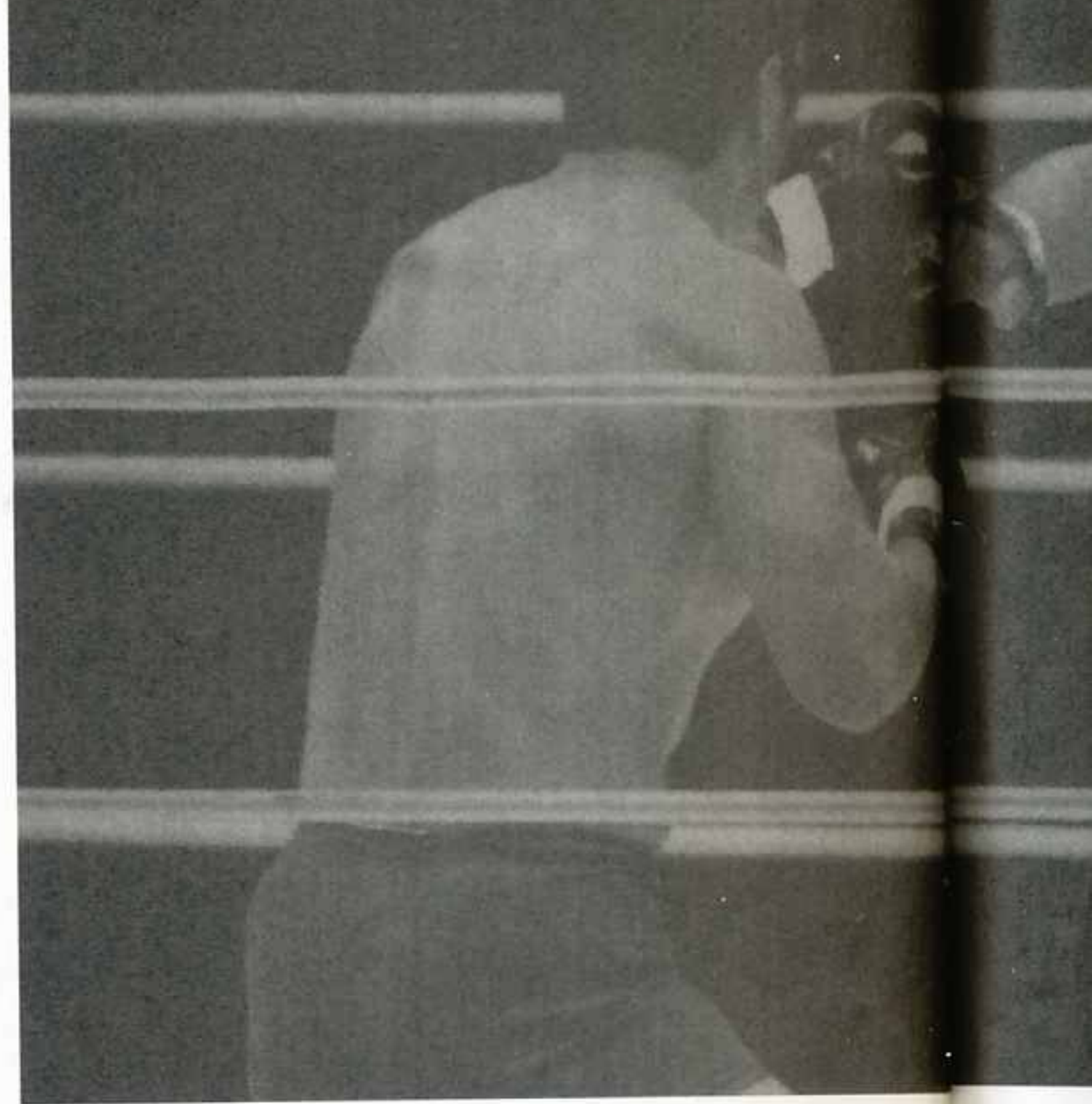
マルコ・ファス、ウィリアム・ロスマーレン

※カードは12月2日時点での発表、チケットはチケットぴあ、チケットセゾン他で、12月14日一斉発売！

※問い合わせ＝KRS 03・5464・7900

ヒクソンはブラジルという地球の裏側からやってきた400戦無敗の“裏プロレスラー”であり、グレイシー柔術は武道という衣を被せた“裏プロレス”なのだ！
彼らの信者たちは、グレイシー柔術はエンターテインメントをやっているわけではないとお決まりの文句をいうかもしれないが、彼らは興行というアングルを用いてい

点をもってくるはずだ。
アメリカから輸入されてきたプロレスに日本の武道的発想を吹き込んだUWF。日本から渡った柔術をブラジルの発想で実戦化していったグレイシー柔術。
どちらもプロとしての鑑と、闘う者とし



ないだけで、道場経営という名の形を変えた興行をしているのだ。色気のない言い方をすれば、入場料と会費の違いはあるものの、できるだけ多くの人を集めてお金を取るという点では一緒なのである。

やはり高田を応援していた人間まで虜にしてしまったヒクソンの超然としたたけまゝ、武道家然としたふるまいには唸るしかないが、ある意味ではそれも「シヨーマンシップ」というものどこかで接点をもってくるはずだ。
アメリカから輸入されてきたプロレスに日本の武道的発想を吹き込んだUWF。日本から渡った柔術をブラジルの発想で実戦化していったグレイシー柔術。
どちらもプロとしての鑑と、闘う者とし

「情」対「無情」
「生き残るために命を懸ける男」対「死を恐れない男」
いま、こんなに運命的な物語が始まるようにしているのに、プロレスファンは、なぜかマッド界全体をどことなく醒めた視線でもって様子を伺っている。
作家の村松友視さんは、『私、プロレスの味方です』の文庫版あとがきに、「プロレスは、真面目に見てもわからない。不真面目に見ればなおわからない。どうすれば

いいかといえば、クソ真面目に見なければならぬ」と書いた後に、次のような言葉を投げかけている。
「クソ真面目にプロレスを見るといこうとは、徹底的に熱狂しながら徹底的に観察することであって、火傷と凍傷を同時に味わうような世界だ。しかし、火傷と凍傷が『痛い』という共通の感覚でつながるよう、同時に熱狂と観察も似たようなところがある」

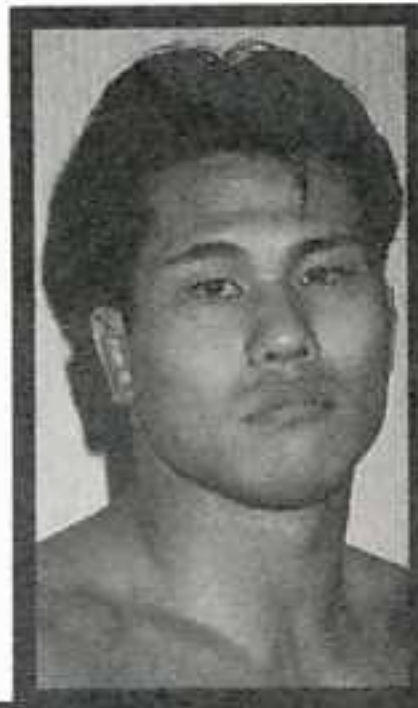
熱狂と観察——二つ、我にあり！
熱狂と観察を同時にこなしながら、自身とプロレスとの関わりを考えていく。それがプロレスファンである。
プロレスファンよ、プロレスラーのせいにするな！
プロレスラーよ、プロレスファンのせいにするな！
レスラーと観客が緊張感のある勝負をしなれば、プロレス物語に「つづく」のクレジットは流れないのである！

選ばれしものが98・1・21武道館の優勝戦をリングサイド最前列で観戦できる上に、
『紙プロ』特派員=バックステージ・パスをもらえちゃう!! (もしかしたら日明兄さんのデコピン付き)

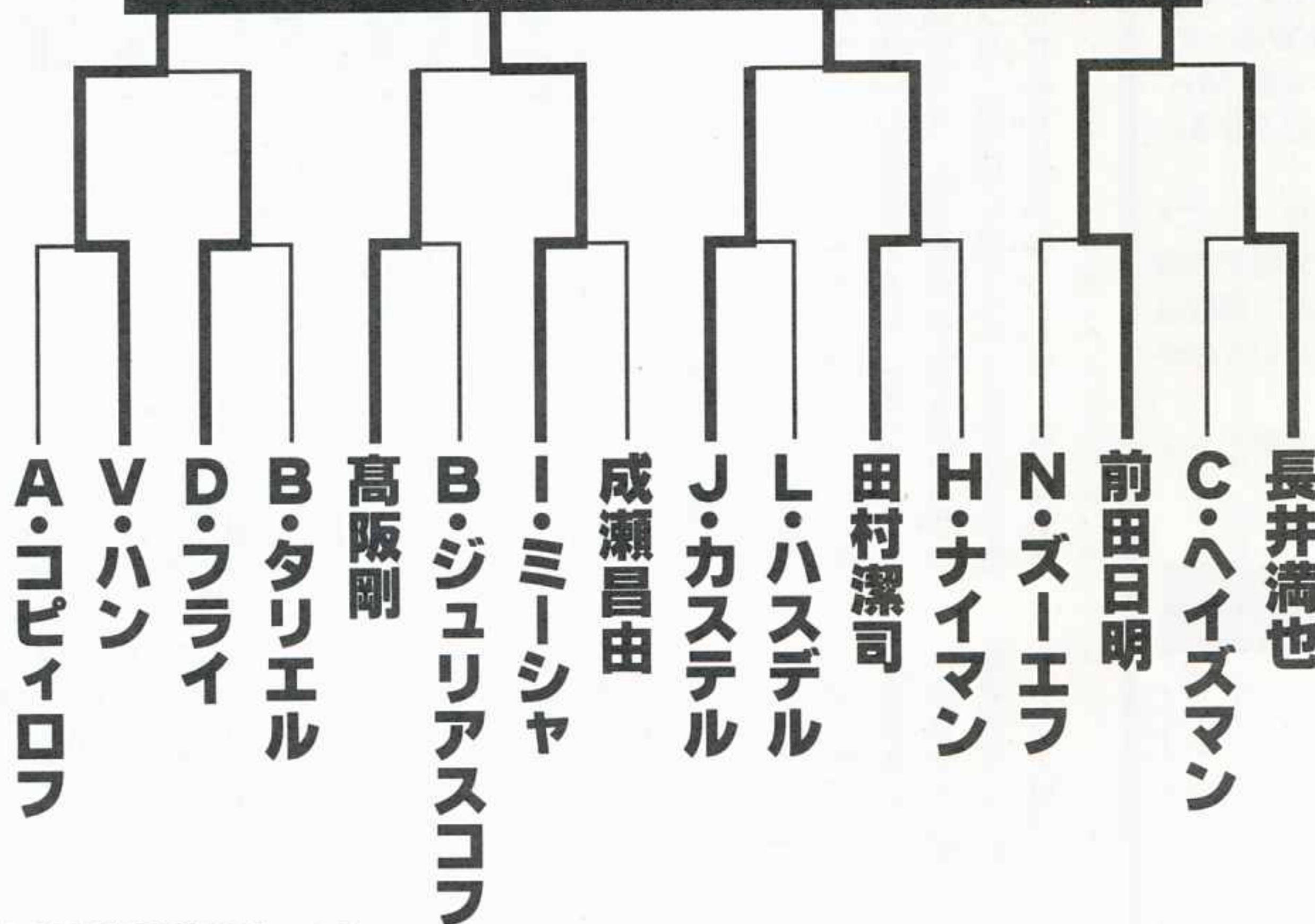
『ワールド・メガバトル・トーナメント1997』 優勝決定戦進出者を当てるクイズ! 途中経過報告!!

優勝

98・1・21 東京・日本武道館 (18:30)



12・23 福岡国際センター (17:30)



さて、前号で募集した「ワールド・メガバトル・トーナメント1997」優勝決定戦進出者を当てるクイズ! (これは長い満也)。
このウルトラクイズには応募者殺到! 凄いですよ(いや、これホント!)。で、前号の締切直前に、出場が決定した山本宜久が腰の故障のために欠場することになって、1回ひっくり返ってまた出場することになって、で、また2回目のひっくり返りがあって、結局、山本は欠場でその枠には長井が入ったと(ややこしいけどわかるやろ? なあ? わかんなくてどうすんの!)。
そんなでもって差し替え不能ってことで、前号のトーナメント表の1回戦枠には山本選手の名前

が載ってたわけなんですけど、お詫びとして(でもね、紙プロは悪くないで! 悪いのはリングスや! でしょ!)山本選手の優勝決定戦進出を予想した全員の中から抽選で3名様に山本選手のサイン色紙を差し上げます(いや、これもホント!)。
で、まだ完璧に集計したわけじゃないんでハッキリとは言いかねますが、決勝戦予想で多いのは、「前田vsハン」「前田vs高阪」「田村vsハン」「田村vs高阪」などです。ズバリ言って正解者が多く出そうなので、12・23福岡での準決勝終了後に、リングス公認レフェリー・島田裕二氏立ち会いのもと厳正なる抽選を行い、当選者にはすぐさま間髪入れずにお知らせします!(連絡は来年にな

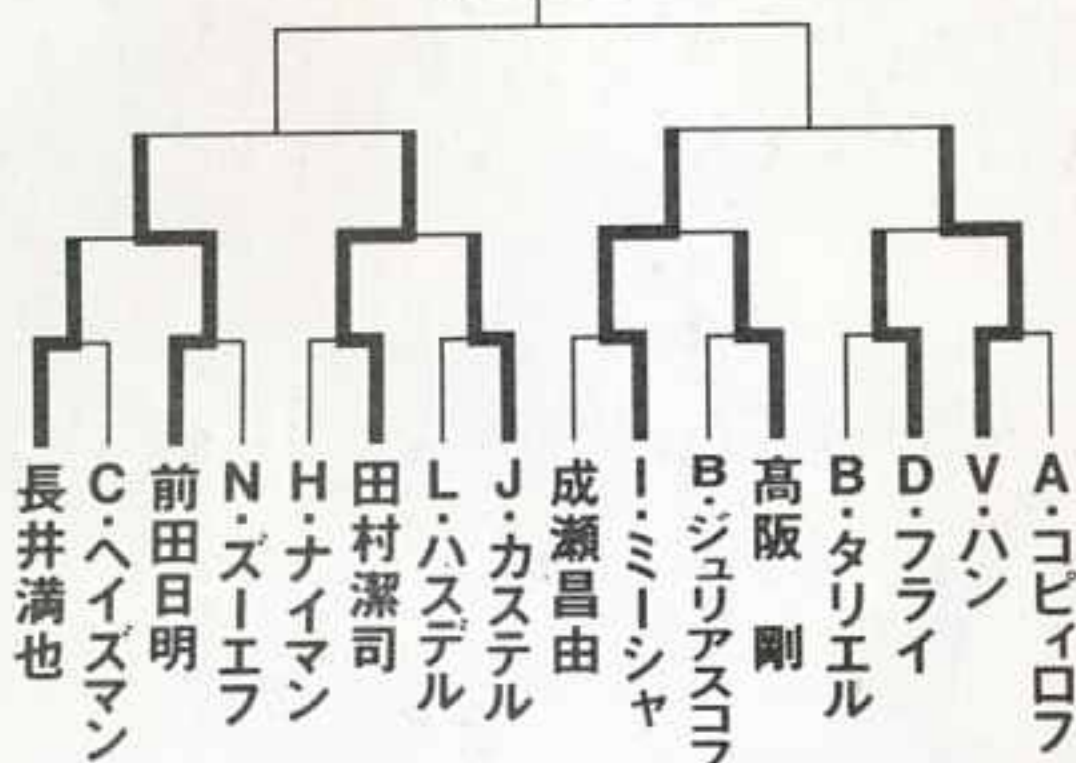
るかもなので、アセらず待つように)。
当選者は、決勝戦をリングサイド1列目で観戦でき(席は違うけどベアで入場可)、「紙プロ」特派員としてバックステージ・パスを進呈! ナマの選手に会わせたるで!
もちろんこの模様は次号で報告します!
はたして、準決勝の前田vs田村の勝者は? その前に日明兄さんは出場できるのか? リングスとは何ぞや? などなどを考え、ワクワクドキドキしながら、準決勝&決勝の日を待ちましょう! では、アディオス!!

いまのここ生き残ってる人名簿

兵庫県・三野広之/埼玉県・中川雅博/中野区・今井秀典/川崎市・大槻利幸/尼崎市・渡久地信行/秋田県・青木美樹子/世田谷区・巴明日香/群馬県・大泉秀明/埼玉県・田中聡/富山市・和泉弘昌/宮崎市・寺本裕/沖縄県・本村克也/練馬区・山本修司/青梅市・玉川薫/川崎市・建野友保/豊島区・斎藤幸代/北海道・稲垣真弓/世田谷区・梶原禎子 他多数

WORLD MEGA-BATTLE TOURNAMENT 1997

優勝



前田日明最後のトーナメント
熱い闘いを見逃すな!

ワールド・メガバトル トーナメント1997

準決勝 12.23(TUE.) 福岡国際センター

●OPEN 16:00 START 17:30●

●入場料金

●発売場所

ロイヤルリングサイド…¥20,000/アリーナリングサイド…¥15,000/リングサイド…¥10,000
アリーナSS…¥6,000/スタンドS…¥7,000/スタンドA…¥5,000/スタンドB…¥3,000
学生特別優待席A…¥2,000/学生特別優待席B…¥1,000

チケットぴあ ☎092-708-9999
博多スターレーン(店頭販売のみ) ☎092-451-0011
九州・山口地区のローソンチケット

●お問い合わせ
キョードー西日本

☎092-714-0159

NOW ON SALE!



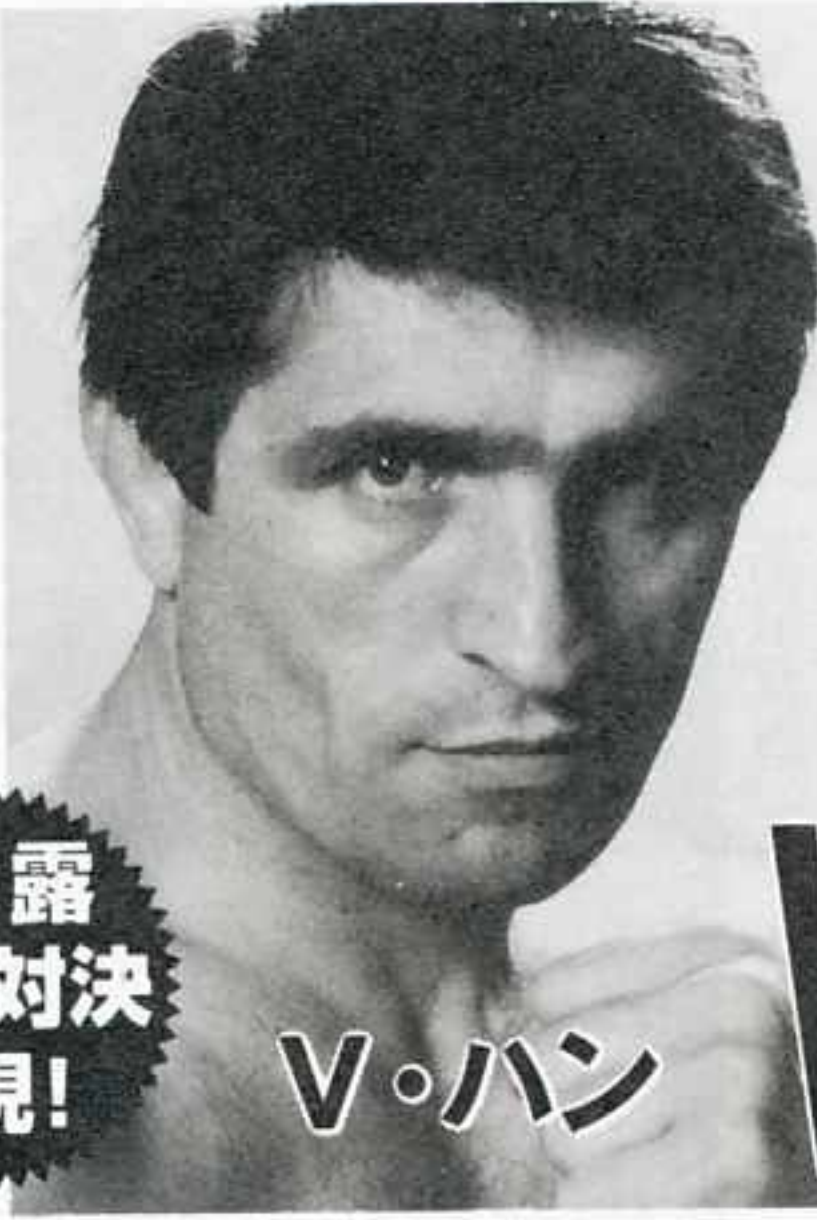
前田日明

VS



田村潔司

日・露
師弟対決
実現!



V・ハン

VS



I・ミーシャ

決勝 '98 1.21(WED.) 日本武道館

●OPEN 17:00 START 18:30●

●入場料金

●発売場所

ロイヤルリングサイド…¥20,000/アリーナリングサイド…¥15,000
リングサイド…¥10,000/アリーナSS…¥6,000
スタンドS…¥7,000/スタンドA…¥5,000/スタンドB…¥3,000
学生特別優待席A…¥2,000/学生特別優待席B…¥1,000

チケットぴあ ☎03-5237-9999/チケットセゾン ☎03-3250-9999/CNプレイガイド ☎03-5802-9999
オデッセー ☎03-3796-9999/ローソンチケット ☎03-3569-9900(Lコード36245)/後楽園ホール
☎03-5800-9999/レッスル渋谷店 ☎03-3464-0078/レッスル池袋店 ☎03-3989-0056/書泉ブックマ
ート ☎03-3294-0011/大山アメリカン ☎03-3962-6443/ビデオショップ・チャンピオン ☎03-3221-6237

●お問い合わせ
オデッセー

☎03-3796-9999

NOW ON SALE!

決定! リングス・オランダ大会観戦&ウィーン観光ツアー'98

98年2月6日(金)~13日(金)

●お問い合わせ・お申し込みは…
東急観光(株)渋谷支店

TEL.03-3464-3941

担当:白州



**FIGHTING NETWORK
RINGS**

主催

BS-5ch
W@WOW
FIGHTING
NETWORK
RINGS

読者が

書き倒しやあ
いいんだよ!
書き倒しやあ!!

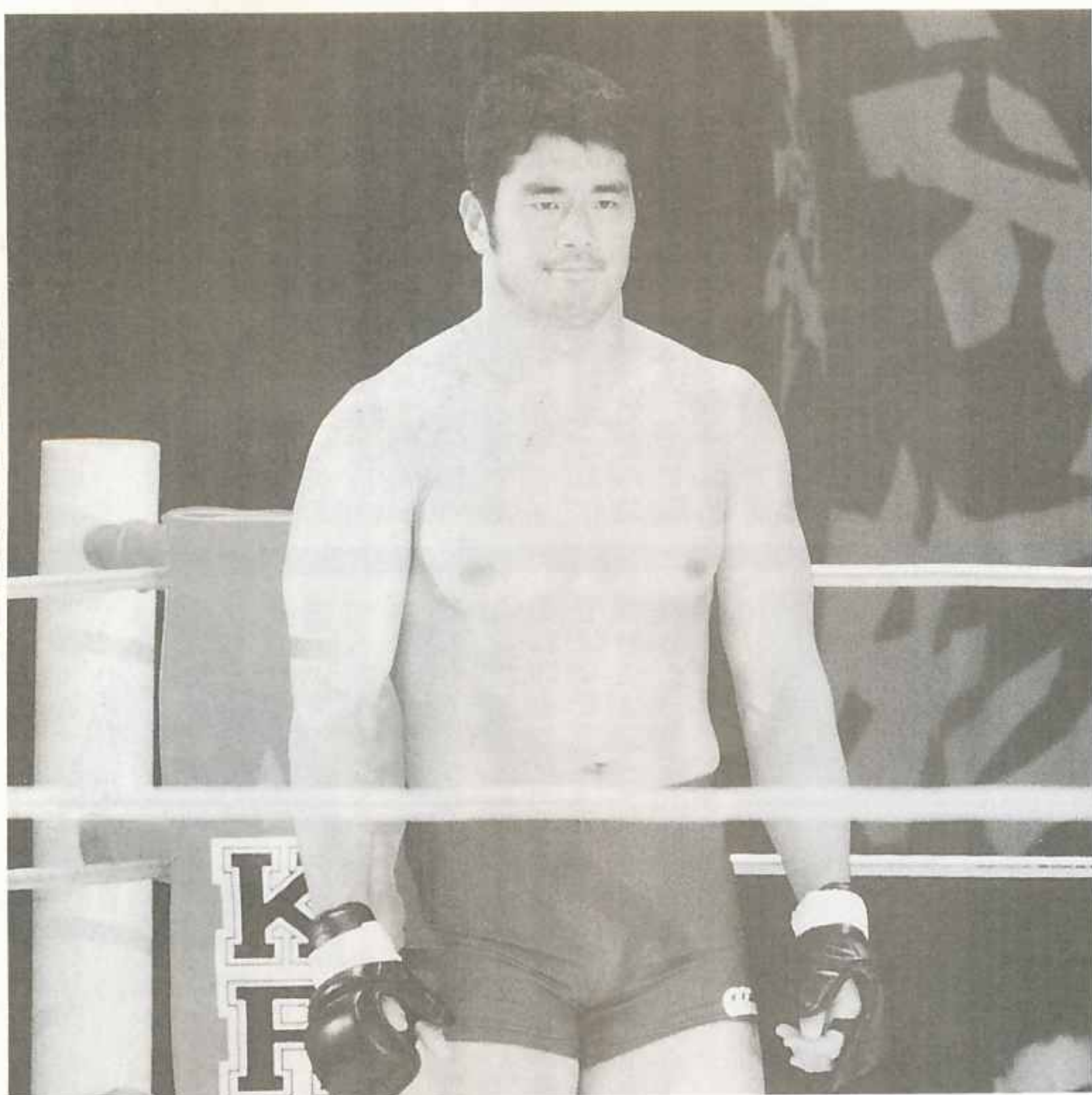
10 その 11 後の !! の

高田 VS ヒクソン

書く!

前号にて「高田VSヒクソン戦、その周辺で考えたこと」っちゅーことで論文または作文を募集したところ、ものすごい量の封筒が届く届く。きっと「掲載された方には超ビッグなプレゼント有り」——というひと言に釣られたんでしょう。読者というのは実に強欲ですね。ってそんなわけではなく、やはり「10・11」はファンの間に大きな波紋を投げかけ、その波紋は、いまだにファンの脳味噌を掻き回し続けてるということでありましょう。来たものはどれもこれも楽しんだり考えたりしながら読めましたが、専門誌の記事を真似たようなもの、どこかで読んだようなものはバサッと切り捨てました。ズバリ言って、キミたちはファンであっても専門家じゃねえんです! つまり選考基準は、理不尽なほど熱かったり笑えたり、ファンという立場でしか書けないもの、ファン魂を感じさせるものっちゅーことですね。

(掲載した文章はすべて原文ママです)



読者が書く!
その後の10・11!!

山口日昇賞

千葉県
武田維弦

10月11日に東京ドームで、ヒクソン・グレイシーと戦ったのは誰だったか——。高田延彦である。では、高田の肩書きは何であったか——。プロレスラーである。
全く当たり前の話ではあるが、なぜか引かかる。あの日、ヒクソンと対峙した高田は、「プロレスラー」と「ヒクソンと戦う男」との間で浮遊していた。

プロレスラーと小学生男子は、ある一点、非常に通じる物がある。小学生の頃、やたらと高いところから飛び降りた。そうすることで自分に向けられる、仲間の驚きと尊敬の視線がほしかったからだ。そして仲間内で高さを競い、エスカレートしていく。鉄棒、家の塀、校庭の木、ベランダ……。どこから飛び降りても、平気な顔をしなければならない。そ

れは、自分と相手の「意地のほりあい」だった。
大人になるにつれて、それは、「なんでもなんでも……」と笑い話になる。しかし、プロレスラーは、今だに、「意地のほりあい」を繰り返す人間達なのだ。ただ違うのは、その意地が、「技術を内包した意地」だということであろう。
10月11日を迎えるまで、高田はあらゆる方法で技術を磨いた。しかし、ゴングが鳴った瞬間、その技術は、意地をまといつていなかった。プロレスラー、高田延彦と、ヒクソンと戦う男、高田延彦との間で浮遊した高田延彦は、後者を選んだ。そして、「あの試合」を経て、「あの結果」に至る。
ヒクソンは、グレイシー柔術の使

い手以外の何者でもなかった。今までは、そうだったように、である。高田は、それまでずっとプロレスラーだった。あの日のリング上は、そうでなかった。そうなる、と、長年、培ってきたヒクソンの技術に對抗するのは、僅か数カ月の、ヒクソン戦のための技術だけである。追いつけない。追いつけるはずがなかった。
プライドとは、「誇り」である。誇りがなければ、意地ははれない。
もし、再戦のチャンスがあるならば、高田には「プロレスラー」であってほしい。「技術を内包した意地」をもって戦ってほしい。これは、他のレスラーにも、望みたいのだ。そうでなければ、もし戦っても「プロレス勝利」という言葉は、嘘臭くて、

とても使えない。それとも、「プロレスにプライドが持てない」高田延彦は、10月11日のリング上で、すでに大人となつてしまったのか。そして、「プロレス」を、笑い話にしてしまうのだろうか——。
P.S.
じゃあ沖縄行きますんで。
●この人、実は17歳の女の子です。でも「17歳の女の子」というところに惹かれたわけではなく（いや、これホント）、「17歳の女の子」が意地を張って書いてるところに惹かれました。読み終わると、ボクも「意地を張りたい」と熱くなり、と同時に脳味噌と心が洗われたような気がしたのです。かしこ。

『高田VSヒクソン戦を
考察して』

【第一章】

高田の完敗の一番の理由は、高田がバーリトゥードをしようと思ったためだと思う。
やはりヒクソンはバーリトゥードのプロ。
それを高田が僅かな時間の中で真似をしても通用しなかったのだと思う。
ただ、このまま引き下がってはいけ
ない。
しかしグレイシーには長い歴史が



読者が書く!
その後の10・11!!

吉田豪賞

愛知県
武上康夫

ある。

そのためプロレス側としてはグレイシーの歴史に對抗するために、やっぱり日明兄さんが叫んだようにUWFを再結成してお互いに技術交流するべきである。

ただ、パンクラスは仲間にならない。なぜなら彼らは卑怯で日本語が不自由な内弁慶小僧だから。
しかし、パンクラスを含まないとすると、いまい組織としては大きくなりすぎない。

そこで第3次UWFは世界格闘技連盟と結託するのである。
(ここから妄想世界へ突入)

ここでUWF連盟、略称Uリーグが誕生する。

【第二章】

太陽の光が眩しくなってきた今日この頃。Uリーグの面々はいつものようにチャンコの後の美味しいケーキを食べながら、ヒクソン退治の方法を討論していた。昔は様々な事でモメていた彼らが今は目標が一つのため皆仲良く、平和であった。

しかし嵐は当然やって来た。
前田がある日、佐山のケーキを食べてしまったのである。前田にしてみれば6つあるケーキの1つを食べたにすぎない。しかし佐山は激怒。前田も逆ギレして「佐山はコトナだ!」と言いだす。当然猪木も口を出し「クイックキック・リーVSサミ・リーでやれ!」と言いだす始末。
前田にしてみればモメなくてもいい話をモメるようにしているだけだ。しかも前田には高橋君、安生君じゃなくて安西君、実倉君といった害虫をプチ殺さなくてはいいけないので佐

山にはつきあうことができないんです。そうでしょう？ ねえ？ 思いませんか？

しかし佐山は自分より大きな奴がケーキを食べた事が許せないのデシユートで決着をつけようと言っている。そこで登場するのが小川直也である。

小川は常々佐山に反感を抱いていた。いろいろ気に入らないことがあったが、小川がどうしても許せないのは「オーちゃん」と呼ばれる事であった。オバQじゃないんだから。

ポーゴの様に好きな言葉が『お化け』といった生き甲斐を捨てたハングリーガイじゃない小川はここで前田側につき、前田の代わりで佐山とデスマッチではなく闘魂列伝2で決闘、そして見事勝利。小川の強さを知った前田はヒクソンと戦うことを小川に譲る。小川vsヒクソン戦は固めで小川の勝ち。その後Uリーグは他団体を制圧。こうして小川はユセフ・トルコの言うように第2の力道山になり、日本のプロレスを一つにしたのである。めでたしめでたし。

選考可

●先日発掘したばかりの話だが、グリーコ・森永事件に揺れていた頃、なぜか旧UWF道場に「かい人21面相」から脅迫状が届いたことがあったという。「佐山さんへ。あなたの大好きなケーキに毒入れた。子供の夢を壊さんために、ケーキ止めて痩せなアカンで」マッソ界に衝撃走る！ かと思えば、その大阪弁であっさり犯人は日明兄さんだとバレたそうである。はあ。それを思えば、武上君が書いたようなことだって現実に起こりうるのだ！ プロレスへの愛を「紙プロ」的悪質センスで包んだこの原稿、合格です！ ちなみに加藤賢宗先生自ら投稿してくれた作品も面白かったんですが、長すぎるとの理由で落とされちゃいました。読者が勝手に送ってきた鈴木健ちゃん（キングダム）の、高田敗戦に落ち込むファンへ個人的に送ったラブリイな手紙もやたら熱くて最高でした。



読者が書く！
その後の10・11!!

ののも賞

愛知県

原田幸治

(32歳)

『能対歌舞伎の如く』

高田延彦は舞いで踊れなかった。それはそうだが、そこは歌舞伎の舞台ではなかった。ヒクソン・グレイシーは、いつもの如く、自分の舞台で踊っていた。

そこは、いつもの能楽堂だった。歌舞伎において名優であるためには、踊りのステップ、振り付けはもちろん、観客に対してのアピールの仕方をマスターする必要がある。ここ20年の日本での一番の踊り手は、初代「アントニオ猪木」である

と思う。

今日は弟子の高田の出番であった。対するは、ヒクソン。舞台は、東京ドーム。私は、最初の舞台から観たが、それは、私の望んでいたものではなかった。

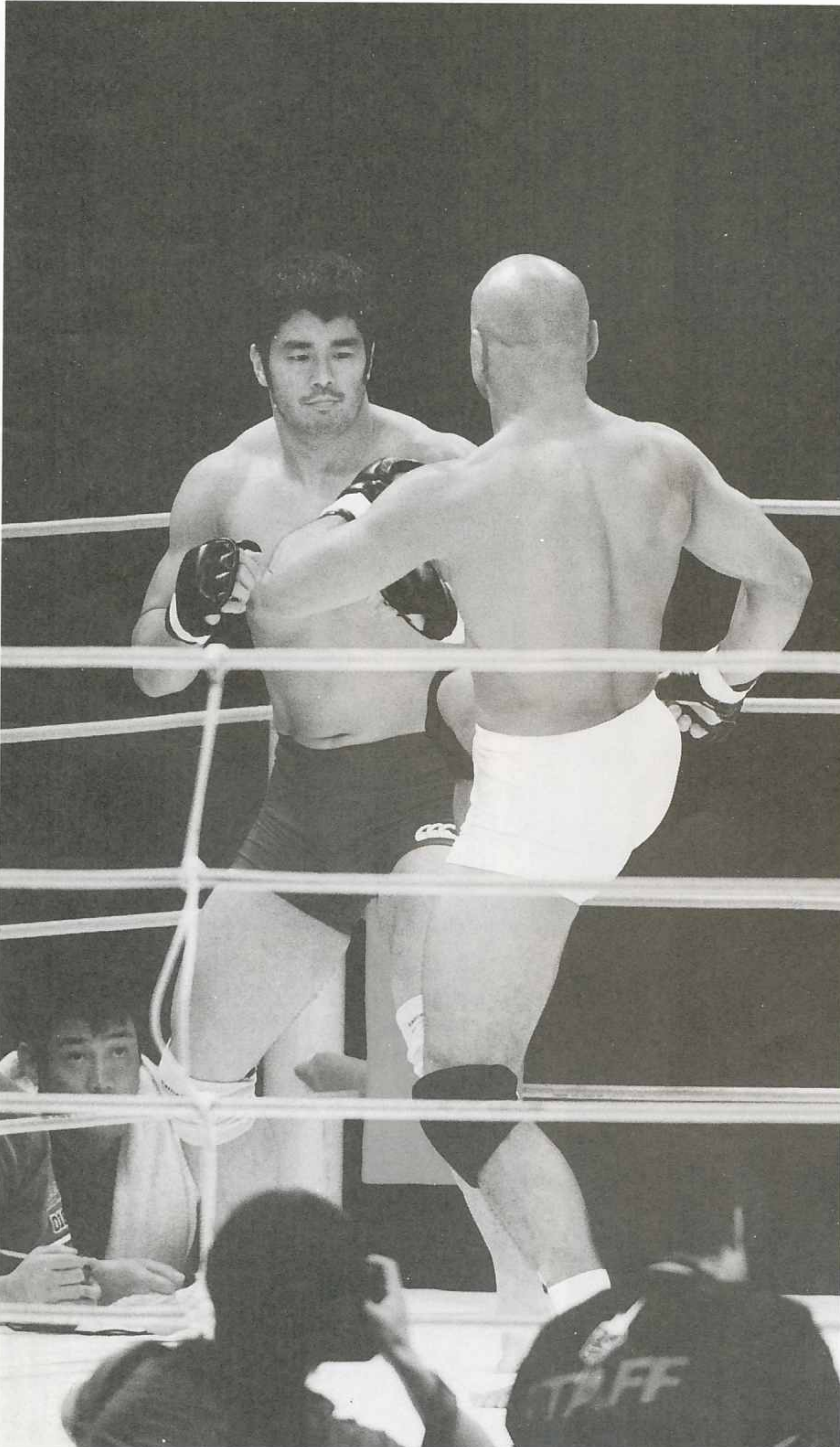
私は、歌舞伎と違って、実は能の舞台に来てしまったのだ。能はそもそも観客不在である。

踊り手は、神と「ひとつ」になり、踊るだけであつた。能楽堂の控の間から舞台に渡る道（橋）は、現世から幽境への通路であつた。ヒクソンはその道を確実に渡った。高田は渡れなかった。歌舞伎役者にとって、道は、客に

対して見栄をきるところであつたのだから。ヒクソンが、今後もし破れることがあるとしたら、本当の歌舞伎の舞台に呼び寄せるしかない。一度歌舞伎の舞台を教示することだ。

選考可

●本文読まずに堅物（カタブツ君のことじゃないよ）っぽいタイトルで決めました。いま、やっと本文読みました。感想？ タイプじゃないけどハンサムだねって感じ。ンムフフ……。





読者が書く!
その後の10・11!!

坂井ノブ賞

熊本市
坂下敏郎

『樹海でボン』

オレは昨日まで観戦歴4年だと思
っていたが、ゴングの増刊『女子プ
ロレスの40年』を読んで調べてみた
ら、まだ3年しか経っていなかった。

プロレスに興味を抱いたきっかけが、
例の横浜アリーナでの北斗・神取戦
だから、当然オレにとつての内なる
カリスマは、アントニオ猪木でも前
田日明でもなく、ましてやアポロ菅
原などでもない。全女の出現り娘
(?)、シルバー・ベル・ドリーム店
主、そう、北斗晶その人なのだ。で、
どうしてこんな勘違いをしたかと言
うと、それはやはり、プロレス界の
流れが早いと言ふ事なのだ。

観戦数の少ない私でさえコレなの
だから、首都圏に住み、プロレス興
行に足繁く通つて人等は、もつと
大きな勘違いを犯しているのではな
いだろうか? 花くまゆうさく氏の、
このところのコメントを読んでい
ると、明らかに格闘技インポテンツ症
候群に悩まされているかのようであ
る。でも、ある種観戦するたびに、
若いエキスをレスラー達に吸い取ら
れてしまうのは自業自得なのだ。だ
から、J・dのファンに老け顔が多い
のは、そのエキスをジャガー横田に
吸い取られていと言ふ噂が信憑性
を帯びてくるのである。なんかスゴ
イ前フリになったが、これは本題と
は一切関係のない話だ。女子プロ・
ファンの与太話と思つて、全て忘れ
てほしい。樹海に入つてみよう。

まず、ヒクソンは最強なのかと言
う問いに答えたい。私は、彼は最強

を誇るには不十分であるように思え
るのだ。「何故?」と、彼が問うなら、
私はあえて、こう提言する。「真の最
強を謳うなら、全女の堀田を倒して
からにしろ!」と。

無理ならば、グンダレンコでもイ
イ。いやマジで。オレは高田よりグ
ンダレンコの方が、もしかしたらヒ
クソンに勝てるような気がしていた
のだ。大方のマスコミは、高田の敗
戦をプロレスの敗戦のように喧伝し
ていたが、あまりにも早漏……いや、
早計ではないだろうか。高田はプ
ロレスラーではあるけれど、どちら
かと言うとU系のレスラーだろ!?

正確に表現するなら、「Uの敗戦」と
した方が、私には納得できるのだが
……。ま、高田の負けは仕方ないとし
ても、試合後の高田の対応は、およ
そプロのレスラーらしくなかった。
では、どこが、どうイケなかったの
か、女子プロ観戦歴3年の私から、
ちよつと生意気だが言わせてもら
いたい。まず、試合後も仰臥したまま
マットに寝ていたのはまずかつたよ
うに思う。なんか、初めて床入りし
た女郎みたいで、パンククラスの船木
じやないが、私にはその時、悲しい淨
瑠璃の音色が聞こえてきたような気
がしたのだ。あそこは、ほぼヒクソ
ンと同時に立ち上がり、彼に再戦を
乞うべきであつた。高田がやらなか
つたので、チャクリキ・ジムのジイさ
んがやってたけど、本来ならキングダ
ムの誰かがやるべきだったのだ。そ
れをやらなから前田日明がやった
だけで、闘う姿勢さえ見せる事の出
来ないファイターは、ただのサラリ

ーマンにしか私には見えない。とに
かく、高田はあまりにも大きな「負の
イメージ」を背負い込んでしまった。
死んだつもりで格闘技と対峙しない
事には、再び浮上するのは困難であ
るように思う。私が高田を尊敬する
のは、リング上での戦い以外、一切
のプロレス的ギミックを否定してい
る点にある。あの時、たとえばマイ
クを掴み「どうでしたか、お客さん
!?」とか、「明日また生きるぞ!」み
たいな逃げ道を作れば、彼も彼の所
属するキングダムも、あそこまで重
い十字架を背負わなくて済んだよう
な気がするのだが、高田は正面から
ヒクソン敗戦を受けとめてしまった。

まるで、そうする事が義務である
かのように……。ここに、高田延彦の
実像が在るのだ。高田の敗戦は、オ
レには他人事だったが、それでも涙
が溢れてくるのを禁じ得なかった。
勝つ事で感動させてくれるレスラー
もいれば、高田のように、あまりに
もリスクの大きい戦いに挑む勇気
で感動させてくれるレスラーもいて
いのではないだろうか? こんな
たいけなファンの心を知つてか知ら
ずか、試合後シャワーを浴び控室か
ら出てきた高田は、一層爽やかさを
際立たせていたつちやあ、いたのだ
が……。今大会を主催したKRSは、
ターザン山本のインタビュの中で、
B・M社の「夢の懸け橋」に触発され
たように語っていたが、高田クラス
を引っ張り出しての一夜完結興行は、
プロレス・ファンの立場からすると、
すごく罪深い事をしたように映る。

プロレス界全体を敵に回したとい
うか、もっとプロレスに対しての愛
情とは言わないまでも、配慮が欲し
かつたような気がする。
前田日明が、KRSの連中に対し
て飯を喰つていて、当然の行為
である。オレが彼等の立場なら、彼
等の四倍の収益を上げてみせる事が
出来る。オレなら、今回のドーム大

会は、あくまでもヒクソンと安生の
リベンジ・マッチから立ち上げてい
ただろう。安生で観客が集まるだろ
うか? と思うむきもあるが、私の試
算では充分イケると出た。(どうい
う試算なのか聞かないでくれ!) ただ、
この日入場してきた安生の手には、
生ダコが握られていたりする。島田
レフリーとの口論になるが、結局生
ダコはヒクソンの頭の上に乗つけら
れ、両者のセコンド陣がリング内に
介入して、ゴング前よりヒート・ア
ップ。

事態が収束に向かったところで、
改めて試合開始のゴング。結果、1
R 4分28秒でレフリー・ストップに
より、ヒクソンの判定勝ち。レフリー
の裁定は、安生の顔面のダメージ
がヒドかつたので……としたが、これ
にキングダム側が猛反発。安生の顔
がヒドイのは生まれつきだ! と抗議
するも裁定は変わらず、二ヶ月後の
大阪ドームで、新たな挑戦者として
高田延彦がヒクソンに挑戦をアッピ
ール。ヒクソン側も、これを受諾し
た。

結果、4分48秒で高田敗れる。し
かし、高田は試合後の会見で、「プロ
レスならオレは負けたくない!」との発
言に、ヒクソン陣営は激怒、次なる
東京ドームではヒクソンがプロレス
で高田に挑戦した。結果、ラ・マヒ
ストラルからの一瞬の体固めにより、
1 R 1分57秒高田の勝利になるも、
ヒクソン側から3カウント入つてな
かつたレフリーのトミー・ランに抗議
が出て、次の名古屋ドームでは完全
決着戦だと言つて勝手にヒクソンが
興業を仕切ってしまうのだ。そんな
重要な記者会見も、地理にうといヒ
クソン側は、上野の西郷どんの銅像
の前でやってしまったからサア! 大
変!

から、JWP側へ理解して欲しいと
の連絡が入り、山本代表は今回に限
り、これを諒承した。結果、60分フ
ル・タイム・ドロー。2人の死闘は、
優勝を逃したドラゴンズ・ファンを
限りなく勇気づけた。今度はキング
ダム側から提案があり、次の福岡ド
ームでは次期挑戦者トーナメントを
開催し、その勝者がメインでヒクソ
ンと戦うと鈴木健社長は声高に宣言
した。

いよいよ決戦の日、福岡ドームは
超満員の札止め、6万人の観客で埋
まっていた。ヒクソンは瞑想から覚
めると、弟を相手に軽いストレッチ
をこなした。体調は十分。万に一つ
も負ける要素はない。セコンドの呼
び声にうながされ、ドームの長い花
道を歩き始めた。太いロープをくぐ
り、リングに入ると、彼は対角線上
の対戦相手を見やつた。「!」そこ
に、見慣れない男が、自信なさそう
に佇んでいた。

ヒクソンは不思議な思いで、さら
に目をこらすと、UWFインターと
記されたジャージを着た男は、はに
かんだように微笑むのだった。そし
て、そのジャージの胸元には、日本
の字で「宮戸」とネーム刺繍が入れら
れていた。ヒクソンは、目線をマッ
トに下げると、声にならない声で
……「トホホ……」と、ひとりごちたので
ある。

完

選考可

●ベタベタかつマニアックなギャグが
随所に散りばめられたプロレスファン
にしか書けない文章です。樹海の中で
幻覚キノコでも食べてしまったのでし
ょうか? 楽しい夢を見ているみたいで
すね。正論をオブラートでしっかり包
んでいる奥ゆかしさが好きです。



第三試合は、ヘン蔵はあのリマやモラエスのお師さんなので、かなり強いだろうと思っただけで、日本に來る一寸前にビッグマッチをやっているのだから、あるなあと小路

『10・11観戦記』

自分は文章を書くのが苦手なので、超ビッグなプレゼント有り』に興味があるので書きま。今は亡き「ストロング・スタイル」P-1クライマックスで初代王者になった時（急になくなってしまつて2代目はなし）は、すごく小さいトロフィーで、「ゴング格闘技顔絵最強決定戦」では、「3回勝ち抜くとパネル、5回勝ち抜くと特別プレゼント（パネルよりいいもの：編集長談）」とか書いておきながら、5カ月勝ち抜いたのにパネルどころか格闘家の写真20枚位を送って来ただけなので（クマクマンボにとって写真の方がパネルよりいいのか？）あまり人を信じないようになりました。



坂本克裕（臨時バイト）賞

埼玉県 中川雅博

当日、自分は学生なので一限の「芸術と哲学」だけ出席してチケット（4000円）を取ってくれた友達らと電車に乗り開始ギリギリにドームに着きました。

第一試合は、すぐ終わってしまったインパクトがなかった。大体、一寸前にスパインにボロ負けした選手が村上とやるのは失礼。でも村上は日本本で試合出来れば嬉しいのかな。

第二試合は、エグかった。流血KOされたタクタロフではなく、立ち上がれないタクタロフを皆が心配している時にリングサイドであくびしている大原かおりが。

は、かませドッグだと思っていたのですが、試合開始直後にチケットを取ってくれた友達から「しょうじい」と叫んでたのを聞いて我に返って小路を応援しました。小路は良かった。しかし大会全体を通してでも、アリキックの人に対して何もしない（出来ない!?）選手が目立ちました。

あと「心は日本人」とかいう割に、日本人ならキツイ試合間隔でも勝てるだろうと思っているのが日本を馬鹿にしているヘン蔵。タデウと小路、二兎追う者は一兎を得ず。

スペシャルライヴ、格闘バンドwith MIWAKO（仮）。皆、トイレに行きました。ギターを弾きながら第四試合の選手紹介。ネイサン・ジョーンズがアップで写し出され、皆マイク・ベルナルドと間違える。このスペシャルライヴのせいで注意力散漫、締まらない大会に。試合の方は秒殺ボククラス！流石ストリートでは負けなしネイサン・ジョーンズ。北尾は遠くから観ても大きかった。

皆スペシャルライヴの時に休憩をたっぷり取ったので謎の休憩20分。自分は一番奥の席なので座ったまま過す。寝不足で眠い。

スペシャルマッチ1、皆無意味に20分以上過したの必要以上に期待。自分は顔が似ているだけでモリス・スミス2世と呼ばれるラルフ・ホワイトが、メイン以外で最注目選手だったのに茶飯頭。自分はシカティックの様に戦火を生き抜いてきたとか、ラリアットを打ち過ぎて右ヒジが曲がったままとか、そんな苦勞を売りにするような奴は大嫌い。倒れているスミス2世を蹴ったので100万円払え！安い席だったせいかわかりませんがルール説明が全くわかりませんでした。反則なのに100万円払わないの？休憩後にしては最悪。スペシャルマッチ2、皆ワクワク

していたけど、自分はスミス2世がとて残念で、ルール説明も聞こえずらくてイライラ。入場時、黒澤のテーマ曲がコム口。「スピード2」のテーマ曲が響く、ゆっくりリングヘ向かう黒澤、もの凄く大きいメインダート、前の試合の消化不良も手伝って盛り上がる。しかしケガをしてしまっても止めないし、ロープエスケープも納得出来なくイライラ。黒澤もメインダートも可哀想だったと思った。

第五試合、皆もイライラ。途中、うとうとする。リングを突き破ってアンダーテイカーとステイニングが出て来てキモとスパインをリング下へ連れて行って欲しいと本気で願う。左後ろの席の外人さんがエキサイトして叫ぶ、叫ぶ。外人さんのお陰で目がさめる。ヒヤリングが苦手なので「ファッキン、キモ！」位しかわかりませんでした。もうキモもスパインも呼ぶな！もう来るな！やる気がないんですもの。「マガジンW Oooooo!」の編集部の人が「後樂園ホールならブーイングは起きなかった。」とか書いていた。マエダコール大合唱。

謎の休憩第2弾、この頃になるとKRSを恨むようになります。寺田恵子のテーマ曲が何回も流れます。何となく洗脳されている気分。

メインイベント。ヒクソン入場、ムチャクチャ格好良い。ガウンを欲しがる友達。自分には少し風呂上がりに見えた。高田入場、セコンドに宮戸が！喜ぶ友達。安生と抱き合う。つるつるヒクソンのブラジル国家。寺田恵子も「君が代」、「こけりーのー、むーすーう、まあでー」

長い、長過ぎる十萬石饅頭。ヨクヨウ付け過ぎ。事前に自分一人で予想していた高田タイツ予想は黒だったのでハズレ。試合開始、腰が引けている高田。事前に自分一人で予想していたファイブプロ結果予想はヒクソ

ンの腕ひしぎだったので大当たり。でもガツカリ。

寺田恵子を見失って出口へ。自分は元々、高田はフライングキッド市原よりは好きだけど嫌いだった。ダメージは少なかつた。Tシャツだって「number」に頂いた、「tradition Bies nWo 4 like」だったから少なかつたはず、友達はバリバリの「U.W.F.」Tシャツ。明らかにダメージが大きそう。何と声をかけて良いものか。アンケートを取る人達を無視して歩いた。駅について、「前田vsヒクソンをあおる絵を描くよ。」

と言いました。新宿で皆と別れました。大変疲れました。帰ってすぐ眠ってしまったので「リン魂」も「大谷vs高田」も見逃しました。

しばらくして日明兄さんが高田に試合前に協力しているのを知り喜び、高田の首が腰がボロボロなのを知り喜び、日明兄さんがKRSの文句を言うのを喜び、ヒクソンとやるというのを喜びました。

高田は最初から10月にやると決まっていたら、勝てたかとも思うようになるようにしました。何しろスタートらしいので、ガツカリして損した。前向きに考えるようにしよう。高田の敗戦は「輝かしい前田日明引退ロードの序曲」である。

選考寸前

●高田vsヒクソン戦で考えたことを書いていこうってのに、中川君の自慢話やKRSへの恨み節しか最後の最後まで書かれてなかったんで（でもスゲエ鋭いこと書いてます。まったくもって正しいです）「死ぬ」とか思いながら読んでました。でも最後の「引退ロードの序曲」のところだけ、魂が伝わってくるような渾身の字で書いてあるのを見て、少し涙が出ちゃいました。それと同時に観戦記が巨大な前フリだったことに気がつかなかった自分を恥じる思い出っぴいです。

ここからは

その他の入選作品です!

書きやあいいんだよ!

書きやあ!!

芽ヶ崎
野村直人 (29歳)
『立ち向かう勇氣』

プロレスとは何か? プロレスとは「立ち向かう勇氣」である。これが小学生の時猪木に魅せられ、以来20年以上プロレスを見続けてきた僕の結論である。忘れかけていたが、それを思い出させる出来事が起こった。高田vsヒクソン戦である。――言うまでもない事だが、本当に言うまでもない事なのだがプロレスとバリー・トウードは全くの別物である。理由は①プロレスは客から金を取って見せるものであること。つまりプロレスには興行論があるが、バリー・トウードにはない。いい悪いの問題ではなく、お互いそういうものなのだ。②プロレスの道場でのスパリングに「殴る」という概念はない。つまり、プロレスのスパリンググにおける「殴る」はバリー・トウードにおける「目潰し」や「金的」と同じなのだ。よって道場では「極めっこ」になる。「ボクシング」や「バレー」・「トウード」はお互い違う方

法で「最強」への道を探っていたのである。プロレスとバリー・トウードが全くの別物である以上、高田vsヒクソンはバリー・トウード(もしくはそれに準ずる)ルールで戦うなら初心者達が達人に挑むようなものである。ではなぜ高田はヒクソンと戦ったのか? 僕は高田が「自分への落とし前」をつけたかったからだと考えた。安生の道場破り失敗後、高田はすぐに打倒ヒクソンへ名乗りを上げると思われたがそうではなく「近い将来の引退宣言」「参院選への出馬と落馬」「武藤戦の足4の字による敗北」と次々にイメージを失墜させてしまった。もうこうなったらヒクソンとやるしかない、自分が自分でいる為にそれ以外ないと高田は考えたはずである。負けるのは恥ずかしいことではない、恥ずべきことではないが「自分のあるべき姿のために戦う」、これが高田の本音だったのではないか。そして、それが僕にとつてのプロレスなのであり、プロレスラーの強さなのである。

トだ。「猪木は今、負けるとわかってるリングへ上がる直前、何を考えているのだろうか」そう思うと涙が出てきた。今回の高田の入場シーンも同じ様な気持ちになった。リング下で安生と抱き合うシーンは感動的であった。もうこれだけで今日来た甲斐があったとさえ思った。しかし、ヒクソンはそのシーンに対してこう言った――「タカダ選手の弱さを感じた」これこそがプロレスとバリー・トウードの違いを極端に表している。そして、僕が好きなのはやっぱりプロレスであり、プロレスラーなのだ。あのシーンをみて感動してしまっただけから間違いない。高田は確かにほとんど何もできなかった。それは否定できない。

だが、僕は高田に感謝しているし、憧れてもいる。それは高田が「立ち向かった」からだ。そして、もう一人「立ち向かう」人としている男がいる。前田日明である。「自分らの青春の為」にヒクソンと戦おうとしている。正直、現在の前田のコンディションでは厳しいだろうし、本人もそれを分かっているはずがない。それでも前田は本気で勝ちに行くだろうし、それを見届けたいと思う。僕は出来ればヒクソンには飯塚やカ・シンに挑戦してもらいたい。観客動員力やヒクソンのギャラを考えると難しいだろうが、プロレスに道

追記

僕はヒクソンの「柔術セミナー」に参加したことがある。初めの挨拶の時、ヒクソンはやや緊張気味に見えた。ヒクソンはマシーンではない。生身の愛すべき男なのである。

京都市
弘田陽介 (23歳)

『ありがとう、そしてさよならプロレス』

数年前から非常に奇妙なプロレスの見方をしていたように思う。プロレスの中にプロレス的なものを躍起になって見出そうとしていたのである。これは、非常にパラドキシカルな言い方になるが、私の中でプロレスとプロレス的なものが分離してしまっていたからである。

「私はプロレスとは何かがいまだにわかりません」

子どもの頃、私はプロレスを見てきた。しかし私にとって、今のプロレスの中には、プロレスという名詞で語れるものしか見えないのである、残念ながら。昔はずっとよかったと今をやらバカにしてみてもしょうがないのだが、私はプロレスからプロレス的なものを取り込み成長してきたと思う。私はプロレスと大阪スポーツに育ててもらったのだ。プロレスにはなにか言い得ない、プロレス的なものとか言い得ないようなものがうごめいていた。私が金曜夜8時から見ていたものは、プロレスであり、かつプロレス的なものだったのだ。とても当たり前のことだ。

そして、大きくなるにつれて私は

プロレス的なものをプロレス以外のものにも見出すようになった。このことは逆に言うとプロレス的なものが私を動かす行動原理となっていたのである。あらゆる場面で、私の現れとしてのプロレス的なものを見出すことができた。しかし、皮肉なことに、ここにきて肝心のプロレスからはプロレス的なものを見出すことができなくなってしまうのだ。プロレスの中にプロレス的なものを探そうか。こんな悲しいことが他にあるだろうか。ないから探すのだ。

私はもうプロレスにお別れを言うときだと思った。私が大人になったのか、それともプロレスというジャンルが変質したのか、それはわからない。だが、確実に言えるのは私とプロレスの関係が変わってしまったという事だ。別れには何か踏み切りが必要だ。だから、私は周囲の反対を押し切り強引にPerfECT TVを購入し、私にとってのプロレス最後の日待った。もし高田が勝ったら、と私は思った。そうすると、もう一度私はプロレスが好きになれるかもしれない。でも、それは喜びでありながらも一つの驚異であった。

そこにはプロレスがあった。神秘的な修行僧的な男が醸し出す幻想。日本からブラジルへ、そして日本へともう一度戻ってきた「こころ」という幻想。それに対し、今度だけは幻想を再びと戻ってきた男、幻想を打ち砕きに行くことで幻想を増長させた男、真剣に勝負を訴えながら泣く泣く故郷から去った男、すべてを背負い、プロレスを背負い、ファンを、そして私を背負った男の幻想。そしてその男を育て、同じ時間を過ごした男達の幻想。一方の幻想はあっさりもう一方を弾きとばした。一方は膨らみゆく幻想を体現するものとして、そしてもう一方は萎みゆく幻想を体現するものとして。

そこにはプロレスが確かにあった。最高のプロレス的なものが、そしてすべての時間がそこには確かにあった。だから、ありがとうなのだ。だから、さようならなのだ。

福島県

武田公文 (16歳)

『飛び出せ! 天才!!』

「勝てば儲けもんって感じ……」そう発言していた時点で既に高田の敗北は見えていた。紙プロ誌上での勝敗予想も苦しい紛れな故意の空騒ぎでしかなかった。試合直前の焦燥感、試合開始時の及び腰、試合中の硬直、試合後の号泣! どれ一つ取っても高田はプロレスラーらしくない弱気に満ちていた。実は、2年半前の引退表明の時点で高田は終わっていたのだ。

プロレスファンが求めるのは「勝ち逃げ」なんかではない。ストロングスタイルを前面に押し出して圧倒する確かな手応えが欲しいのである。その第一歩すら踏み出せなかった腰抜け高田は雪辱戦など諦めて、第一線のレスラーに道を譲るべきである。高田の仇打ちを訴える前田なんかも前倒しにして、我々はもっと説得力のあるレスラーを総出で送り出さなければならぬ。

今、バリー・トウードに最も近いレスラーは、佐山聡だ! 15年経って益々強く華やかに進化した勇姿には新たな歴史の始まりを予感せずにはおれない。佐山が日本に持ち込んだグレイシー柔術がプロレスに揺さぶりをかけ、折りしもその佐山自身がプロレスのリングに立った今、両雄が向き合う図式は誰もが熱望する流れである。そもそもグレイシー退治

は佐山のライフワークでもあるのだ。

背広姿で新日マットに立っただけでも感激したのに、遂にマスクを被った試合まで見せてくれた事は、本人も出番を自覚している様子で好感触だ。仮にもお前は虎になれ! の流れの中、初代タイガーファッションでヒクソンと対峙する運びとなれば、東京ドームは爆発だ! もはや天才には天才を以て制しなければならぬ時が来たのだ!!

山梨県

橋本久 (33歳)

『グレイシーの問いかけに答えろ』

「高田・ヒクソン戦」が決まった後

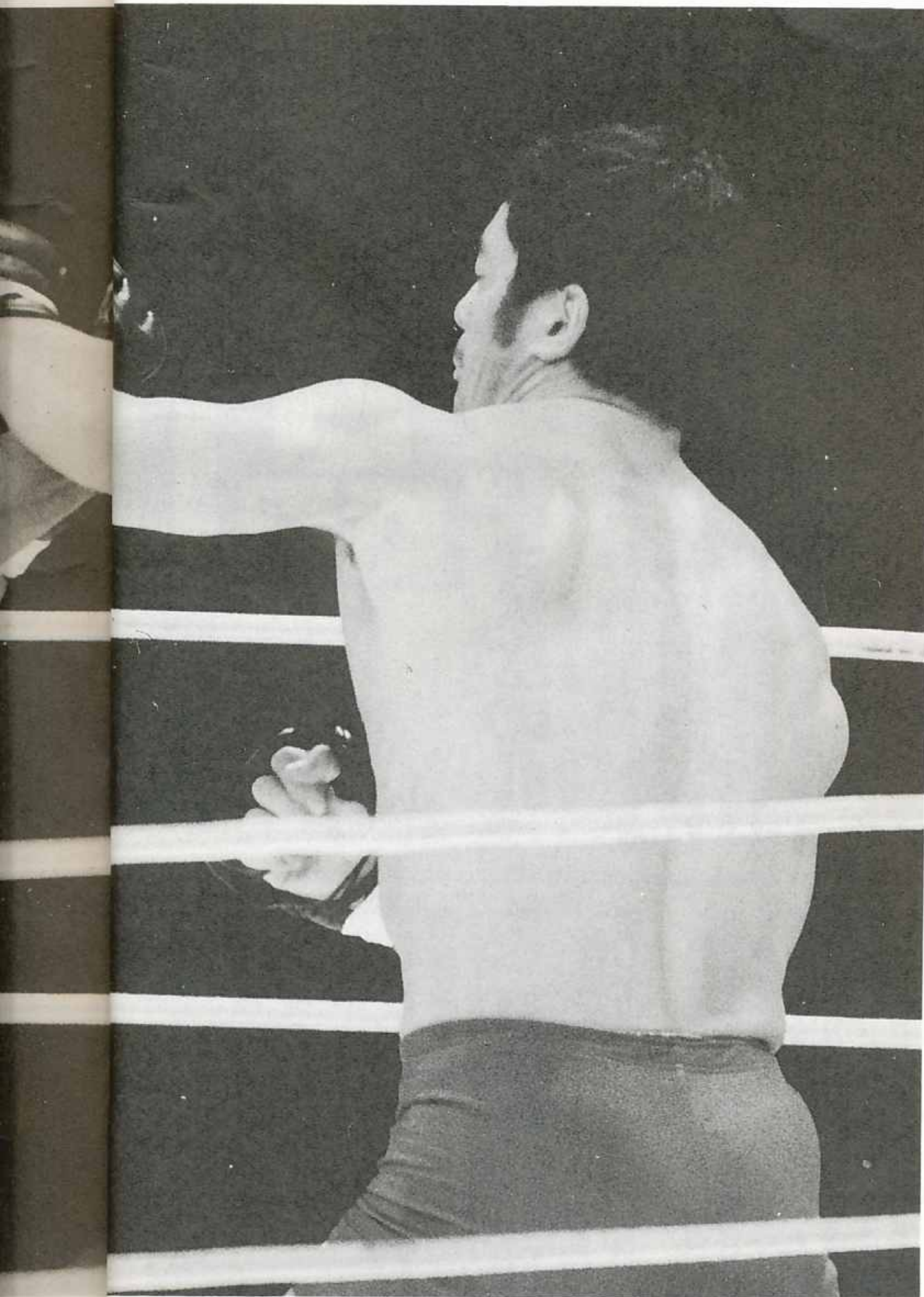
も、終わった今もプロレス界の反応は鈍い。プロレス界及びプロレスラーは、今こそグレイシー柔術がバリー・トウードという方法論で提示した問いかけにきちんと答える必要があるのではないか。

グレイシーの問いかけとは何か。それは武道の立場から、すべての格闘家に対して「あなたは最強を決めることができるバリー・トウードの試合をできますか?」そして「何で、もありの実戦において、あなたの技術は有効ですか?」ということであった。言い替えば、「プロレスの暗黙の了解は八百長ではありませんか?」という問いかけなのだ。

この問いに答え、グレイシーやバリー・トウードに関わらなければならぬ。無視してかまわないのは、例えばボクシングのように一つのジャンルとして確立したスポーツ格闘技をやっている場合である。立嶋篤史

選手は「キックはキックだ。他の競技と比べないで欲しい」と言ったが、格闘技をスポーツと考える立場に立てばまったく正しい意見である。つまり格闘技をスポーツ化させ、スポーツ性を追求するならば空手でも柔道でも総合格闘技でも、グレイシーの問いに答え交流する必要はまったくないとはいえない。

しかし、格闘技にスポーツ性(ルールの範囲内での強さ)ではなく、武道性(実戦での強さ)を追求する格闘家は、グレイシー柔術やアルティメット大会というものに向かい合わなければならない。空手をスポーツとしてやっている人もいれば、武道としてやっている人もいる。総合格闘技をスポーツとして一つの確立したジャンルにしたいと思っている人もいれば、最強を求める手段としてやっている人もいる。同じ競技をしていても、その人がその格闘技になにを求めるかでグレイシーとの関



わり方がまったく違ってくるという

と思ってます」

わり方がまったく違ってくるということだ。

ならばプロレスラーは、どうなのか? やはり同じことなのだ。G・馬場は「プロレスはプロレスだ」と言った。スポーツでも格闘技でもない、プロレスはプロレス。何とも潔い表明ではないか。これならグレイシーは入り込む余地はない。一方、プロレスは格闘技だ、それも世界最強でありキング・オブ・スポーツだ、と言うプロレスラーもいる。もしそう思っているのなら、最強を名乗るグレイシー柔術とその頂点に立つヒクソン・グレイシーを無視することはできないはずである。だから高田は戦った。そして敗れた。この結果についてあいまいな発言しかしないプロレスラーに聞きたい。プロレスに何を求めているのか立場をはっきりしてください、と。今プロレスファンは、プロレスラーに単純明快な強さを求めはじめています。

グレイシーの問いかけはファンからの問いかけでもある。答えによってはプロレスはファンから見捨てられることになるだろう。

横浜市

吉岡隆二 (20歳)

『高田よ、何も語るな!』

キングダム11・3後楽園ホール大会で開かれた高田延彦記者会見の記事を読んで、ボクは非常に不快な気分になった。

なんだこりゃ。

高田は何を考えているんだ!?

「自分の力は間違いないと出てないし、あれが本当の力だと思われたくない。ぼくの力がちゃんと出ていれば必ずいい勝負ができる、あるいは勝てる

と思っています」

読んで呆れた。バリー・トウーとか、柔術とかいうものは、相手の力を出させずに勝つのが当たり前の。ぼくの力がちゃんと出ていれば! そんななんだったら誰だって勝てるよ!

「ルールに関しては反則じゃないものが反則にとられていた!」

ルールのせいにするな!

島田レフリーのせいにするな!

誰も書かないけど、あの試合を裁いた島田レフリーのプレッシャーは相当なものだったはずである。前日までヒクソン側と揉めていたという話も聞いた。そんな島田レフリー、バトラーツとキングダムが揉めているという噂も聞いた。高田よ、人のせいにするな!

今のところ前田日明だけが公式にリベンジを宣言している。高田も、「がんばってほしい、勝ってほしい」といっている。

自分のケツは自分でふけ!

雑誌の投稿欄などを見る限り、高田を批判しているものは少ない。ヒクソンが強すぎたからしょうがない。せめて高田の勇気をたたえよう、といったものばかりである。つまり、高田はファンに同情されているわけである。

高田よ、考えているヒマがあったら動け。

キングダムの選手も、みんな強くなっている。もはや、インターとはちがう。高田の居場所はないかもしれない。リングス参戦も噂されているが、そんなことをしたらファンは幻滅するだろう。

このまま高田は落ちていくのか。ファンに、マスコミに、レスラーたちに同情されるだけの存在になるのか。

そんなんでいいわけない!

同情なんかクソくらえだ!

もしかしたら、記者会見で言い訳めいたことを言ったのは「同情」に

対する反論なのかも。高田流のダンディズムとも考えられる。

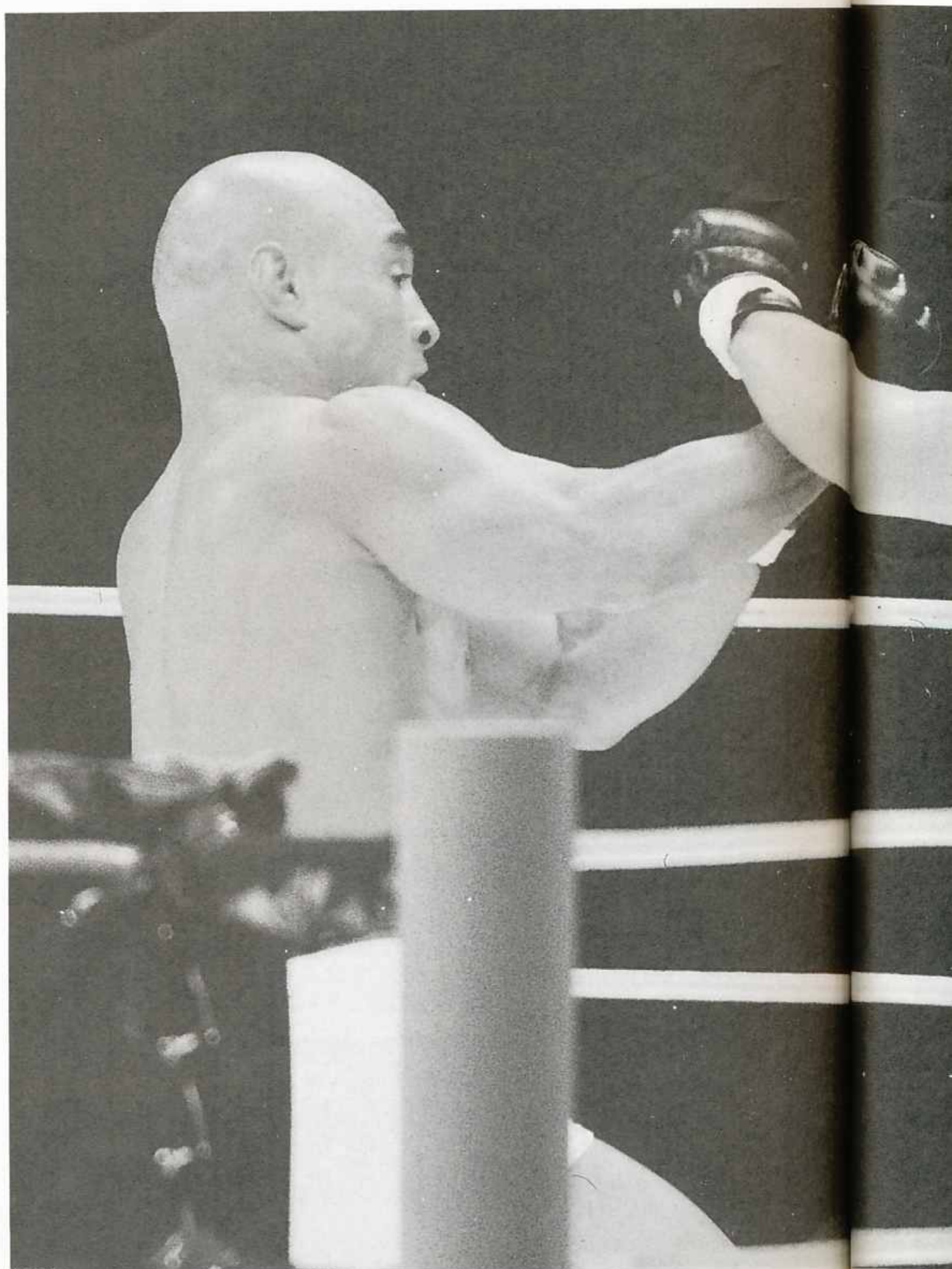
なんだかんだといっても、ボクはプロレスファンだ。高田ファンなんだ! だから高田よ、今は何も語るな。言葉はいらない。ただひたすら刀を磨け。いつか来る復讐のその日のために…。

横浜市

BOM-BAYE

『グレイシーの強さ』

高田が完敗した。当然の結果である。なぜならグレイシーに対する認識が甘すぎたからである。高田が弱



いとは言わない。しかし、彼の戦い方を見る限り、グレイシーに対する認識が甘いと言わざるを得ない。

高田が勝つと予測した前田や藤原、その他諸々の人の戦前のコメントを見ても、いかにグレイシーに対する認識が甘いかがわかる。

唯一、グレイシーの強さを認めているプロレスラーは船木だけである。その船木自身、グレイシーに勝つには最低でも2年の練習が必要と言っている。

世間の流れは次は前田となっているようであるが、結果はみえていいる。グレイシーの強さを認めることが出来なければ、プロレスラーがヒクソンに勝つことは出来ないだろう。

三重県

熊倉一志

高田がリングインする際の表情を見た時、誰もがやってくれと思うたと思う。

10・25日明兄さんのリング上からのアピールに誰もが熱くなったと思う。

10・11高田アカンかったけど、兄さんがやる時はセコンドについてくれ!

わけのわからんヒクソン信者ども、きっちり落とし前つけたるからな! 日明兄さんが。

掲載された皆さんには、超ビッグなプレゼントをお送りします。でも、「超ビッグじゃない!」などの苦情は一切受け付けません。(いや、これホント)

あのね、読みたくないんなら
RADICALの“ラ”の字も言わないよ！ でしょ？

紙のRADICAL

RADICAL売ってるよ！
どうすんの!? なあ？

本屋じゃ注文できないよ！ どうすんの!?
俺が言いたいのはそういうことです！

断言します！

お知らせです、バックナンバーの！

創刊号



- ◎特集「プロレスラーとは何か！」
5大ロングインタビュー
高田延彦／船木誠勝／初代タイ
ガーマスク／橋本真也／タイガー・
ジェット・シン
- ◎巻末超ロング・インタビュー
前田日明
- ◎本誌だから実現できた危険騒然対談
ターザン山本vs鈴木健
- ◎売れ行き無視のバトル特集
石川雄規／小野武志／田中稔
ほかB勢総登場

第2号



- ◎特集「プライドとは何か！」
過激で素敵な脳髄直撃師弟対談
アントニオ猪木vs初代タイガーマスク
高田延彦スペシャル・ショット
田村潔司／高山善廣／TAKAみちのく
ロングインタビュー
- ◎パンクラスとは何だ
近藤有己／國奥樹真他の
若手選手徹底解剖！
パンクラスを解剖する炎上対談
- ◎爆弾炸裂
佐山聡が秘めたケンカ魂を語る！
- ◎特別寄稿
井上義啓「熊殺しの墓標」
新連載・石川雄規の「闘いの美術館」

- ◎とうとうRADICALに神様降臨！
カール・ゴッチインタビューinUSA

- ◎特集・針の穴にラクダを通せ！
船木誠勝19ページぶち抜きインタビュー
山本宜久／安生洋二／池田大輔
臼田勝美ロングインタビュー

- ◎過激で素敵な師弟対談パート2
アントニオ猪木vs初代タイガーマスク

- ◎賛否両論！
業界騒然のタブー特集
八百長論議と闘え!!
「プロレスの敵は世間だ!」

第3号



- ◎特集「落とし前」と「世界征服」97
前田日明衝撃ロングインタビュー
高阪剛／近藤有己／山本健一
アレクサンダー大塚ロングインタビュー

- ◎神様降臨！ 騒然インタビュー・パート2
カール・ゴッチ

- ◎昭和世代の凄み！
酒、女、ケンカ超過激対談
ドン荒川vs藤原喜明

- ◎世界格闘技連盟プラス1
最強カルテット座談会
村松友視／アントニオ猪木
小川直也／佐山聡

第4号



- ◎特集「RADICALは高田延彦を応援するぜ！」
高田延彦ロングインタビュー
Puffyほか有名名人33人が高田vsヒクソンを大予想

- ◎戦慄の新連載 前田日明の人生相談
リングスvsパンクラス局地戦勃発！
長井満也／柳澤龍志セメントインタビュー

- ◎酒・女・ケンカ超過激対談パート2
ドン荒川vs藤原喜明

- ◎怒涛の6大ロングインタビュー
ビクター・クルーガー／長与千種
ライオネス飛鳥／ディック東郷／愚乱
浪花／ザ・グレート・サスケ

- ◎世界格闘技連盟を語る超ロングインタビュー
タイガーキング

第5号



第6号



- ◎特集「“プロ”と“レス”融合か分裂か！」
蝶野正洋に大胆ロングインタビュー
TAKAみちのく／テリー・ファンク／
桜庭和志／近藤有己

- ◎無敵の快進撃
前田日明の人生相談&プッチ!インタビュー

- ◎総力特集 高田×ヒクソン戦、終わる
RADICAL観戦記 ガッツ石松／浅草
キッド／花くまゆうさく／仮面シュー
ター・スーパーライダー
試合直後、Puffyに独占インタビューを敢行!

- ◎打倒! 八百長論議!
ザ・グレート・サスケが素人相手にお説教!

- ◎全女分裂! 激烈インタビュー4連発
井上京子／井上貴子／角樹留造／松永高司

【購入方法でしょ?】

- 現金書留と郵便振替の2種類があります。
- 現金書留の場合

〒151 東京都渋谷区千駄ヶ谷3-11-3-702 (株)ダブルクロス RADICAL通販 係まで

- 郵便振替の場合は用紙裏面の通信欄に希望号数を明記し、00130-3-769154 (株)ダブルクロスまで。

代金は創刊号=610円 2号=660円 3号~6号=680円 送料1冊=310円 2冊=340円 3冊~4冊=450円 5冊=520円 6冊=590円

WADIMAKA

松永高司会長 ロングインタビュー

聞き手／吉田豪

interview by Go Yoshida

構成／坂井ノブ

text by Nobu Sakai

撮影／浜田孝一

photographs by Koichi Hamada

後編



みんなにいい思いさせなきや
だから、来年には大儲けする！

前号の特集『全女分裂！』の中でもいちばん反響が多かったローリング・ドリーマーこと松永高司会長のインタビューが、前号よりも質量共にパワーアップして帰ってきた！「レスラーよりもレスラーっぽい」と言われている豪傑・松永会長。どんな逆境に立たされても、バカ話をして笑っているのはさすがだ。全女が2度目の不渡りを出しても、「興行は続けます！」と高らかに宣言して、実際に興行を維持しているのだ。この名物会長の豪快な人生観、破天荒な経営観、屈強なプロレス観がある限り、女子プロレスは永遠に不滅であろう。読めば命の泉湧く、読むだけで元気になる怒濤のインタビューである。（上の写真は1974年9月4日、WWWA会長ミルドレッド・パークと共に）

あのね、読みたくなひんなら RADICALの“う”の字も言らなよ！ でしょ？

——松永会長は「10年間1日も休まない」宣言をしてみましたよね？

松永 そうです。俺はもう61歳ですから。だから死ぬまで「疲れた」とか、「休みてえ」なんて言うなと。

死ぬまで（笑）。

松永 死んだら好きなだけ休めるんだぞ、俺は（笑）。

——ダハハハハハ。最高です（笑）。

松永 ねえ（笑）。だから、働きたいって言ったって死んだら休むしかねえんだから。生きてる間、あと5年なのか、10年なのか。もう死にくだるまで働けば必ず未来が開けると、俺は思ってるからね。

だから日曜、祭日でも必ずここへ来るわけです。

——ウチの会社にも言って聞かせたい男がいますよ（笑）。

松永 もう、仕事してることに楽しくて楽しくて仕方ない。

——最近知ったんですけど、クラッシュ・ギャルズが大ヒットしていた時点でも、借金がまだ残っていたという。

松永 そうそうそうそう。

——そんなに大変なものですか。

松永 プロレスなんてあんま儲からんって、ほんと。バツと出た時は1年ですよ、いいのは。だから、昇って行くとき1年ぐらいかけて昇って、頂点極めて1年ぐらい、あとは下降線です。

——そんなに儲かれない仕事をこんな

なんなんですかね。

松永 楽しいもの（笑）。選手はリングの上でプロレス、俺は場外乱闘（笑）。

——場外乱闘（笑）。

松永 プロレスやってるようなもんですよ。

——人生はプロレスなわけですね、まさに世間とプロレスしてるという（笑）。

松永 だと思ふんだよね。

——世間ではあんまり相容れないかもしれないんですけど、やっぱりレスラーって非常識な方が面白いじゃないですか。

戦闘機を威嚇してたら ダダダダダって撃たれた（笑）

松永 うん。だから、新人を採っても優等生の子はやっぱりダメなんだよね。なにかやっぱしね、かけ離れてる奴がいいね。ダンプだって腕立て一つもできなくても、あんなっちゃ

うんだから。一生懸命練習しててね、マジメな子がそうなるかっていうと

そうならないですよ。長身にして、どっかチャランポランなところあったからね（笑）。口は悪いし。でも彼女のああいふ開けっ広げなところが良かったんじゃないですか。

——会長は北斗さんと似てるって自

分でも言われてたらしいですね、性格的に。

松永 北斗？ 似てねえと思うけどな（笑）。でも、自分がこうと思ってると駄々っ子みたいにはが非でもそれに持っていこうとするのね。彼女

も新人の時に置いて行かれるわけよね、一人。置いて行かれるのがイヤで、連れてってほしいんで、芝居み

たいなものを打ってましたね。「頭が痛い」って七転八倒するわけですよ。で、病院に救急車で連れてってたりするわけですよ。結局どこが悪いかわからねえわけだ。すると「も

長い間生きちゃうと、なんでもありという風に思っちゃう（笑）。だから、この間も事故起こしたんですよ。事務所から家に帰る時で、夜の1時ぐ

らいですから、車通ってないんですよ。で、信号は赤だったんですけど、「赤でもいいや」って（笑）。

——ダハハハハハ。

松永 それで最後にドーンってぶつかって。「あつ、やつちゃった」って（笑）。

——ダハハハハハ。わざとだったんですか。

松永 わざとじゃないけど（笑）。「また赤だ、また赤だ、だくだ車来ねえや」って（笑）。向こうにタクシーがいたら

いいんだけど、来たの全然わかんなかったからね。だからブレーキも踏まねえで。「やっぱ赤で止まりやあ良かった」って思った（笑）。

——ダハハハ、非常識ですね（笑）。でも、いいですよ。面白いですよ。

松永 で、おまわりが「あんた、ここ赤で行ったんじゃないですか？」っていうから「赤で行った！」って（笑）。

——堂々と言いましたか（笑）。

松永 「おまわりさんの言う通り」とね。「あんた何キロで走ってたんですか？ 計算するとこれくらいですよ」と。「じゃあ、その通りでしょ」って。

——ダハハハ。ゴチャゴチャ言わな



普段は豪快に何でもワハハと笑い飛ばしてしまう会長だが、負債の話になると顔は曇りがち。債権者も「立ち直るまで待ちましょう」と言って、好意的だという。

いんですね(笑)。

松永 罰はバッチリ受けます。

—— かつこいいですね(笑)。

松永 まあ、性格がそうだからねえ。しょうがないわ、それは。

—— レスラーですよ、それは(笑)。

人としての在り方は。

松永 そうかもしれないね。レスラーと付き合ってるからね(笑)。

—— ちょっとプロレスの話になりませんが、例えばこれまで何度も客層変わってきたと思うんですけど、会長からしてみればどういうお客さんが一番いいんですか。

松永 それはまあ、一般大衆が一番いいんですね。

—— じゃあ最近の状況はよくなかったわけですね、マニア化してきた状況は。

松永 そうですね。まあ、仕方ないかもしれないねえ。こういうものだからマニアの人が毎日毎日見に来てくれると。だけれども、一世風靡をするには一般大衆を巻き添えにしないとダメでしょうね。だから、マニアから一般大衆まで巻き込みたいと。

日本全国、女子プロ一色にする。そうすると日本全国に散らばっているお金を全部かき集められる(笑)。

—— ダハハハハハ。結局、そこに行き着くわけですね。

松永 だからボク、そんなことばかり考えているんですよ、今。クルーザーに乗ってるとするでしょ、そうすると撒き餌をブワァーと撒けばサバだとかが寄ってくるでしょ。そ

こで船の下に沈めておいた網を一気に「あける!」ってあげてバケツに10杯ぐらい捕るわけですよ(笑)。

—— その姿勢がプロレスにもつながるわけですね(笑)。撒き餌して(笑)。

松永 撒き餌して、一網打尽(笑)。

—— クルーザーはいつ頃売り払っちゃったんですか?

松永 もう大分前だな。もう10年近くなるかな。何台も何台も買い換えたりして……(遠い目)。そうだ、生まれてから今日まで、何度も死に損なったわ、俺。

—— えーっ!? 突然すごい話題ですね(笑)。それは具体的に言うのと?

松永 一回はね、おふくろの腹の中に入ってる時にね。お袋が今日墮ろしにいくか、明日墮ろしにいくかっていううちに生まれて来ちゃったと(笑)。それでオヤジが見て「俺の子じゃねえ」って言ったんだから(笑)。

—— ダハハハハハ!

松永 それで5、6歳の頃、空襲ですわね。初めて戦闘機が来た時、全員家に居たんだけど、うちの一つ上の兄貴と俺とで「アメリカなんてどうってことねえや! やれるもんならやって見やがれ!」って言って外に出て戦闘機見ながらね、威嚇してた。

—— 威嚇(笑)。

松永 そうしたらブウーンって戦闘機が急にきて、ダダダダッって(笑)。撃たれた。

—— ダハハハ。

松永 それでお袋が「危ない」って軒下に入れて機銃掃射を逃れた。

あのね、読みたくなのんなら RADICALの“う”の字も言うなよ！ でしょ？

——間一髪ですか（笑）。
松永 うん（笑）。

——それが2度目（笑）。

松永 あとね、空襲があると家族で山に逃げるわけですよ。でも、俺を忘れてっちゃうんだからね。

——ダハハハハハ。置いてかれちゃったんですか（笑）。

松永 置いてかれちゃったの（笑）。それで家の真ん前がボンボン燃えるわけよ。ね？ で、ウチでニワトリ飼ってたんだけど煙で全部死んじゃった。で、オヤジが帰ってきて俺が生きてるわけよ。「いやいや、生きてるぞ」って（笑）。

——忘れてったくせに（笑）。

松永 布団にくるまって助かった。あと、もう一つ、これまた大変でね（笑）。終戦になってね。モチ竿（トリモチ）ってあったでしょ？ トンボ捕る棒。その先っちょを口にくわえてね、もう一方を地面につけてズーッと擦ってたわけですよ。そしたら、アスファルトの穴開いてるところに落ちて、ノドにドーンって刺さって。骨に刺さって血だらけになって。

——はあ。

松永 それでお袋が抜こうたって抜けないの、奥に刺さって。それでやっとなげてね。よく出来たお袋でさ、口の中見て「あつ、大丈夫」って言って、そのまま。

——ダハハハ、豪快な母さんですね。

松永 大丈夫。血がこんな出てね。あん時も死に損なったようなもんだね。あとね、田舎がある宮城県にも

行くことになったんですよ。だけど、切符代払うのイヤだったから。汽車のデッキがあるでしょ、そこに昇って梯子みたいのにぶら下がってたわけ。そうすると「お前な、その足もげるぞ」っていうわけよ、もう一人の俺が。

——行ったら、ガードレールがビュって飛んでった。1秒遅かったら足切断。——その、もう一人の俺はよく出てくるわけですか？
松永 常にもう一人の俺がいるわけですよ。
——常に（笑）。



9月12日、旧汐留駅跡地で大量離脱問題について記者会見を開き質問に答えた松永会長と植田コミッショナー

松永 そう、影武者が。そいつがいつも助けるわけね。

——今回の危機は助けてくれなかったわけですね（笑）。

松永 ガハハハ。これから助けなきゃいかんけど、もう一人の俺も大分老化してるんじゃないかな（笑）。それでちょうど、福島と宮城県の間の時に汽車が遅く

走るように見えるわけ。ね。そうすると兄貴が「飛び降りちやおうか」っていうわけよ。「金払うのもったいねえから、ここで飛び降りちやおう」てね、二人で

バーンと飛び降りた！ びっくりしたねえ。

——びっくりしましたか（笑）。
松永 ゴロゴロゴロゴロってね。そんなにスピードないと思ってたけど、やっぱあったね。あれも危なく死に損なった（笑）。

——気を付けた方がいいですか、飛び降りる時は（笑）。

松永 そういうことばかりだ（笑）。

——借金で殺されなかったことは、さすがにないですよ。

松永 借金で？……今、殺された格好になってるわ。毎日毎日支払いで（しんみり）。

——でも、まだなんとかねえ。

松永 なんとか急場を乗り越えれば、先が見えてくるんじゃないですか。

——話がぜんぜん違うんですけどね、一つ確認したい話があったんですよ。ロッシーさんの本（『やっぱり全女がイチバーン！』ベースボールマガジン社刊）にも出てたんですけど。30

歳になったら目の前に現れた人と結婚するって決めてたっていう。

松永 そうそうそうそう。

——それで、ホントに30歳の誕生日に会った人と結婚したんだって聞いたんですけど。

松永 いやいや、ボクは20歳まで坊主。

——へ？ 坊主？

松永 だから、20歳までは頭の毛を伸ばさないと。

——なんで決めたんですか？（笑）

松永 自分で決めた。一つの賭けだよ。

——自分に対する賭け？

松永 そうそう。

——勝っても何ももらえないですよ（笑）。

松永 へへへ。あとはボクは30歳になるまでは女も持たないと。だから、目の前に現れたものは自分の女

房にするもんだと。それが●ッコでも目でもいいと。

——ダハハハハ。

松永　　っていう風に自分で誓ってた。まあ、●ッコでも●目でもないけどね。

——したら偶然選手が現れた、と。

松永　　うん。だから女房は選手だったからねえ。まあ、30歳だったし、お互いに誘うともなく仲良くなって。ちょうど良かったのかなと思います。試合でも使えたしね(笑)。

——やっぱ安く使えるわけですか、奥さんだから(笑)。

松永　　そうそうそう。もうゼ口でもいいし(笑)。だから、

人がいない時は娘が腹に入ってる時もやってたしね。

——らしいですね。最初の人妻レスラーですね。

松永　　そうかもしれない。

——このロッシーさんの本の時点で「家も競売で取られた

し」っていう発言があったんですけれど。いまでもないんですか？

松永　　ないない。兄弟全部ない。

——兄弟全部ない(笑)。

松永　　俺のは競売で取られて……だって何億もする家だから、それを払わないと自分の手元に残らないでしょ。だけど競売に出せば、その債務はゼロになると。それはまた金儲ければまた買えるじゃねえかって。だから、兄弟のも去年売ったのかな。

——この時の発言では「取られた方が楽になる」ということですが(笑)。

松永　　いや、これホント(笑)。ガハハハ。守ろうと思うと大変だよと。

——守りに入っちゃダメなんですね。

松永　　また、買えるじゃねえかと(笑)。

——そういう風に思えるっていうのは何度か成功してるからですね。

松永　　うん、そうそうそう。何度かね。また、買える……買えないかもしれないけどね。

——ビューティー時代とかすごかったらしいですね。札束を足で踏んでとか(笑)。

松永　　いや、それはオーバーだけど

松永　　そうそう。女子プロが一番の生き甲斐だから。これなくしたら何があのつて。何もできないね。

——それでもやっぱり女子プロが一番ですか？

松永　　まあ、そうですね、夢があったし。これ始めた時に、やはり昭和29年に妹がプロレス入ったでしょ。

で、それでボクもついていってレフエリーをやらされたり、コーチみたいなこともさせられて、見よう見まねで覚えて。やはり、日本全国を回って、最初はよかったけど、最後の方は汽車に乗るのもみんなキセルを

回るっていうのはウチが初めてじゃないかと思うんですよ。

——でしようけど、キセルしてたとは知りませんでしたね(笑)。

松永　　ガハハハハハ。東京駅の改札出る時がちょっと難しいんだよ(笑)。

でも、一回も捕まったことないから、ガハハハハ。

——ダハハハハ。昔、旅館とかで食中毒のふりして逃げたとか(笑)。

松永　　いや、それはわからん。ボクはいなかった時じゃないですか？

——そうなんですか。なんか、長与さんが言っていましたけど。

松永　　そうですか。それで旅館代を浮かしたと。あー、

そういう話は聞いたことがある(笑)。

家なんか取られたほうがラク！ 守ろうと思つくと大変だよ

ね(笑)。それは例え話ね。お金、足で踏んだらバチ当たるよ(笑)。

——ダハハハハ。

松永　　確かにそういうぐらい、お客さんが見に来てくれました。

——家も買ったし。

松永　　そうそうそう。家を買ってことは、悪くなった時に処分できるっていうことがあるからね。だから少しでもいいものを買つていて、悪くなったらそれを売れば使えるじゃないかと。

——すべてそこに結び付くんですね。

して行ったもんですよ(笑)。

——キセルしてたんですか！(笑)

松永　　それで汽車賃を浮かしてメシ代にしたりね。汽車に乗っても、ほとんど一杯だから座れないですよ。

大阪までは地べたに座ったり通路に寝たりしていくわけです。そういうのをしていると、出来ればバスに選手を乗せて、リングとかはトラックに積んで、そういうキャラバンを組んで日本全国を回りたいっていうのがその時の発想ですね。だから、こういうスタイルで日本全国をバスで

聞いたことがある(笑)。

松永　　と思いますよ。あとは金さえ回れば一番いいですよ。そんなにお金はいらないからね、回ればいいんですよ。

——今後の新しい全女をどうしていきたいってのはありますか？

松永　　いやないよ。ただ遮二無二やるしかないんじゃないの。ただ一つはこれからスターが出てくるんじゃないですか。

——ところで、噂では、これまでピンチになると必ず誰かが助けてくれたみたいな話を聞いたんですけど。

松永 俺もそう思うわけ。ピンチになると何かができあがってくるわけ。誰かが来ると……。

——このピンチで何が来るか楽しみですね（笑）。

松永 そうですねえ……もう、使いもんにならなくなったからダメだ、パワーがなくなったから（笑）。

——それは糖尿病のためですか（笑）。

松永 もう糖尿病でダメだ。（股間を見て）立たねえし。

——ダハハハハハ。大丈夫ですよ、猪木さんも糖尿ですから（笑）。

松永 あの人もすごいらしいね、糖尿が。

——そういうわけで、お互い猪木イズムでガンバってください。

松永 はい。

聞き手/吉田豪

【97年9月25日、全女事務所にて収録】

※この取材から約1ヶ月後の10月20日、ついに全女は2度目の不渡りを出した。記者会見で松永会長は「不渡りII倒産ではありません。興行はいままで通り行っていきます」と宣言。しかし、そんな状況の中、10・26後楽園ホールに「芝居っ気はあった」（by 会長）北斗晶が突如出現。「金は貸せねえけど、試合に出てやるよ！」と粋なセリフで大喝采を浴びた。そんな状況を経た会長を再び直撃した。不屈の夢追い人魂を見ろ！

バカなことばかりやってるのは倒産しても元氣ですよー！と（笑）

——その後の松永会長つてことで、お話を聞きしたいんです。2回目の不渡りを出して記者会見してましたけど、まだ興行は続けていくんですよね。

松永 そうそう。苦しいけどね。

——なんか影響はありましたか？

松永 影響はあるよ（笑）。

——当然、新聞にも「倒産」って出ちゃうわけですからね。

松永 そうそう。ただ、地方やなんかで、「実際に切符を買っても中止に

外まったくやる気がない。

——それでですね、明日（11・21）の後楽園大会にみちのくプロレスが参戦するらしいですね。

松永 はいはい。皆さん来てくれるということ。友情出演ですよ。ホントに有り難いことで、これを無にするようなことはしたくないですね。

——サスケ社長の方から？

松永 そうそう。友情出演でノーギヤラでいいと（笑）。

——ノーギヤラ！ だけどサスケ社長のところも今は大変みたいです。

ど、自分自身をまったく曲げる気はない。

——まったくない（笑）。

松永 曲げる気ないよ（笑）。もう自分のマイペース。で、そんな本は読む気もないし、読んだって中身はわかるから。うちのことを書いたって売れねえんじゃないかって（笑）。そりゃ、どこの会社でも叩けば埃が出るだろうから（笑）。埃の出ない会社なんかないんだから、ねえ（笑）。もう言いたい人にはどうぞと（笑）。それで金儲けできるなら、どうぞと。

——なるほど。試合の面に関してですけど、後楽園大会を見に行くことにほとんどんどんん変化してらなっているのは感じるんですよ。

松永 なぜこうなったかっていうと、今まで離脱する前はト

ップの選手ばっかなんですよ。そうなるってと、お客の入りと支払いとのバランスですかね。やっぱり支払いもできなくなってくる。僕はいつもこういうことを言うんですけどね「仕事は大勢、うまいものは一人」。これがスターなんです。

——どういう意味ですか？

松永 いやあ（笑）。みんなに働かせて、おいしいものは自分一人が食うと（笑）。まあ、逆だったからね。

——「スターが大勢、うまいものはない」って（笑）。

なっちゃうんじゃねえか」とかね。だから、もう前売りはゼロに等しいと。

——ゼロ！

松永 まあ、何枚か、何十枚か。まあ、通常の半分かね。

——だから、「ちゃんとやるんだよ」ってところもちゃんとアピールしとかないと。

松永 そうだね。全女って一体どうなってるのかねえ（笑）。遊び半分でやってきたことがねえ。ただ一ついえることは、僕は女子のプロレス以

松永 ない(笑)。

—それじゃダメですね(笑)。

松永 ねえ。普通の会社でもそうだけど。仕事は大勢にさせといて一番いい思いをするのは社長だわね(笑)。でも、社長級が何十人もいたと。

—そうですね。

松永 でしょ。スターは一人か二人でいいわけでしょ。

—で、そんな苦しい時期に会長は、浜松町に常打ち会場を作るって言うてましたけど、あの計画は今どうなってるんですか？

松永 倒産したからダメだわ(笑)。

—ダメですか(笑)。

松永 ワハハ、向こうが逃げたわ(笑)。

—夢のある構想でしたよね、でも。

松永 そうでしょ(笑)。また、誰かが金出してくれりゃあねえ。まだ、諦めてないからね。

—まだ、諦めてないですか(笑)。

松永 そうそうそう。また、盛り上がってくれば、そういう話もまた持ってきてくれるでしょ。ですから、こういう風に低迷になった場合でも、あそこにいけばいつでもプロレスが見れるという会場をね。

—名前まで決まってるんですね。

松永 そうそうそう。えーと……パイレーツ！ まあ、前もいろんな夢があったけど、またダメになったあ。

—またダメでしたか(笑)。

松永 ダメだったねえ、ワハハハハ！

—今はどんな夢がありますか？

松永 夢？ 新聞折り込み広告で、金がざくざく入ってくる「Gパワー」

っていう腕輪があったのね。それを買ったんだよ、1万8000円で。

—Gパワー？

松永 (腕をつきだして) これだ、これ。

—えっ？ これですか(笑)。うっわ、ちよつと見ていいですか(笑)。

松永 新聞広告にね、「これをはめたら、ざくざくと金が転がり込んでくる」と。で、「これ買おう！」と。みんなにバカにされたけど(笑)。

—ガハハハハ。

松永 うちに帰って女房にも怒られたけど(笑)。

—そんなもん買ってる場合じゃないだろうって(笑)。

松永 で、90日以内に、それが達成されなかったら、払い戻しするって。凄いですね。今何日目ですか？

松永 2日目(笑)。

—どうですか、今のところ。

松永 だから、「これがそうかな、あれがそうかな」なんていうものがチラホラ出てきてるけど。

—運気は好転してるんですね。

松永 だけど、俺、今年は厄年でしょ。だから来年は大丈夫(笑)。

—ガハハハハ。そのうちに効果も表れてくるでしょう(笑)。

松永 夢がないとね。こんな風にね、バカなことばかりやってるのは、「倒産しても元気ですよ！」と(笑)。ワハハハハ！

—会長も元気ですね(笑)。

松永 そう。「明日、金どうするか？」

「今、金どうする？」って言ってもしょうがねえもんね、ねえんだから(笑)。

—Gパワーで乗り切りますか(笑)。

松永 乗り切る(笑)。来年には大儲けする。みんなにもいい思いをさせなきゃいけないしね。

聞き手/坂井ノブ

【97年11月20日、全女事務所に収録】



アルシオンの引き抜き問題に関しては「そういう生き方もあるだろうけど、欲しけりゃもってけ！ 借金も持っていきゃいいんだよ！ ワハハハハ！」と一蹴。VIVA！ 会長！

あのね、読みたくなひんなら
RADICALの“う”の字も言らなよ！ でしょ？

紙のプロレスDEPART

お世話になったあの人に……

こんなお歳暮

はいかが？

’97冬
カタログ
VOL.1

商品番号

②
トンパチ



後世に名が残る(であろう)人たちの
インチキ臭くも偉大な哲学的インタビュー集

【衝撃の内容】

- カリスマトンパチことザ・グレート・サスケがUFO談義で大槻に説教？
- 折原昌夫のリアル・トンパチインタビュー。これで各方面から苦情が殺到して、現在、折原は反省中
- 宇宙人トンパチことジョージ高野が前田に置いていかれた現状を大いにぼやく！
- デンジャートンパチこと松永光弘がステーキ屋オープンの野望をすでに本書で語っていた！
- その他、邪道外道・セッドジニアス・将軍KYワカマツ・矢口壹琅・ターザン山本・レッドマンの圧倒的に感動的なトークが炸裂！
- インタビューアも超豪華！大槻ケンヂ・浅草キッド・吉田豪(紙のプロレス)

【特長】

- 表紙イラストは天才・佐山聡画伯。ブタがトンカチとハンカチを持ってパチパチと手を叩いており、おめでたいのでお歳暮に最適！
- 登場レスラーたちの特製トンパチ紙相撲がついているので楽しみ2倍！楽しいのでお歳暮に最適！
- めったに読めない人たちに、めったにやらないような超ロングインタビューをしています。めったにない本なのでお歳暮に最適！
- プロレスとはかけ離れた話をしていますが、ぐるっと遠回りをしてプロレスに通じる話をしています。哲学的なのでお歳暮に最適！

商品番号

①
闘いのドンキホーテ
VIDEO



【戦慄の内容】

- ザ・グレート・サスケ & 石川雄規 vs 山賊男ガリバーX & 山賊男ガリバーXX
- 池田大輔 & アレクサンダー大塚 & 米山サトシ vs 臼田勝美 & 小野武志 & 田中稔
- 初代タイガーマスク vs 獅龍
- グラン浜田 & スベル・デルフィン & 薬師寺正人 vs ディック東郷 & MEN'S テイオー & TAKAみちのく
- 新崎人生 vs 愚乱・浪花
- その他、ターザン密葬 & 発狂の場面や、未公開の選手による「弔辞」、さらにUインター崩壊前夜のゴールデンカップス突如襲撃の様子も収録。他じゃ絶対見れない内容です！

【特長】

- 今では『紙プロRADICAL』でもお目にかかれないう亡霊落武者が見れます。時の移ろいが味わえるので、お歳暮に最適！
- みちプロとバトバトのバカ社長ズが、この日初タッグを結成しました。おめでたいので、お歳暮に最適！
- バトラーツ初のパチパチ6人タッグが実現しました！驚きと感動の連続で、お歳暮に最適！
- 現・タイガーキングが今ではもう見れない、「初代タイガーマスク」として出場。貴重なので、お歳暮に最適！

また商品番号=①「闘いのドンキホーテ」は世界経済のために、特別通販も行うんです！

①現金書留 ②郵便振替 00130-3-769154 名義：(株)ダブルクロス

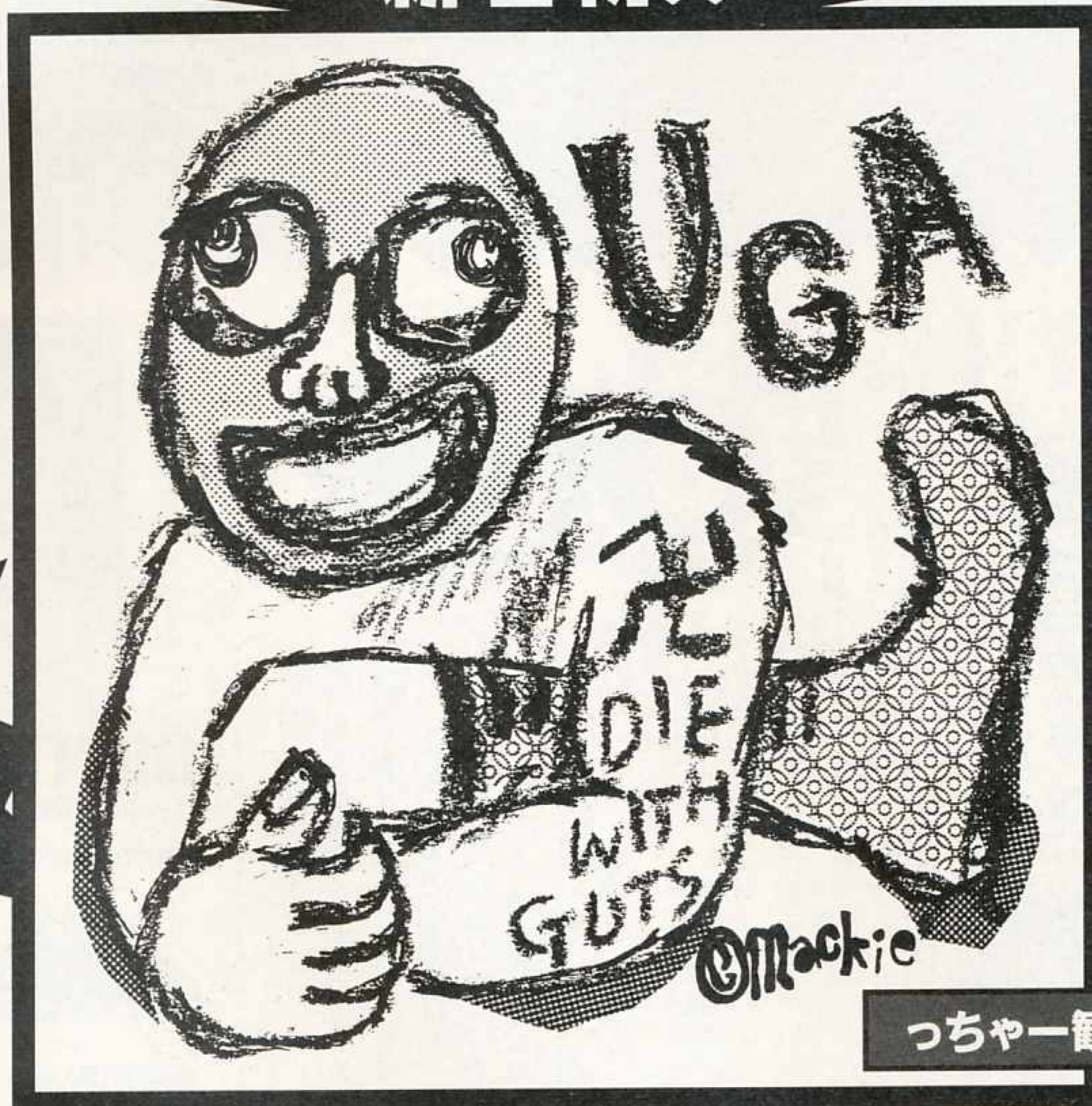
①②いずれかの方法で下記住所へビデオの料金を送って下さい。送料&税込で大出血価格7500円です。その際、住所、氏名、年齢、電話番号を明記していただかないと商品が届かない場合がありますので、忘れずに。(郵便振替の場合は用紙裏面の通信欄に記入)

〒151 東京都渋谷区千駄ヶ谷3-11-3-702 (株)ダブルクロス「ドンキホーテ通販係」まで。 TEL 03-3403-5188 FAX 03-3403-5187

RADICAL BOUT REVIEW

新名物!!

紙ぶ口的



RADICAL 観戦記

っちゃー観戦記なんですけどね

1

この日は中西&高橋も非常に素晴らしかったのですが、中原奈々デビュー戦もすごいインパクトでした。いきなり1対2のハンデキャップマッチだったんですが、相手はこの日デビューの豊田と再デビューの納見です。この2人を相手に、プロレス技を出さずに勝っちゃいました。しかも、右腕を骨折して肩も上がらないようなベストとは程遠い状態なのにです。会長も「基礎からやったら、一生デビューできない」と言うだけあって、この日もいわゆるプロレス技のストンピングにチャレンジしてましたが、蹴る前になぜか両足を揃えて一歩置いてました。一言で片付ければ「ヘタクソ」ということなのでしょうが、プロレスの基礎を綺麗にやるよりも、逆に本人の持つ迫力や地力を想像するとドキドキしてしまいました。今号のインタビューで語っていたように、中原はバリバリの不良少女で「喧嘩に負けたことはない」とうです。あのかわいいストンピングにはいろいろ考えさせられました。狭い枠にはめないで欲しいと心の底から思った次第です。

だいたいプロレスの試合会場というのは、ひねくれた見方をするとプロレスファンという人種が何千人集まる空間です。失敗したら、野次られたり、笑われますが、正確に技の懸け合いだけをしてればいいというものでもありません。まあ、それでも、失敗しても凄い人と、失敗したら目も当てられない人という2種類いると思います。そこで観客がやるべき作業は「その失敗に何を見るか?」でしょう。そこにどれだけ潜在能力や凄みを見るかがファンの大事なテーマであるような気がします。

ボクの中では失敗しても凄いレスラーは田上、安田でしたが、この日新たに中原がランクインしました。

(坂井ノブ)



タッグリーグ・ザ・ベスト'97

11/21 (後楽園ホール)

全日本女子プロレス

本日の
ベストバウト

2位
中原奈々vs
納見佳容&豊田紀子

1位
中西&高橋vs
豊田&元川

3位
サスケ&浜田&デルフィンvs
海援隊★DX



WORLD MEGA BATTLE TOURNAMENT 1997

11/20 (大阪市中央体育館)

1位 前田日明vs長井満也
(前田の試合後の長井に対する張り手の迫力込み)

本日の
ベストバウト

2位 高阪剛vs
イルユービン・ミーシャ

3位 前田vs長井戦の陰が落ちたからか、
ベストの田村が見れなかったのが残念!



安生洋二が「200%勝てる」と前田を挑発したとき、前田は「生の喧嘩見せたるか!」と激怒した。それを伝え聞いた高田延彦は、「前田さんはバカ強いよ」と、ひと言いつたそうである。この言葉にはビビッときた。「生の喧嘩」もいいが、「バカ強い」も実に破壊力がある。そうなのだ、前田は「バカ強い」人だったのである。

さて、この日の前田vs長井戦。リングスには珍しく不穏な空気が渦巻いた一戦だった。意を決したように攻め込む長井に対して、爆弾の膝をやらせて動けない前田。ふがいないく映る前田に対して、ファンからは「そんなじゃヒクソンどころじゃないゾ!!」という厳しい声が飛び、記者連中からは「前田は終わった」との声も聞かれた。

しかし、それはまったくの逆である。高田がヒクソンに敗れた要因は、開始直後の陣地取りにあった。ヒクソンは試合開始直後にリング中央という自分の陣地をシッカリと確保し、勝ったのだ。確かにこの日の前田は圧倒的に不利に見えたが、地力だけで長井の猛攻を凌ぎながらも、常に陣地を確保していたのは前田のほうだった。まるで第一次UWFでの「金的事件」——大阪での佐山戦のように、ズンズンと前へ前へ出る前田。徐々に「バカ強い」前田を垣間見た。前田のバカ強さは死ななきゃ治らないのである。

陣地——。まるでカメレオンのように右目と左目で別々の方向を見つめる冷酷さと、それとは相反する熱さを持って、前へ前へと出る無謀さを合わせて持っているものだけが手に入れられる場所。前田日明は陣地取りの方法を本能で知っている。ヒクソンとの陣地取り合戦はもう始まっているのだ。

(日昇)



BIRTH TOUR '97

11/19 (札幌中島体育センター)

PROFESSIONAL WRESTLING KINGDOM

本日の
ベストバウト

1位 金原弘光vs
パトリック・スミス

2位 桜庭和志vs
山本健一

3位 日野さんと食べた「だるま」のジンギスカン



この日は文句なく寒かった! 11月3日の後楽園大会が面白かっただけに、それに続く地方ツアーはどうなるんだろう? という興味から足を運んだ。決まてすき野ナイト・クルージングが目的ではない(好きです、恋の街サッポロ!)。寒風吹きすさぶ中、試合開始5分前に会場入りしたが、観客の入りも寒い!

客席が見えない、と錯覚したほどだ。「フロント・プロレス」が通用しにくい時代の打開策として「地盤固め」を選んだキングダム。選手のアスリートとしての「地盤固め」と、リング上の闘いを観客の細胞に刻み込んでいくための「地盤固め」。その現れがキングダム・ルールである。

しかし、いかにせん、新しい試みのキングダム・ルールを理解させるには札幌中島体育センターという会場は老朽化しすぎた。たし広すぎた(9月の別府ビーコンプラザは新しかったが広すぎた)。なにか、初期シューティングやシュート・ボクシングがプロレスのハード面を導入して行ったビッグ・マッチ、しかもコケたときの興行を思い出した。この雰囲気ではせっかく選手が「大振り」しても客席には届きにくい。

はたしてこの団体が、結局は「Uインター」という一度覚えた言葉を繰り返す九官鳥のようになるのか、過去を忘れる才能を発揮して大化けするのか、この日は少しばかり測りかねたというのが正直な感想である。あまりにも後楽園との密度が違いすぎた。

この際Uインターの一番いい時代を取り戻すことを目標にするなどというチンケな発想はしてほしくない。打倒、Uインター! キングダムが新しい闘い方と手法でUインターを遥かに超えるという、痛快な物語の方が面白い。

(日昇)



この日のお勧めは、何と言っても近藤有己vs高橋義生の初対決に尽きる。特に高橋にとつては、博多スターレーンで行われた、あのvs船木誠勝戦以来、約4年振り3度目のメイン出場なのだ。気合いが入らないわけがない。

おそらく今年、最もパンクラスで活動的だった高橋に、御褒美代わりのメイン出場&王者・近藤との一騎打ち、と思えばいいのだろうか?

試合開始直後、高橋がフツと顔を突き出して近藤を威嚇。その後は、文字通りの「シバキ合い」となった。バシッ! バシッ! そんな打突音が会場中に響き渡る。途中、高橋が一度ダウンしたが、これは本人にも「わからない」という感じの倒れ方。良きにつけ悪きにつけ、高橋の試合からはどうしても危険な香りがプンプンしてくる。正直な話、見ていて怖くなるほどだ。

例によって、リング下に尾崎充実社長の心配そうな顔が見える。そして、唐突に近藤の肩固めが決まった!! だが全体的には、高橋が王者・近藤に「プロとは何か?」を教えているといった印象。きつと近藤は、この試合でまたひとつ成長したに違いない。それでも驚くべきは、あれだけの打撃合戦にも関わらず、試合後の近藤の顔はきれいなまま。たまたま同乗した帰りの新幹線内で話を聞くと「僕には掌底は効きませんよ」と、余裕ともとれる発言。この辺は、さすがは王者、である。

一方の高橋には、新幹線に乗る前の新神戸の駅で会った。「面白ければいいスよ。メインだから」

今日の試合は面白かった旨を伝えると、折れた鼻をおさえつつも、高橋は笑いながらそう答えた。その表情は、この日一番の高橋らしさを醸し出していた。

(「Show」大谷泰顕)



© M・G・G・I・E

ALIVE IN KOBE

11/16 (神戸ファッションマートアトリウムプラザ)

PANCRASE

本日の
ベストバウト

1位 近藤有己vs
高橋義生

2位 船木誠勝vs
ジェイソン・ゴトシー

3位 山宮恵一郎vs
伊藤崇文



スクランブルサバイバー'97

11/15 (浜松市体育館)

FMW

本日の
ベストバウト

1位 冬木軍vs
非道、グラジ、ニタ

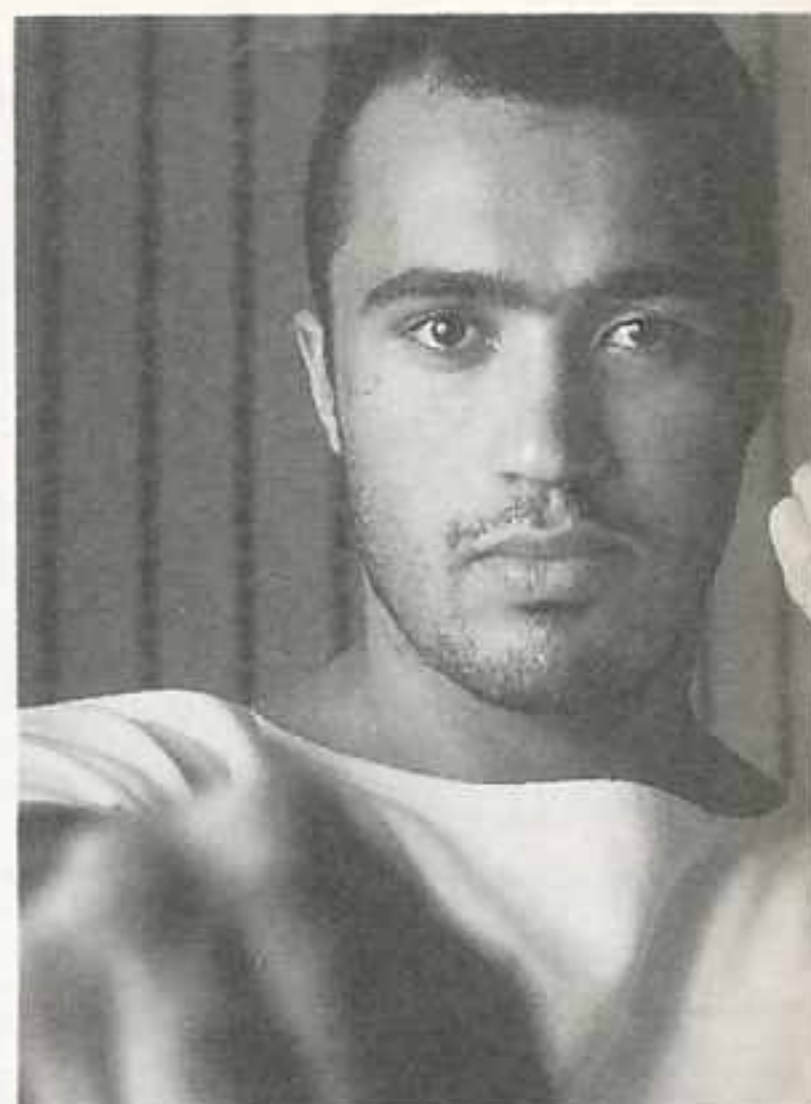
2位 シャーク土屋&クラッシャー龍泊vs
アジャ・コング&中山香里

3位 ミス・モンゴルvs
里美和



随分久々だなあと思って思ってた、くどめが引退しちゃってから初めてのFMWでした(川崎球場は一応行ったけど、2試合しか見れなかった)。しかもここは浜松。FMWで地方へ行くなんて初めてかも。って言うか、基本的に私はみちのく&バトラーツ以外で地方へ行った経験はないので……。んんん? あ、あつた! そういえばW★-ING見に行けたことある。しかも3回も!! えへ、のものもは熱狂的なW★-ING信者だったからね。しかし、今考えると何がたくて地方まで行ってたんだろ、デンジヤーのファイヤーデスマッチ? それともレザラーの五寸釘デスマッチ? ん、実に謎である。

ってそんなのFMWと全然関係ないやん! いやいや、実はそうでもないんすよ。一時期メジャー化を目指し、興行全体ずいぶん小綺麗にまとまっちゃったFMWも、最近では徐々にW★-INGに戻りつつあるような気がして、個人的には嬉しい限り。特にこの日の冬木軍VSグレートニタとその仲間達の試合は、まさに全盛期のW★-INGそのもの。中身が保坂というのがイマイチだったんだけど、とにかくめっちゃコケティッシュで目が離せなかったのがニセニタ。でも真面目にニタを全うしすぎたせいか、「ヒョーヒョー」(ニタの雄叫び)言い過ぎて、お客さんに「うるさい!」とツッコまれてる姿はかなり格好悪かった。しかもその後素直におとなしくなっちゃったりして。そういえば、この日初めて新山がいなことに気が付いた私。ZENのグラサン&モヒカン金髪の男も誰なんだか気になった私は、その瞬間点と点がつながった! そうか、ZENのアイツは新山か!……実際は全くの別人。藤田豊成さん(元オリプロ)という人でした。(のものも)



K-1 GRAND PRIX '97

11/9 (東京ドーム)
正道会館

本日の
ベストバウト

1位 F・フィリオvs
サム・グレコ

2位 A・フグvs
佐竹雅昭

3位 ピーター・アーツvs
M・ベルナルド



一回戦で佐竹が15秒で負けた。フィリオが15秒で勝った。両方とも凄く試合だった。PUFFYの由美ちゃんは「立ち技だとわかりやすいじゃないですか? 寝技だと何をやってるかわからなくなってしまうんで。立って『ゴーン』ってなったほうが『ワ』ってなれるんですよ」と語っている。これが非常に大事な要素のような気がする。女子プロレスで一世風靡を狙う全日本女子プロレスの松永会長にしても「K-1は一発勝負で勝ち負けがはっきりしてる。プロレスの場合はあまりにも技術が身に付いてしまうと、そっちばかりに気がいつて勝負ってことをどっか忘れてるわけですね」と語っている。

「一発勝負でわかりやすい」ということで言えば、この日のフィリオの一回戦などは特にわかりやすかった。素人目にはわからない細かい技術の攻防もあるのだから、勝ち方が豪快で気持ちいい。二回戦で判定負けしてしまったが、今年のトーナメントを制したのはフィリオの快進撃を止めたミスター・パーフェクトことアーネスト・ホーストである。誰もが納得の優勝であった。

K-1は会場の演出にもお金がかかっているそうだし、各地ドームで連戦している。おまけにTVのゴールデンタイムで中継している。世間に有無を言わせず、魅了してしまうのだから素晴らしい。ボクも、素直に「面白い!」と思った。「じゃあ、わかりにくいものは潰れるのか?」となると話は違ってくる。どうせわかりにくいなら、そこにどれだけ意味を持たせるか、それがポイントである。フィリオはわかりやすい試合なのに意味ありげな闘いをする、珍しいキャラクターだ。(坂井ノブ)



みちのくふたり旅'97

タッグリーグ戦
11/6 (岩手・一戸町民体育館)
みちのくプロレス

本日の
ベストバウト

1位 新崎人生vs
マジックマン

2位 サスケ&デルフィン&浜田&タイガーvs
海軍隊DX&スーパーボーイ

3位 薬師寺正人&星川尚浩vs
ヨネ原人&ペロ・ルツ



むきよー、さ、さむい! さむすぎ。しかも駅の周り、喫茶店はおろか何もねえの。八百屋しかないんだもん。すごいことだね、一戸! この、ド田舎大賞! 久々に訪れたみちのくド田舎興行だっただけに、イマイチお客さんの入りが芳しくない。こんなド田舎にも経営危機の波が! って感じなんじゃないか。

さて、肝心の試合の方はというと、意外や意外、あつたんだよ収穫が。はるばる一戸まで来たかいたつちゅーもんさ。それは何か? スバリ、マジックマンです! もうマジ、最高! チャラララというマジシャンのテーマ(?)にのって入場してくると、リング上でマジック開始。それがドヘタ。しかし、憎めない愛すべきキャラのため、大きな心で見守ってしまう。

そんなこんなで相手役の人生登場。人生さん、今日はオフなんです(みちプロではマジックマン相手の試合をオフと呼んでるらしい)。とにかくこのマジックマン、さすが素人だけあって、手品もドヘタだがプロレスもドヘタ。ちゅーより何もできない。唯一反撃したのは、凶器攻撃だけ(つつつてもクラッカー)。そして1分51秒であっけなく破れ、また手品して帰って行った。ホントに手品が好きなんだね。

試合とは関係ないけど、マジックマンが会場入りした時に、のものもちょうどそばにいて、することないからマジックマンの一挙手一投足に注目してたのね。そしたら見られてるのを意識しての行動かなんだかわかんないけど、とにかくやたら一人で喋ってんだわ。しかもチャラツとこっち見ながら。一体、何言ってたんだろ。おまけにマジックマンの荷物は人一倍多かった。カバンの中はマジックセットがいっぱい? マジかよ、マジ! (のものも)



B-MY BABY

11/5 (後楽園ホール)

格闘探偵団バトラーツ

本日の
ベストバウト

1位
アレクサンダー大塚vs
池田大輔

2位
田中稔vs
折原昌夫

3位
日高郁人vs
岡本衛



突然だが、平成維新軍のハタ坊・小原がまるで高野拳磁のごとく背中中に犬と書かれたまま呑気に試合をしているのは、後藤達俊と二人でnWoの2軍「犬Wo」を結成するため、とボクは推理するね。

……というどうでもいいネタをマクラに話を進めるが、「XWo」を提唱していた

「外人の血が多過ぎた高野拳磁」ことビクター・クルーガー(2メートル)の登場以降、バトラーツの方向性は徐々に変わりつつあったものである。前座スタイルを徹底して極めたバチバチ・タッグという安全牌を徐々に封印した彼らは「万年前座」呼ばわりからの脱却のためか、まるでアンドレへと挑んだ猪木のごとくビクターにシングルでぶつかっていったのだ。

それでも結局、「バトラーツならではのシングルマッチ」というものがほとんど見えてこない(見せるというのも傲慢な話だが、タッグの完成度がなまじ高かった以上、しょうがない)ため、非常に衝撃的(B-SHOCK)だった最初の後楽園ホール以降、正直ボクはバトラーツに対して徐々にクールダウンしつつあった。

ところが、ビクター離脱後初になるこの後楽園大会ではシングルでのバチバチにも説得力が出て、これまた非常に面白くなっていったからもうビックリ。悪いのは、あのデカブツ君だったのか? バチバチをやるには「愛」が重要だと池田はかつて語っていたが、やっぱり外人に仲間と同じレベルの愛を求めるのは酷だったのかもしれない。その代わり、池田も全日で「愛」が芽生えたらそこでもバチバチできるようになるのだろ?。他の選手も同様で、要するにバトラーツの指令は各団体に愛を広めることにあるのである。つまり永遠のラブ・ジェネレーション・バトルなのだ。愛を求めるため、今日も小野はナンパするわけなのである。(豪)



11/3 (後楽園ホール)
PROFESSIONAL WRESTLING
KINGDOM

本日の
ベストバウト

1位
桜庭和志vs
グレッグ・ダグラス

2位
山本健一vs
折原昌夫

3位
垣原賢人vs
フェリックス・ミッチェル



この日は文句なく面白かった! しかし、全6試合のうち、4試合は合格、2試合は不合格である。不合格といっても決してつまらなかったわけではなく、その2つがどの試合かは書かない。でも、理由だけでも書いてこうか。

ところで、高田の敗戦ショックを吹き飛ばす気運を高めるには、どうしたらいいのだろうか。U系のファンは、いまや精神的にも経済的にも余裕がない。Uインター時代は宮戸優光&鈴木健の「フロント・プロレス」をファンが楽しむ(反発も含め)ゆとりがあったが、いまはそれさえもないのが現状である。

そうなると、闘いそのものから、キングダムイメージを観客に突き刺していくしか方法はない。それはフロントも選手も重々わかっているはずだ。だからこそ、魔の10・11から1カ月もたたないうちの後楽園大会急きょ決定だったのだろ?

しかし、その2試合だけは、「身内受け」の匂いがして、キングダムイメージを突き刺すには、どことなく中途半端だった。

一方、実力者、グレッグ・ダグラスを破った桜庭の素敵な笑顔! 折原昌夫相手に完勝し、おまけに「これからは自分の時代です!」と言い放ったヤマケンの不敵な面構え! いいですね、面白いですね、対照的なこの二人(後楽園クラスの会場では、特に)。で、素敵、不敵ときたら、あとは無敵の快進撃を続けるスターが現れるのを待ちたいところだが、悠長に待ってはられないというのがフロントとU系ファンの本音だろ?

『最強』から『挑戦』へ——。挑戦するからには黄色信号を渡らなければならぬ時もある。突っ切るか事故るか、12・14はすぐそこである。(日昇)



試合開始前に追悼のテンカウント・ゴングが鳴らされた。選手や関係者によるコメントもなく非常に飾り気のないセレモニーだった。この日は、試合の合間に休憩時間もなく、各選手のテーマ曲も本来のものではなかった。非常にそつけない淡々とした時間が流れていたという印象である。しかしやはり、セミとメイ

ンだけは違っていた。元・ジャパン勢の試合は見ているだけで、とても切ない。元・ジャパン勢以外で異質なのはクラッシュヤー前泊だけだった。みんな何かを抑えたような、淡々とした試合ぶりだった中で、ひとりヒールのファイイトに徹していた。それが賛否両論分かれるところなのだが、あれでよかったと思う。それに今回、不参加だったガイアについても様々な憶測が飛び交った。追悼するといふ大事なテーマの他にも、もう少し大事にしてほしいことがいくつかあったと思う。葬式じゃないわけだし。そういった意味で追悼興行というものは難しいのだろ?

でも、尾崎がプラムのコスチュームを抱えて入ってきたときはジワッと来たり、フィニッシュの時の関西もさすがだったし、デビルを交えた4人で試合後に挨拶するシーンも忘れられない。あと、メインの試合前にレフェリー小鉄が披露した、見たこともないような準備運動も……。

この追悼興行は、大いに意義もあったし、やってよかったと思う。このプラムの事故で何が改善されるのか? 残されたプロレスに携わる者たちが何をもって供養をするのか? 問題はいろいろある。というわけで、この日はボクも本当にしんみりしてしまった。合掌。(坂井ノブ)



永遠のプロレスラー
その名は
プラム麻里子
PLUM MARIKO
10/30 (東京・大田区体育館)
JWP

本日の
ベストバウト

1位
尾崎魔弓vs
C・鈴木&D・関西

2位
元川恵美vs
西堀幸恵
(レフェリー・キャンディー・奥津)

3位
中山香里vs
クラッシュヤー前泊



PANCRASE 1997 ALIVE TOUR

10/29 (後楽園ホール)
PANCRASE

- 本日のベストバウト**
- 1位 高橋義生 vs 金宗王
 - 2位 國奥麒麟樹真 vs ガイ・メッツアー
 - 3位 伊藤崇文 vs 美濃輪育久



この日は船木&鈴木が出場しませんでした。東スポのマシン眼にそのことを叩かれてしまったが、そんなのはお構いなしにこの日の後楽園ホールは満員でした。

試合には常に完全燃焼の快感があるので、ボクは大好きです。ハイブリッド・ボディーとはかけ離れた、昔ながらのプロレスラーのような筋肉の付き方もグーです。豪快な負けっぷりは目を引かれずにはいられません。この試合でキムも打撃を出すのですが、高橋の一発とは重さが明らかに違うので簡単にダウンを取られてしまいます。そして、最後には強烈なニーを喰らったの壮絶KO負けでした。クールに徹した高橋も良かったと思います。

あと、この日、目に付いたのは國奥のヒラヒラの付いた「かわいいパンツ」です。鬼塚勝也なら似合いそうですね。『週プロ』によれば、これを見た観客は「嬉しそうにどよめいた」そうです。どよめきに参加できずに笑ってしまったボクとしては、國奥の「かわいい観」がすごく気に入ります。

そして、全試合終了後に船木、高橋、尾崎社長がリング上から前田日明&リングスに絶縁宣言をして、観客の大半が歓声で受け入れていました。それぞれのトップの印象から、もっぱらリングスファンに積極好戦派、パンクラスファンに消極鎮国派というイメージがあります。が、高橋の一連の行動は、理念とか思想に縛られない「売られた喧嘩は買う」という自然の摂理に基づいており、個人的に好きです。個人の生き様と団体の理念の衝突は、これからのパンクラスの重要なテーマではないでしょうか？

(坂井ノブ)



モハメド・アリ かけがえのない日々

(渋谷シネマライズで公開中)
アスミック

- 本日のベストバウト**
- 1位 バンフレットのアリ語録
 - 1位 アリ vs フォアマン
 - 1位 アリの記者会見すべて



この試合が行われたのはボクが生まれる前だし、猪木 vs アリ戦が行われたのもボクが生まれる前だ。正直言って、『アリ体験』のないボクには凄く新鮮だった。「古いことは新しいことであり、新しいことは古いことでもある」というカール・ゴッチの言葉は正しい。「動くモハメド・アリ」は非常に面白かった。

猪木 vs アリ戦だって、今の時代でそれだけのリスクを背負えるボクサーは見当たらない。本気で実現させた猪木さんもすごいのだが、そういう意味でアリはハイリスク・ハイリターンな試合に挑めるスケールの大きな「プロレスラー」だったのだと思う。

で、この映画は、キンシャサで行われたヘビー級選手権モハメド・アリ vs ジョージ・フォアマンのドキュメンタリーである。その一戦にたどり着くまでの流れ、散りばめられた伏線の張り方、途中で起こるハプニングなど、プロレスの要素が満載である。同じ黒人でありながら、巧みな話術とパフォーマンスで大衆を味方に付けるアリと、「ボマイエ (ヤツを殺せ)」などと言われてしまう若き日のフォアマン。完全にベビーフェイスとヒールの色分けが出来ているのも、非常にプロレス的だった。この一戦に大きく関わっていたドン・キングが、この試合後に台頭する。裏でもいろいろあったのだろう。戦前の評価も残虐な最強のチャンピオン・フォアマンが黒人社会の英雄で長いブランク後のアリを圧倒するだろうというものの。これまた平成9年に渋谷の映画館で見てもアリを応援したくなるようなボマイエ (「ボンバイエ」な展開だったのだった)。

試合内容も、非常にマンガチックでありながら、これがあまりにリアル！ここに真のプロレスを見た！「わざとらしいことこそリアル！」(b y 芳賀元太)

(坂井ノブ)



お見事！ 鮮烈な投げかけである！

これを聞いて、ハタと思い出した場面がある。

A・ブッチャーが全日本から戦場を移し、新日本のリングで初めて挨拶に立ったときのことだ。この移籍劇は昭和56年当時、大事件だった。そのブッチャーを前にアントニオ猪木はこう叫んだ。「今回ブッチャーが派閥を越えて挑戦してきた勇氣には感激し、敬意を表します。だがひとことだけ言っておきます。いいですか、お客さん！もしブッチャーが今までのようなスタイルの試合をする限り、この私には絶対に勝てません！」猪木の投げかけは瞬時にして、全日本にいた頃のブッチャーでは勝てないことをアピールし、ブッチャーの新たな戦場における変貌を予感させた。

フランクは残念ながらリングスには居着かなかったが、同じように田村の言葉は、リングスの新たな風景を期待させ、さりげなくフランクでは俺には勝てないということを示唆していた。

猪木ほどの巨大なケレンはないものの、田村の発言は、関係者やファンが気付かずにいた部分で奇妙な奥行きがある。そういえば、最近の田村のイメージは日本プロレス時代、「若獅子」と呼ばれていた頃の猪木が放っていた鮮烈なイメージと重なる部分がある。田村は不条理化する前のアントニオ猪木だったのである。あれ？それはそうと、これは9・26札幌の話だった。(日昇)

WORLD MEGA BATTLE

TOURNAMENT 1997

10/25 (東京ベイNKホール)



- 本日のベストバウト**
- 1位 前田日明の「ヒクソンとやります！SRS (KRS) のリングには上がりません」宣言
 - 2位 高阪剛 vs ボリス・ジュリアスコフ
 - 3位 田村潔司 vs ハンス・ナイマン (「田村、ヒクソンとやれ〜」というヤジに対してキッと睨んだ視線込み)

'97年12月25日 TOKYO FM ホール大会で、 バトラーツからちょっぴり小粋な X'mas プレゼント……

池田大輔



忘れもしない93年12月8日、組長がCMに出演した際、常盤貴子が遊びに来て楽屋でサインをもらったのが、このMA-1 (とにかくいっばい着込んだ)。そんな思い出の1着。

愛の性感? マッサージ。その場で5分間、小野武志が誠心誠意込めて、アナタの心と身体を揉みほぐします! 女性歓迎! 肩から胸から心まで、揉んで揉んで揉みほぐす!

小野武志



臼田勝美



(ご本人欠席のため、謎のサングラス男・J氏にご登場頂きました)
イズマイウ戦の入場時着用したボンチョ。パンツ、レガース、ニーパッド、コスチューム一式。一式だよ、一式! やっぱり呑んべえは太っ腹ってことだね。

モハメド・ヨネ



藤原組3点セット (ジャンパー、Tシャツ、スパッツ) と、旗揚げ戦から着用していた愛用の一品、黄色いパンツ。そして組長 (若い頃愛用) から譲り受けたブーツ。モハの足が大きくなったため、泣く泣く放出!

石川雄規



悪役時代でめったにサインをしなかった時期 (84年) の、タイガー・ジェット・シン の貴重なサイン色紙。あと、米米クラブの解散コンサートの時にもらったスタッフジャンパー。サイン欲しい人には当日入れませう。

これ、ぜ〜んぶ
あ・げ・……
るフケないっ!
ガッチリ稼ぐぜ、
夢の大オークション
じっくり選んで、賢い買もの

岡本衛



極真空手道着で押忍! 極真魂 (キョクシンスピリッツ) をアナタに! そこんとこ、よろしく! 押忍!

知る人ぞ知る、現・パンクラシストの箕輪選手との対戦VTR、入門テストを受けた時着用していたTシャツ (番号入り)。箕輪との試合VTRは、今となってはかなり貴重 (しかも、結果は……ニヤツ)。

日高郁人



田中 稔



藤原組、最後の大会 ('95年11・19横浜文体) で使用した水色タイツ。藤原組時代使用していたオレンジ色タイツ。今年3月、リングス「トーナメント21」1回戦で使用したハチマキ。他では絶対見られない、新弟子時代 ('93年12月) のヤバヤバ映像を収録した「田中稔秘ビデオ」。すべてサインつき! ビデオはかなり貴重です!

島田最強



オレは藤原だトレーナーと、高田VSヒクソン戦、世紀の一戦を裁いた世紀のボロシャツ。

石黒腹黒



ひさの限定、UW Fインタージャンパー。もし売れたら、一緒にお食事でもいかがですか? 1万円以上だったら誰でもいいや。

特別友情出演

※なお、田村選手、藤田選手、本間選手、サスケ社長は当日会場には来られませんのであしからず。

田村潔司 (リングス)



1・4新日本の東京ドーム大会で小嶋社長が着用していたTシャツ。2人のサイン入りでどう?

藤田&本間 (大日本プロレス)



タムタム初の単行本「赤いパンツの頑固者」(サイン入り) と、サイン入りボラ。サインはゴールド! 豪華でーす!

★すっげー豪華なモノもあれば、んぶあーと喰るモノもある千差万別、多種多様、千客万来の出物たち。再度念を押しますけど、これはプレゼントではありません! そして、通信販売の告知でもありません! 12・25バトラーツの今年最後の試合、東京FMホール大会に行った方のみ参加できる夢のオークションの出展物の告知です。わかりましたか? 「欲しい!」と思っても、会場行かなくちゃ買えませんので、そこんとこよろしく哀愁。
大会チケットの問い合わせはバトラーツまで (0489-63-0005)

★な、なんと!! 写真は無いけど、当日はサスケ社長からの出品もあります。お楽しみに♡

こんなノー天気なパンフがある限りみちのくプロレスは永遠に不滅です!

パンフは最高!!

カッコよさを前提として制作している他の団体(特にU系)のパンフとは、明らかに方向性が違うみちプロパンフ。みちプロパンフのテーマは、「カッコよさ」をも超越した「笑い」につける。経営危機がなんだー! そんなしみったれた話題はみちプロに似合わないゾー! というワケで、これからはオモロイパンフ作ってくれるかな? いいともー! って、それじゃ「笑っていいとも」やん。こっちは同じタモさんでも「今夜は最高!」。えっ、パンフは最高!って、「今夜は最高!」のことだったの……!?

バカパンフ全員集合!!



これ、元ネタ何だかわかりますか? 浪花君は、大の布袋寅虎ファン。そうです、ソースです。これは布袋の「ギタリズム・フォーエバー」(英語表記を調べるのが面倒なので、カエナにしちゃいました)だったんですねえ。ん、参った。



元ネタは映画の「フォレスト・ガンプ〜一期一会」。ガンプ(元ネタだと主人公の人名)がパンブ(受け身)。半蔵氏の細かい役作りがゲー。でも半蔵氏の心中、結構複雑だと思うけど。



元ネタは「摩天楼はバラ色に」。「やっぱりサスケには〇〇〇〇がよく似合う!」って書いてあるんですけど、〇の中に入るのは何なんでしょう? ガイジン? それともリムジン? 〇〇ジンにこだわることはないのか。んー、この場合、やっぱり「みちのく」なのかな。



もう最高! 元ネタはズバリ、ドリフ。シリーズタイトル見たときに「おいおい、笑ってる場合あったからね、このパンフを見て、そんな心配も吹っ飛びました。大爆笑に完敗で乾杯って感じ。



みちプロの写真集の広告(7号の裏表紙)なんだけど、サスケ社長の「おまえ、みちのくだる!」というセリフが何ともなあ。「みちのくはオマエだろ!」とツッコミたくなる、珠玉の名セリフ。さすがグレート!



これは18号の裏表紙です。今だから言えるけど、やっぱ夢狩人っていうタグネームはないよな。同じタグチームでも、片やロードウォリアーズ、片や夢狩人。どっちが強そうかと言ったらねえ……。



リッキー・フジ(FMW)が、チープなオフィス(当時)に現れた所を激写! それにしてもチープなオフィスに似合わない格好だ。っていうか、逆に似合ってるのかな? どっちもボロボロだし。



毎回こういったノーマルパターンだったら、別にどうってことないのに、突然ポツとあると、何かおもしろい。ちゅーか、肩の組み方が不自然。っていうか、そもそも肩組む必要性もないと思うんだけど。



これもシリーズタイトルがめっちゃくちやグーな作品。白書と白使って、うまいね、どうも。人生さんはこういうの好きなんですか?



これはシリーズタイトルだけで、珍しくあんまり凝ってない作品ですね。でも、サスケ社長は「世界の真さん」でもありますからねえ。そのまんまでもいいのか。

うっかり産声を上げてしまいそうになるくらいすばらしいこれらのパンフレットは、ぬ、ぬ、ぬびょーんと! 通信販売もやってるとのことよ。ただし! もはや在庫切れの物もあるので必ず確認することです。問い合わせ先は、みちのくプロレス(0196-26-1333)まで! 間違い電話に気を付けてね!



宴^{うたげ}から戦^{いくさ}へ——!
いまSYURABAが
始まる——!!

na na na na na na
na na na na na na!!

バトル、1998年後楽園大会第1弾!

BONJO-B

1/20 TUE
後楽園ホール
17:30開場 18:30試合開始

「ストップ・ザ・アレク!」か!? それともイカレ社長がより高い壁となるか!?
98年初頭から早くも頂上決戦実現!!

石川雄規 vs アレクサンダー 大塚

UWA世界ミドル級選手権試合
最強のチャレンジャーが名乗り!
チャンピオン・田中稔、防衛なるか!?

みちのくプロレス、タイガーマスク参戦!
虎ハンター、小野武志決起か!?
池田大輔、ホームリングで本領発揮!!

《《《《 その他好カード続出間違いなし! 》》》》

チケット料金

SRS席 6000円 (1.2列目のみ)
特別席 5000円 / 自由席 3500円
指定席 4000円 / 立ち見 3500円
(当日、席がなくなり次第発売)

チケット取扱所

チケットぴあ..... 03・5237・9999	書泉ブックマート... 03・3294・0011
チケットセゾン... 03・5990・9999	プロレスマニア館... 03・5276・0304
後楽園ホール... 03・5800・9999	CNプレイガイド... 03・5802・9999
大山アメリカン... 03・3962・6443	バトル... 0489・63・0005
チャンピオン... 03・3221・6237	
レススル渋谷... 03・3464・0078	
レススル池袋... 03・3989・0056	
アイドル... 03・3371・5211	

NOW ON SALE!

[チケット・対戦カードの問い合わせ]
バトル... 0489・63・0005



後輩に負け続ける、哀しきパンクラシストが放つ
衝撃のテレビ神奈川宣言!

富 宅 飛 駢

聞き手/Show氏ちゃん
interview by Chang Si Show
撮影/浜田孝一
photographs by Koichi Hamada

「
不
UV
最子

SP
特指

のっけから聞きますけど、『紙のプロレス』ってどういう印象ありますか？

富宅 マニアック路線でっいうか、そういう感じですね。受けとり方によっては違う種類の本っていうか。

僕は読んでいてムカつくことも多いんですよ(笑)。

富宅 結構、いろんなところを読んでますよ。誰でしたっけ？

中村力タブツ君(34歳)？

富宅 ええ、その人と大谷さんの抗争とか読んでますよ、フフフ。雑誌の編集後記とか好きなんです。全然知らない人やけど、その人の個人的なところとか書いてあるでしょう。

力タブツ君ネタ満載の『バカ日誌』は、一部の読者に大人気らしいですよ。富宅 すごく字がちっちゃいじゃないですか。あれは読むのは大変ですね。

ただ、読むと触れるとは大違いみたいで、リアル版の力タブツ君は手に負えないらしいですけどね。

富宅 でも、そんなもんじゃないですか？ 外から見ている面白人って、いっしょに仕事したら、嫌われるタイプが多いじゃないですか。「天才」とか「トンパチ」って言われるタイプの人は、特に。

まあ、中村力タブツ君(34歳)は「天才」でも「トンパチ」でもないんですけどね(笑)。ところで、今日は勝手に「頑張れ富宅飛駈」というテーマを持ってインタビューに来たんですけど、先日の神戸の長谷川悟史戦の試合後、「逃げ出そうと思えば辞められるけど、続く限りは辞めない」と言っていましたよね。

富宅 前に(全日本キックボクシングの)立嶋篤史選手が「俺が好きではじめたのに、他人にどうこう言われたくない」

云々ってあったじゃないですか。それ、そのままですよ。読んで、同じことを思ってるんな、と思いましたがね。で、普通の会社でも失敗したら「責任とって辞める」ってありますよね。でも、失敗しても最後までやって辞めるんやったらわかりますけど、失敗してすぐに辞めるなら、他の人が迷惑じゃないですか。そういう感覚は嫌っていいか、変ですよ。

あの時に「風当たりが強い」とも言っていましたけど……。

富宅 試合後のアンケートやパソ通でも評判はよくないですからね(苦笑)。でも、それはそれでしかたないと思うし、それが当たり前やと思うし。

確かに、いい気分はしないですけど、試合が組まれる限りは見たくない人でも、とりあえずは見ざるを得ないじゃないですか。でも、パンククラスの試合は見ていると疲れるらしいですから、ちょうど休憩タイムでいいんじゃないかっていう感覚ですよ。ただ、こうい

Ta ka F ku ke

11・16神戸大会で後輩の長谷川悟史に判定負けを喫した。試合後、「逃げたそうと思えば辞められる。インストラクターの道もある。でも、続く限りはやろうと思う」と悲壮感が漂いまくったコメントを出した



うことを言うと、また「プロとして失格」って言われそうですね(苦笑)。でも、プロですから。これで飯食ってますから!!

その部分のプライドはあると。ただ、『盾-TATE』のインタビューの中で、富宅さんは「プロレスラーが、

強い、弱い、うまい、下手に分かれるのであれば、決して弱くはないと思う」と言ってますよね。

富宅 弱かったら辞めると言いますよ。実力ももちろん、気持ちとかも含めてですよ。『辞める』って言われても、そう言った人が今後の生活を保証

「辞めろ」って言うけど、言った人が生活を保証してくれるのか!

してくれるわけじゃないですから。仮に辞めるにしたって、1カ月くらいはかかるじゃないですか、残務整理に。そう簡単には辞められないですよ。

——そんな現実主義にならないでくださいよ!! でも、後輩ということですよね、去年の6月に、柳澤龍志選手に負けたのが最初ですよ。

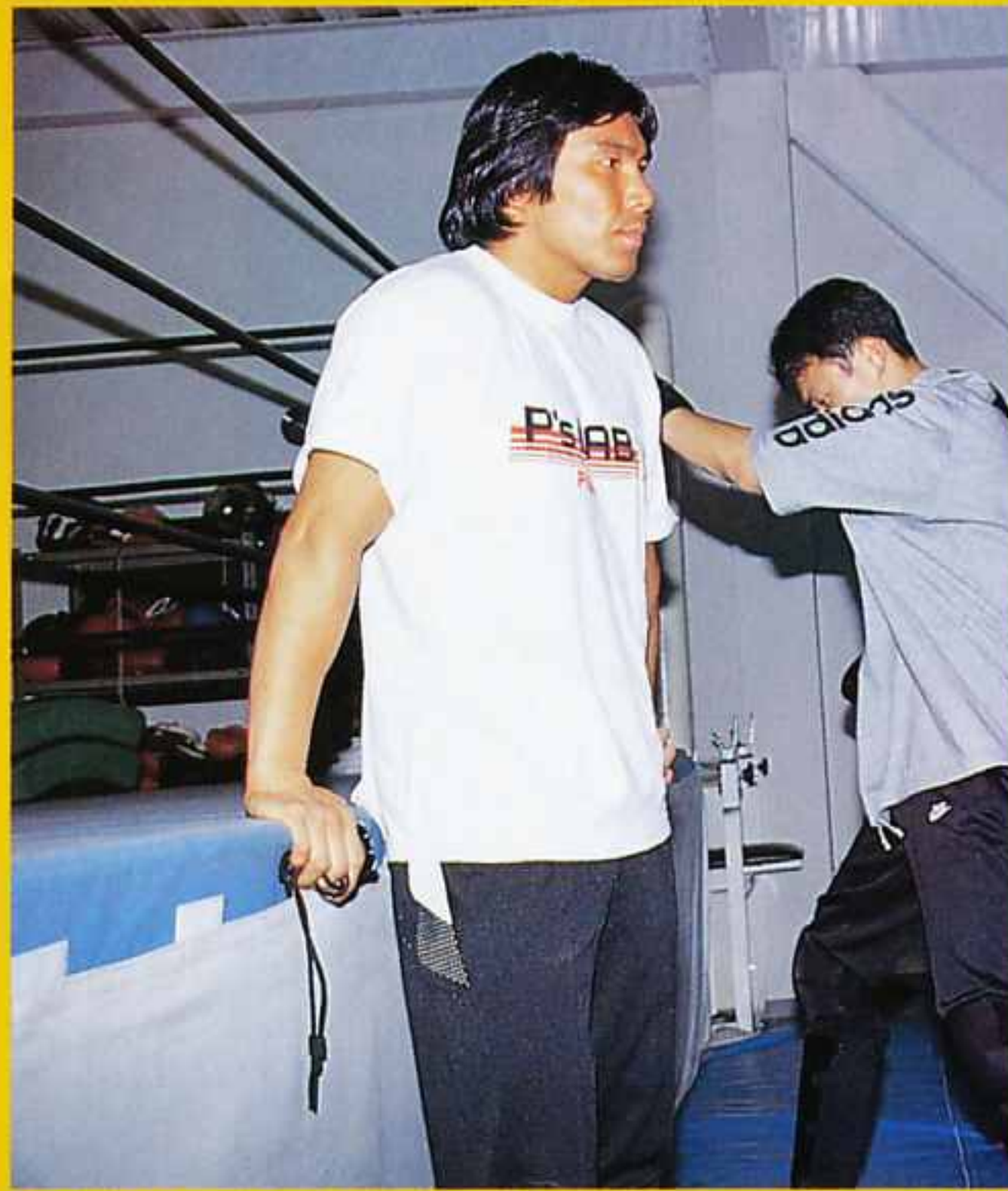
富宅 それまで練習でも試合でも後輩に取られたことはなかったんですよ。それが初めて試合で取られて。いまの感覚からすればおかしくないんでしょ。うけど、やっぱり昔のプロレスを経験してる者としては、すごいシヨックやったですよ。

——ああ、シヨックだった。

富宅 やっぱ藤原組の時でも、後輩に取られるようになったら一大事件でしたからね。それが何千人の見てる前でとなったら……。その試合は判定で負けて、おまけに骨折までしましたから。踏んだり蹴ったりでしたね。

富宅 複雑な感じでしたよ。柳澤が入門した時から見てるじゃないですか。だから、昔は簡単に勝てたのになあ。て。「悔しい」っていう一言じゃないですよ。

——でもね、例えば、勝ったとしても「つまらない」と言われる時もあるでしょう。



週1回はP's LABで指導をする富宅。U-FILE CAMPの田村もアマチュア育成を手掛けている。UWFの同期たちとの関係は興味深い

富宅 でも、勝てれば評判はいいですからね。やっぱり見る人には勝ち負けじゃないですか。新聞も結果しか載ってないことが多いし。

——同期で言えば、最近はキングダムの

——U-FILE CAMP

MPの田村選手ですね。

富宅 やっぱ道場を持ったわけやから大変やな、と思いますね。

——向こうは向こうでしっ

かりしたメインイベントじゃないですか。でも、その部分にはどう思うわなんですよ。単純にお互いの(道場の)アマチュアの話とかしたり。僕は(P's LABに)週1回ゲストで出て教えてるだけですけど、田村さんは毎日やってるわけやろうから。時間もかかるだろうし。

——拘束時間は長いでしょうね。

富宅 3週間前にも会ったんですけど、その時に田村さんが開口一番、「まあ、お互いにいろいろあるけど」って(笑)。それは笑いましたね。

——又ハハハ。でも、どちらかと言えば、カッキーと富宅さんは団体は違えど似たようなポジションですよ。

富宅 前座の壁って言うかね。昔の日本では例えば、ドン荒川さんくらいの位置っていうか。

——又ハハハ。ただ、きつとUWFでデビューした田村、垣原、富宅の三人にしかわからない世界って、あると僕は勝手に思ってるんですよ。

富宅 それはあると思いますよ。パンクラス内にしてもそうですけど、他の団体の先輩にしても、寝食をともにしてる仲間いたら、感覚は違ってくると思いますね。インタビュアーを読んでるもわかりますよ。これはこう言ってるけど、ホントはこうなんやろうとか。

——以心伝心ですね。

富宅 そういう誌面を通じての交際が(田村と垣原とは)あるんで(笑)。

——文通仲間みたいな?

富宅 実際には遠い存在でもないんで、久しぶりに会っても、微妙な関係ですよ。

——例えば、今後、田村戦や垣原戦っていうのはどうですか?

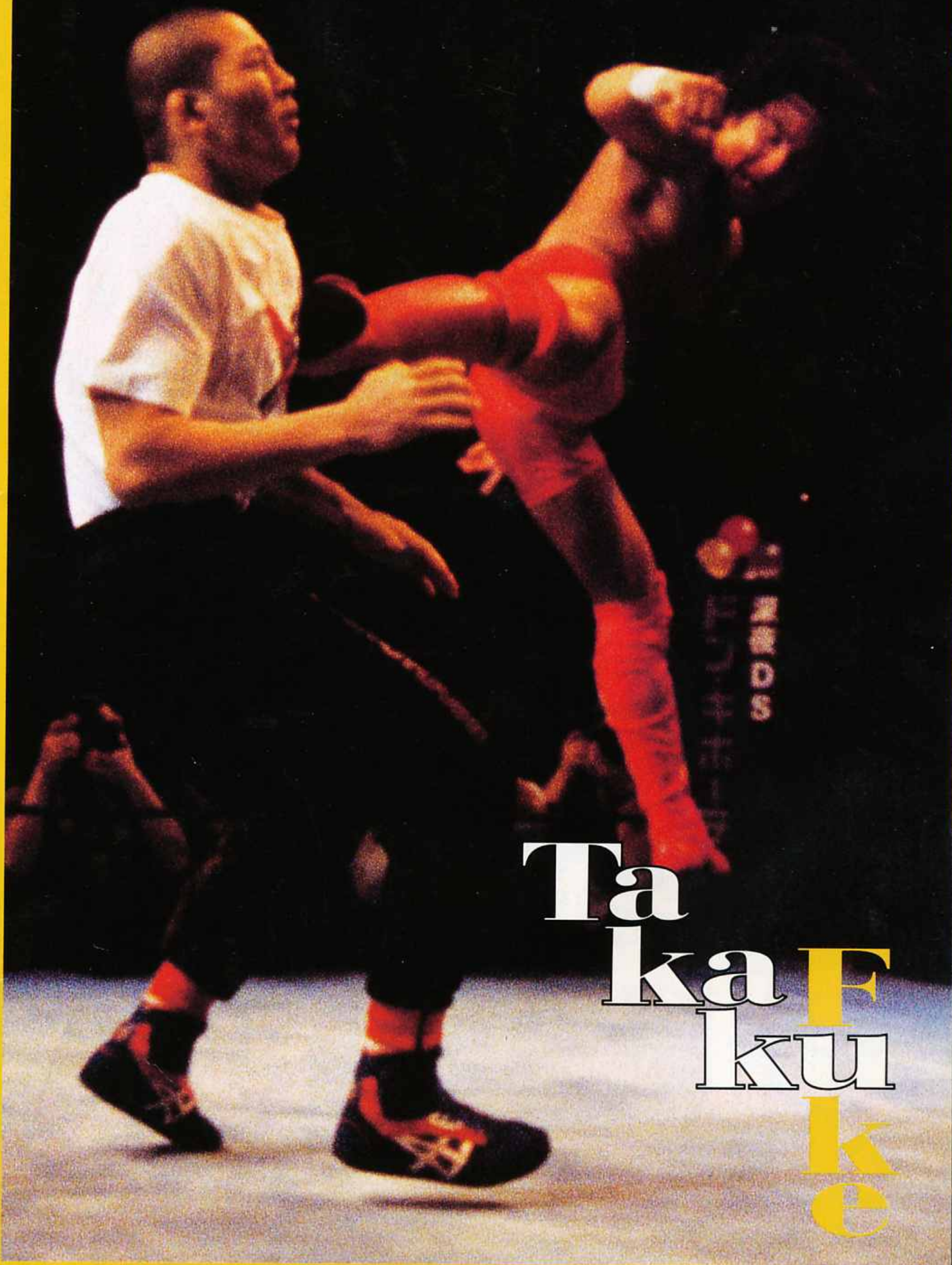
富宅 前は思ってたんですけど、いまはないですね。友達じゃないですか。だから、あえて友達同士で殴り合いをしなくても……。これからホンマに闘う運命にあれば、そういう流れになっていくでしょうし、そういう時が来ると思うんですよ。あったらあったでいいし、なかったらなかったでいいし。

——縁があればやりたい?

富宅 もしあったら、パンクラスの日本人対決とは違った感覚でつらいですね。もちろん、試合が組まれてリングに上がったならそんなことはないですけど。想像したらつらそうですよ。

——ああ、つらそうですか。勝ち続けて、「頂上対決!!」とかだったらまた違うかもしれないですよ。

富宅 デビューしてからいまままで、そんなに大きく負け越してる年ってないんですよ。大抵、ほぼ5割なんですよ。それでも負けてばかりって思われてるみたいで。確かにそんなに荒々しい試合じゃないんで、そういうイメージは強いかもしれないですね。負けてても強い印象を与える選手の方がプロとしてすごいのかもわかんないですけど、俺からしてみれば勝手ですよ。



Takafuke

こういった試合後のアピールに、富宅のマニアックなメッセージが秘められているのだ。それを読み取るのがファンの醍醐味と言えるだろう

「こうなったら、弱いと思ってるファンに宣戦布告しちゃいましょう!!」
富宅 ハハハハハ。勝ってる試合でも「引退しろ」って書いてありますからね。ということは俺に負ける選手が引退の材料になるじゃないですか。それってその選手がか弱いそうですよ。

道場でスパリングを見てるとわかるんですよ。例えば、いまは近藤有己選手がチャンピオンですけど、横浜道場では伊藤崇文選手、渋谷修身選

手の三人が五分五分に見えますもん。

富宅 勝負運の強さも絶対にあると思いますよ。近藤は「強い」っていうのが前提ですけど、ヤバイってなってもそれを自分の方にプラスに持っていけるっていうか。だから「運」もあると思いますね。それにプラスした「強さ」があるからチャンピオンになれるんだと思いますね、現時点で言えば。

でもね、『盾』TATEで富宅さんが初告白した海外プロレス修行の

話なんか、読者からの反響が『矛』『盾』を通じてベスト5に入るくらいあったんです。「まさか!」という意味で。だから僕は、どちらかと言えば硬派なパンクラスなんですけど、その中で富宅さんみたいな許容範囲の広い選手は好きなんですよ。

富宅 僕は普通なんですけど、人によつては「逃げる」やら「横にズレてる」やら言う人はおるみたいで。でも、ナンボ強くても、このスタイルでやってる

かぎり、リングに上される回数は少なくなってますよね。だからあれ(プロレス修行)は場慣れですよ。(もっと場数を踏めば)感覚が違ってくると思ってたんですよ。いまのリング上で生かせるかどうかはわかりませんが。確かにパンクラスはプロレスの中の「救いの論理」が働きにくい世界なのかもしれないけど、『船木誠勝の肉体改造法』にしたって、「脂肪はまったくなくなったらダメ」って説いてますもんね。

富宅 スタミナがなくなりますから。

だから、単純に勝ち負けで判断せずに、リング上のすべての出来事をもっと好意的に見てほしいんですよ。

富宅 藤原組の時にキックボクサーと異種格闘技戦をやったことがあるんですけど、その時に鈴木(みのる)さんと「もしもタイ人にドロップキックが当たったらすごいじゃん」っていう話になったんですよ。それはドロップキックをやるとかやらんとかじゃなしに、そういう気持ちでプロレスラーとしてリングに上がるっていう話なんですけどね。で、実際に、試合で最後のラウンドになって、掴んでも逃げられるし、打撃では対応できるわけじゃないじゃないですか。だから、そこで一瞬、ドロップキックしようかと思ったんですよ。当たったらすごいな、と思つて。

えっ、ホントですか!?

富宅 で、いまは当たり前に付けてますけど、あの時にファールカップをしてたんですよ。だから、ドロップキックをやつて着地した時に痛ならへん

かな、と思ってやめたんです。

——同じ土壌で語ったらいけないのかもしれないけど、アントニオ猪木vsウイリー・ウィリアムスの異種格闘技戦の時に、アントニオ猪木はドロップキックをやったからね。

富宅 だから、プロレスをどうのこうの言う人もいますけど、そういう人は「プロレス技はかからない」って決めつけてるじゃないですか。でも、僕は練習生の時のスパarring中に鈴木さんから実際にコブラツイストを極められたことがありますよ、グラウンドで。

——えーッ、コブラツイストを!?

富宅 ギブアップしましたよ。痛かったですもん。肩も首も腰も極まってるし。だから、確率は低いですけど、有り得ない話じゃないですよ。でも、そればかり狙ってたら負けるやろうし、それこそ違う方向にいつてしまうんで、チャンスがあればかかるってことですけど。

——いつだったか近藤選手が「スパarringでドラゴンスクリーが決まったことがある」って言ってましたよ。富宅 ドラゴンスクリーは決まると思いますよ。相手のミドルキックを掴むことができたなら。僕も一度、藤原組の時にバート・ベイルに決めましたよ(とニッコリ)。

——やっぱり決まると嬉しいですか。

富宅 10月の後楽園ホールで伊藤がドラゴンスクリーをやりましたよね。回転が逆でしたけど(笑)。

——ああ、そうさそうさ。だから、フアンは勝手に決めつけていいと思うん

だけど、それでも、いまよりも1ミリでもいいから許容範囲を広げてリング上を見てほしいです、繰り返しになるけど。

富宅 旗揚げをした頃の挨拶で、僕は「パンクラスのリングの中は個人の自由です」って言うてたんですよ。確かに



富宅は会話の途中で、突然細かい描写が割り込んでくることがあるので面白い

ルールで最低限してはいけないことは書いてありますけど、それに反しなければやってもOKなんです。プロレスだって反則は5秒以内はOKじゃないですか。

——そういうルールですもんね。

富宅 ルールで「ドロップキックをやつてはいけない」とかって書いてあったら僕もやらないと思いますけど。そ

他団体だったなら、少なくともいまよりはいいでしょうね(笑)

うじゃなくて、できるチャンスがあるんであればやってみたって気持ちはありませんね。

——ところで、富宅さんはいま何歳でしたっけ?

富宅 来年の1月30日の誕生日で29ですよ。寺西勇さんと同じ誕生日なんですけどね。

——そこまで聞いてないです(笑)。30歳に手が届く年齢のパンクラシストってどうなんですか?

富宅 昔、カール・ゴッチさんが「それまでは何を食べてもいいし、どんな練習をやってもいいけど、26になったら体のことを考えろ」って言ってたんですよ。で、ホンマに26になったら体力と、普段の練習での気力がガクッと落ちたんですよ。

——26って微妙な年齢ですね。

富宅 で、俺だけかと思ったら、船木さんも鈴木さんも高橋(義生)も、同年代の連中がみんな言うんですよ。それが第一段階で、今年28になってから、さらに落ちましたね。何て言うんですかね。闘争心がガツと出てこないっていうか。怪我の回復が遅いとか。

——やっぱり引退とか考えますか?

富宅 考えますね。

——ただパンクラスでは、まだ前例がないだけに、引退とはどういうものか

想像しにくいですよ。

富宅 でも引退は突然くると思うんですよ。

——はあ。

富宅 引退しようって思ったら、やりたくなくなると思うんですよ。他のスポーツ選手にしたって、突然引退するケースがほとんどじゃないですか。それが普通やと思うんですよ。だから、僕は今年の夏に、もうホンマあれかなと思って、何人かの人に「5年以内に引退しようと思ってる」って言ったんですよ。5年って自分の中ではかなり長いんですけど。

——えっ、マジですか?

富宅 ホンマにそう思ったんですよ。例えば、他のスポーツでもオリンピック選手とか、「25歳で引退」っていうこともあるから、おかしくないやろうと思って。でも、それが「やっぱりやろう」って切り替えることができた。「こんなことを考えてるから、体もそんなことになるやな」と思って。もう一回頑張ろうと思って、それから気持ちの部分では強くなりましたね。

——やっぱり「引退しろ」と言いたい

人には勝手に言わせておきましょう!!

富宅 ホント見たくない人は見なければいいと思いますよ。こんなこと言ったらいけないのかもしれないけど。見

見てくれる人が1人でもいたら その人のために僕はやる!

なきや見ないでもいられるんですよ。実際、僕の母親がそうですからね。

— どういうことですか? —

富宅 入場まで見るんですよ。で、入場が終わったら席を立つたりとか、そうじゃない場合でもずっと試合が終わるまでうつむいてたりとか。

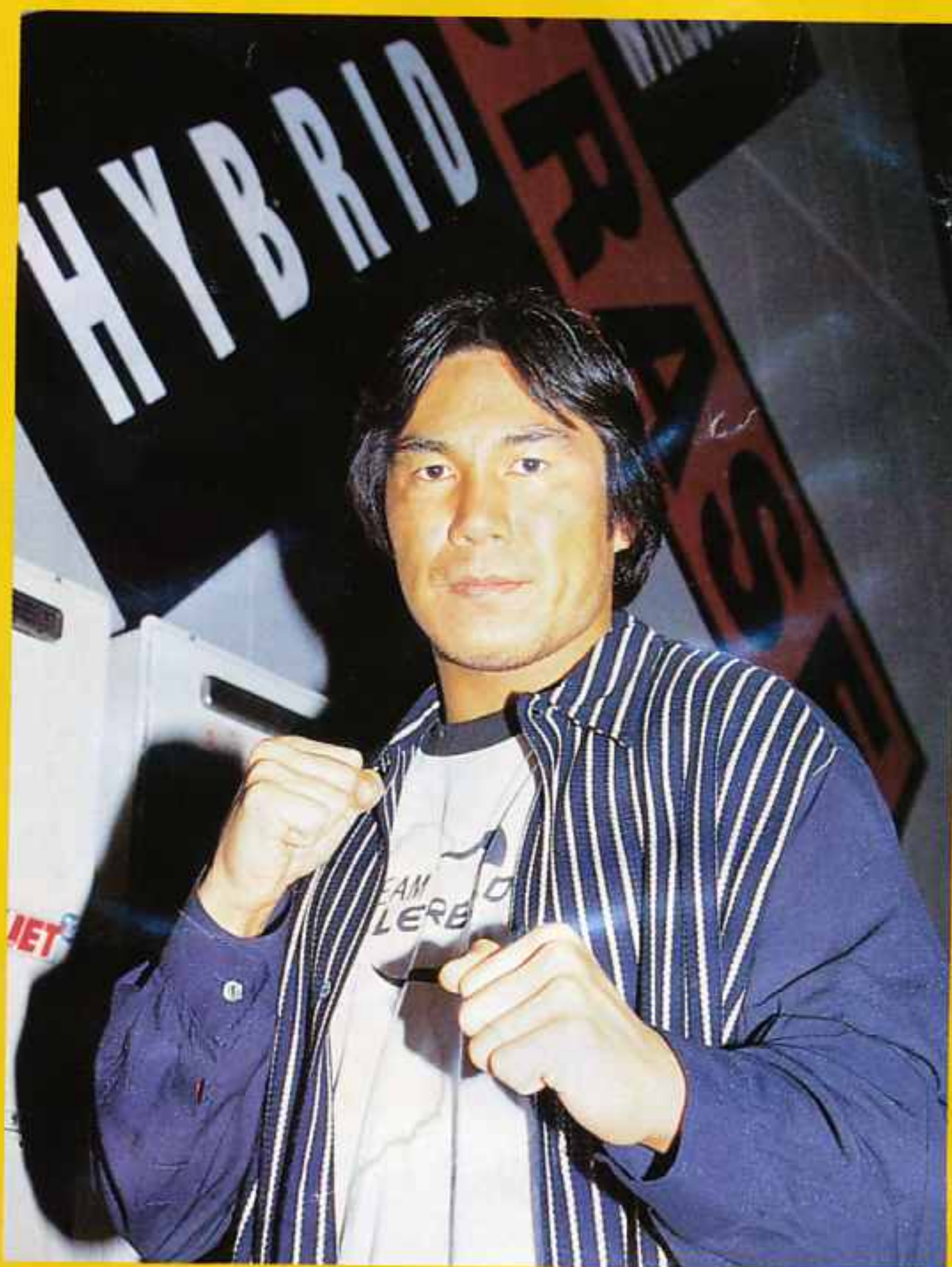
— 親の気持ちって複雑ですね。 —

富宅 きっとこの親もいっしょだと思えますよ、特に母親は。この前の神戸なんか、来てるはずなのに、試合が終わっても控え室に会いにさえ来なかったですからね。だんだんそうなるんですよ(苦笑)。で、逆にそれが面白かったりするんですよ。面白がってどうするんですか(笑)。

富宅 当然、超有名になりたいとかっていう気持ちもありますけど、僕はマイナス思考っていうか、マニアック思考も強いんですよ。ラジオの深夜放送やってるような。だから、船木さんとか近藤はテレビで言えばフジテレビのゴールデンタイムなんです。でも、僕はテレビ神奈川の昼11時とか(笑)。

— 富宅飛騨はテレビ神奈川(笑)。 —

富宅 それでも見る人はいらんですよ。だから、(富宅の試合も)世の中に



冷静で穏やかなイメージの富宅。プチ切れた姿も見たい

は見てくれる人も何人かはおると思えますよ。

— そんな何人かって(笑)。テレビ神奈川は何10万人単位で見えますよ。 —

富宅 だから、そういう人が1人でも

おったら、その人のためにやろうっていう気持ちもありますよ、ええ。そういう存在であってもやっていけるんで、それはそれで個人的には嬉しい部分もありますね。

— うらやましいですね(笑)。僕なんか総スカンですよ。まあ、いいや。 —

富宅 ホンマに総スカンを食らったら、やっていけないですからね。ただ、昔から身内受けはいいんですけどね。そ

れからオバちゃん受けも(笑)。

— 又ハハハ。何となくわかりますよ。 —

富宅 きっと、自分が関西出身っていうのもあるんですけど、いままで大阪ローカルのタレントとか、ラジオの深夜番組にしか出てない人の方が深くファンになれましたからね。深夜でも何万人の人は聴いてるんですけど。

で、UWFの時に大阪で試合があって、岡けん太・ゆう太さん(吉本興業の漫才師)が高田(延彦)さんに差し入れを持ってきたんですけど、控え室がわからなかったらしくて、僕に聞いてきたんですよ。その時に「おっ、岡けん太・ゆう太や!!」って、すごく嬉しかったですからね(とニッコリ)。

— そりゃあ、富宅さんにとってのアイドルですもんね。 —

富宅 その前にハウンドドックのコンサートに鈴木さん(と行って、大友康平さん)とかに挨拶をしに行ったんですけど、その時は「大友康平か」っていう感じでしたからね。

— プロレスファンもそういう感覚の人って多いですよ。 —

富宅 そういう意味では、ファンに近いですかね。

— ファンの発想を持ったプロレスラーってことですか? 何かインディーの選手みたいですね。 —

富宅 いえ、僕

はパンクラシストですから。

— そうか。それとはちょっと違いますね。ただ例えば、他団体だったら、もっと自分の強さが出せるのになあとは思いませんか? —

富宅 少なくとも、いまよりはいいでしょうね(笑)。

— いまよりはって(笑)。 —

富宅 でも、メインイベントにいくかって言ったら、それは難しいと思いますよ。ナンボ実力の世界やって言っても、生まれ持ってスターっていう人と、生まれ持って2位って人とは。

— ただ、他団体なりの主催者からオファーが来たら、それは当然、団体やギャラや条件にもよるだろうけど、出たいとは思います? —

富宅 内容次第で、よければ出たいと思いますね。こんな僕でも声をかけてくれる人がいるんやったら考えようっていう感覚ですね。

— そんな、もうキャリアもそこそこあるのに。 —

富宅 いや、なにせ僕はテレビ神奈川ですから。UHFですからね(笑)。

— 11月20日、P's LABにて収録 —

パンクラス 今後のスケジュール

1997 ALIVE TOUR 最終戦
12月20日(土) 横浜文化体育館大会

[キング・オブ・パンクラス タイトルマッチ30分一本勝負]

第5代キング・オブ・パンクラシスト **近藤有己**

vs ランキング1位 **船木誠勝**

[.....ランキング戦20分一本勝負.....]

ランキング7位 **バス・ルッテン**

vs ランキング8位 **山宮恵一郎**

[.....10分一本勝負.....]

柳澤龍志 vs ジョン・ローバー

※富宅選手は負傷のため欠場

1998 ADVANCE TOUR

1月16日(金) 後楽園ホール大会

※鈴木みのる&稲垣克臣 復帰戦!!

※チケット発売中!

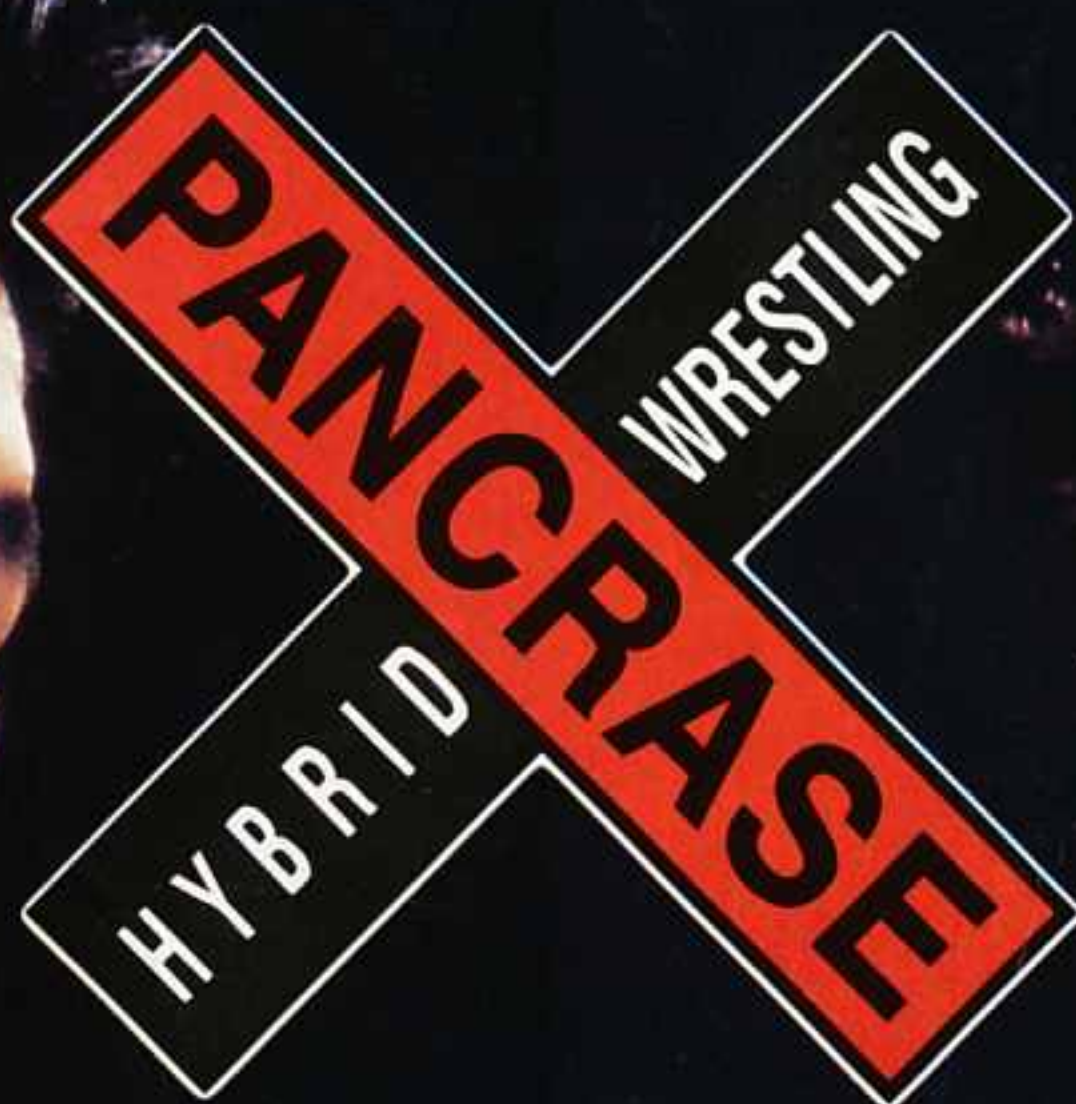
1998 ADVANCE TOUR

3月1日(日) 神戸ファッションマート大会

※1月11日(日) 10:00~

一般チケット発売開始

[問い合わせ] パンクラス 03-5792-7077



THINK!!

考える

～プロレスを語ることはパンクラスを語ることである～

完全実力価格の
各巻1200円(税別)
全国書店
プロレスショップにて
絶賛発売中!

『活字プロレス』の印籠!! パンクラス公式読本 2巻同時に衝撃発売中!!

各方面で
圧倒的に
話題独占!!



矛

—HOKO—

鈴木みのる / 近藤有己 / 山田学
稲垣克臣 / 渋谷修身 / 伊藤崇文
長谷川悟史

【スペシャル・ゲスト】

カール・ゴッチ / 佐山聡

- ターザン山本vs佐山聡『ケーフェイス』について語る!
- 「総合格闘技の未来」とパンクラスの源流「UWF」を徹底検証! 他

なぜ、鈴木みのるは叫び、船木誠勝は孤高を目指すのか!?
なぜ、パンクラス公式読本にジャイアント馬場のロングインタビューが載っているのか!?
なぜ、「神様」カール・ゴッチはアルティメットを嫌うのか!?
なぜ、この公式読本は2巻に分かれているのか!?
そして、なぜ、パンクラスはプロレスなのか!?
——以上のことを考えながらお読みいただくと、より面白さが味わえます!——

盾

—TATE—



船木誠勝 / 富宅飛駟 / 高橋義生
柳澤龍志 / 國奥麒麟樹真 / 山宮恵一郎

【スペシャル・ゲスト】

ジャイアント馬場

- 公式読本に、活字プロレスの悪魔・ターザン山本出席の非公式座談会堂々掲載! これでパンクラスの謎が解ける!
- 富宅、初のプロレス海外修行など、スクープ記事連発!! 他

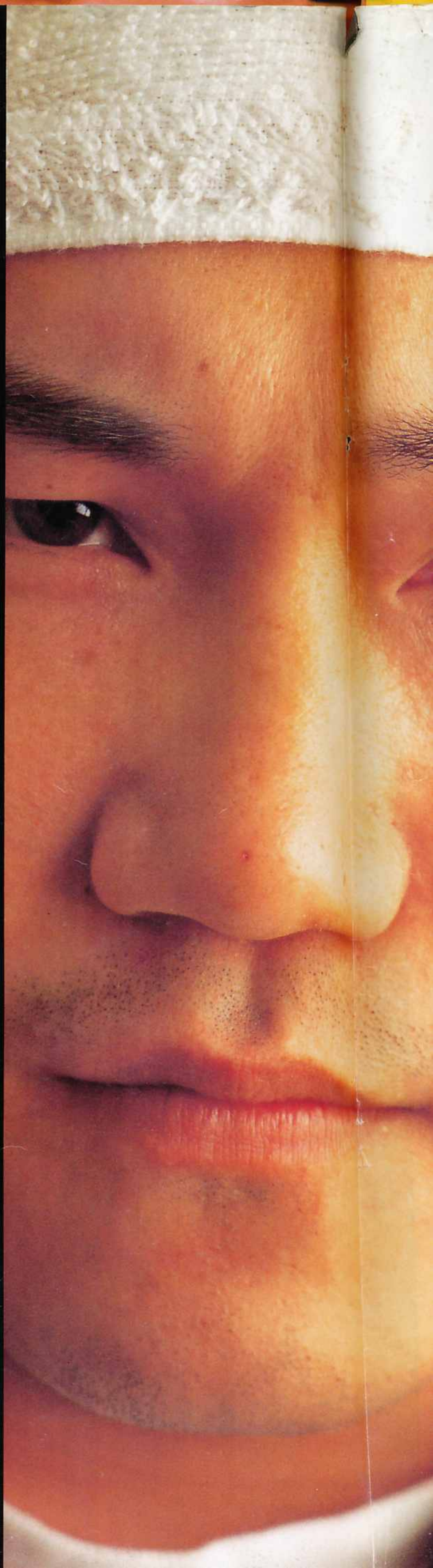


心優しき男は
弱肉強食のリングで
何を思う？

垣原 Masahito Kakihara 賢人 キングダム

聞き手／坂井ノブ
interview by Nobu Sakai
撮影／浜田孝一
photographs by Koichi Hamada

「カッコいい垣原賢人」を
これから作り上げます！



——今日は固い話はさっさと終わらせて、あとは柔らかい話をうかがおうと思ってるんですけど。

垣原 イエス・アイ・ドウ。

——ガハハハハ。最近キングダムはアルティメット戦士に挑戦しますって感じじゃないですか、方針として。パトリック・スミスやヴァリッジ・イズマイウも参戦しますよね。垣原さん的にはこういう団体の方向性ってどう思ってるんですか？

垣原 そうですねえ。まあ、経験としては面白いと思いますね。ただ、望んでやってる感じは、正直言ってしないですね。僕はもともとアルティメットはあんまり好きじゃなかったんで。

——それはいろんなマスコミでも言ってますね。

垣原 そうですね。でも、キングダム

ルールは、アルティメットからもっとスポーツライクにルールを設けてやってるんで、アルティメットに比べても全然面白いなと思いますよ。

——アルティメットはどこが嫌いなんですか？

垣原 そうですね、遡るとね、ホント長い話になるんですけど。

——いやあ、どうぞどうぞ。

垣原 そうスカ！（笑）。こんな話していいかどうかわからないですけどね。僕がものごころつか、つかない頃に、両親が仲悪くてですね、アルティメットのような殴り合いをしてたんですよ。（笑）。

——ガハハハハ！

垣原 当時4歳から5歳ぐらいでしょうね。

——お父さんがマウントパンチしてた

んですか（笑）。

垣原 してるんですよ（笑）。妹と震えながら見て。だから、生まれて初めて見た暴力って言うのは、親のマウントパンチだったんですよ（笑）。それで、無性に身体が震えて。だから、暴力は怖いものだと。自分の中でも一番嫌なものですよ。今こんな仕事してるんで矛盾もあるんですけど、僕にとってアルティメットってそういうのとオーバーラップして見えちゃう部分があるんです。ああいう殺伐とした殴り合いよりも、技術の応酬を見せるというか、闘いの中の美しさというかね。芸術性みたいなものを追求したいというのはそこなんです。

——なるほどね。いや、今までなんで垣原さんがアルティメットが嫌いなのかわかんなかったんですよ。

垣原 これ初公開なんですよ！

——でも、それでなんでプロレスラーやってるんですか（笑）。

垣原 やっぱ幼い頃から恐怖心とか、そういう気持ちをもってたから、強さ

に憧れがあったんでしようね、反動で。弱いからこそ強さを求めると。

垣原 「このままでは俺はいつまでも負け犬だ、逃げてはいけないんだ」ってことで鎧のような肉体と強い技術を身につければ、俺は臆病な生活をしないでいいんじゃないかなと。だから、ムチャクチャ怖かったんだけど、「なんとかこれを克服しなきゃ僕はビッグになれない」と思ってこの道を選んだんです。それで、新日本に上がってた頃のUWFがかっこよく見えなくて、UWFに行きました。

——なるほどねえ。で、時は流れて、UWF分裂を経て今のこういう状況になって田村選手や富宅選手ともバラバラになってしまいましたが。まあ、それぞれの団体とも互いに向いてる方向は似てると思うんですよ。プロレスの強さをいかに見せるか、という部分での闘いですよね。例えばパトリック・スミス相手に、今はリングスの田村選手が勝ち、安生選手が勝ち、今は後輩の金原選手が勝ちっていう状況で

「暴力」は自分の中でも一番嫌なものですよ

11月3日後楽園大会では、アルティメット戦士のF・ミッチェルと対戦。相手がルールを把握していなかったためグランド状態のカッキーに蹴りを見舞う場面もあったが、文句無しに勝利。



Masahito akiyama

Uの遺伝子が受け継がれる限り 終わったとは思いません！

垣原選手は負けましたけど、こういう状況はいかがでしょうか？ 置いてかれてるって感じてますか？

垣原 うん……田村選手や後輩と自分を比べたり、イライラしたりっていう時期はありましたけど、今はそれを通り越してますね。人よりも自分自身が一試合、一試合を大事にして、人々の記憶に残るような試合をやっている。だから、人は人、自分は自分だ。人が誰に勝とうが負けようが関係ないと。僕が一つの試合をね、大事に一生懸命やって、それによってお客さんが感動して、記憶に残るような試合ができるなら、それはそれでいいわけです。

あいつに負けないようにしようとか対抗意識を燃やしたりはしないんですか？

垣原 まあ、それもありますよね。でもね、僕は今、切磋琢磨するという言葉が使えないような位置にいるんですよ。もうそれぐらいドン底！ 競争の枠にさえ入らないような深海の底にいるんですよ。もう、対抗意識さえ起こらないような。

なぜ起こらないんですか？

垣原 やっぱ感じるんですよね。そういう成績の中だね。だから、変に周りの選手と自分を比べて考えるのは、も

う僕の中ではナンセンスじゃないかなと思うようになったんですよ。だからと言って競争心がなくなっちゃったわけじゃないですけど。まずは自分の中で凄く納得できるもの、納得のできる試合、そういうものを出していければ自ずとパッと周りを見たら、今まで自分が上を見て「ああ、差が開いてるな」と思った選手が隣りに並んでたり、下に見下ろしているっていう状況になるんじゃないかなと。

我が道を行くわけですね。

垣原 理解していただきましたでしょうか（笑）。

はい。理解させていただきました。この間、金原選手が試合後のコメントでエンセン井上選手とスパリングしてるとおっしゃってたんですけど、垣原選手もやってるんですか？

垣原 道場に来た場合は勿論やります。

どうですかエンセン選手は？

垣原 いやあ、もの凄い技術を持って最高に尊敬できる選手ですね。

今まで先輩で、前田さんとか、高田さんとかいたわけじゃないですか？ それとはまた違うスパリングって感じですか？

垣原 そうですね。違う感じですね。一緒に並べるのは、ちよっと違うなっていうね。僕らと学んでる技術が違う

から。自分たちにはない技術を持ってる垣原 うん。そうですね。でも、

ファンはかなりショックを受けてると

だから、それがあある限りはまだ終わってないんじゃないですか。誰も出て来な

から。自分たちにはない技術を持ってるから僕は衝撃を受けるわけで、同じことをやってればそんなに大して感じないでしょうからね。

UWFは崩壊してしまいましたけど、Uの遺伝子っていうのがズーッと残ってたと思うんですよ。

垣原 はい、はい、はい。

で、10・11に高田さんがヒクソンに敗れました。あれで盛んに言われているのがUWFの終わりだとか、Uは負けたとかいう意見なんですけど。

垣原 でも、そう言われても仕方がないですかね？

率直にあの敗戦はどう思いましたか？

垣原 うーん、そうですね。やっぱり言葉を選んじやいますね。

田村さんは涙を流してましたよね。

垣原さんは泣きましたか？

垣原 僕はねえ、目に涙を浮かべた程度ですかね。そういう感じでしたね。

あんまりショックじゃなかったんですか？

垣原 いや、それはショックですけど。大將がいいますよね。で、負けました。そこで周りについてる僕らが泣いてたら、救いがないほど負けたっていうイメージじゃないですか。だから、周りには僕たちは気丈に振る舞わなければいけないのかなっていう。旦那を亡くした未亡人っていうんですか、そういう心境ですよ(笑)。

垣原さんとしては「まだUWFは終わらせねえぞ」という気持ちはあるわけですよね。

垣原 うーん。そうですね。でも、UWFって現実問題としてないですかねえ。UWFっていう団体もないし、Uっていう文字もないですからね。

U FILE CAMPがあるじゃないですか？

垣原 おお！ そうだ、ありましたねえ(笑)。でも、UWFっていう遺伝子は脈々といろんな団体で受け継がれていますからね。

え。リングスとかパンクラストとかうちとかバトラーツとか。だから、いいことじゃないんですか。分かれて

はいるんですけど、いろいろ

なところでそれぞれに活躍して、ガンガンやってますからねえ。だから、終わっ

たとは思わないですね。Uの遺伝子が受け継がれている限りは、ホントの意味で終わったと思いません！

ヒクソンに負けても？

垣原 思いません！

でもね、UWFっていう「強さ」にこだわってプロレスをやってきたプロレス団体というか、格闘技団体がですね、ヒクソンにああいう形で負けて、



「普段の僕を撮って下さい」ということで、はしゃぎまくるカッキー。戦績は悪くともこの男の天性の明るさは消えないのだ！しかし、こうやって並べてみるとマンガである。

ファンはかなりショックを受けてると思うんですよ。ウチに来る読者ハガキでも反応が凄いです。

垣原 はい、はい。

で、誰かがヒクソンを倒さなければしょうがないだろうってムードになってると思うんですよ。

前田さんが今、ヒクソンとやるた

だから、それがあある限りはまだ終わってないじゃないですか。誰も出て来なくなったら、いよいよ終わりだなっていうか。

その時には行きますか？

垣原 そうなったら行きますね。「もう誰も出ないの？」ってなったら、「ウィース」って言いながら、キョロキョロしながら行きますよ(笑)。

ガハハハ。その時、またガウンの背中にUWFってあったら(笑)。

垣原 着るかもしれないですね、封印しているあのガウンを(笑)。

逆に、俗に言うプロレスをやるようになって思ったことってありますか？

垣原 ないって言ったらウソになりますね。ただ、自分がいまままで学んできたことが、新日本とか、全日本とかに入って果たしてやっていけるのかなっていう部分では不安ですよ。

僕は垣原さんだったらいけるかなって思ってたんですよ。長州さんも一時絶賛してたじゃないですか。

垣原 そうですね。

まあ、褒められて悪い気はしませんよ。

垣原 まあ、そうですね(笑)。でもね、ぶっちゃけた話UWFってプロレスではないっていうスタンスできてたじゃないですか。だから、「プロレスラ

ー」って言われると抵抗を感じたりとかしてたんですよ。なんか「プロレス」って言葉が凄く嫌だった時期もあったんですよ。今思えば凄く傲慢だったと思うんですけど。でも、迷いがあっちゃいけないと思うんですよ。僕らはどこ

を切ったってプロレスラーだし、今はもうプロレスラーだって思ってます。

で、プロレスラーとして、どういう道を歩いていこうかというの？

垣原 道はこれから切り開きますよ。

田村さんとか、富宅さんとはそういう話はするんですか？

垣原 いや、仕事の話はしないです。

三人なら三人とも意見が分かれるわけじゃないですか。確かに他の二人の意見も正しいと思うけど、自分の意見も正しいと思うし。そこでね、二人の意見を聞いてちゃんと余計に自分が迷っちゃうんじゃないかと。迷わずやりたいですね。

強い核がほしいってことですか？

垣原 ほしいですね。だから、それがなんなのかっていうと、まだ自分が最終的に目指すものに出会ってないから、いろんなものを見てるのかもしれないんです。これから絞り込んでいくと思うんです。

——Uインターが崩壊した時、田村選手や富宅選手から誘いつてありました？

垣原 それとなくありましたよ。

——富宅選手が「闘おう」とリング上で垣原さんに呼びかけてましたね。

垣原 まあ、一緒に汗を流したメンバーですからね。

聞いた時はどうでした？

垣原 やっぱり温かいものを感じましたね。ピンチの時に声をかけてくれるっていうのは有り難いなって思いましたね。

——三人にしかわからない世界ってあると思うんですよ、絶対。いくらリン



UWFの仲間である田村、富宅と会うときはバカ話ばかりしているという。

グスとパンクラスがもめてるっていつも。

垣原 そうですよ。やっぱ、見てて寂しいですねえ。

——UWFを愛するが故に。

垣原 そうなんです。みんな大好きな先輩です。僕は全然悪く思ったりはしないですね。ただ、そういうメンバーが誌面上で、いがみ合ってるのを見ると「やめてほしいな」っていうか。「けんかをやめてえ」って感じですね(笑)。

——ハハハ。ところで、垣原さんが思う「かっこいいもの」って何ですか？

垣原 かっこいいもの？

——UWFってかっこいいでしょ？

垣原 かっこいいと思いますね。

——尾崎豊が好きなんですよね？

垣原 好きですね。何ですか、今回のテーマはかっこいいものですか？(笑)

——違います。垣原さんが何を理想にして、何を目指すのかってことです。

垣原 やっぱり、自分自身が一番かっこよくなりたいわけじゃないですか。その中で揺るぎない心、一本バーンツと芯を持って、絶対的なものを作りたいですね。垣原賢人という最高なるオ

リジナルを作って、僕が何をやるうが、人が何を言おうが揺るぎないものをキツチリ築いていくというね。

——逆に井の中の蛙になりがちの世界ではありますけどね。

垣原 ただ、僕はいろいろ経験してきたじゃないですか。極端な話、井の中の蛙じゃなくても僕のオリジナルってできるじゃないですか。で、プロレスと格闘技があって、その中間ぐらいで両方をもの凄くいい形でやれたとしたら、そういう人が今はいないじゃないですか？ 一時、プロ格とか言っていましたけど、あれもどっちか比重が偏るじゃないですか？ そうじゃなくてプロレスと格闘技がいいバランスで保てるレスラーになったらいいと。

——それで肩書きがプロレスラーだったらメチャクチャかっこいいですね。

垣原 それがかっこいい垣原賢人じゃないかな。その為に努力していきたいな。

——いいですねえ。じゃあ、そろそろ柔らかな話題に移りましょう。尾崎豊以外に好きなミュージシャンっています？

垣原 僕はいろいろ好きですよ。結構いっぱいいますよ。

——シャ乱Qのライブも行ってるんですね？

垣原 ホントに音楽の趣味はバラバラなんです。もちろんシャ乱Qも好きだし。河村隆一や山崎まさよしやSPEDも好きです。分け隔てないですね。

——プロレスラーって昔は芸能界とつ

プロレスと格闘技の中間で両方を凄くいい形でやりたい！

なかりがあったじゃないですか？

や

垣原 だから、世間にね、大手を振っ

いいですか？

原さんはリングに



勝った試合後のカッキー・パフォーマンスは必見！
筋肉ポーズを取りまくってくれるのだ。常にプロ意識
を忘れない男である。

Masahito Akiyama

いすね。垣原賢人という最高なるオ

プロレスラーって昔は芸能界とつ

ながりがあつたじゃないですか？ や

つぱそういうのはこれからもやってい

かなきゃいけないと思うんですよ。だ

から、そういう意味で垣原さんの、言

っちゃあなんですけど、ミーハーなど

ころって僕は凄く面白いと思います。

垣原 いやあ、僕ってミーハーに見え

ます？ (笑)

だからそれがいいところなんです

よ！

垣原僕はメチャメチャ、ミーハーで

すね (笑)。

女優とかとも、噂になっちゃって

下さい。

垣原 いけたらいいですけどね (笑)。

レスラーたるもの世間に食い込ん

でいかなきゃいけないですよ。

垣原 それはさっきの井の中の蛙の話

に通じますよね (笑)。

垣原 だから、世間にね、大手を振っ

て出ていくためには、自分にも凄く

自信をもたなきゃいけない。プロレス

ラーとしても格闘技者としても両方の

自分を持つてれば、凄く揺るぎないし、

人に何を言われても平気でいられるじ

やないですか。そういう状態を作っ

ておいて表に出てけば思いっきりアピ

ルできるし、ミーハー街道まっしぐら

ですよ (笑)。

——ミーハー街道 (笑)。

垣原 その中途半端を消し去るための

作業として、一戦一戦大事にして、ゆ

くゆくは垣原賢人のオリジナルバー

ジョンを作っパインと世間に出てい

くっていくのが僕の夢ですね。

——いい目標ですね！

垣原 今は柔らかい話でしたっけ？

固い話はやめましょう！ もっと僕の

いいですか？

——イエス・アイ・ドウ (笑)。

垣原 家にカミダナはありますか？

へ？

垣原 まあ、この話をするのだいたい

笑われるんですけど。

——へ？ 現代の若者にしては珍しい

ですね。

垣原 でも、神棚の前で手を合わせる

っていう行為が、いちばん心が安らぐ

んですよ。

——それはカッキーの意外な一面で

ね (笑)。

垣原 そうでしょ？ (笑)。親のアルテ

イメットに次ぐ初公開第2弾 (笑)。

——毎朝、「パンッパンッ」ってやって

るんですか？

垣原 イエス・アイ・ドウ！ 人間っ

て生きてると、気付かずに過ちを犯し

原さんはリングに

上がる前にお祈り

してますよね。あ

れも、そこに通じ

るんですか？

垣原 そう、あれ

で心が落ち着くん

ですよ。

——他人が何と言

おうと関係ないで

すよ。我が道を行

くべきです！

垣原 まあ、変な

宗教じゃないです

から。ボクだけの

神様がいますす

よ。

「97年11月26日、キングダム応援室にて

収録」

キングダム 今後のスケジュール

12.14 (日) 国立代々木競技場 第二体育館 18:00開始

※メインは金原弘光vsヴァリッジ・イズマイウ！

1. 28 (水) 後楽園ホール (詳細は未定)

[問い合わせ先] キングダム03-3224-1151

構成／“Show”大谷泰顕
interview by “Show” Yasuaki Otani

● タンクが着ている“鎧”の正体とは何だ!
決戦! 世紀末の日本格闘技界に
“世紀末のストリートファイター”遂に上陸!!
喧嘩大王、安生と激突!

12・21『UFC—J』に来襲するタンク・アボットを直撃!!

“何でもあり”のアルティメット大会でさえ、「追放」を受けた“喧嘩大王”タンク・アボット。最近では、あの『PRIDE—1』にも出場を
発表されながら、直前にストリートファイトに巻き込まれ、「警察に連行された」とかでドタキャン! 今回の来日も、実際にその姿を見る
までは不安視されていた。喧嘩230回に、牢獄経験12回!! そんな危険極まりないアボットが、12月21日・横浜アリーナで開催される『U
FC—J (アルティメット・ジャパン)』を目前に控えた10月末、プロモーションのために日本初上陸を果たした。まるで力道山時代に来
日した“外人レスラー”のような物語を持ち、プロレスラーがまとっていたかのような“鎧”に包まれた喧嘩屋のお叫びを聞け!!

(10月30日、全日空ホテルにて収録)

ABBOTT

「俺は世界で一番強いと思っている。中にはステロイドをやったり、ビッグマウスなヤツもいるが、俺は俺らしい率直なフアイトを見せるだけさ」

12月21日、横浜アリーナで開催される「UFC-J」（アルティメット・ジャパン）で、待望の初フアイトを披露する。喧嘩屋「タンク・アボット」に、試合に対する抱負を聞くと、彼はこう答えた。

アボットと言えば、試合はわかりやすく豪快そのものだが、アルティメット大会では試合はもちろん、試合以外でも様々な逸話を残してきたフア이터。いまだこんなヤツはどこを探しても、なかなか見つかりつこない。

とにかく「何でもあり」のアルティメット大会でさえ、一度は「追放処分を受けている」なんて、素敵なフア이터じゃないか。

そんな破天荒な経歴を持つアボットだから、僕はおそろおそろといった感じで、インタビュを開始。まずは無難に少年時代の話から思ったが、アボットは「その前に言うておくことがある」と、こちらの機先を制した。

★ ★
「みんな俺のことを誤解しているようだが、俺が若い時にはまともなガキだったんだぜ。確かに喧嘩もしたが、決して『不良』だなんてわけじゃなかったんだからな」

そういつて、アボットは豪快に笑う。一見ただけでも、普段からよく豪快に笑っているのがわかる笑い方だ。

「父親の勧めで5歳の時にアメリカン・フットボールをはじめ、9歳でレスリング（フリースタイル）に転向したんだ。どうもチームスポーツはなじめなくてな（苦笑）。レスリングじゃあ、中学の時にはオールアメリカンに選ばれた。ただ、その後には大きな自動車事故に遭って、左膝がブチ割れちゃってな（と、手で膝をなでる）」

ふと左膝に目をやると、まだ傷跡が目でわかるように大きく残っている。

「その事故もあって、レスリングから離れることになったんだ。その頃からだ。だんだんストリートフアイトに目覚めはじめたのは」

出た！ ここからアボット人生の本領発揮なのだ。

「ストリートフアイトを本格的にやりはじめたのは高校に入ってから。特に19歳になってから25歳までは、そうだなあ、週に4回はやってたな。きつかけ？ そんなものはあるわけないだろ。いや、そうだな、血が騒いだんだよ」

「そうさ。だから喧嘩して、俺の強さを証明したかったんだ。で、その後にはボクシングに転身したんだ」

あ、ちよつと待ってくれ。その前に「ストリートフアイト」は何回くらいやったのか、それを教えてほしい。

「うん、俺が覚えているだけで、ざっと230回はやっただろうな」

230回も!!

「ただ、言っておきたいのは、俺からふっかつたことは一度もないってことだ!!。すべて、相手にふっかつたから買ったただけだ。ただ実を言うと、そのストリートフアイトのおかげで、ざっと12回も掴まっちゃってな」

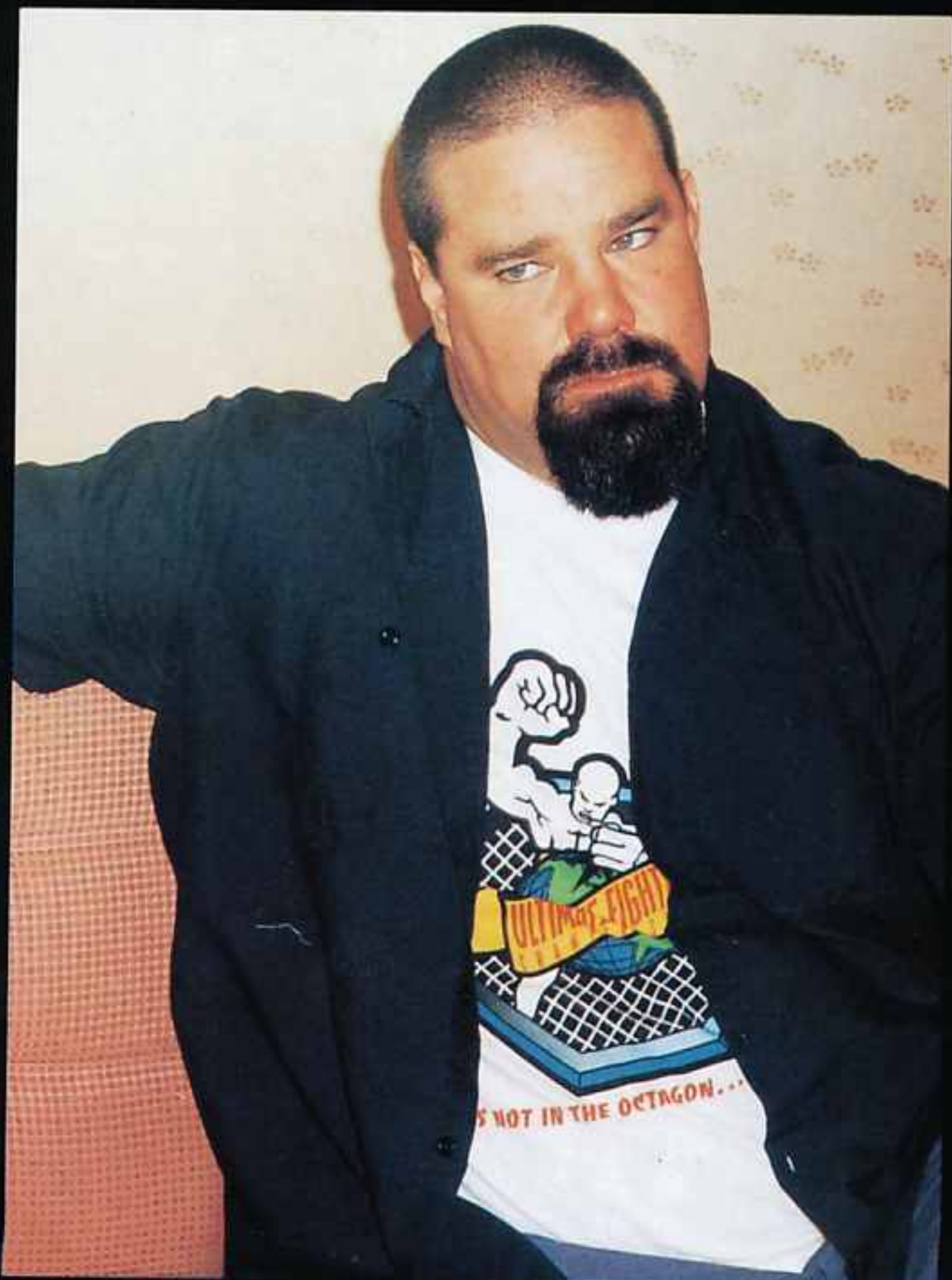
喧嘩230回に、牢獄経験12回（苦笑）。そんな刑務所帰りの前科者・アボットに当然、世間の眼は冷たかった。「ストリートフアイトだけが俺を受け入れてくれたのさ」

自然とそうなるのも、しかたがないと言えはしかたがない。

「そりゃあ、俺にだって罪の重さを感じることもあったよ。で、最後に掴まった時に6カ月間収容されてな。その時だな、ある友人から手紙が来たんだ」

その手紙には、アルティメット大会のことが書かれてあり、そこにキモが活躍していることも書いてあったという。何を隠そう、キモはアボットと同じ、カリフォルニア州のハンティングトンビーチ出身なのだ。

「キモのことはストリートフアイト時代か



らよく知ってたさ。ただ、ヤツは俺を恐れてチャレンジャーはしてこなかった。だから、ヤツが活躍してるなら俺が……ってわけだな」

その後、刑務所帰りのアボットはアルティメット大会を主催するSEGに連絡。

ヒクソン？ 勝てそうにない奴とは会ったことがない

アルティメット大会におけるタンク・アボットの破天荒史

▼95・7・14
初出場準優勝を果たした第6回大会（ワイオミング州キャスパー、イベント・センター、優勝はオレグ・タクタロフ）終了後、アボットは、ホテルで仲間とともに、もうひとりの「喧嘩屋」の異名を持つバトリック・スミスに襲いかかり、ふいに後頭部を殴って失神させる。

▼95・12・16
アルティメット大会のオールスター戦（コロラド州デンバー、マンモス・イベント・センター）で、アボットは準決勝でダニエル・スバーンと対戦。惜しくも敗れたものの、背髄に200発近くの打撃を食らってもタフサせず。

▼96・2・16
第8回大会（ブエルトリコ、バイヤモン、コリセオ・ルベン・ロドリゲス）では、トーナメント決勝戦の前に、アボットとブラジリアン柔術のアラン・ゴエスがオクタゴンの傍らで大乱闘。エンタリーされていたはずの第9回大会（96・5・17/ミシガン州デトロイト、コボ・アリーナ）には出場停止処分を食らってしまう。

▼96・7・12
一度は追放処分を受けたアボットだったが、再びアルティメット大会に姿を現したのは第10回大会（アラバマ州バーミングハム、ステイト・フェア・アリーナ）。放送席にドカッと座り、PPVのコメントーターをつとめる。アルティメット大会の中でもホイス・グレイシー、ウエイン・シャムロック、ダニエル・スバーンと並ぶ、貴重なキャラクターゆえに、アボットの魅力と、ファンの後押しには勝てなかったのだ。実際、アボットが会場に姿を現すと、客席は騒然となり、歓迎ムード一色。

▼96・12・7
二度目のオールスター戦（ジ・アルティメット・アルティメット96）（アラバマ州バーミングハム、ステイト・フェア・アリーナ）におけるトーナメント準決勝では、なんとステイブ・ネルマークをノーザンライト・ボム気味のボディ・スラムで投げ捨てる（直後に、右フックで失神KO勝ち。決勝ではドン・フライに惜しくも敗れ、準優勝）。

▼97・10・17
第15回大会（ミシシッピ州ベイ・セントルイス、カジノ・マジック）では、正式にオファアを受けたのは3日前にもかかわらず、スーパーフアイト・UFA認定UFC世界ヘビー級選手権モリス・スミスと対戦する（結果はTKO負け）。

社長に会って、「俺を使え」と直談判を試みる。

「そこで俺は自分のことを『ストリートファイター』と言ったら、『アルティメット大会にはスキル(技術)がない者はダメだ』と、最初は真剣に受け入れてはくれなかったんだ。それが一度、俺の闘いを見たら、みんなが、アツと驚いたってわけさ」

そういえば、オクタゴンでの最初の試合は、第6回大会(95・7・14/ワイオミング州キャスパー)だったけど、リングアナウンサーに自分の名前がコールされた瞬間、ニヤツと笑ったのをビデオで見た時には驚かされた。試合ぶりには唖然としたのを覚えている。

やはり、ストリートファイト時代の経験は並大抵じゃない。当時の戦績に関しても、当然、笑いながらこんなコメントを残してくれた。

「まったく負けだと思ったことはない。ただ、飲みすぎてフラフラな状態の時にやったストリートファイトは別だがな(苦笑)。2度だけそんなこともあったな。その時は相手が30人もいたんだから……。トータルな勝率? まあ、95%はあっただろうな」

きつと、自分が「生きている」と感じる瞬間がストリートファイトだった、と言えはいいんだろうか。

「YES。俺が俺の持っている感情を正直に表現したのがストリートファイトなんだ。それでも俺のウォリアーとしての姿勢は『最低限防衛』だからな。勘違いするなよ。俺はアポイターなんだ。ただ、それでもかかってくる相手には、自分に忠実にファイトをするさ。それまでは我慢、我慢、我慢……」

何だか高倉健の世界に似ている。

「確かに、俺はレットルを張られているから、手当たり次第にやっつて、相手に怪我を負わせていると思われがちだが、決してそんなことはない。いざやるとなると時でも、『お前、本当にやるのか?』と確



認してからやることにしてるんだ。そこで相手がビビッたら、ムリしてやるようなことはしないさ」

ただ、一般社会なら警察のやつかいになることでも、アルティメット大会では合法的にストリートファイトでお金も稼げる。一挙両得の世界だ。

「いや、俺はまだ妻も子もいないから、単に賞金目当てで闘うこともない。ただコンバットスポーツが好きなんだ。その

ステージがあるから闘うだけだ。確かに、いまはそれなりの知名度も得ちゃったが、別に有名にならなかつたよ。例えば、アルティメット大会が何の変哲のない倉庫で行なわれてたとしても、俺はやっただろうからな」

アルティメット大会におけるアボットの知名度はかなりのもの。なぜなら、僕が最初に生でアボットを見た第13回大会(97・2・7/アラバマ州ドーサン)では、試合はしなかったものの、PPVのコメントーターのために姿を現したアボットに、会場中から大声援が起こっていたほどだったんだから。

「たまたまこの時代に生まれたから、テレビ中継をされたり、多くの人に知られる場所であつたことになったが、例えばこれが150年前にその機会を与えられていれば、その時の自分の感情に忠実に、闘うことに愛情を持って、純粋に闘っただろうな」

単なる「賞金稼ぎ」ではない、と言いたいのだらう。だが、いくら強いとはいえ、実際に負けがあるのは事実。

「要は負け方だ。負けたことに対して、自分自身が恥じだと思つたことは一度もない。俺がベストを尽くした結果だからな。納得のいく闘いをして負けることは、問

題だとは思わない」

思わずここで「でも、いままで負けた相手に、リベンジを果たしたいとは思わないの?」と聞いてしまったが、「そうは思わない」と簡単に切り返されてしまった。その答えはこうだ。

「単純なことさ。その相手が悪意を持って、俺と闘ったわけではないからだ。それよりも、何を持って『負け』となるのかだ。怪我をして病院に運ばれることが『負け』なのか。ルール上の『負け』が『負け』なのか……」

冒頭でも触れたが、アボットの試合は大振りのパンチ攻撃、倒れた相手の顔面へヒザ爆弾、顔面パンチの集中放火といわゆる技術系の選手とは大きく懸け離れている。その意味で言えば、ホイス・グレイシーが登場しなくなった第6回大会からアボットが出るようになったのも、単なる偶然とは思えない。ただグレイシーに対して回答を求めると、アボットの語気は荒くなった。

「ヒクソンだろうが、誰だろうが、俺からチャレンジャーすることはしない。絶対に俺がかなわないと思うようなヤツであれば別だが、そんなヤツにはいままで会ったこともないからわからん」

だが、いま日本では「ヒクソンが最強」というイメージが蔓延していることを伝えると……

「ストロングゲスト? そりゃあ、彼は勝ち続けているかもしれないが、それは自分よりも弱い人間としか闘わないからだろう。そしたら強く見えるだろうしな。すべてのグレイシーは『マネー・マネー・マネー』。そればかりじゃないか。俺はマネーがなくても、チャレンジャーしてくれば誰でも闘うんだから。本当の強さ

を証明しようとしたら、自然とそうなるさ」

僕はアボットの話を聞いているうちに、実はこんなことを考えていた。「もしもアントニオ猪木の全盛時なら、絶対に新日本プロレスに來日してやるだろうな」って。要するに、ひと昔前のプロレスラーの持つ、危険な雰囲気や全身から醸し出すファイターだつてことが会話から伝わってきたからだ。

それを如実に現す発言がインタビュアの終わりの方で聞けた。それは「いままで恐怖を感じたことはあるか?」という問いにアボットが答えた時。

「恐怖を感じる、ということは、相手に対して負けているからだ。俺は一度もそんなことを思つたことはない。ただし、自分自身を『怖い』と思つたことはあるがな」

そう言つて、最後まで豪快に笑つていたアボット。「オクタゴンに入るには勇気がいる」という声も聞かぬが、「あれは俺のホームだからな」と、軽く受け流す。

いよいよ本場にそのファイトが日本で見られる日が間近に迫つて来た。いまから胸が高鳴る。

プロレスラーが失つた「何か」をアボットが見せてくれるのか? トーナメント1回戦の相手はなんと安生! 要注目だ!!

タンク・アボット(Tank Abbot)

182.9cm、123.8kg、32歳。アメリカ、カリフォルニア州出身。格闘技歴は、フリースタイル・レスリング、ストリート・ファイティング、ボクシングを経験。「覚えておいてほしいんだが、俺はキチンと大学を出てるんだぜ」とは本人の弁。聞けば、「カリフォルニア州立大学ロングビーチ校出身で専攻はヒストリー(=アメリカ史)」とのこと。大学卒業後は、ある中小企業に勤めたものの、前科者のアボットに世間の目は冷たく「ストリートファイト」の毎日。アルティメット大会参戦後はそれを生かし、現在は時折見せる柔術の技術も体得。過去アルティメット大会には6回出場している(戦績は12戦6勝6敗だが、いままでトーナメントでは二度の準優勝経験あり)。

本場のアルティメットが日本初上陸!
「アルティメット・ファイティング・
チャンピオンシップ イン ジャパン」

12月21日 横浜アリーナ 午後1時開始～

【対戦カード】

○ヘビー級トーナメント

★タンク・アボットvs安生洋二

★ビクトー・ベウフォート

vs大物日本人選手

○ヘビー級タイトルマッチ

★王者・モーリス・スミス

vsランディ・クートウア

○ミドル級王座決定戦

★ケビン・ジャクソン

vsフランク・シャムロック

○トーナメント予備戦

★未定(日本人選手vsX)

(11月30日時点での発表。全7試合を予定)

【問い合わせ】UFC J事務局 03-5496-4450

12・14(日)国立代々木競技場

PM 6:00 スタート 第 2 体 育 館



AMBITION

PROFESSIONAL WRESTLING KINGDOM



打倒、グレイシー柔術!!

10・11東京ドーム。グレイシー柔術最強の男ヒクソン・グレイシーに高田延彦が完敗を喫した。格闘技界を震撼させた黒船ともいわれるグレイシー柔術にプロレスが飲み込まれる...プロレスファンの誰もが高田の敗戦にショックを隠し切れなかった。しかし、一度の敗退ですべては終わらない。

復讐

10・11の結果を真に受け止めた上でキングダムは再び立ち上がった。

金原弘光 V S ヴァリッジ・イズマイウ

この一戦が復讐への第一歩となる。グレイシー柔術中量級の強者であるイズマイウに対し

今、最も勢いのある金原が必勝を期してリングに立つ。

そして、そのイズマイウの後方に我々はヒクソン・グレイシーの姿を見る。

10・11東京ドームで生じた歴史のうねりが12月14日、代々木の地で新たなうねりに変わる。

1998年への21世紀へ向けての大いなる序曲を見逃してはならない。

この日、この場所で必ず何かが動き出す！

[主催] ニッポン放送/DirecTV

金原弘光 V S ヴァリッジ・イズマイウ
桜庭和志 V S ボール・ヘレラ
山本健一 V S パトリック・スミス
ビリー・ジャック・スコット V S ラリー・バーカー
安生洋二 V S 垣原賢人
佐野友飛 V S 高山善廣
松井駿介 V S ニコラス・スタークス

チケット絶賛発売中

ロイヤルシート	¥ 12、000
アリーナS席	¥ 10、000
スタンドS席	¥ 8、000
スタンドA席	¥ 6、000
指定席	¥ 4、000

大会に関するお問い合わせはキングダム 03-3224-1151



みちプロ経営危機の真実を
ザグレイト・サスケが独占激白！②

「本当にいまはもう天命を待つだけです……」

紙プロ史上初！
“(笑)なし”
サスケインタビュー

聞き手／山口日昇（別名・ジェニファー）
interview by Noboru Yamaguchi
撮影／斉藤ユーリ
photographs by Yuri Saito

——今年を乗り越えたところで、来年1月に社長は膝の手術するわけですよ。で、いつ東北で活動再開するかわからないと。これだけ社長批判があがつてるところを見ると、その間、選手を他団体に派遣したとしたら、ズバリ言ってるそこに居着いちゃうんじゃないですか？

サスケ いや、それはですね、極端な話、居着いていいんですよ！ それも一つのリストラでありね。俺はね、いま正直なところ選手の再就職口を探してるようなものだしね。いま人生がFMWに行ったりとかは、それはその一環ですよ。薬師寺とヨネも大日本さんに派遣すると。それはそのまま居着いてもらっても結構だしね。いま言えるのはね、1月16日の札幌まではとにかく全力疾走しますよ！ 俺は……俺はっていうか、みちプロはね、絶対いまままで投げやりな試合したことは

ないからね。やるからには100%力を出し切るし、怪我してる俺でも札幌まで全力でやりますよ。ただ、いまはそれしか決まってるない。

——じゃあ最悪なパターンとして、みちプロにはグレイト・サスケ一人しか残らない可能性もあるわけだ。

サスケ その時はみちプロは終わってしまうね。やる意味がないでしょうね。っていうのは、俺の相手がいけないわけだからね。一人でも相手がいればやりますよ。それはもう、逆に選手のみんなに任せますよ。

——ホントに切羽詰まった話ですね。

サスケ だから12月18日に後樂園を入れたんですよ。ユニバーサル時代に対してケジメつけなきゃならないという意味で。だから全女さんにも出させてもらってね、ケジメつけたつもりだし。俺はやっぱ、全女さんに育ててもらったっていう感謝の念が

ありますんでね。あとは、1月14日の仙台で東北の総決算。で、16日の札幌で、出稼ぎというか全国ひっくり回すための総決算。これで終わっても俺は悔いなくていいよ！

——でも、ホントにそれで終わっちゃったら悔いは残るでしょう？

サスケ だって足の手術だって、うまくいくかどうかかわかんないしね。

——みちプロも、「金の切れ目が縁の切れ目」になっちゃうんですかねえ。えてして、そうなるっちゃうじゃないですか、この世界。

サスケ まあね。ただ、みちプロに関しては、縁は切れないと思う！ 金はいま切れてるけどもね。縁だけは切れないと思うし、それは敵である海援隊にしてもそうだしね。例えばこの先みんながバラバラになって、いろんなところに再就職した場合、それでもね、何らかの結束は固いと思いま

すよ！ だから、ある程度冷却期間を置いて、また何年後にみんな集まるっていうことも十分に考えられるしね。だから、俺はそっちの可能性を探りたいっていう気持ちがあるね。

——「サスケはそこが甘いんだよ」って、いまTAKAみちのくの声が聞こえましたね。

サスケ あいつにどうこう言われる筋合いはないね！ あいつはそんなこと言う前に英語勉強しろっつーんだよね。

——そういえばTAKAみちのくが、前号の『紙プロ』のインタビューで、「サスケは『紙プロ』と付き合ってたからダメになった」って言ってましたね。サスケ 大きなお世話だよええ！

——サスケ社長は、真剣に考えたりやったりしてても、選手たちからとってみると、何事も遊んでるようにしか見

えないんじゃないですかね。

サスケ それはいいんじゃないかな、
と思うんですよ。「俺はみんなのた
めに、日夜働いているんだよ」とかさ、
「俺はみんなのことをいつも考えて、
こだけ払ってあげてるんだよ」とか
言う人もいるよね。でも、俺はそうい
う人間は嫌だからね！

——そういう美学は持ち
たくない、と。

サスケ 持ちたくないね
え。やっぱり、「みんな
の面倒を見て当然なんだ
よ」、俺は社長だからあ
っていいかね。例えば仕
事で徹夜しなければなら
ない時もさ、「いいよー、
俺一人でやるから」って
いうね、それが俺のもと
もとの性格だしさ、それ
が俺の美学でありね。俺
はみんなに苦労かけた
くないなと思ってるだけ
あってさ、それを逆に
取られてもしょうがな
いしね。それを逆に取
る人間は、レベルの低い
人間だとは思わないし
ね。俺は自分自身ね、T

AKAみちのくとか海援隊とかの
奴らよりは、ワンステージ上の人
間だって思ってるからね！ アイ
ツらと一緒にやねえなってる時があ
るんだよね。人間的なレベルの話で
よ、これは。
——それがグレートの本音であると。
サスケ 俺の視線っていうのは、

みんなより一段高いんですよ！
だから、俺はいつも宇宙見てるし
ね。だから俺に言わせりゃ、違いは
そこなんだよ！！

——宇宙を見てる！！ それでこそグ
レートですね！ でも、そんなことばっ
かり言ってるから、選手から「何考
えてるかわかんない」って言われるん



すよ！

サスケ あと世界平和だね！ やっ
ぱり、いま真剣に世界平和考えてます
ね。さっきもラジオで、イラクかどっ
かが全人類を殺せる量の毒ガスかな
んかを作ったと。そういうことが、い
まや現実じゃないですか。そういう現
実を、真っ正面から見なければならな

いというか！ やはり1947年に
ロスウェルにUFOが落ちた！
これも俺は現実だと思えますよ。それ
を斜に構えて笑うのは簡単なんです
よ！！ ただ真剣に考えた人間だけが、
報われると思うんですよ。
——社長はそんなことばかり真剣に
考えてるけど、いま報われてないじゃ
ないですか。

サスケ (うつむいて)
……なんにしてもね、話
はガラッと変わるんで
すけどね、山一証券にし
ても拓銀にしても仙台の
銀行にしてもね、日銀特
融が発動されて、社会的
な影響が大きいんで、ほ
ぼ無制限に救済すると。
なおかつ輪をかけて公的
資金、つまり税金もあて
がわれる可能性がある
と。ただね、預金者保護
という目的はいいとし
て、公的資金導入に関し
ては**いかがなものかな**
というのがありますよ
ね！ ちょっと待てよ
と！ あと救済するところ
が、2つあるんじゃない

いかと！
——それは一体どこですか！
サスケ 全女とウチですよ！！ 俺は
声を大にして言いたいね。というのは、
**全女さんはね、日本プロレス史の
創設者ですよ！！** 新日本より創設は
早いんだから。
——全日本より早いですしね。

サスケ そうよ！ ねえ？ 男女関係
なくね。まして、プロレスそのものの
創業者でもある、その**全日本女子を
救済しなければ、これは国家とし
てウソですよ！** だって全女が潰れ
るってことは、プロレスが潰れる可能
性もあるわけですよ。**ズバリ言っ
てプロレスっていうのは日本の文化
ですよ！！ 文化を国が救わないで
どうすんだって！** それとね、WW
Fに行ったTAKAを見てもらえばわ
かる通り、いま、やはり日本人選手が
海外でも評価されてる時代ですよ。い
や、全世界で日本人選手が欲しがられ
ていると。そういう業界はね、**国家
として救済すべきじゃないかと思**
いますよ。ホントに。
——国家レベルの話までいきますか。
サスケ で、みちプロに関して言えば、
これはもう**日本初のローカル団体**。
まして東北の地域活性化を目指して、

プロレスは日本の文化ですよ！！
文化を国が救わないでどうすんだ

実際に一部分では活性化してるんです。観光客を多数動員してるしね。東北にどんどん外部から金を落としてるしね。これは本当に東北に**経済効果**をもたらしてると思いますよ。それが潰れかかってるわけですよ！それを救済しないで、どうするんだと！！

ですよ。

——あ、半分なんですか？

サスケ いやいや、かなりマジメにね。例えば**通産省**がベンチャー企業である**みちプロ**に**資金を出すとか**。早くそういう動きになってほしいねえ（遠くを見つめる）。



——銀行なんか救済してる場合じゃないと。

サスケ うんうん。そうそう。まさにそう。

——そういうことを言ってるから、選手から反発喰らうんですよ。

サスケ これはね、半分マジメにそう

——いや、そんなに遠くを見つめないでください。ところでね、猪木さんの「プロレスを通じて、終生大衆に尽くす」という理念が端的に表れてるのが、みちプロだと思うんですよ。

サスケ **俺もそのつもりです！**

——社長は、「みちプロを東北に根付

実は星が2つ見えるんだ、漠然と。
星が2つ、みちプロに降ってききます

いた大衆娯楽にする」と常々言ってきたね。

サスケ あるいは東北の文化にしたいと。**文化と娯楽ですよ！**

——娯楽と言うからには、プロレスファンじゃない人も視野に入れないと、お話にならないということになりますね。

サスケ まったくその通りだねえ。だから、いつからか、プロレス界全体が、マニアだけの袋小路にはまっちゃたんですよ。まず、本当に一般の人が入れないような状況です。

——例えば海援隊にしても、マニアには評価が高いけど……。

サスケ それが実はね、ちょっと間違っているんですよ！ それこそが、プロレス村の中の評論になっちゃうんですよ。実は違うんですよ。

——ほう。聞かせてもらいましょう。サスケ 東北の一般の人たち、おじいさんおばあさん、初めて来たお客さんは、やはり正規軍VS海援隊の闘いで熱くなれるんですよ、逆に言えば、それは**善と悪**がはっきりしてるし。本当に喧嘩してるしね。

——それは正規軍がいないと成り立たないものですよね。海援隊から言わせたら逆かもしれないけど。でも、僕が

言ったのは海援隊の3人に限らず、TAKAみちのくにしろ、マニアの間では非常に評価は高いですよ。それだから仕方ないのかもしれないけど、彼らの視線っていうのはプロレスファンに受けてナンボ、というところに向いてると思うんですよ。

サスケ そういふことはありますね。だから、しよせん海援隊ってのはそれだけの器なんです！ 俺はみちプロ自身の知名度も上げたいし、ひいてはプロレス界全体のイメージも上げたいと。ところが**海援隊の連中は、そこまで考えてるかといったら、何も考えてないですからね**。奴らはリングの上で勝つていい格好をしたい、それでプロレスファンにアピールしたい。**それだけです**。もっと狭い視野かもしれない。みちプロファンにだけアピールしていいかと思ってるかもしれない。それがね、俺と彼らのレベルの差ですよ！ だからね、プロレス界だけにアピールしてたらダメなんです。俺が常々言ってるのはね。極端な話、こんな**村社会**に閉じこもってどうすんだ、というかね。

——社長は、東北にこだわってるんじゃないんです。実は全国を視界に入れてるんだぞと。

サスケ いや、もう全世界を視野に入
れてる。いや**全宇宙を!**。そして、
プロレスマニアの人たちは、黙ってて
も付いてくるからいいんですよ。彼ら
はウチらの仲間なんですよ。仲間とい
うか、身内ですよ。俺らがやんなきゃ
なんないのは、外に向かつてもつと
プロレス無関心層を掘り起こし、
アピールしていかなくやならない。そ
こですよ!

——いやあ、熱いじゃないですか、社
長!

サスケ (うつむいて)……ただ、い
かんせん、熱いけど**金がない**って
うのが現状ですよ。**日銀の融資が欲
しい**ですねえ。

——また日銀ですか。

サスケ いま言えるのは、走り続ける
しかないってことですよね! あきら
めたくはないしね。ただ、世の中どう
にもならないこともあるってことす
よ。だから今回の、特にメインバンク
の対応なんか見てるとね、世の中には
**必要とされてるもの、必要とされ
ていないもの、**というのがあると思
うんだよね。今回のメインバンクのウ
チらに対する仕打ちね。そういうもの
が、**みちプロの本当の敵**なんだよ
ね。あとプロレス無関心層ね。やはり、
そういう**巨大な敵**に負けるのかもしれ
ない。……いまは極めて弱気な状況
だよねえ。

——プロレスが日本に輸入されて30年
以上、そのプロレス自体が「もういら
ないよ」っていわれてる時期かもしれ
ないわけですからね。
サスケ (うつむいて)……時期かも

しれないねえ。

——社長も、みちプロをまた再建する
にしても何にしても、時代から「もう
いらないよ」って言われてるんだとし
たら、いままです通りの手だてじゃ通用
しないですよ。

サスケ だから、新しいスター! こ
れを待つしかないよね。



——待つしかないんですか!?

サスケ だって**スター**っていうの
は、**星**ですよ。星は空からしか降
ってこないですから、空からスターが
降りてくるのを待つしかないですよ。
俺やデルフィンを、もうひと回り超え
るスターが降りてくるのを、いまは待
つしかない。

最後の出陣!? 「みちプロの生死」をかけた 出稼ぎシリーズ情報

『ルチャの国から～かけ落ち～』

12月13日(土) 宮崎・都城市体育館(19:00)
12月14日(日) 鹿児島・桜島町総合体育館(17:00)
12月16日(火) 新潟・新潟フェイズ(18:30)
12月17日(水) 富山・東富山体育館(19:00)
12月18日(木) 東京・後樂園ホール(18:30)

『男たちの挽歌～最終章～』

98年1月14日(水)
宮城・ニューワールド仙台テニスクラブ(18:30)

『札幌SNOWY'98～最終章～』

98年1月16日(金)
北海道・札幌中島体育センター別館(18:30)

●チケット、会場へのアクセスなどの問い合わせ●

みちのくプロレス 019-626-1333
みちのくプロレスチケットサービス 019-622-0002

——UFOを何十回と見てる社長で
も、その星はまだ見えそうもないんで
すか?
サスケ うーん……いや、**2つ見え
る**ね。実は2つ星が見えるんだ、漠
然と。ただその星はそんなに大きく
ないんですよ。サスケ、デルフィンに
よっと追いつくぐらいかなと。
——それはみちプロ内の話ですか。
サスケ いやいやいや、**まったく関
係ないところから、みちプロに振
ってきます**。ただそれは、あくまで
も俺の直感ですからね。
——それは直感というより予感です
ね。
サスケ 予感だね、予感予感。まあ本
当にいまは**天命を待つだけ**ですから
ね。やることはやってます。あとは内
需拡大だろうね。もう一回日本でガー
ッと盛り上がってね。そっから世界に
羽ばたかないと。日本人全レスラーが

ね。TAKAみちのく一人が行ってち
やダメですよ。やはりね、世界を日本
のプロレスで染めてかないとダメです
よ! **だから猪木さんのやってる
ことは、俺は賛同してるんですよ**。
その為に必要なのは内需を拡大しない
とね! 日本を盛り上げないとダメで
すね。
——でも、猪木さんとか、松永会長に
賛同してると、結局は選手から反発さ
れますよ。
サスケ 反発する奴はね、ステージ低
いよ! **非常にケツの穴が小さい
というかね**。反発してるから、業界
が盛り上がらないんだよ。こんな不況
の時だからこそね、やつぱり一丸とな
って、**バカみたいな夢にみんな
真剣に賭けようよ!** 俺は、ホント
にね、札幌まではね、**目いっぱい走
り続けますよ!!**

「11月26日、東京・全日空ホテルにて収録」

を 背負って立つ大型不良新人!

——明日デビュー戦だそうですね。
中原 がんばります。

——もうエキシビジョン・マッチはやってるんですよね。「かわいい顔の奴はムカつくんだよ!」って叫んでましたけど。

中原 そうですね、ムカつく!

——どういう顔ならいいんですか?

中原 いや……自分(笑)。ブスはいいですね。ああいう顔(傍らにいる脇澤美穂を指して)は嫌ですね(笑)。

——脇澤選手はビデオ『Ore』にも出演してますもんね。中原さんも『Ore』のブス版やりませんか?

中原 なんでブス版なんですか! (怒)

——「ブスはいいですね」って言うから(笑)。いろんな人に話を聞くと、昔は相当悪かったらしいですね。

中原 悪くないですよ(笑)。

——だって、少年院行か女子プロレス入るかのどっちかだったって聞きましたよ。

中原 少年院は……ギリギリ。リーチかかってるぐらい。

——何をしましたんですか?

中原 空き巢(笑)。

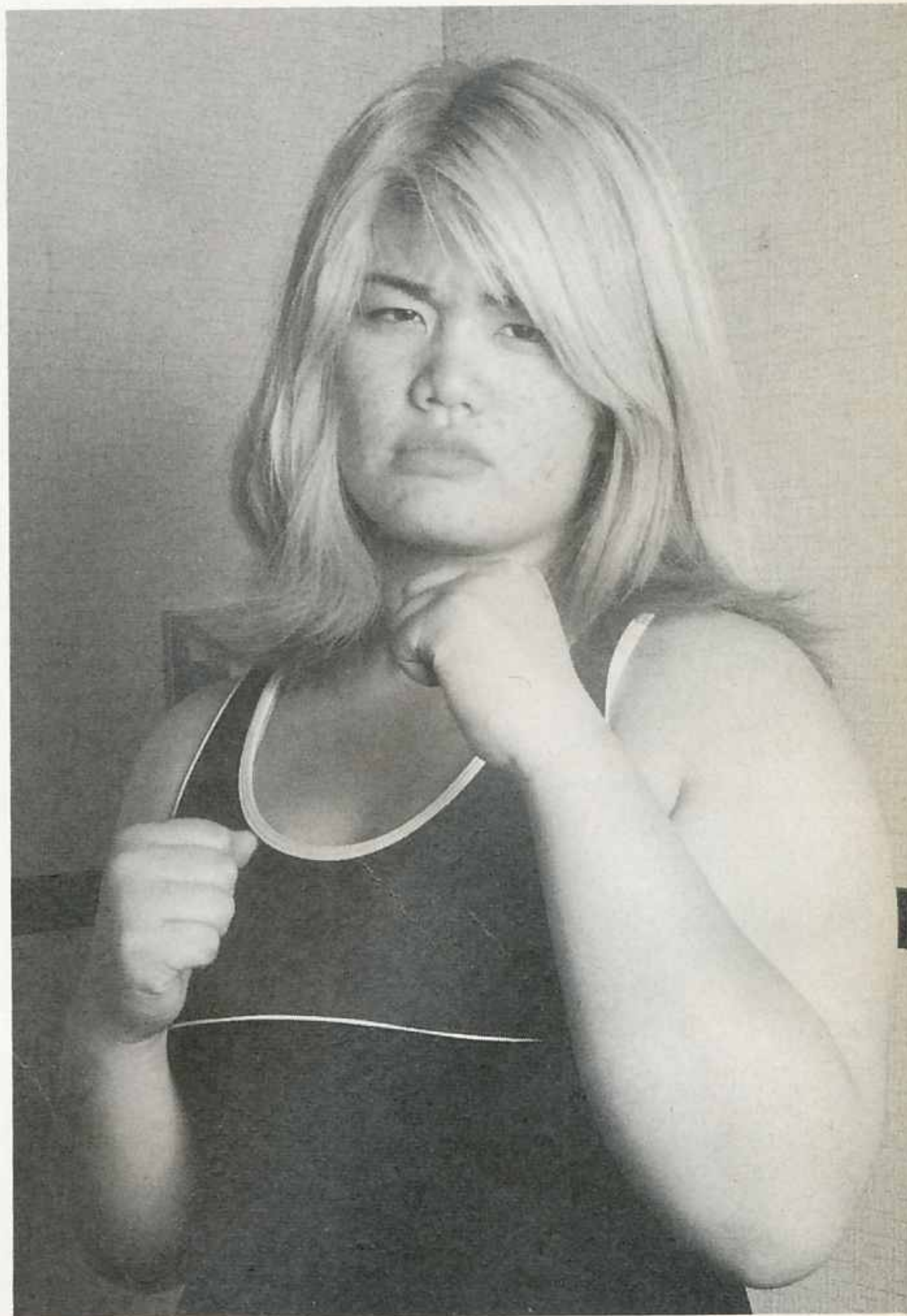
——ガハハハ! 空き巢やったんですか! 凄げえ!

中原 空き巢なんて入る人いないですよ(笑)。

——他にはどんな悪いことをしてたんですか。

中原 バイク盗んだりとか。みんな、やりますよね?

——みんなかどうか知りませんが(笑)。喧嘩もしよっちゅうでしたか?



凶器しか使わない プロレスをしたい!

選手の大量離脱によって若手の急速な成長が課題の全女。そんな中、悪の限りを尽くし、経歴を聞いただけで松永会長がオーディションを合格にしたという恐るべき新人がデビューした!

中原 喧嘩で捕まるのが一番多かったですね。

——近所の中学をシメにいったりしてたんですか?

中原 はい(笑)。

——カッアゲしたり?

中原 カッアゲは、どうしてもお金がないときだけ。悪いことしても親が、「アンタはアンタで勝手にやりなさい」って。小学校1年の時から、ずつとほったらかしなんで、こんなふうになるのもしようがないと思います。

——そうですか……今の状況は楽しいですか?

中原 別に楽しいわけじゃない。嫌なこと、たくさんありますし。「前に比べたら、楽しい生活してるなあ」とは思いますけど。

——どの辺が楽しいですか?

中原 精神的に楽です。

——それで、入門してから20キロも太っちゃったんですか?

中原 ハハハ、そうじゃないと思います。煙草やめたから(笑)。

——ガハハハ! 「煙草やめると食いものがおいしい」って言いますからね。

中原 そうですよ! 口淋しくて、なんか食べちゃうんですよ。

——煙草デビューはいつ頃ですか?

中原 小学校3年生の終わりぐらい。5年生のときには、毎日吸ってましたね(笑)。お酒も好きです(笑)。

——そういえばロッシー小川さんの本に「中原は中学時代にすべての禁を経験」って書いてあったんですけど。

中原 みんな破ってるんじゃないです

良い子は絶対マネするな!

中原奈々 (全女) インタビュー

聞き手/坂井ノブ
interview by Nobu Sakai

撮影/斉藤ユーリ
photographs by Yuri Saito

祝デビュー! 未来の全女を

か? (笑)

— 知りませんよ (笑)。煙草もお酒も好きなんですか?

中原 煙草もお酒も好きです (笑)。

— で、男も好きだと?

中原 はい (笑)。でも、今は断ってるんで。でも、誰かが煙草吸ってるのを見ると、イライラしてきちゃう。

— それで今、いくつなんですか?

中原 16歳になったばかりです。中学卒業して入ったんで。ここにこなかったら、出席日数が全然足りないんで中学1年生からやり直すか、ちゃんと面倒を見てくれる就職先か、さもなければ鑑別所に入れられるって、卒業と同時に言われて。

— もの凄い選択肢ですね (笑)。

中原 どれも嫌だったんで、一番やりたいプロレスしかないと思って。

— 昔からプロレスは見てましたか?

中原 はい。宇野さん、中野さんが好きでした。プロレスラーになりましたかったのは小学1年からです。知り合いがプロレス好きで、プロレスに接する機会が多かったんでやりたいと思って。

— それでお金を稼ごうと思った?

中原 そうですね。自分の一番好きなことをやって、お金を貰えるんだから天職かなと思いますね。

— 天職でしょうね。同期の人はいかがですか?

中原 前の同期がみんな辞めて、今の同期はみんな出戻りなんですよ。

— 今の同期の方がいいですか?

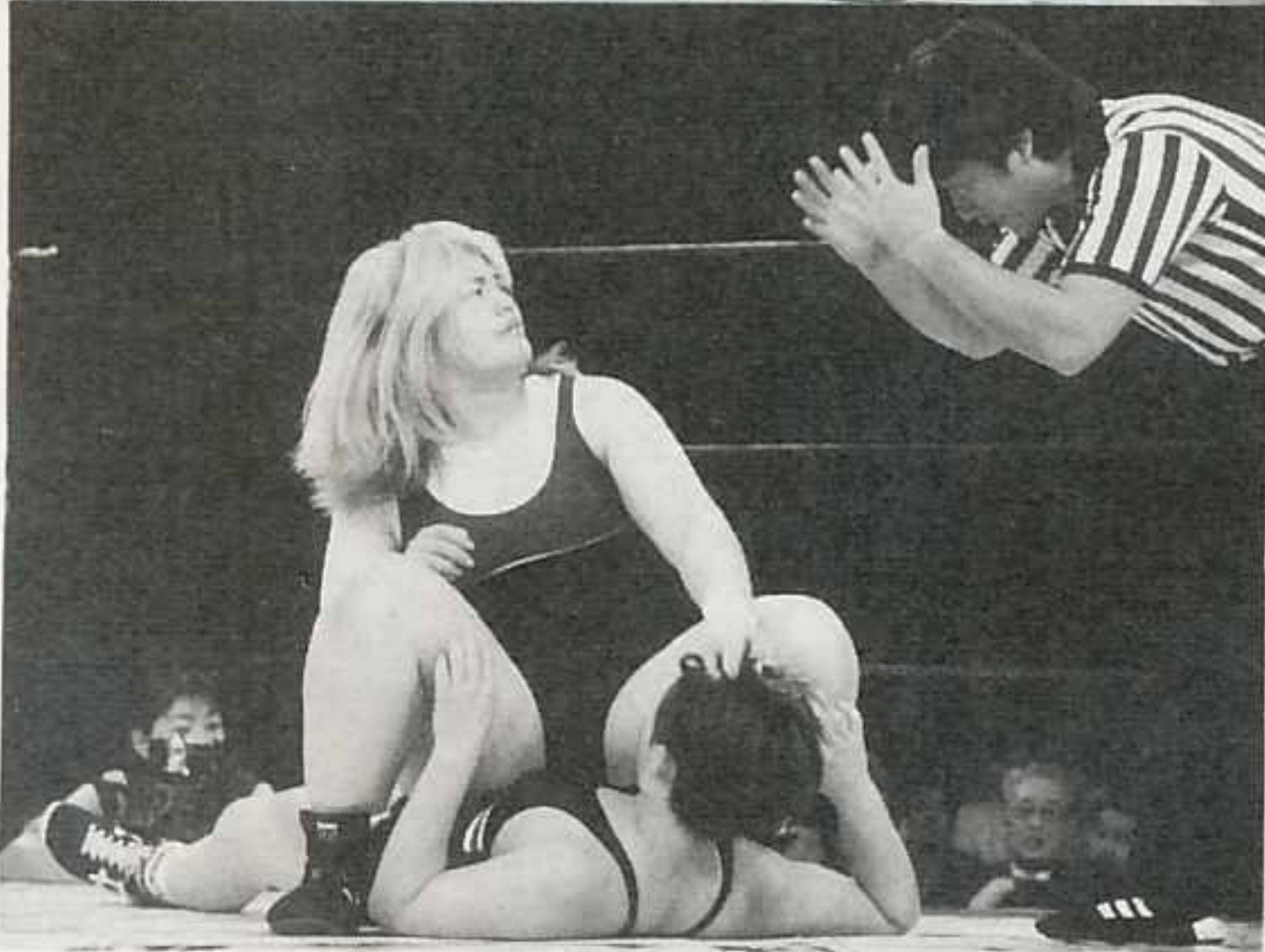
中原 前はもう、毎日殺し合いでしたから (笑)。毎日喧嘩。

— いいですね、物騒で (笑)。

中原 ムカつくヤツが一人いたんですよ、超デカイ子が。172センチ72キロで。

— 原因は何ですか?

中原 「年が離れてて、あんたとは合わない」というくだらないこと (笑)。いつかスパリングで殺してやろうと思ってたら、そのうち辞めていきました。辞めてうれしかった (笑)。



なぜかデビュー戦から1対2のハンディキャップマッチとなった。腕を骨折しながらも「ムカつく」納見と同期の豊田をラフ殺法で一蹴。従来の基本的なプロレスはまったく無視。大物の予感を存分に漂わせた試合だった。

中原 いつも普通のスパリングだと、あっちが柔道初段ですんごい強くて。プロテストの日には「絶対負けない」って気合入れて。

— 気合入れて椅子を使う (笑)。

中原 その同期が、会長に「椅子で殴られたら、椅子で殴り返すぐらいの気迫がなきゃだめなんだよ」って言われたら、「椅子使わなくても、中原には勝てます」とか言っちゃって、チキシヨウ! いつかどっかで見かけたら、プ

ツ殺してやりたいです。

— 是非、ブツ殺してください。これからはデビューして、先輩と当たっていかないとイケない状況ですけど。

中原 倒せるように、頑張りたいです。

— 最近、ヒールが試合を組み立てられるようになってますよね。

中原 でも、ただ凶器使いたいだけなんで。凶器しか使わないプロレスをやりたいです。

— まあ、プロレスってやっちゃったもん勝ちの部分もありますからね。

中原 やっちゃいますか (笑)。

— やっちゃいましょう! (笑) と

ところで、今ムカついてることはありますか?

中原 山ほどあるんでわかんない!

— 先輩から冷ややかな視線を浴びせかけられたとかは?

中原 いっぱいありましたよ。「凄いがいる!」って、わざわざ他の先輩連れて見に来たりとかする人もいたし。夜、道場とかに呼び出されたこともあって。で、その時たまたま、自分が遊びに行っちゃたんですよ。 (笑)

— 寮を抜け出して、夜の街へ繰り出したんですか? (笑)

中原 友達と飲みに行っちゃって (笑)。それで明け方の5時ぐらいに帰ってきて怒られて、また悪いイメージがついて。 (笑)

— よくクビにならないですね。

中原 結構、怒られましたよ。別に逃げたんじゃありませんよ。ただ抜け出して遊びに行っただけなんです。でも、「見せもんじゃネエよ!」って言ってやりたかったですね。いつか、言える地位に立ったら言います。

— リングに上がれば、先輩も後輩もないですからね。頑張ってください。

中原 いつかその人より強くなつて、言える時期が来たら、見返してやろうと思ってます。

『97年11月20日、全女道場にて収録』

先輩&同期が語る
大型極悪新人・中原奈々!

ワルが

前のページの中原インタビューはいかがだっただろうか?平成9年の日本には珍しい札付きの不良が、厳しい縦社会の全女の中で生き残っているのか?先輩や同期に中原の人となり聞いてみた!

奈々に



堀田祐美子

「3年後5年後には、すごい選手になってると思います。会ったときに、『堀田、元気か?』なんて言われちゃったりしてね(笑)。やりかねないですから。入ってきたときは腕立てもできない、走るのも出来ない、歩いているのか走っているのかもわからない状態で。でも、プロレスのセンスが、今は練習見て一番じゃないかな。新人は手取り足取り教えたことしかできないんだけど、中原はそれに自分のオリジナルをミックスしちゃみたい。あれは大事に育てていきたいなと思います」



豊田真奈美

「印象は(笑)……いいんじゃないですか、体も大きいし。まだ派手なこととかは出来ないと思うけど、でも地で試合を引っ張っていけると思うんで。もともと悪かった子だから(笑)。私もデビュー戦は楽しみにしてるんですよ(笑)」



井上貴子

「あの子の場合はいきなり悪役からデビューするって感じなんで、ちょっと異質ですね。練習よりも、本番に強いというか。ああいうことをすること自体、今もう格好悪いとか恥ずかしいとかいう奴が多いじゃないですか。でも、堂々とやってるんで。いいんじゃないの(笑)」



伊藤薫

「(プロレス的に)大化けすると思いますよ。あんだけ身体が大きかったら、うらやましいですよ。まだまだ、背も伸びる可能性もあるし、そうじゃなくても自分よりデカイから(笑)。(凶器しか使わない試合がやりたいと言ってましたけど?)自分、正当派はなんで闘いますよ(笑)」



前川久美子

「最初からヒール志望で入ってくるのはすごいですよね。自分の身体をまだ使いこなせてないから、もっと基礎体力つけたりした方がいいんじゃないかなと思いますけど」



中西百重

「えっ! 中原!? 恐ろしい(笑)。怖いんですよ。でも、掃除とかはキッチリしてるんですよ。部屋もキチンとしてるし。試合では、できれば当たりたくないです(笑)。反則ばかりしやがってっていう気持ちが試合に出て、いい試合になるかなと思います」



藤井巳幸

「中原はちょっと馬鹿です、かなりキテますね(笑)。初めから金髪で、最初はファンの人かと思った(笑)。最初は話題の中心人物でした。自分は、ヒールも少しは……やっぱりやりたくないです(笑)」



豊田紀子

「すごいですよ! あの人に乘っかからただけで、もうダメです。(同期では目立ってるけど)もっと、目立ってもいいんじゃないですか。今はまだ追いつけないですけど、試合でも勝つぐらいにはなりたいですね。スパーリングではまだ勝てないです」



高橋麻由美

「自分は体が弱いんで、具合悪くなるとすぐ飛んできてくれたりするので、面倒見はいいですよ。(アイドル顔は嫌って言ってましたよ?)自分は男顔なんで(笑)」

こいつが全女を救う…
かもしれない

大

「つっすきる態ははい、ジあま」

「印
すか
とか
試合
もと
私も
は楽
るん

TERRY FUNK

聞き手／坂井ノブ
Interview by Nobu Sakai
撮影&通訳／藤見道隆
photographs by Michitaka Fujimi

寂しくはないさ。ただ 思い出があり過ぎる

——テリーさんを見ているといい意味でクレイジーなプロレスラーという感じですよね。そこがテリーさんの時代のプロレスラーの魅力ですよ。

テリー ハーッハッハッハッハ、オレもそう思うよ。歳をとったクレイジー・オヤジだな。

——ハハハハハハ、さっき自分で若いって言うてたじゃないですか? (笑)

テリー ノー……。 (と呟いて突然うなだれる)

※前号のインタビュー途中で突然うなだれてしまったテリーさん。質問が悪かったのか? ただならぬ雰囲気を感じ浮かべながら続きを読むで頂ければ幸いです。

——そんながっかりしないでください。

テリー (さらにがっかりしながら) それは私がいちばん知ってる。ホントは自分だって若いと思いたいんだ……。

——テリーさん見てると、十分若いですよ。ムーンサルト・プレスやったりしてんじゃないですか?

テリー オレはすっかり歳を取ってしまったよ。だが、今でもミスターババのことをすごく尊敬しているんだ。

——なぜですか?

テリー もし、ババがいなかったら、オレはここにいなかっただろう。彼がジャパンに来る機会を与えてくれたんだ。ミスターババの奥さんも尊敬しているよ。——いずれは全日本のリングにカムバッ

クして、馬場さんに感謝のあいさつをしたいと思いますか?

テリー トゥー・オールドだよ。歳を取りすぎた。

——セレモニ的にエキシビジョン・マッチをやる形でもダメですかね?

テリー わからないよ……。 (と頭を抱えて寂しそう)

——寂しそうですね。

テリー そんなことはないさ……。 (遠くを見つめながら) 思い出がたくさんあります。

——全日本プロレスに上がっていた頃は女性のファンも多かったですが、いい思い出はないですか?

テリー 思い出はたくさんあるが、もし昔に戻れることが出来ても昔には戻らないんだ。前に突き進むだけだ。私はあなたにとってテリー・ファンクだが、あなたは私にとって若いファンなんだ。時間が人を変えていってしまうから、昔のファンのことを気にしている暇はないんだ。みんなが同時に変わっていくから、たとえオレが兄貴とタッグを組んでブッ

チャー&シーク組と闘っても、たぶん昔のファンは数えるほどしか戻ってこない。だったら、ドンドン前に進んで新しいファンを作った方がいいだろう?

——そういう意味では、昔の地位に甘んじることなく転がり続けるテリーさんの姿は、プロレスラーの鏡ですね。

テリー イエス。ひとつだけ、これからやりたいことがあるんだ。もう一回だけドリーと組んで……。日本で試合をしたいんだ……。ザ・ファンクスでやりたい。(涙目で言葉を絞り出すように)

——是非、実現させてください!

テリー ノロマになってるけどね。是非、実現させてください! 先日、アマ

リロでファンク一家の興行がありましたよね? ドリーさんはロブ・ヴァン・ダムと試合したり、テリーさんはブレット・ハートと試合したりしてますが、ああいう興行を日本でやる気はないんですか?

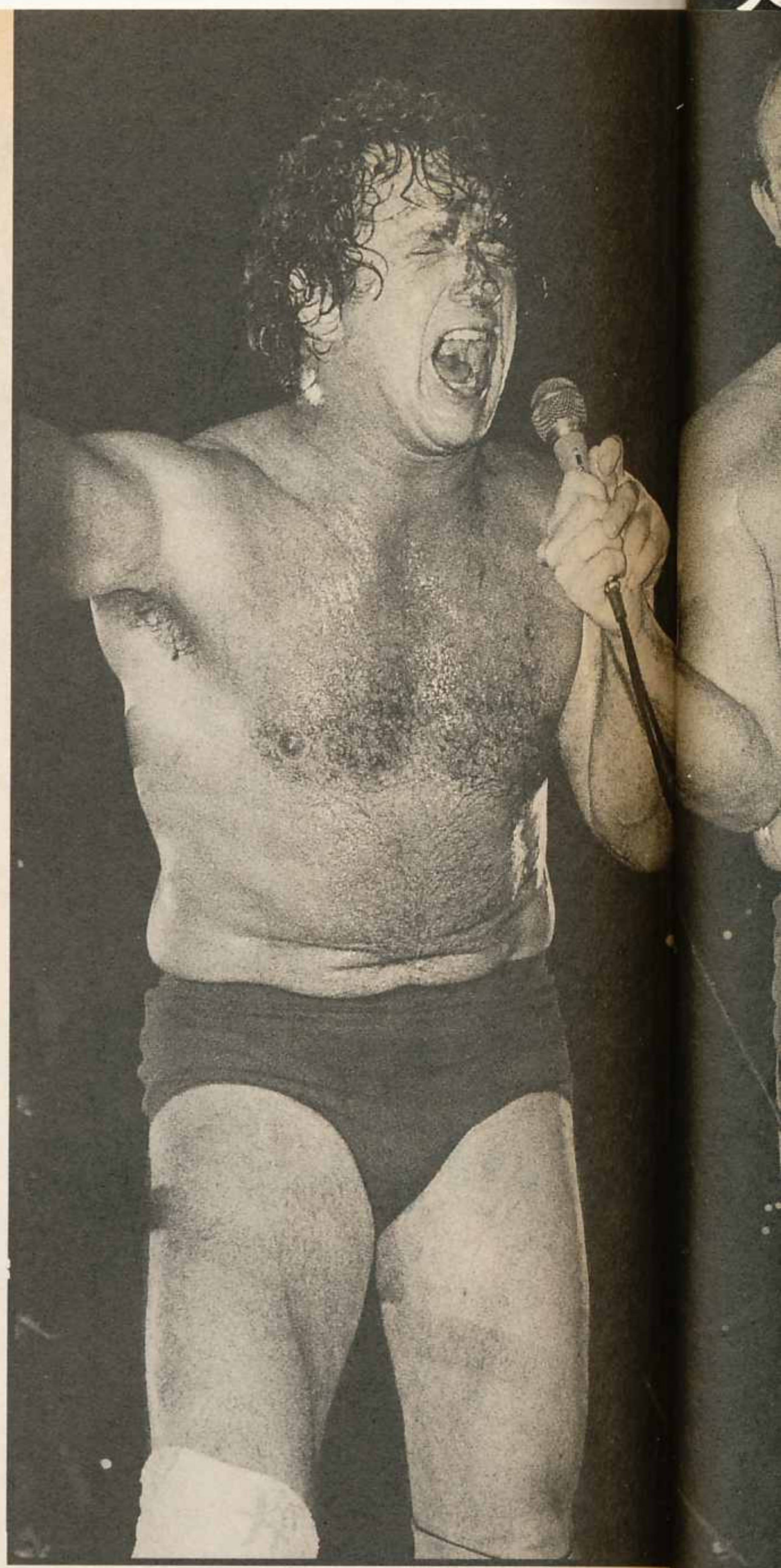
テリー そりゃいいことだ。もし、そういう望みが叶うんだったらやりたいな。

——是非、見たいですよ。

テリー ロブ・ヴァン・ダム戦とかブレット・ハート戦もいいが、ザ・ファンクスでやりたいんだ。それができたらもう、思い残すことはないさ。

——そんな寂しいことを……。で、寂しいついでにもうひとつ寂しい話なんです。最近テリーさんの周りで淋しいことがいくつか起こってますね。フリッツ・フォン・エリックやディック・マードックが死んでしまったことなんです。テリー (小声で) たくさんの方が死ん

っちゃって帰ってこないだろ? それで



1983年8月31日蔵前国技館で一回目の引退試合を行ったテリーさん。一世風靡の大テリー・フィーバーが巻き起こった。プロレスが世間を大いに巻き込んでいた時代である

だよ。私の知り合いが大勢死んだよ。プロレスラーは若くして死んでしまうものなんだ。人生、長くはないんだよ。

—— 太く短く生きてるんですねえ。

テリー—— そう見えるだけさ。いろんな理由があるんだよ。サーキットに出たり、トッププロップから飛んだり、頭を打ち過ぎたり……。相撲取りもそうなんだろうけど、若いうちに引退して、運動しないで現役時代と同じ量を食べてしまっただけで動かないから早く死ぬことが多い。レスラーを辞めてから、ハートに穴が開いて、何をしていいのかわからないまま死んじゃうことも多い。

—— テリーさんが一回引退したのに戻ってきたのは、ハートに穴が開いたからですか？

テリー—— 何かを失ったような気がしたから。プロレスとジャパンが恋しくなっちゃったんだ。

—— 日本は好きですか？

テリー—— もちろんさ。

—— どんどころが好きですか？

テリー—— 人生に成功した場所だ。ここに来てから25年になるが、ここに来てから成功したようなものだ。もし、アラスカから来た女に恋してしまったら、お前もアラスカに行くだろう？

—— ハハハ、深いたとえばねえ。

テリー—— プロレスはオレの彼女なんだ。

—— 彼女を追って25年も日本に來続けているんですね。

テリー—— でも、オレはマイ・ワイフのことをすごく愛しているぜ（笑）。

—— テリーさんには娘さんが2人いるんですね？ 日本での引退式のときにテングロンハットを被ってましたね。

テリー—— とてもいい家族で、優しいワイフだよ。とても愛

してる。娘は2人とも結婚しちゃったが、ベリーベリーベリーハッピーに暮らしてるよ。しかも、相手はレスラーじゃない。オレにとってこんなにハッピーなことはないよ（笑）。

—— 何ですか？

テリー—— プロレスラーはバカ過ぎる！ トゥー・バカ！ プロレスラーの家族がいなくて良かった。

—— 日本語でバカって（笑）。

テリー—— 本気で言ってるだぜ（笑）。息子だったらレスラーになってもいいが、娘にはレスラーと結婚してほしくないな。

—— レスラーの奥さんは苦勞をするというのをテリーさんが身を持って知ってるからでしょうね。

テリー—— サーキットに行

っちゃって帰ってこないだろ？ それでマイ・ワイフも娘も苦勞してるから、そんな思いはさせたくないんだ。

—— テリーさんがレスラーになったのは、父親のドリー・ファンク・シニアの影響ですよ。

テリー—— イエス。オヤジは熱心な教育家だったんだ。「プロレスラーになれ！」とは言わなかったが、確実にオヤジには影響されてるな。

—— うすうす「プロレスラーになってほしいな」というシニアの願望は感じてたんですか？

テリー—— オヤジはオレがプロレスラーであることに誇りを持っていたな。もし、オレが教師になったとしても、そのことに誇りを持っていたと思うよ。何かやりたいものがあって、それに一生懸命だったら、何になってもオヤジは気にしてなかったと思うがね。

—— テリーさんのケンカっぱやいところや周りの人をハッピーにするのもシニアの影響ですか？

テリー—— （泣きそうになりながら）オヤジにそっくりさ。オヤジもクレイジーだったな。クレイジー・オートサンだ！でも、ワンダフルな温かいハートを持ったオヤジだったよ。

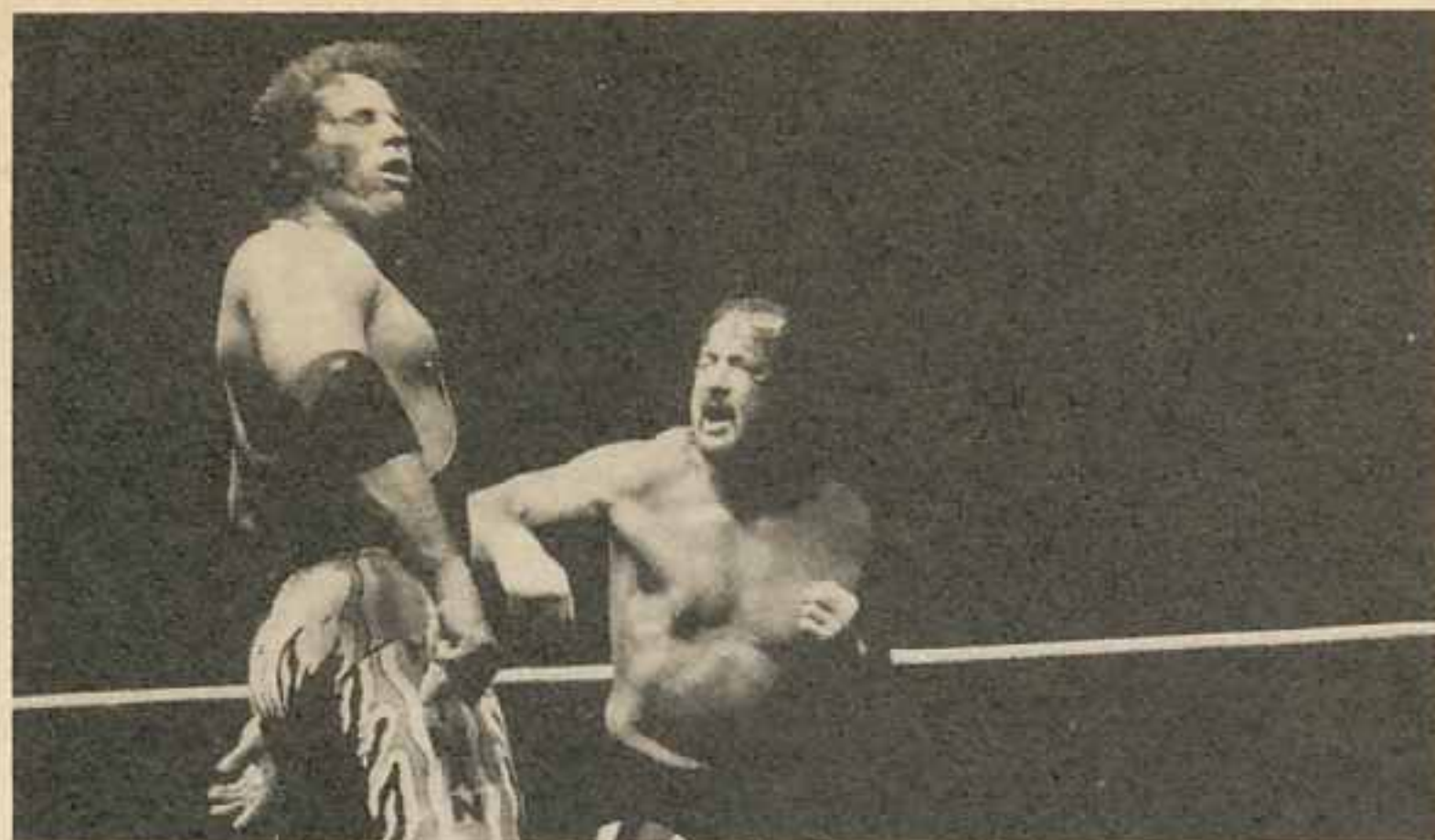
—— 是非、生きてたらシニアにお会いしたかったですよ！

テリー—— （涙がキラリ）オレだって会いたいさ……。

—— テリーさん、孫はいるんですか？

テリー—— もう、いつ孫ができてもいいように準備してるんだけどな。でも、「孫が欲しい」って言うと、どんどん出来な

TEXAS BRONCO! テリー・ファンク TERRY FUNK



今年9月11日、アマリロで行われた最後のテリー・ファンク自主興行。その
メインでブレッド・ハートとWWF王座を懸けて闘った。日米のインディーと
メジャーを巻き込んだ一大興行であった(写真提供=東芝EMI 週刊プロレス)

日本であと一度だけ ザ・フランクスの試合をしたい

くなっちゃうもんだろ? だから、言わ
ないんだ(笑)。

— 言わないけど欲しいと(笑)。もし、
テリーさんに孫が出来たらレスラーにし
たいですか?

テリー (遠くを見つめながら考え込む)
孫がやりたければやらせるよ。もし、オ
レの目から見て確実に成功する要素があ
れば、是非やらせたい。

— その「レスラーとして確実に成功す
る要素」って何ですか?
テリー 普通のレスラーになりそうだと

たらやらせないよ。例えば、それはプロ
テニスプレイヤーと同じで、アマチュア
のテニスプレイヤーとして楽しんでテニ
スをやりたいんだっただけいいんだが、プ
ロとして成功しないんだっただけやらせな
いさ。レスラーになるにしても金はかか
るものだろう? ルーズベルト大統領の
「名譽ある人間は、いかなる障害にぶつ
かっても何回も何回も、這いあがってく
るものだ」という第二次世界
大戦時代の言葉がある。ルー
ズベルト大統領が言わんとし
てることは、100%力を出
しきることだ。それが
オレの思うレスラーとして成
功する要素だ。それが私にと
って大切なことであり、誇り
でもあるんだ。一流のレスラ
ーになることは、惜しみな
く努力して一生懸命努力して、
成功するビジョンを視野に入
れていなければダメだ。身体
の大きい小さいは関係ないん
だ。

— では、最後の質問なんで
すが、日本のプロレスファン
にメッセージがあったら願
いします。

TEXAS BRONCO! テリー・ファンク TERRY FUNK

テリー ノー! まだまだだ! 最後
はしないぜ(笑)。一回だけ……ザ・フ
アックスで試合がしたいんだ。来年も再
来年もジャパンに来るよ。(メチャメチ
ヤ寂しそうに) 試合のときはいつも10
0%力を出しきることは約束できるよ、
勝てるかどうかは約束できないけどね。
もう、時間がないんだ。

— 人生に対して焦りはありますか?
テリー ああ。

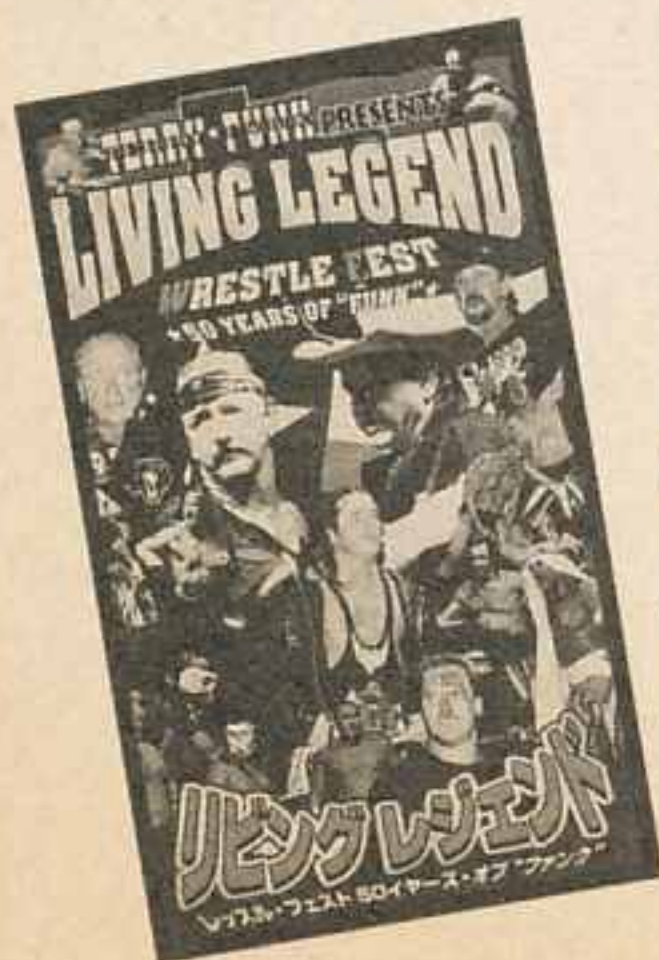
— 時間に追われてるという感じがす
か?
テリー ああ。ケガも多くなってきた。
年を取りたくない。オレは困難な山に挑
戦したいんだ。年を取ったら、山を遠く
から眺めてることしかできないが、オレ
は年を取ってもまだまだ山を登れるん
だ! このまま、ずっと
プロレスを続けられるか
どうか、心配だよ。

— いつまでもクレイジ
ーなプロレスラーでいて
ほしいと思うんですが。
テリー ハッハッハッハ
ッハッハ、ノープロブレ
ムだ! オレはいつまで
もクレイジーなプロフェ
ッショナル・レスラーだ
ぜ!

— ところで、もうテン
ガロン・ハットは被らな
いんですか?
テリー ノー! 時代が
人を変えるのさ。

「97年9月27日、とある池
袋のホテルにて収録」

テキサス・ブロンコ伝説をその目で確かめろ!



インタビュー中も話題にあがった「ファンク一家最後の自主興行
in アマリロ」のビデオが12月17日発売! ファンク一家、FM
W、WWF、ECWが入り乱れた一大興行である。特別映像特典
としてテリーさんの自宅やシニアの墓地もパッチリとカバーして
いる。プロレス界の偉大な先達の魂を心に刻むべし!

●Terry Funk Presents 『リビング レジェンド』

～WRESTLE FEST 50 YEARS OF "FUNK"～
¥6000円(税込) 制作・著作=テリー・ファンク&ファンク・
マスターズ・オブ・レスリング 制作協力=M I J 協力=FM
W/週刊プロレス 発売・販売=東芝EMI(株)

●もうひとついいですかっ!

ビデオ『リビングレジェンド』発売記念
テリー・ファンク サイン会のお知らせ!

- 日時・12月18日(木) 19:00開始
- 場所・新星堂 カルチェ5 新宿店
- 対象・上記のお店で、ビデオを購入のお客様のみ先着200名様限
定。さらに当日のみの購入特典としてテリー・ファンクのカラ
ー生写真(非売品)にテリーさんがサインを入れます! テリ
ーさんの熱い魂に触れろ!

【問い合わせ】新星堂カルチェ5 新宿店 TEL 03-3355-8731

特別
企画

プロレス マスコミ 観戦雑記

文／吉田豪

え／マツくん



これはプロレスマスコミの
端くれにひっそり位置する
筆者が高田対ヒクソン戦を
観戦して思ったことを
冷静に報告する、
まるで素人レベルの
作文のような
雑記帳である！

先輩&同期が語る
大型極悪新人・中原奈々!

前のページの中原インタビューはいかがだった
だろうか?平成9年の日本には珍しい札付きの不良が、
厳しい縦社会の全女の中で生き残っていきけるのか?
先輩や同期に中原の人となりを聞いてみた!



闘魂 闘魂

高田 vs ヒクソン 観察雑記

蝶野ではないが、高田が負けた理由は単純な話「ルールが悪い!」という、それだけのことである。

プロレスラーたるもの、たとえ異種格闘技戦であろうとも相手を自分の得意なルールに無理矢理にでも引きずり込まないでどうする。

かつて新弟子時代の佐山聡がマーク・コステロにキックルールで負けたときには、誰もそんなルールで仇を取ろうとは思わなかったはずである。なのに、どうしてグレイシーにはバリ・トウード流のルールでレスラーが挑戦しなければならぬのか?

せめて、これまで猪木がさんざん苦しめられてきたことをヒクソンにもキツチリ味わってもらうため、「寝技は5秒以内」だの「グローブ着用」だのといった理不尽ルールぐらい突きつけてやるべきなのである。でしょ?

さて、それでは打倒ヒクソンのために最も重要なルールとは何なのか?

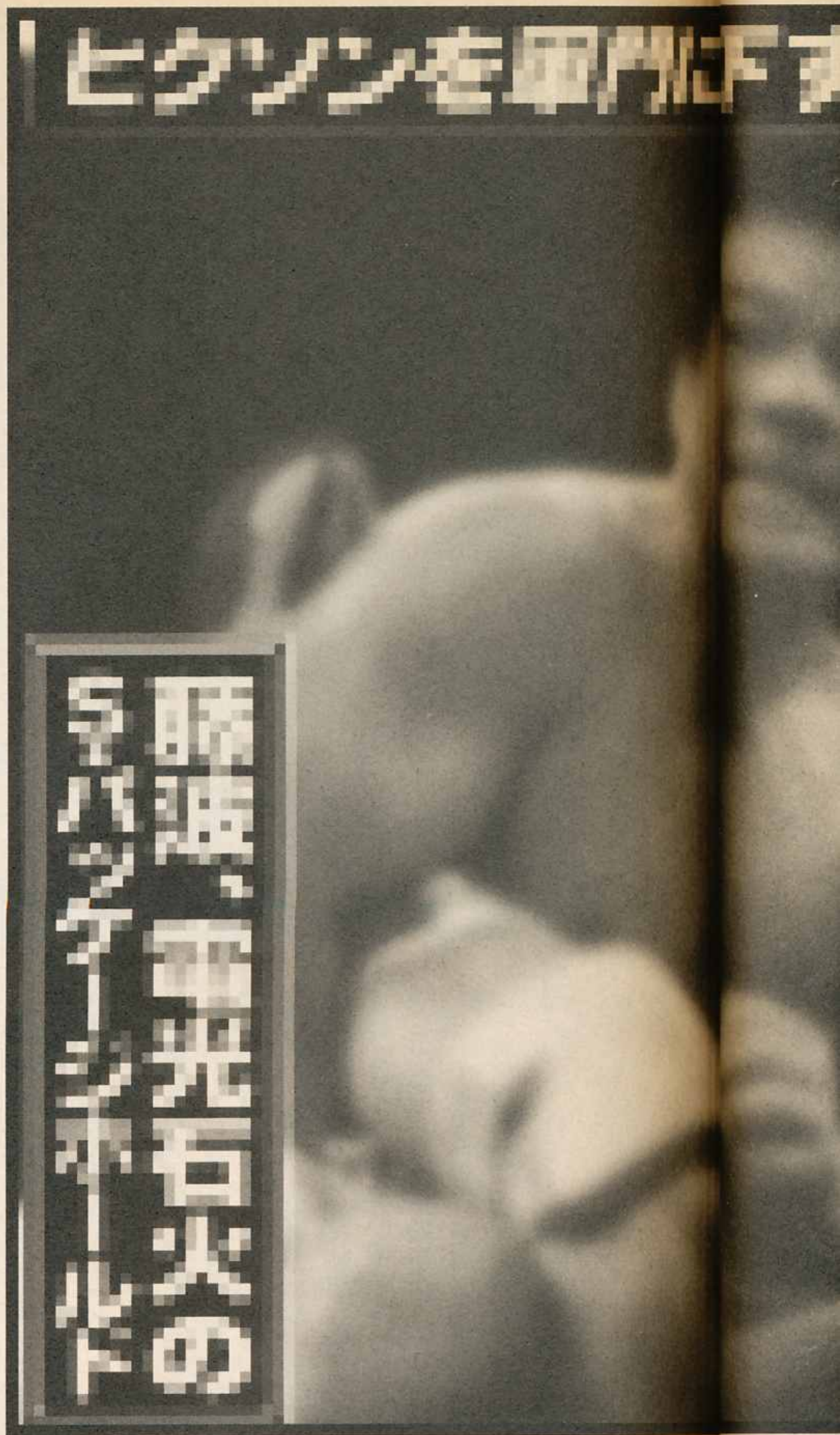
それはもちろん、プロレスラーにとって最も馴染みの深い(＝有利な)ルール、つまりスリーカウント・フォールの導入に他ならない。

夢はみるみる膨らんでいく。

スリーカウントの魔術師といえば我らが藤波辰爾しかないのだから、対戦カードは当然「無敗のヒクソン」対「無我のドラゴン」。負けのない男と自分のない男の一騎打ちだ。

そもそもヒクソンが「日本人より日

ヒクソンを軍門下す



藤波、電光石火の ヒクソン・ペーサー

本人らしいサムライなどと当然のよう
にマスコミで言われていること自
体、自宅に「葵の間」を作るほどの武
将好き男・ドラゴンにとってはどうに
も許し難いことに違いない。

そのため自ら前髪をハサミで切りつ
つヒクソン戦を格闘技連盟のボス・猪
木に直訴すると、「やれんのか、本当
に!」と平手打ちされながらも最後の
飛龍革命をブチ上げるのだ。

「ヒクソンなんかより、ウチの越中の
方がずっとサムライじゃないか! な
んてたってサムライ・シローだし。
ウチの西村なんかなあ、シヨーグン・
ニシムーラなんだぞ!」

記者会見でドラゴンは、こんなドラ

ゴンボンバーズ魂溢れる理解不能なこ
とばかり吠えまくった。この時点では、
完全にドラゴン・ペースである。

そして試合当日。

この日は藤波にとって二度目のワン
マッチ興行である。

札幌中島体育センターのリングサイ
ドには、長州率いる新日勢や天龍、鶴
田のみならず、ドラゴンゆかりの人々
がすっかり集結していた。

ボクシングのコーチ、ガッツ石松。
ベニー・ユキデ仕込みのキックを伝
授してくれた盟友・木村健悟。腰を治
してくれた心霊治療の先生。マツチヨ
ドラゴンの振り付けを担当してくれた
ジャズ空手の沢村先生。ドラゴンボン

バーズの隠し玉・南海龍。そして、愛
するかおり夫人……。

すっかり会場全体がウェットな空気
に包まれていることも気にせず、ドラ
ゴンはいつもと同じように雪崩式リン
グインで入場してくる。

レフェリー（キングダムからの抗議
により、なぜか島田裕二からミスター
高橋に変更）まで明らかに緊張してい
るような極限状況の中、ついに試合開
始のゴングが鳴り響いた。

いつものように得意の関節蹴りとパ
ンチを繰り出すヒクソンだったが、ド
ラゴンをなめてはいけない。ガッツと
健悟による打撃特訓のおかげで、ヒク
ソン程度のチンケな打撃ぐらい簡単に
見切れるようになっていたのだから!

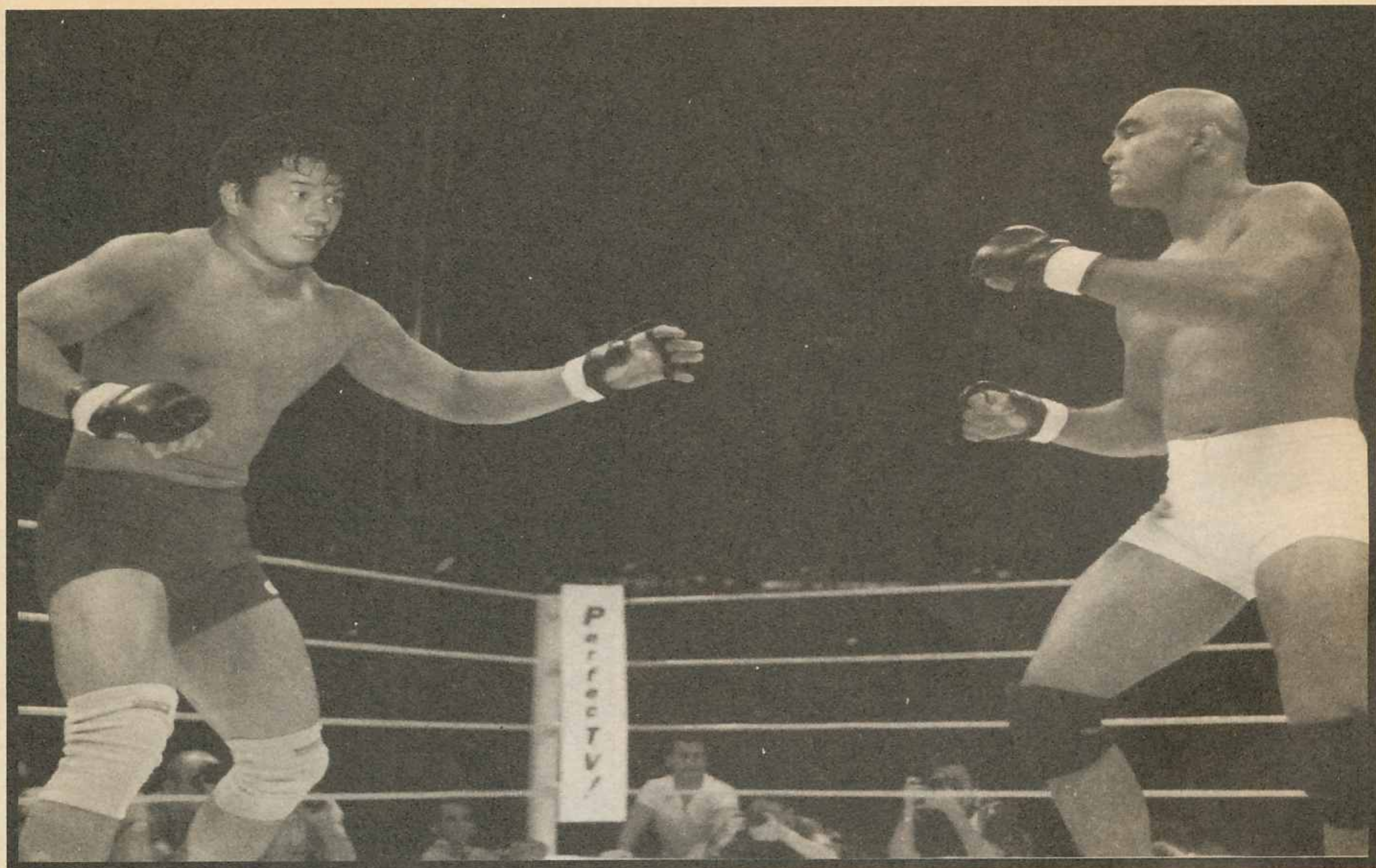
……あれ?

いつの間にやら目も当てられないほ
どボコボコにされてしまい、鼻骨は折
れるわ（ドラゴンロケット失敗の古傷）
目の上は切れるわ（前田にやられた古
傷）で、ドラゴンは一気に血塗れ。

なんとか奇跡的にバックを奪いフル
ネルソンの態勢には入れたのだが、あ
の腰ではドラゴン・スープレックスが
繰り出せるわけもない。まあ、要する
にいつものパターンである。

さらにキックが全く見切れないため
起死回生のドラゴンスクリューさえ使
えず、全くいい所のないまま試合はあ
っさり終わるかと思われた。

……ところが!



プロレス
マスコミ
観戦雑記

タックルからマウントポジションへと移行しようとしていたヒクソンの一瞬の隙を逃すことなく得意のスマールパッケージ・ホールドで丸め込み、電光石火のカウントスリー! ミスター高橋のカウントが無茶苦茶早かったような気もするが、そんなことはどうだっていい。スリー入ったのは事実なのだ。プロレスが、しかもUWFではなく新日が、それも致命的な腰痛を経て復活した後も順調に迷走し続けたドラゴンがグレイシーに勝利したのだ!

指を3本突き立てレフェリーに確認した後、長州に肩車されながらも両腕を挙げて心から喜ぶドラゴン。

そして「俺は負けてない!」とばかりに無然とした表情をしたままの黒いサムライ・ヒクソンに対し、ドラゴンはいこう言い放つのであった。

「甘い! 甘いんだよ! もしこれが戦国時代だったら、3秒間も押さえ込まれた時点でお前の命はないんだ! やるんだったら俺を殺すまでやれ!」かつて橋本に言い放った発言とほぼ同じ自己流の武士道をなぜかブラジル人にまで押しつけ、すっかり悦に入るドラゴン。

ところがいつものように猪木がリン

グ上に出て来ると、いつものように空気が一変してしまう。

「元気でるかアッ! え、ヒクソン君もよりによってプロレス界でいちばん弱い奴に負けてしまったというかね。私自身、ブラジルでバーリ・トゥードの選手と闘ったり、インディアンに挑戦されたりしてきましたが、決して負けたことがねえんです! だから私は今後もいつなんどき、誰の挑戦でも受ける、と。まあ、ヒクソン君もこれでプロレスに非常に興味が出てきたというところで、しばらくは猪木軍団の一員として格闘技連盟の道場と一緒に建設していこうじゃないか、と。そういうわけで……、いきますかアッ! 1、2、3、ダァッ!」

相変わらずの自己中心的すぎるマイクアピールで藤波もヒクソンも喰ってしまった、すっかり興行の主役と化す猪木。会場は猪木コール一色である。

さらに、なぜかドン・フライまでヒクソンに喰ってかかっていき(当然、腰にすがって必死に押し止めるのは佐山の役目)、今後の伏線まで次々と張られ始める始末。

いつの間にもやら誰一人として自分に注目していないことに気付いた藤波は、「こんな会社、辞めてやる!」と泣き叫びながら雪の札幌に消えていくのであった。……って、なんだかどこかで聞いたような展開だが、まあいい。やはり、どこの誰よりもノールールで何でもありなのは、我らがアントニオ猪木ということなのである。押忍!

暗くて重い、イヤ〜な話題の多かった97年のマツ界。ま、『関プロ Vol.2』でも読んで、ほんの一時でいいから忘れましょうよー

大変長らくお待たせしました!!

驚異的な売上げを示した第1弾発売から約10ヵ月、
異常とも思えるヴォリューム・アップを図り『関絶! プロレス秘宝館 Vol.2』ついに完成!!!!

シンコー・ミュージック・ムック

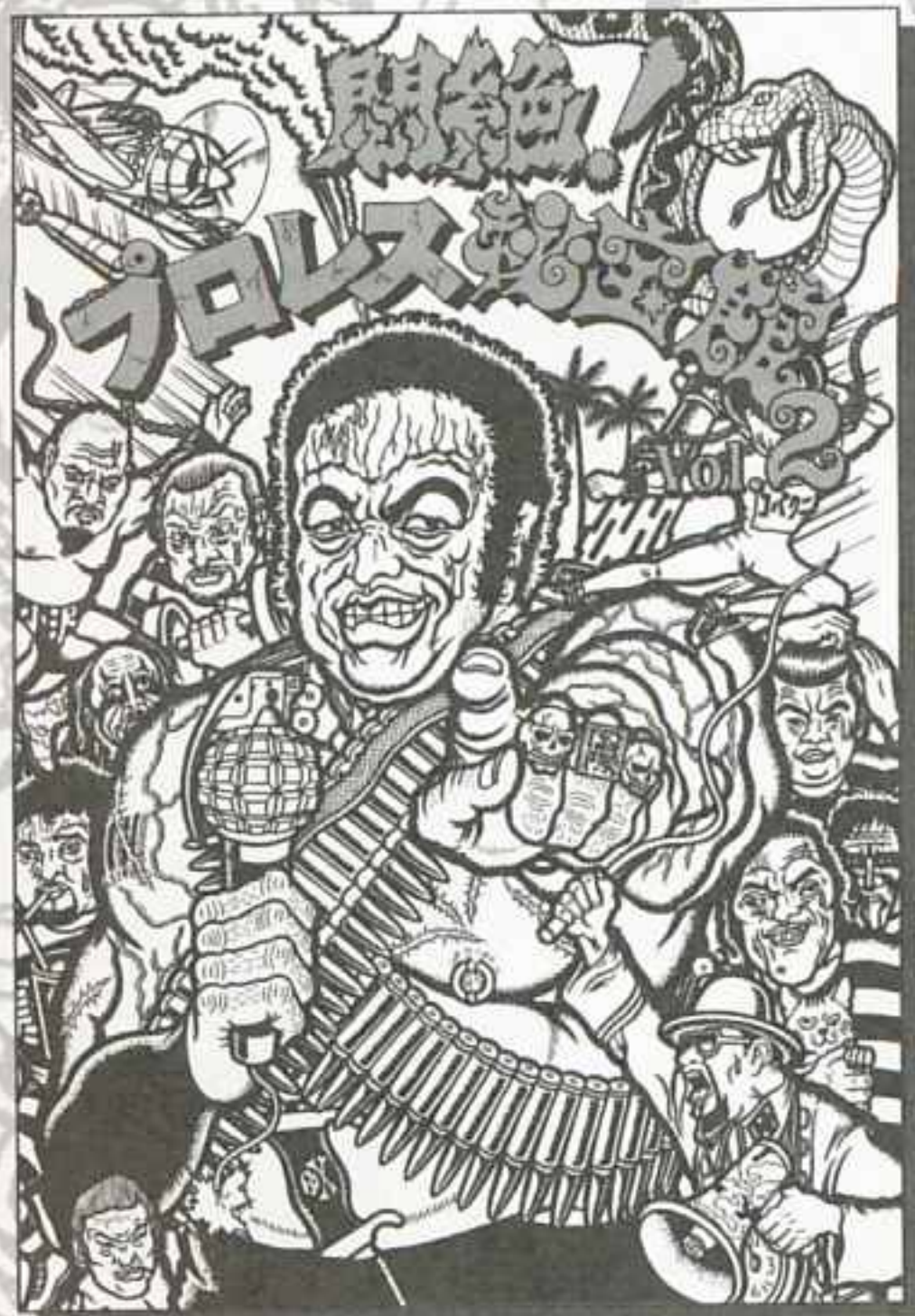
A5判/272頁
定価1,500円
(税抜き)

関絶! プロレス秘宝館 Vol.2

12月15日
発売!!

前号でプロレスに戻ってきた人、
色々あってプロレスから離れていきそうな人、
やっぱり現在のプロレスについていけない人……
是非とも『関プロ』を読むことを
おすすめします!!

今回も
即日完売
必至!!



大味な作りの
プロレス本が目立つなか、
『関プロ Vol.2』は超濃厚、
詰めに詰めまくった
油多め味濃いめの
コッテリギトギトで
いかせてもらいます!!

今回の目玉企画は、カラー32ページを駆使し、プロレスらしく時流に1.5歩遅れて決行する、
**全国津々浦々からかき集めた
和製プロレスおもちゃの大特集!!**

もちろん中途半端はやりません! とてつもなく凄まじい物量で迫ります!!!!

ガチャポン系プロレスラー消しゴム人形70体! 駄菓子屋売りプロレス・ステッカー約50枚!
ヤマカツ製元祖プロレス・カード(新日・全日)約80枚! プロレス・メンコ約30枚!
『タイガーマスク』グッズ! 『タイガーマスク二世』グッズ! 『アステカイザー』グッズ!
プロレス・プラモデル(ロボダッチも発掘したぞ!!!) 日プロ・ソフビ人形(もちろん6体コンプリート)!
ポピー製プロレス・フィギュア! プロレス・ボードゲーム(新日・全日)!
その他、昭和40年代から昭和60年代に作られた和製プロレスおもちゃを徹底収集!!

その他の企画も想像を絶する程の濃厚さ!!

前号とは一切ダブリなしのプロレス・マンガ約80作品!! コンタロウvsみのり
のけんじプロレス・マンガ頂上対決実現! 超幻の梶原プロレス・マンガ
を遂に発掘! 地下プロレスの秘密! ちょっというプロレスネタが入ってい
る一般書籍約20冊! アーケード版からプレスまで、プロレス・テレビゲ
ームのダメな歴史を考察! 昭和の『プロレスアルバム』全冊紹介! プロレ
スラー、チョイ役映画約40本! プロレス・Tシャツ特集(今回はW★ING
ヴィンテージTシャツ)! 昭和のプロレス・テーマ曲元ネタ紹介約100曲!
その他、抱腹絶倒企画&コラムの激烈オン・パレード!!!!

もちろん今回もレスラーのインタビューや、試合のうんちく話は一切なし!!

発行●株式会社バーン・コーポレーション 発売●株式会社シンコー・ミュージック

問い合わせ: 03-3295-4191

『闘いの美術館』

あるいは『記憶が伝える愛の唄』



「……アテンション・プリーズ……機長より重要なお知らせがございます。皆様、至急ご着席のうえ、お聞き下さい」

シカゴ空港行き飛行機の中、嫌な予感のする機内アナウンスが流れ、客席に無言のうちに緊張が走った。

「皆様、慌てずにお聞き下さい。当機の油圧機系に異常が生じました」

客席の静かなざわめきの中、アナウンスは続けられた。

「飛行に際して、深刻な事態に発展することはございませんが、念のため、空港に緊急着陸いたします。着陸の際の緊急脱出の方法をご説明いたします。(略) 搭乗員の指示に従って慌てずに非常口に向かつて下さい。なお、無事着陸して安全が確認された場合は、『リメイン・シートッド(座ったままでいい)』と言いますので、そのまま座り下さい」

具体的な脱出方法の説明を聞きながら、仮に深刻な事態だったとしても『皆様、深刻な事態が生じました、ご覚悟下さい、ごめんなさい』とは言わねえだろうな。やっぱり本当は相当ヤバイんじゃないか。等、無意識のうちに思考を巡らせながら不思議と気持ちには落ちていて、隣の人とりとめのない世間話などしていた。

実際死ぬ時ってというのは意外にこんなものなのだろうか、などと本気で考えているうちに搭乗機は緊急着陸態勢に入り、搭乗員の指示通り前の座席に両手をかけ、そこに額をつけて身体を丸めた。飛行機のエンジン音がいにやに耳に衝き、

機体の揺れと共に“その時”を待つよりほかなかった。

「リメイン・シートッド」——着陸後、搭乗員のこの言葉を聞くと同時に客席に歓声があがった。無事だったのだ。

窓の外をみると、何台もの救急車や消防車、レスキューの人々が待機していた。一歩間違っていたらという恐怖と、無事の安心をあらためて感じ、隣の人と握手をして喜びを交わした。そしてその時、私はある出来事を予感した。

ラリーさんが死んでしまったのではないのか……

2日前、ラリー・マレンコ氏が危篤だという連絡が入った。ラリーさんは、私がプロレスラーになる前、フロリダ修業時代にホーム・ステイさせてもらいレスリングを教えてもらった、アメリカにおける父と呼ぶべき人だ。そしてジョー・マレンコ、ディーン・マレンコの実父であり、カール・グレコの義父である人なのだ。

それ故、私は即座にチケットを取り、翌日、第二の故郷・フロリダ州タンパに向かった。ラリーさんにもう一度会いたかった。そしてどうしても伝えたい言葉があった。

「ダイジョーブ、シンパイン」

初めて逢った時に、彼が私にかけてくれた言葉だ。彼はどんな時でもそう言うて励ましてくれた。今度は私がラリーさんにその言葉をかけてあげるときが来たのだ。

“どうか間にあってくれ”——飛行機に乗っている間、心の中で何度もそう繰り返した。

シカゴ空港から国内線に乗り換え、タンパ空港に着くとニーナ(ゴッチさんの孫娘)が待っていた。

「HE PASSED AWAY」

泣きはらした目で彼女はそう言った。予感的中してしまった。あの時の飛行機の非常事態はラリーさんが救ってくれたのか、それとも死の知らせだったのか……

「Is that right」

私はそう言って立ち尽くした。

ラリーさんは、いつも真っ直ぐ目を見て語りかけてくれた。ゆっくりと、わかりやすい英語で。私が単身渡米し、右も左もわからず途方に暮れている際、ゴッチさんの連絡を受けたラリーさんが突然ホテルを訪ねてきてくれた。

「ダイジョーブ、シンパイン」

そう日本語で言うてから、「話はカール(ゴッチ)から聞いた。私の家に来ないか。ホテル暮らしじゃ金もかかるだろうし何かと不便だ。日本からの留学生も皆そうしているし」と、ゆっくりと私にもわかる英語で話した後、にっこりと笑った。そうして私はマレンコ家で暮らすことになったのだ。

ある休日、出先で買ったTシャツをラリーさんにプレゼントした時、彼は事のほか喜んでくれ、代わりに自分の着ているTシャツをくれた。そして、「今日はこれを着たまま寝る」と言って、「黒いTシャツなんて暑いでしょうに、それにトイもそんな古いTシャツをもらって喜んで……」とあきれ奥さんを横目に「男同士の友情さ」と言わんばかりにウインクをして寝室に消えていった。その夜、私もそのTシャツを着たまま眠りに就いた。

ラリーさんはオンボロの車を愛用していた。左側のサイドミラーはないし、メーターは壊れていたり、よく故障しては頭を抱えている姿が懐かしく思い出される。ある時スコールにあってワイパーを

「ダイジヨウブ」



「シンパイナイ」

使ってたところ、突然ワイパーが壊れて飛んでいってしまった。その時のラリーさんの驚いた顔がおかしくて私が爆笑したら、その姿が面白かったのか、ラリーさんも大笑いして、二人で暫く笑いが止まらなかった。

家に帰ってから「ワイパーが壊れてすっ飛んでいってしまった時に、トイイが大笑いしてね…」と本当に楽しそうにノーナ夫人に報告して話した時の笑顔は今も忘れられない。そういえば「トイイ」と言う名前はラリーさんが付けてくれたものだった。

5年ほど前、藤原組が選手大量離脱で揺れた際、私はマレンコ道場へ立ち寄った。そこには「シュート・ファイティング」に没頭するカール・グレコの姿があった。私がマレンコ家に滞在していた際、カールは一切レスリングに興味を示さなかった。幼い頃からの英才教育、トレーニング漬けの日々と、ショーマンスタイルのアメリカンプロレスに反発を抱いていたためだと聞いた。しかし、藤原組のファイトスタイルを知り、また自分自身の年齢が当時フロリダに夢を探しにやって来た私の年齢と同じになったのを機に「シュート・ファイティング」を始めたという。「自分の未来を考えざるをえない年齢になったとき、ああ、トイイはこの年齢の時フロリダに独りで来てレスリングを始めたんだな。オレもやってみよう。そして藤原組のリングでトイイと闘おうと、そう思ったんだ」

カールは当時のことをそう語った。プ

レスリングに目覚めた自分の息子を嬉しそうに見つめながら、ラリーさんは私に語りかけた。

「トイイ、いま藤原組はたいへんだけれど、ダイジヨウブ、シンパイナイ。わたしはもう40年近くプロレスをやっていることができた。そう……プロレスは……」

「forever (永遠) ですよね、ラリーさん」

「Yes. FOREVER.」
やはり、真っ直ぐ目を見て、ゆっくりと力強くそう言ってくれた。今から思えば、ラリーさんと会ったのはその時が最後になってしまった。

先日、道場の裏の公園のベンチでカールと話をした。彼は将来自分の家を買って、留学生を教える少人数のレスリングスクールをやりたいと夢を語ってくれた。「今、トイイはバトラーツという団体を引っ張り、アマチュア・ジムも運営している。家庭も持って子供もいる。オレもレスラーになって一緒に闘っている。今度二人で組んでタッグ・リーグ戦だ。あの頃はオレもトイイも、そしてラリーさんも今のようになって想像さえできなかった。そうだろうか？」

「ああ、未来なんてわからないものだ。それにしても、今の俺達の姿を是非ラリーさんに見せたかったな」

「Yes. でもきつと見ているさ、何処かで」
そう言ってカールは秋空を仰いだ。ふと、ラリーさんの声が聞こえた気がした。「ダイジヨウブ、シンパイナイ」
空に向かってそっとつぶやいてみた。

最強最後の砦・プロレス界に降臨!!

虚構と現実、エロスとバイオレンスが
交錯する格闘ハードロマン

本格格闘プロレス小説



真樹日佐夫
コラージュ・通須李伊

無比人

(18)

十一月九日。

この日、東京ドームは、五万四千もの大観衆を呑み込んで膨れ上がった。

K-1グランプリ'97決勝戦は予定通り一時を過ぎて開始され、いきなりサム・グレコ vs フランシスコ・フィリオという人気カードを迎えた。

この一戦、大方の予想を裏切って、あつという間に決着

がついた。フィリオの得意の右フックがグレコのテンブルを打ち抜いたのだ。KOタイム、一回十五秒はK-1史上最短記録とのことであったが、千堂には別にこれといって感慨もなかった。

二人が共に極真空手の出身なのは知っていたが、K-1のファンでもなければ、その人気が沸騰振りを興味を持って見守ってきたわけでもない。空手、キックボクシングといった立ち技系格闘技にはまったく食指が動かないのである。

千堂は、リングサイドの二列目に無比人と隣り合って坐っており、

「強いねえ、フィリオ」

と恐れ入ったように言い、彼を見やると、

「まあね」

熱狂する周囲の客たちをよそに、その横顔はいつもの通り茫洋として捕らえど

【前号までのあらすじ】

ディスコの用心棒だった万無比人^{まんむひひと}――。

その内面に秘める烈しさと、天性の格闘技者としての素質に目を付けたプロレス雑誌の編集長・千堂は、無比人を強引にプロレス入りさせる――。

セメントを含めた闘いにも連戦連勝する無比人は、昨今のプロレスラーが持っていない圧倒的な存在感を醸し出していく。はたして無比人は急速に冷え込んだプロレス界の救世主となれるのか――。

ころがない感じだ。

「どうかね、例えば彼を対戦相手として視た場合」

「タックルで攻めて引っくり返す。グラウンドに持ち込めば、こっちのものさ」

「パンチか蹴りを合わせられたら？」

「心配ないって。いきなり突っ込むなんてことはしない、ちゃんとフェイントをかけるから」

事もなげに無比人は言った。

千堂も常々、同様の見方をしていた。プロレスが立ち技の格闘技と対戦したとして、なにより頼りになるのはタックルであろう、と。それでいて、あえて脅威をおぼえた振りをして見せたのは探りにほかならないが、
(ヘビー級の攻撃の破壊力のほどを検分して置きたい、ということではないとなると、狙いは一体)

戦慄のKOシーンを目の当たりにしても常と変わらず、益々真意を量りかねて首を捻らずにはおれなかった。

K-1を観戦したい、リングサイドのチケットをなんとか入手できないかと二日前になって急に無比人が言い出し、千堂は、びっくりするとともに慌てさせられた。チケットが発売後一時間でソールドアウトした、という記事をスポーツ紙で見ていたからだ。

念のために事務局の方に問い合わせると、当日売りを二千枚程度用意してはいるが外野席のみとのことで、己むを得ず伝手を求めて主催するテレビ局に泣きついたものの、二枚がやっとで、そのため何度頭を下げたことか。そこまでして右も左も有名人名ばかりという好位置をキープしたにもかかわらず、無比人ときたら興がるどころか、なんとも無感動な面差しなのだ。

(K-1戦士らを歯牙にもかけていないようなのは頼もしい限りだが、それならなんだって——)

疑問は氷解しないまま、次の試合がは

じまった。ジェロム・レ・パンナ対アーネスト・ホースト戦で、感情移入しかねる千堂としては無比人が静かなのを幸いに御義理のようにリング上へ視線をそそぎつつ、思いはおのずと十月十一日へと遡るようであった。

同じこの東京ドーム特設リングで、高田延彦とヒクソン・グレイシーの異種格闘技戦がその日行われ、そこにプロレスのファンは墓標を幻影として見せられたのだ。

平成プロレス王として最強伝説に彩られてきた高田も、ヒクソンにかかつては蛇に睨まれた蛙も同然で、五分と保たずに腕ひしぎ逆十字に斬って取られた。

千堂は招待を受けてVIPルームで観戦したが、自身も得意とするところの関節技で極められ屈辱に涙しながら高田がマットをタップした瞬間、大空を夕陽が茜に染めて沈むさまが脳裡をよぎった。このときは真澄と一緒にソファに肩を並べていたのが、感極まったごとくにひしと頰に縋った。吐息が変に腥く感じられた。

K-1の熱闘のさなか 無比人が席を立った

しがれてリングを下りて行く高田の姿を目で追ううち、ふと無比人のことが胸にきた。千堂は彼も誘ったのだが、氷見子と出かける約束をしているとこのことで同道はならなかった。

唐突に無比人の起つ気配で、千堂は現実世界へ引き戻された。

「トイレかね」

答える代わりに無比人は、立ち上がったところでリングを隔てた向かいの席を顎の先で示した。彼の視線を目で追い、ほぼ正対する最前列にグレート・沖を認めて千堂は声にならぬ叫びを上げた。着席したばかりらしかった。

「坐つて。起つてきちゃ駄目だよ、部長」

「きみ、彼になにか——」

「挨拶するだけさ」

言うとは無比人は前をよぎり、通路へと離れて行った。リング上ではマイク・ペルナルドとピーター・アーツが激しい打ち合いを展開していた。

起つたと釘を刺されたことで、遅れ馳せながら千堂にも視えてくるものがあつた。否、沖の姿を見出した途端に手品の種明かしをされたのにも似て理解できた、

といえようか。

「ダイオキシシン」グレート・沖の沖真也が横浜文化体育館のリングで無比人に目潰しスプレーを浴びせるのを見て、胸を高鳴らせた千堂だが、それというのも彼が示唆した作戦であつたからだ。

沖のよく用いる反則技の一つに、油紙による目潰し攻撃がある。かつてアブド・ラー・ザ・ブッチャーが売り物にしていたのを受け継いだもので、ヘッドロックに巻いた相手の顔に紙をこしこし擦りつけ、油が目にはみ込んでいた状態にさせ一方的に痛めつける。出場交渉のために都心のホテルのラウンジで会った折、

「油紙はもう古いんじゃないの。」

千堂が言うと、三十を過ぎて間がない沖は端正な顔を曇らせた。ギリシャ彫刻を思わすなかなかの二枚目であり、女性ファンも多かった。

「古いから止めるってことかい。」

千堂はかぶりを振って、

「工夫を凝らしてみちゃどうかな、と。」

「工夫ねえ。」

「もっと効果的で手っ取り早いのが、



このままではプロレス業界は冷え込むばかりだ、誰かがヒクソンの無敗記録にピリオドを打たないことには……。ぼろ雑巾のように打ちひ

最近じゃ色々あるじゃないか。対痴漢用とか護身用とかで、スプレーが。

——目潰しスプレーか、なるほど。

沖は得心した表情を見せたが、束の間、——しかし、いいのかねえ。万のころのフロントが、こっちの肩を持ったりしちやうて。

と肩を寄せた。千堂は微笑^{わら}って。

——なに、可愛い子には旅をさせろさ。フロントといっても形だけで、『四角いジヤングル』側の立場としちや試合が盛り上がるに越したことはないんでね。

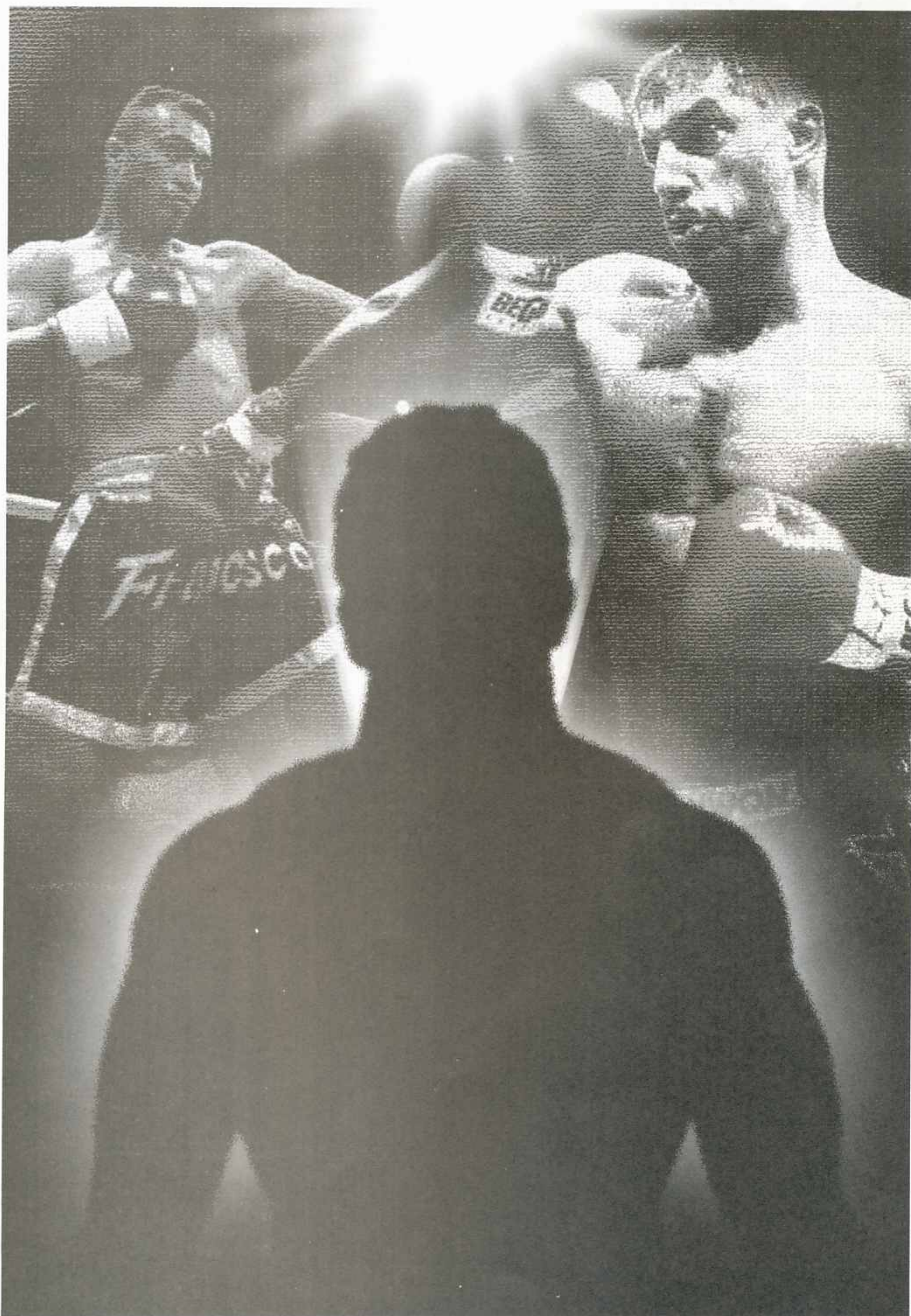
——よし、折角のアイディアだし使わせてもらおうとするか。

かくして反則技を認めた上でのセメントを、という沖との出場交渉はとにかく成立したのだった。

なぜ無比人に弓引くような真似をしたのか、判然とせぬまま千堂が身を乗り出すうちにも、沖はスプレーを捨てるとカバ^{カバ}ーの上からナックルパンチを顔面に集中^{ちゆうしゆ}中。

堪^たりかねてか無比人の上体がのけぞり、尻から落ちた。と、すかさずストンピングが追い撃ちをかける。マットをころころ転げるさまに、悪寒に似たものが背筋を奔^{はし}るのを千堂はおぼえた。ここまで追い込まれるのはデビュー以来初めてで、満場が騒然となった。

無比人は、場外へ逃れて窮地を脱しリングへ戻った。双眸は閉じられたままだ。沖が横合いから、舌舐めずりしながら近づいた。忍び足なのは、相手が闇の世界



に閉じ込められているのをアピールせんとする、つまりは余裕の表れか。両手を広げ、チョーク攻撃を仕掛けようとした。

次の瞬間、千堂は目を疑った。沖の方へ無比人が体を開くなり、睨^{にら}みした状態のうちに頸筋に正確にラリアットを叩き込んだのである。

横ざまに吹っ飛んだ「ダイオキシ」は

リング下へ転落し、長々と伸びたままカウントアウトされた。千堂は、金縛りに遭ったように身じろぎもできずにいた。

目が見えないはずの無比人が沖の位置を把握し得たのは、マットの沈み具合を読んでいたから、と悟り知ったのは試合後、皆より一足先に関内駅から乗った列車に揺られているとき。

真澄と絹子が頭を逆にして、ベッドの上で裸身を絡め合っていた。

絹子が上で仰臥した真澄に覆いかぶさる格好で、股間に顔を埋め舌を使っている。真澄の方もこよなく無防備に広げら

づいた。忍び足なのは、相手が闇の世界

横ざまに吹っ飛んだ「ダイオキシ」は

車に揺られているとき。

る。真澄の方もこよなく無防備に広げら

れた絹子の下肢を掻き込み、その付け根の辺に同じく舌をそよがせているようなのだ。

俗にいうシックスティナインで女二人が互いに刺激し合うのを、千堂は、傍らのカウチに身を投げ出して眺めつつ、手にしたブランドグラスを時折口へ運ぶ。やはり全裸である。

順子のペントハウスの寝室。千堂が無比人とK-1の決勝戦を観戦して一カ月、街は師走の遠しさのなかにあった。

この夜、例によって真澄を伴い順子の寝込みを襲うと、三人して着ている物を脱ぎ捨てたところで、

——今日はひとつレースをやるぞ。

と、いきなり千堂は宣言したのだった。

二人をベッドへ追った後、

——レズ・プレーをして、先に相手をいかせた方だけを犯してつかわす、という趣向だ。敗者は指一本触れてもらえないわけだな。心してかれ。

こうしてレースは開始され、すでに小一時間経っていた。真澄も順子も目の色を変え、秘術の限りを尽くし合った。多くの従業員を傅^{かしず}かせる遣り手の女実業家

の威厳もどこへやら、そこにいるのは肉欲の虜囚と化した二匹の雌でしかなかった。

見物に回るうち、千堂の裡では欲望は先細りし、苦いものが込み上げてきた。新たな興奮が得られればとのことではじめたものの、逆効果でし

かないようで、この遊びにも厭きがきている事実を改めて突きつけられた格好であった。

「なにを手間取ってるか！あと十五分、それで梟^{けい}がつかなければ時間切れでどっちも負けにするぞ！」

内面の空疎さに逆らうかのように千堂は高声を放った。意識の底に無比人が影を曳いていた。

東京ドームでコーナーを回って沖へと歩み寄るのを注視しながら、（観戦を言い出した理由は、彼。沖がこのリングサイドに現れることをなにかで知り、それで——）

呑み込むように千堂は断じるとともに、その先までまざまざと見通すことができ、スプレー作戦を授けた身としてはとても

平静ではいられたなかった。

（あの植野を引退させることまでした内面の烈しさが、目潰しを浴びせた沖の行為を赦し難く、カウントアウトしただけ

5万4千の大観衆の前で “ダイオキシ”を制裁！

では飽き足りずに五万人が見ている前で改めて制裁する気だ

果たして無比人は、沖の前に立つと口を極めて罵りだした。折しもアーツがベルナルドをKOに退け、第三試合が終了した直後でもあり、

——このインチキ野郎！

声が千堂にもはつきり聞き取れた。起って行き、止めに入ることも考えないではなかったが、もしそこでスプレーの件が無比人の知るところとなつては、と思うとふんざりがつきかねた。

——玉なし！

とか、

——おかま野郎！

とか汚い言葉が機関銃のように飛び出し、さすがに沖も色をなして下ろしたばかりの腰を浮かせた。その顔へ、無比人の吐いた唾がまともにかかった。

周りの客たちが騒ぎだし、場内係がおっとり刀で駆け寄ったが、それにより先に沖が無比人に組み付いた。

無比人は待っていたように掻き込むなり、自ら仰のけに倒れ込んだ。背筋が弓なりに反りかえるとともに、沖を頭の先

へ落としフォールしてのけたのであった。

——フロントスープレックス!?

誰かが叫んだ。

——ワン、ツウ、スリー！

ホールドしたまま、無比人がレフェリー兼ねてスリーカウントを入れた。

それから一ヶ月。ニュー東都プロレスは都合四度の自主興行を消化し、千堂が意地になって手強い相手とのカードを実現させてきたにもかかわらず、無比人は土付かずで間然するところがなかった。

上になつていた順子が不意に半身を起こし、向きを転じると真澄に添い寝する形を取った。頸の下に手を潜らせ、上体を引きつける一方で空いた方の手を股間へ。強烈な指パイプに真澄は抗^{あらが}ったが、「駄目。わたしがご主人さまを頂くの。往生しなさいな、スミ」

耳許で意地悪く囁かれ、それまでの我慢が呼び水となつたか呆つ気なく果てた。夜更けて千堂は、高輪のマンションへ疲れきって戻ってきた。一人だった。暁方に玄関のチャイムが鳴った。

（以下次号）



プロレス版 たまに行くならこんな店！

★Vol.3 鮎處しま田で寿司食いねえ！

トンカツやカレーの世界に、上下関係があるという話は聞いたことがない。しかし、寿司の世界にはプロレス同様厳しい上下関係が存在するという。そんな寿司の世界に足を踏み入れたプロレスラーがいる。誰だろうミスタープロレス・天龍源一郎である。リングの内でも外でも、若手の面倒見の良さを物語るエピソードに事欠かない大将のラジカルな心意気を味わいに鮎處しま田へ行ってみた。

構成＝坂井ノブ 撮影＝戸成ぶつぞう



質実剛健という言葉がピッタリの看板 これが目印だ



非常に男前揃いの 鮎處しま田 の板前さんたち 男の凄みを漂わせたている面構えてはなにか！ かといて、会話は結構フランク 女性にも優しいのだ 余談だが、女将さんと看板娘も美人である

のれんをくぐって2階へ 凝ったライティングがシャレしている

どっしり構えた入口 店は2階にあるので階段を昇る

とある週の 週刊「ゴング」をパラパラめくっているとWARの広告に「寿司職人大募集」と大きな文字が踊っていた。WARと寿司？ しかも職人募集？ 一瞬、目点になったが、読み進むと詳細が判明した。以下はその引用である。「東京は世田谷・桜新町駅前に、この秋オープンした 鮎處しま田。美味しい！ 安い！ 綺麗！ をコンセプトに、開店以来順調なすべり出しをみせています。そこで…… WAR、同様天龍イズムの浸み込んだ 鮎處しま田 でレボリューションを起こしてみようというお寿司職人さん、見習いさんを大募集致します」

いかがだろうか？ 男なら行かねばなるまい。というわけで早速、天龍源一郎経営の 鮎處しま田 に足を運んだ。

店是非常に堂々とした構えである。大相撲出身の大将ならではの荘厳さだ。階段を昇り、いざ2階へ。入口には花が飾ってある。各界の名士が名を連ねるその中に、ひとつと燦然と輝くのは「徳光和夫」の文字である。全日本プロレス中継を長年担当したトクさんが、天龍の門出に花を贈っているのだ。男である。さらに！ レジ・カウンターで堂々と存在をアピールするその花には「輪島大士」の名が！

天龍革命当時は連日激しく蹴られ、殴られた元・横綱からの花である。花のひとつで様々な思いが伝わってくる。入口だけでこんなにジーンとさせてくれる寿司屋は、生まれて初めてだ。

店内は一見飾り気がなさそうだが、よく見ると所々に趣向を凝らしたじつに粋な作りである。特に龍のガラス細工などはその真骨頂であらう。さらにレ



レジには戦友・輪島大士からの花が飾ってある。プロレスファンとしては感慨深いものがある



これが男の友情のひとつの形である。プロレスファンにはお馴染みの徳光さんから花が贈られている



入口には客を迎えるように花が飾ってある。粋な心遣いである



風雲昇り龍をあしらったガラス細工が、言葉に奪われるほど素晴らしい。下には「天龍」と刻まれているのだ。大将をイメージして作られたものである

「東京で一番デカイ」と店長が言い切る特大サザエが自慢だ。他にも鮭児など、珍しいネタが味わえるのだ



近くにあるサザエさん通りにちなんで、特大サザエを入荷したようだ。シャレた心遣いも忘れないのだ

プロレスと寿司には相通じる部分がある!



ランチタイム 12時30分~15時
お好きなお寿司を3つ選べます
・茶碗蒸し
・お梅
・フルーツ
サービス中!

座敷のスペースもかなり広々としたもの。さらに反対側にも座敷があるのだ。落ち着いて寿司を味わいたい方にはピッタリだ



「安さ」にもこだわった結果が驚きの低価格に! 「儲けは度外視」と店長は語る。この値段なら安心だ



非常に広々とした店内にはカウンターが2つもある。スッキリとした内装に大将の心意気を感じずにはいられない

アクセス

天龍イズムが隅々まで浸みこんだ鮓処しま田
【住所】東京都世田谷区桜新町2-10-1 田中ビル
【電話番号】03-3428-9797
【営業時間】平日11:30~14:00 17:00~23:00
土・日・祭日11:30~23:00
【最寄り駅】東急新玉川線の桜新町駅 西口階段を昇ってすぐのファミリーマートの2階
【店長のコメント】「地元のお客さんからプロレスファンのお客さんまで、幅広くお待ちしております」
※ズバリ言って、非常にお薦め!



内装の細かいところにも決して手を抜かない。まさに天龍イズムを具現化した寿司屋なのである!

このように『鮓処しま田』は寿司だけではなく、天龍イズムまで味わえる気持ちのいいお寿司屋さんなのである。男なら行かねばなるまい。

と、そこに女将さんと共に店に入ってくる大きな人影が……誰だろう『鮓処しま田』オーナーの大将・天龍源一郎その人である。大将が取材中に来店するとは聞いていなかったため、その時、私はうろたえた。それにしても、大将がいるだけで店の空気が変わる。背筋がピンと張るような心地よい緊張感だ。大将も店には頻りに顔を出し、選手を連れて来ることも多いそうだ。

一瞬、うろたえた私だが名刺を渡し、挨拶をした。すると、大将は名刺を見るなり「ダブルクロス? この意味を知っているのか?」と聞く。さらにうろたえる私。すると大将は言い放った。「オ●コって会社名につけてるようなもんだぞ」

強烈に男である! そして、何よりも豪快にプロレスラーである! 私はこれに大将の男気に溢れたジョークだったと解釈させてもらった。グーパンチを喰らった、こんな気分になるのだろうか? 心臓をえぐるような、それでいて清々しい、カラッと激しいジョークである。

Vo
ト
い
界
と
ロ
ス
も
事
態

営業中
ど
2
階

「」と言われたことがありますか？

どうも、ノブです。え、何？ 今後のことですか？
白紙です！ アルティメットに出るかって？
それも白紙です！ 今日の夕飯どうするかって？
そんなことまで聞くんですか？ それも白紙です！
カタブツ君はどうかって？ それは白●です！

構成=ちっちゃなノブ

今号の
ひんがしキング

スペシヤルインタビュはページ数も
2枚と多くとても感動しました

☆「お客さん！ 靴下を片方忘れてますよ！」

というわけで、なぜか前号のハガキは全体的にテンションが高いぜ！ ヒクソン・シヨック&リングスVSパンクラス抗争が読者の琴線に触れてしまったようだぜ。走り出した止まらない土曜の夜の天使たちの熱いハガキをお届けするぜ！

道場 ちゃんこ券を希望します。来年度、レスラーちゃんこ鍋屋を予定しています。是非、道場ちゃんこ券をお願いします

(東京都 小林誠 29歳)
☆ワウー！ レスラーちゃんこ鍋屋やるんですか？ ロマンチックですね。ちなみに店名は「大吉」だそうで、これまたロマンチック！ 熱いぜよ！

つまらな かったのは角掛留理由は、全女を見に行ったときに試合後の後片付けを手伝ったら、「バカ」とか「頭

悪い」などと角掛に言われたから。

(福島市 樋口宗幸 18歳)

☆プロレス界随一の毒舌マシーン・キラ角掛のちよつといひ話でした。ボクも角掛に「バカ」と言われた人を何人も知っています。片づけを手伝ってくれた人に対しての非常識なお言葉も角掛の言う「愛」なのでしょう、きつと。

ザ・グレ ート・サスケのおあんなにキレてる人だとは知りませんでした。めっちゃ面白かった！

(滋賀県 佐竹仁美 17歳)
☆普段は自称バカ社長でもキレたら怖い、それがキラ・サスケなのです。「レスラーたるもの、普段の姿勢が非常に大事なのだ」ということを教えられます。

バカ た！ 私の愛する金本(浩二)さんを「バカ」とは何だ！ 頭割れてるバカ社長にそんなこと言われたくないわ

(大阪府 うしえもん)
今月は暴走番お絵かキングが誕生！ 風刺の効いたクイズ方式を採用して、ハガキングダムに新風を呼び込んでくれました。どうでもいいんですがホーム&アウェイ方式も採用してみてもいいかな？

※答えは下にあります

今号のお絵かキング

おかしな探しクイズ

～グレイシー柔術編～



今月の早口言葉

マニュアル柔術×3

蝶野正洋 インタビュが面白かった。理由は

ラジカル6 号は凄腕に編集長のこのコラムに、プロレスファンとしては本当に感動せずにはいられないなかつた。他のマスコミの「高田が負けて困るのは「紙プロ」だけだろう」というくだりでの、「紙プロ」イズムバクハツには、スカツとしました。ありがとう「紙プロ」そして山口日昇さん。

(板橋区 金本雄二郎 20歳)
高田×ヒク は、本質の部分と虚飾の部分のバランスが実にプロレスにしている雑誌だな、と。

(茨城県 プンブン 25歳)
☆2通まとめて紹介しました。かなりの反響を呼んだ前号の高田×ヒクソン戦特集。シヨックを受けた人、心の傷跡は癒えましたか？ でも、本誌ボンクラ編集長は「もうああいうコラム書きたくない。オレはアニメを作るんだ！」などと寝言を言っています。

絶縁宣言でも遺憾は消せない記念！
リングスファン バンクラスファンに羨ましく思いついて「場外乱闘編」

10・29 バンクラス後楽園大会での「絶縁宣言」以後も、振り上げた拳の下ろし場所についたファンが、怒りにまかせてハガキを書いてきたので、ちよつぱり紹介しよう。「無意味な舌戦はファンの興味を失わせる」という昨今のプロレスマスコミの腑抜けた論調に異を唱えるべく、ハガキングダムはホット&タフなファンの声を掲載しちゃいます！

リングス派
10・14 前田会見は究極の正論！ 何事も「他人事」で済ますバンクラスの選手たちの精神には愛想つきました

(江戸川区 佐藤耳男 19歳)
■バンクラスは週プロでも大きく取り上げられているが、試合は絶対につまらないと思う。そしてshowもつまらない。つまらない人間の集まりだと思ふ。船木や鈴木を使うギミックは10代の人間ならかつこいと思うかもしれないが、20代以上の人間には頭の悪い人間の主張にしか思えないのではないかな

(名古屋 武上康夫 22歳)
パンクラス派
■こらー、前田！ テメーの宣伝にバンクラスがつきあつてられるか！ 鈴木がヘルニアで欠場中だと知ってて指名するんじゃねえ！ ヒクソンにやられてさつさと引退しろ！ ポケ！！

(武蔵野市 松井佳洋 20歳)
■長州と和解して前田がキライになった。なんで鈴木なんだよ！ 計算が見える。今号は前田のグチ一色で気分悪い本になつてるぜ！！ 生き残るためにプロレス側にまわるな！

(山口県 オムツ 17歳)

(小平市 斎藤智男 60歳)
ハガキングダム最年長です！
「スペシヤルインタビュ」ってPUFFYってスか？ 2枚で多いスか？ 感動したスか？ シャッポを脱いでツラまで取りたいぐらい恐れ入りました。

一週間に2人から「ブツ殺してやる」と

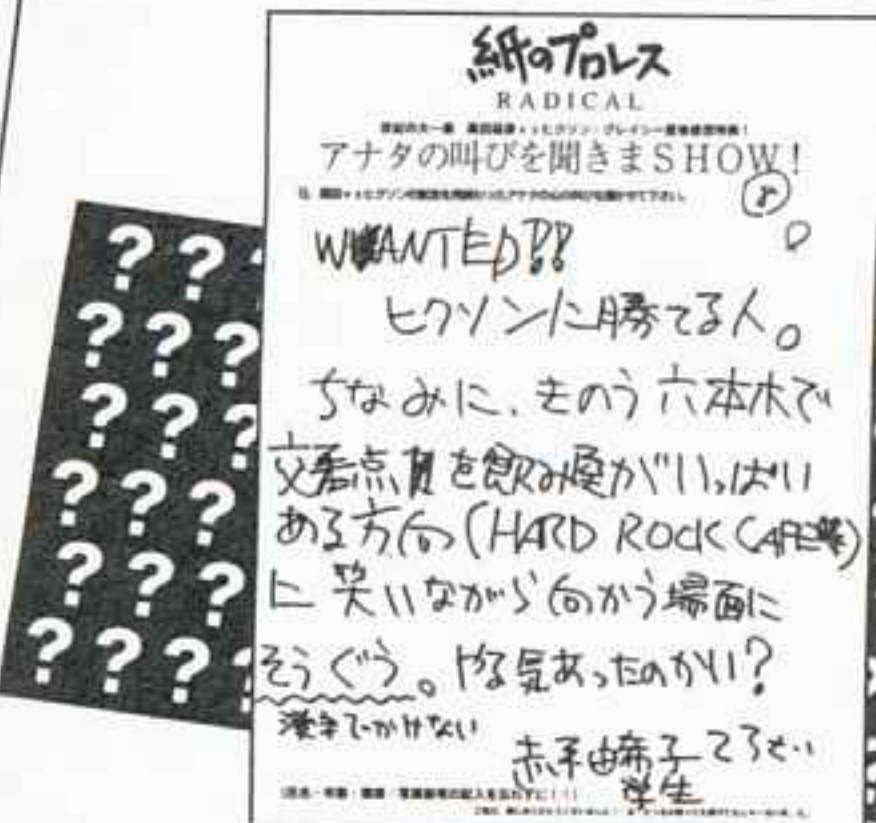


ダンジャ専

中川スペシャル!

ダジャリズム専門学校

すっかりハガキの来なくなったダジャ専に救世主が降臨! プロレス&格闘技雑誌の読者ページを股にかける男! 埼玉県の中川雅博(20歳)である。というわけで、今回は中川スペシャルと題してお届けします! ちなみにダジャレは苦手だそうだが、非常にイケてます。また、次号もダジャレを送ってくるように! ダジャ専では、これからも「21世紀のダジャレ」を模索していこうと思うので、いつ何時、誰のダジャレでも受けて立ちます!



☆というわけで、問題のアンケートがこれです。どこにキモって書いてあるのだろうか? あぶり出しじゃないと読めないのかな? ポクの推理によると、これは新卒のなぞなぞである! というわけで、答えが分かった方はハガキに答えを書いて送って下さい。正解した方には、粗品を進呈しちゃいます。

デカイ、話が。「常識人? それとも非常識人?」「ルールあるの? ないの?」「タッグパートナーは武藤なの? 象なの?」「nWoより蝶野自身がすごい。」
(千葉県 武田いつみ 17歳)
☆大反響の蝶野インタビュー! それで、先日のお東スポ紙上での「SGタッグは最強タッグに勝てない」宣言といい、いま発言の面白さはプロレス界でいちばん! 最近のケンドー・カシン「オレは別にプロレス界に必要な人間じゃない」発言も破壊力抜群! グーです! むやみに体制に牙を剥くだけじゃないコクのある発言が時代の最先端です。どうでもいいんですが、ボクは筆ペンで書いてあるハガキは好きです。

?今号のなぞなぞキング?
私、前号の「高田vsヒクソン試合終了直後アナタがブチまけまSHOW!」に載った者なんですけれど、実際自分で書いたことと雑誌に載ったことの内容が全然変わっていて、まるで高田選手と六本木で遭遇したようなカンジになってしまっています……(ホントに遭遇したのはキモで、ちゃんとそういうふうには書いていません) これだと、いかにも高田選手に「やる気あつたのかい」と言ってるみたいで応援していた自分とはとてもびっくりしました。(やる気あつたのかい)という言い相手はもちろんキモ! これからは、こういう間違いのないようにお願いします。(世田谷区 赤平由希子 23歳)

モハメド・ノブの

「俺はかくも偉大で、俺自身でさえ感動する」募集

ハガキングダムでは蝶のように舞い蜂のように刺すハガキを大募集します。

- 俺自身でさえ感動するご意見、ご感想
- 俺自身でさえ感動するイラスト
- 俺自身でさえ感動するタレコミ情報
- 俺自身でさえ感動するダジャレ
- 俺自身でさえ感動する二代目
- 俺自身でさえ感動するカウントアップ・グルーヴのテーマ

などを送って下さい。尚、合言葉の「このペリカン野郎!」を明記すること。宛先は

〒151 東京都渋谷区千駄ヶ谷3-11-3-702

(株)ダブルクロス「ハガキングダム! ポンバイエ!」係まで。

というわけで、右の表がRADICAL読者が公認した美男&美女のランキングである。まあ、順当と言うべきか。特にコメントもないのだが、長州力が「ウチで一番マスクがいい」と断言した西村修に1票しか入らなかったことも併せて報告させていただきます。ちなみにヒクソン藤も1票を獲得しているが、1票にも一流から五流まであるというか……まあ、1票には変わりないんだけどね。結局、長州の美男観が、RADICAL読者的にはほとんど受け入れられなかったということである。ま、しゃないな、と。

さて、今回のテーマは「ベスト・オブ・ハカマ」は誰だ! である。袴と言えば、平成維新軍のトレードマーク。新たに維新軍入りするレスラーには、袴着用が義務づけられている。つまり「ハカマ」は反体制側の人間! という定義が成り立つ。そんな中、衝撃の維新軍入りを果たし、ひっそりと赤い袴に足を通す超大物がいた! 誰だろう、藤波辰爾である。またこれが非常に絵になるから素晴らしい。現代という時代は、「唯一、猪木を裏切らなかった男」藤波辰爾に反逆の証である赤い袴が似合っているという時代なのだ。時代の移ろいは恐ろしい。しかし、プロレス界は広い。まだ他にも袴の似合うレスラーがいるかもしれない。今の時代を象徴する赤い袴が最も似合うレスラー、すなわちベスト・オブ・ハカマを決定したいと思う。「コイツなら似合うでしょう」というレスラーがいれば、維新軍の選手だろうと、他団体の選手でも誰でもいい。今回も、前回同様読者ハガキの質問に組み込ませておいたので、赤い袴を履かせたいレスラーを一人だけ明記して頂きたい。解説も囁かれる維新軍を救えるのはキミしかない!

1位	船本誠勝	17票
2位	高田延彦	10票
3位	武藤敬司	9票
4位	蝶野正洋	6票
4位	金本浩二	6票
6位	前田日明	5票
6位	TAKAみちのく	5票
6位	小野武志	5票
9位	鈴木みのる	4票
9位	ハヤブサ	4票
9位	近藤有己	4票

1位	井上貴子	32票
2位	キューティー鈴木	15票
3位	府川由美	8票
4位	中山香里	6票
5位	本谷香名子	5票
6位	豊田真奈美	4票
6位	尾崎魔弓	4票
6位	白鳥智香子	4票
6位	福岡晶	4票
10位	ブル中野	3票

激突! カウントアップ・グルーヴ
RADICAL 版美男&美女ランキングが決定!

蝶野正洋 白かった。理由は

大反響の超ブーイング連載!

バカ日誌

「字が小さすぎて読めない」という意見に添えて、今回は図版で見る中村カタブツ君(34歳)の巻。カタブツ君(34歳)をお届け! さて、当の本人は前号での己の不甲斐なさから、今号企画会議を始めた途端に、「企画会議どころじゃないですよ! ボクの進退はどうすんですか?」とナメたことをほざきだし、またしても本誌編集長・山口バイオハザードにこつてりお説教をくらいましたとさ。めでたしめでたし。男34歳……進退ぐらい自分で決める。

図版で見る中村カタブツ君(34歳)の巻

FAX送付案内書

ワマガジン
小口 様 平成 年 月 日

毎度格別の御愛顧を賜わり、厚くお礼申し上げます。
下記の書類をお送りしましたので宜しくお願い致します。

お世話になっており新

枚数 本状を食み 枚 担当

〒151 渋谷区千駄ヶ谷3-11-3-702
株式会社 ダブルクロス TEL 03-3403-5188 FAX 03-3403-5187

どうだろう? きれい、きたない以前の問題で、字ツラを見ただけで不愉快にさせてくれる造形美という名の暴力だ。これに日ベン経験者たというから、これは日ベンが悪いのか? でも、多分教わったことを実践してないんだろうね。しかも、「お世話になってあります」って……

読んだ通りなのだが、34歳とは思えない下手クソな書き置きである。レイアウトのセンスも皆無以下! ちなみにこの「千円」とは、とりあえず罰金制度(ラジカル4号参照)である。っていうか、本誌編集長に怒られた翌日にスキンヘッドで出社「ヒクソン・ポーズをやって!」というリクエストにニコニコ顔で大サービス

鍵の力ギをかけ忘れました。
千円払!! まあが、少し待つて
下さい。
決して逃げもかかれもはせんが
カタブツ
少し待つて下さい。
尾が長いのであ。

中村 隆治 様
昭和38年 2月28日生まれ

月間運勢予報

曇りとときどき雨

安心できる1カ月。特に大きなトラブルもなく、いつもどおりの日々が楽しめそう。ただこの時期、刺激的なものや非日常的なものに挑戦するのは不向き。思わずハメをはずしてしまうと、災難に見回れる暗示。

今月のスペシャル予報

ビジネス気流

前進あるのみ

幸運期にもかかわらず、あなたはなぜか足踏み状態。あまり状況分析ばかりしていると、前へは進むことができません。先のことはばかり気にするより、まずは行動を。

運を信じて

失敗やクレームを恐れずに前進あるのみ。今月のあなたには、ツキがあるので必ずうまくいくと信じましょう。そうすることで、さらに運気を高めます。

あなたの仕事の 風向は……

たまに横風吹けど、のちに好転。

これは中村カタブツ君(34歳)のビジネス運を調べた占いである。見れば「運気は好調なのに、なぜかあなたは足踏み状態」と中村カタブツ君(34歳)という人間をズバリと言ひ表されてしまっている。要するに、「全部ブチが悪い!」ということだ。っていうか、ブチはNKホールでリングスを観戦

要するにダメ人間の中村カタブツ君(34歳)へ届いた激励のファックスだ! 差出人はマスコミ・ドラゴンの長良川さんです。最近ではめっきり減ったカタブツ擁護派からの貴重な一枚。また、今後も引き続き中村カタブツ君(34歳)への応援ファックスは受付中です。勝手に送って下さい。っていうか、その後は土日を含んで突如、失踪

最近では邪道姫兼冷血姫となったのも姉さんによる宣告。トイレに入った途端、スクリーンが聞こえたので何かと思えばそこには流されなかった小便が! ジジイ、再び! 早速、こんな怒りのこもった張り紙がトイレに登場。っていうか、その後1週間失踪を続けて……

宣告!!

中村カタブツ(34歳)
こゝでトイレ流すな
かったら罰金一條
円を命ずる!!

元 紙プロ 練習生のジゴゴンさんから中村カタブツ君(34歳)宛てに届いた、編集記号を駆使したインテリジェンス溢れる脅迫状。っていうか詳細は次号を待て!

ハトラーツのファンクラブ会員でもある中村カタブツ君(34歳)に会報が郵送されているのだが、何度送っても届かないという。どうやら登録の際に自分の住所を正確に書けなかった模様。改めて「オトナって何だろう?」と考えさせられる哲学的封筒だ。っていうか、NKから「直帰します!」と高らかに挨拶し、闇に消える

29
中村 カタブツ 様

BATTLE ARTS
格闘探偵団 ハトラーツ
〒154 東京都目黒区東山4-7-1 TEL 03(346)8525 FAX 03(346)7198

Dragons

To 紙プロ
カタブツ君へ
From
DATE 1997/ 8 / 28
FAX No
Sheets / 枚 (本紙含む)
われらマスコミ・ドラゴンの事務局
専用FAX=044-854-7480
E-mail=RXB07217@niftyserve.or.jp

「紙プロ・ドラゴン」にめたくカタブツ君の頁が連載されて
います。ダブルクロス及び外部関係者の としてない評価が
下されていようと、

私はカタブツ君を
応援します!

カタブツ君をおぼろけな
長良川

C

紙のプロ
馬主助

編集長? 中村 カタブツ
Katohutsu Nakamura
いんり

株式会社 ダブルクロス
〒171 東京都豊島区南池袋2-33-5大同ビル5F TEL 03-5992-3240 FAX 03-5992-3218

パンクラス富宅選手も愛読!

蒸蒸日上。
ます。

たずね人



押忍!

『紙プロ』で働きたいんだったら働きゃいいんだよ! 働きゃあ!

山一証券が潰れても(株)ダブルクロスは潰れません!

編集者募集!!

『紙プロ』をつくる会社、(株)ダブルクロスでは、こんな不景気な時代に、編集のできる編集者、または赤ん坊に戻ったつもりで働く編集未経験者を募集します!!

あなたもボクたちとクソデブ~な仕事をしてみませんか?
なあ? どうすんの? それでも黙ってられるの? なあ?

資格:①面白い仕事をしたい編集経験者! ②編集未経験でも死んだ気になってやってやるぜと思った人!

職種:『紙のプロレス』他、小社発行物の編集でしょ!

勤務地:東京都代々木でしょ!

初任給:出ますでしょ! でも要相談でしょ(でも、仕事の面白さと辛さは保証付き)

勤務時間:仕事があれば随時でしょ!

年齢:34歳以下(仕事できれば72歳でもいいでしょ!)

特典:入社して間髪入れずに、あなたのキャラクターに合ったホーリーネームを差し上げるでしょ!

(例:アメリカ君、メキシコ君、タコヤキ君、カタブツ君、ジュゴン、結核)。

採用方法:書類選考の上、小社オールスター・キャストで面接を行いま~す

履歴書(写真貼付を忘れずに!)と論文(「紙プロと私」400字×2枚)と自己PRグッズ等を同封の上、平成10年1月16日(必着)までに送付してください。こちらから面接日を連絡します。

〒151 東京都渋谷区千駄ヶ谷3-11-3-702 (株)ダブルクロス「じゃ、よろしくお願いします~係」

※詳しいお問い合わせは TEL 03-3403-5188 担当:坂井ノブ

世の中とプロレスする雑誌

紙のプロレス

本誌 Back Numberのお知らせ

余裕です！
今年は一冊も本誌は
出しませんでした！
こんな調子で本誌23号は
発売（あくまでも予定）！

第11号 常人を越えた
偉大なる精神に触れよ！
特集『狂気とは何か？』



- ◎狂気を隠し持つ凄玉6人ロングインタビュー
堀江正史／タイガー・ジェット・シン／ガッツ石松／西村知美／佐野量子／糸井重里
- ◎特集『週刊プロレス』とは何か？完結編
初代『週プロ』編集長・杉山頼男独占手記
全女企画広報部長・ロッキー小川インタビュー
『週ゴン』編集長・小佐野景浩インタビュー
- ◎新連載！
「プロレス用語大辞林」
吉田豪

第8号 驚愕！
新日との抗争勃発か！？
特集『さらば新日本プロレス』



- ◎新日本プロレスに決別宣言した禁断の座談会
出席者・ターザン山本／山口昇／柳沢忠之／斎藤雄一
- ◎華麗なる初登場
ザ・グレート・サスケロングインタビュー
- ◎闇の格闘家を語る
関根勲
ロングインタビュー

第5号 初期『紙プロ』の香り漂う
世謝出版時代の一冊！
特集『たたかいグランプリ』



- ◎怒り満載の6大コラム
山口昇／鈴木邦男／杉作J太郎／竹本幹男ほか
- ◎怒涛のロングインタビュー
馳浩
- ◎興奮の対談
デビル雅美VS氏神一番
- ◎昇天の特別寄稿！
再考察「なぜ馬場は馬場さんと呼ばれるのか」／板内良

第14号 うそでしょ！？
目を疑う神秘的な人たち特集
特集『神秘とは何か？』



- ◎超豪華3大インタビュー
佐山サトル／鈴木みのる／大機ケンヂ
- ◎勝利確実!!
アルティメットに出たい
いただいたお二方
元プロボディーガード
清水伯鳳インタビュー
大東流合気柔術六
方会宗師・岡本正剛
インタビュー
- ◎ガチンコ2大インタビュー
遠藤幸吉／高田文夫

第13号 安生、グレイシーに敗北！
これがすべての始まりだった!!
巻頭緊急特集『道場破りとは何か？』



- ◎頑固一徹！
2大ロングインタビュー
山本小鉄／上田馬之助
- ◎特集
「ファミコンプロレスの逆襲」
- ◎衝撃の5大インタビュー
前田日明／スベル・デルフィン／馳浩／斎藤文彦／須田剛一
- ◎ビバ！アメプロ座談会
「平成のプロレスファンとは何か」
- ◎驚異の2大
セメントインタビュー
養老孟司／糸井重里

第12号 なにいい！
前田日明女子便所事件勃発！
特集『色気とは何か？』



- ◎緊急座談会
「前田日明に愛をこめて」
谷川貞治／山口昇／柳沢忠之
- ◎色気が充滿する男と女の9大インタビュー
猪木の語り部が前田の色気を初めて語った
作家・村松友視
虚飾紛々のゴージャスな色気の持ち主
蝶野正洋
ザ・グレート・サスケ／ターザン山本／アントニオ猪木ほか

第17号 前人未到の偉業！
北朝鮮で猪木ワールドが炸裂!!
特集『実況パワフル北朝鮮!』



- ◎偉大なるビッグ対談
アントニオ猪木VS永島勝司
- ◎友愛の3大インタビュー
ブル中野／橋本真也／村松友視
- ◎慈愛に満ちた
巻末特集
「藤原組の逆襲」
緊急スクープ座談会
「ツボ原人とは何か」
- ◎聡明なる新連載
「誤釣生活」糸井重里

第16号 祇園精舎の鐘の音
新日本全力取材強行!!
特集『新日本凸凹大学校』



- ◎怒涛の5大インタビュー
後藤達俊／マサ斎藤／キラール・カーン／橋本真也／田中秀和
- ◎興奮の巻末2大対談
糸井重里VS谷川貞治
ユセフトルコVS由利徹
- ◎感涙の
「青春の大発掘
アントングッズとは何か？」

第15号 インディー総力特集!!
まあ、触ったことねえですから
特集『インディペンデントの逆襲』



- ◎第一部
大量出血3大インタビュー
高野拳磁／ボイズン澤田／中牧昭二
- ◎第二部 あんた誰？
「山口昇試練の十人組手」
茂木正淑／神風／島田宏／ウルトラマンロビンほか
- 巻末緊急特集
「K-1とは何か？」
- 超ガチンコ
3大インタビュー
石井和義／谷川貞治／ターザン山本

第20号 プロレスの視点で
格闘技を読む
特集『劇的格闘技』



- ◎格闘技のドラマ性に迫った4大インタビュー
角田信朗／真樹日佐夫／大槻ケンヂ／村松友視
- ◎昭和プロレスの生き残り3巨頭スペシャルインタビュー
ユセフ・トルコ／上田馬之助／遠藤幸吉
- ◎2大セメントインタビュー
松永光弘／神取忍
- ◎特別連載「極道一代・山口昇物語」
黒田信一
- ◎W井上毒舌人生相談
フリーダムフォース人生相談

第19号 本誌最大の危機!
ついに廃刊か!!
特集『さようなら紙のプロレス』



- ◎『紙プロ』を偲ぶ4大インタビュー
ターザン山本／ユセフ・トルコ／上田馬之助／糸井重里
- ◎涙のバズーカ対談
高野拳磁VSザ・グレート・サスケ
- ◎鎮魂の「負けず嫌い対談」
出席者 石井和義／ターザン山本／平仲信明／谷川貞治
- ◎巻末ロングインタビュー
山崎一夫／ミスター・ボーゴ

第18号 マット界騒然!! 高田延彦引退宣言!
緊急座談会・高田引退発言の読み方
『高田延彦さんへ愛をこめて』



- 出席者・花くまゆうさく／山口昇／柳沢忠之
- ◎特集「すてきな奥さん」
武道家&レスラーの妻5大インタビュー
大山倍達未亡人 大山智弥子
佐々木健介夫人 北斗晶
ライガー夫人 ●●千景
石川雄規夫人 石川道枝
サスケ夫人 村川メリー

何か? シリーズ

猪木とは何か?



- 2大緊急ロングインタビュー
アントニオ猪木／村松友視
- ◎告発仕掛人・仙波記者に迫る!
- ◎立川談志メッセージ
- ◎新聞記者会見誌上再現

第22号 見よ! 戦火を駆け抜けたこの人生
特集『この人が喝っ!』



- ◎風雪に耐えた頑固な2大ロングインタビュー
太平洋戦争の撃墜王 坂井三郎(元特攻隊員) 元海女・田仲のよ
- ◎迎春! 巻頭インタビュー
「北の国から96・冬眠」ジョージ高野
- ◎新春! ウルトラ対談(格闘術使いVS解剖学者)
前田日明VS養老孟司
- ◎4大セメントインタビュー
高阪剛／セッド・ジニアス／小佐野景浩／熊久保英幸

第21号 いにしへの殺人技術にプロレスを見た!
特集『幻的格闘技』



- ◎古武術でプロレスする! 武術の達人6大インタビュー
前田日明(格闘術使い)／岩井作夫(古武術・武備会)／甲野善紀(武術研究会松聲館)／世古典代(寛水流空手二代目会長)／井谷利之(野太刀自顕流師範)／櫻井文夫(合気道S・A代表師範)
- ◎唯我独尊! 2大ガチンコインタビュー
石井和義／ガッツ石松
- ◎元気爆発! 2大ロングインタビュー
ユセフ・トルコ／高田文夫

パンクラス公式読本

矛—HOKO—



- ◎スペシャルゲスト・インタビュー
カール・ゴッチ／佐山聡
- ◎横浜道場所属全選手インタビュー
近藤有己／山田学／稲垣克臣／渋谷修身／伊藤崇文／長谷川信史
- ◎今こそ源流を辿れ! Uの思想、Uの幻想、UWFを解剖せよ
- ◎熱すぎる風! 特別寄稿だ! 杉本喜公(元「週刊ゴング」) 佐藤正行(「週刊プロレス」)
- ◎パンクラス・オフィシャルルール完全網羅&ルール変遷史
- ◎この熱さを感じろ! 超ロングインタビュー 鈴木みのる「熱き風」

盾—TATE—



- ◎スペシャルゲスト・インタビュー
ジャイアント馬場
- ◎ターザン山本辞表提出1周年記念
パンクラス非公式座談会
- ◎東京道場所属全選手インタビュー
富宅飛艇／高橋義生／柳澤龍志／國奥樹真／山宮恵一郎
- ◎特別寄稿! 感動させてよ! 出張版 矢倉清則(「週刊プロレス」)
- ◎厳選17人がパンクラスに一言!
- ◎この深さを感じろ! 超ロングインタビュー 船木誠勝「HARD」

何か? シリーズ

極真とは何か?



- ◎K-1参戦 一撃必殺インタビュー
フランシスコ・フィリヨ
- ◎フィリヨに極真魂を叩き込んだ師範インタビュー
磯部清次(ブラジル支部長)
- ◎極真魂溢れまくる 16大インタビュー
黒澤浩樹／松井章主／村上竜司／ウィリー・ウィリアムス／中村誠／大沢昇／大山茂他

バックナンバー常備の店

書店

山形／八文字屋エビスヤ店 神保町／書泉ブックマート、書泉グランデ 秋葉原／書泉ブックタワー 池袋／リプロ池袋店、芳林堂書店 池袋店 六本木／青山ブックセンター 新宿／紀伊国屋新宿南店 大井町／博文堂大井町店 中野／タコシェ 吉祥寺／ブックスルーエ 町田／福家書店 浜松／イケヤ文楽館有楽店 名古屋／ヴィレッジ・バンガード、ヴィレッジ・バンガード2 豊田／ヴィレッジ・バンガード5 春日井／アイビー・ブックス 富山／精文館書店 大阪／駸々堂コミックランドアメリカ村 鹿児島／ひょうたん屋

プロレスショップほか

水道橋／プロレス・マニア館、チャンピオン 新宿／アイドル、ファイター 渋谷／レッスル渋谷店 池袋／レッスル池袋店、日本武道具 大山／大山アメリカン 東大和／オフィスTAKA 札幌／リングパレス 甲府／キャッチ 名古屋／アイドル 和歌山／ヘラクレス 和歌山駅前店 大阪／アイドル、パティスラム、チャンピオン 金沢／プロレス屋

ザ・通信販売

- ◎定価は『紙のプロレス』第5、8号は700円、第11号～22号は780円となります。『猪木とは何か?』は1320円、『極真とは何か?』は1530円となります。『矛—HOKO—』『盾—TATE—』は1260円となります。
- ◎送料はすべて1冊＝310円、2冊＝340円、3冊～4冊＝450円、5冊＝520円、6冊以上＝700円となります。
*なお1号～4号6号7号9号10号は完売しました。残念でした。
*また9号、10号、『大山倍達とは何か?』は書店やプロレスショップで探せば若干は売っているはずです。

〈申し込み方法〉

- 現金書留 〒151 東京都渋谷区千駄ヶ谷3-11-3-702 (株)ダブルクロス「本誌バックナンバー係」まで
- 郵便振替 00130-3-769154 (株)ダブルクロス

NOMONOMO column

世界初のプロレス専門店

レススル

営業時間 月～土 AM11:00～PM7:00 日祝祭 AM10:00～PM6:00
年中無休

今年のプロレス総決算は、レススルビデオで!!

恒例のレススルフェア がスタート!みなさん ご来店をお待ちしています

レススル列伝'97"冬の章"

開催期間 12/13(土)～1/15(木)

フェア記念大サービス特典

ビデオ ¥5,000以上お買い上げの方に、ビデオ割引チケット ¥500 券をプレゼント!(1本につき1枚)

店頭もしくは通販で ¥1,000以上商品をお買い上げの方に、抽選で下記ビッグプレゼントを進呈!

※通販の場合、期間中、応募券を差し上げます。その応募券を次回注文の際に同封された方に、もれなくプレゼントあり!

【プレゼント内容】

- 超マニアック福袋.....2名様
- お好みCD & グッズセット.....10名様
- 写真集セット.....10名様
- 非売品デレカ.....20名様
- B級福袋.....20名様
- レススルオリジナルビデオ.....20名様
- プロレスTシャツ.....20名様
- サイン色紙・生写真・ポスター.....たくさん

昭和38年ワールドリーグ戦力道山血風録

王者編 & 総集編 各 ¥3,360

久々に登場!力道山ビデオ。王者編には力道山vsカルホーン(2戦)、vs コルスキー(2戦)、vs オコナー、力道山&馬場vsオコナー & コルスキー、力道山&豊登vsコルスキー & アトキンス。総集編は力道山vsコルスキー、吉村vsオコナー、豊登vsマレラ、vs タウンゼント、馬場vsマレラ、カルホーンvsタウンゼント、カルホーンvsタウンゼント、力道山&東郷&馬場vsコルスキー & エリス & キラー-X、力道山&東郷 & 吉村vsコルスキー & カルホーン & キラー-Xです。

FLASHバック オブ ガイアジャパン VOL.4

約140分 ¥8,000

総集編ビデオの4弾は'97年5/25～9/20をまとめた。見所は9/20の川崎大会。GAEA JAPAN史上一番大きな大会での4大シングル戦は注目! WCW世界女子クルーザー級戦田村vsシュガー、AAAWヘビー級戦長谷川vsアジャはタイトルマッチという、アジャの夢の闘い。セミの京子vs里村はプロレスの達人vsプロレス生懸命。メインは日本でのデビュー戦となるZEROvsスーパーヒールデビル、それもAAAW戦!他、ガイア改の試合や山田の入門、レイナ・フブキ登場、5vs5リミテッドマッチ等見所満載!

PRIDE.1 ヒクソン・グレイシーvs高田延彦

90分 ¥9,970

'97年10/11東京ドーム。プロレスvsグレイシーの最大の決戦、高田延彦vsヒクソン・グレイシー。練習風景、インタビューあり超盛り上がり!闘いの全てがこの1本に。他、アクシデントで脚を痛めながらも闘い続けた極道の黒澤、本場の強さを確認させてくれた北尾、精神面技術面でも大きく成長した慧庵の村上、あのヘンゾ・グレイシーと互角以上に闘い観客を熱くさせた選手全員収録。メイン以外でも充実した内容!(インタビューは16選手全員収録。)

ザ・グレート・ボーゴ復活! 血を吸うドリル

60分 ¥9,870

'97年7/23後楽園。ボゴが引退したミスター・ボーゴがより強化しザ・グレート・ボーゴとして帰ってきた!それも前代未聞の凶器電動ドリルを携えて!対するは小龍ロッドマン。もうメチャクチャ。メインは田尻 & 山川の大日本コンビが石川 & 田尻の新東京プロレスコンビと大日本タッグベルトを賭けて対決。他、ナガサキ & 中牧 & 志賀vs冬木 & 邪道、大日本女子マッチ小川vs藤村、岡野vsスピンビート、谷口vs小林、藤田vs本間を収録。

'98 プロレスカレンダー & NEW グッズ (送料込)

○新日本プロレス	¥1,800
○リングス	¥3,400
○パンクラス	¥1,000
○FMW	¥2,000
○JWP	¥3,400
○井上貴子	¥2,400
●ヒクソンTシャツ	¥5,400
●ヒクソンキャップ	¥5,300
●ブライド1ロゴTシャツ(白と黒)	¥3,400
●高田vsヒクソンTシャツ(白と黒)	¥3,400
●高田延彦 NEW Tシャツ	¥2,900
●サイコ・シッドTシャツ	¥3,400
●リングス'97 トーナメントTシャツA,B	¥2,900
●ZEN ロゴTシャツA,B,C,D	各 ¥3,400
●デビルマン NEW Tシャツ	¥3,500
●U-FILE CAMP Tシャツ	¥2,900

ビデオ新作情報

2月中旬 デルフィン復活	¥3,990
2月17日 WRESTLE FEST 50 YEARS OF FUNK テリー・ファンクプレゼンツ	¥6,000
2月17日 LLPWライヴバトル'97 9/11北沢タウンホール	¥5,040
2月17日 K-1 GRAND PRIX'97 決勝戦 11/9東京ドーム	¥12,600
2月17日 アーネストホーストザ・チャンプ・オブ・K-1GP'97	¥8,400
2月22日 サスケからダイオキシ	¥9,990
2月28日 FAINAL POWER HALL in FUKUOKA PART1&2	¥10,200
3月16日 '97格闘技の祭典SPECIAL 10/12両国	¥9,990

キングダムvsグレイシー柔術(仮)

12月下旬発売予定 ¥9,870

'97年12/14代々木第2競技場。ついにキングダムのリングでグレイシー柔術の一騎打ちが実現!UWFインターの時代から打倒グレイシーを打立て、今年ブライド1では高田がヒクソンに破れてしまっている。そして、今回のグレイシー柔術の選手は、日本のファンにも有名なヴァリジ・イズマイウ!柔術でワールド・コンバット王者ヘンゾ・グレイシーを破り、'96年日本で行われたユニバーサル・バーリトゥードではデニス・キャファリノスを2分10秒チョークスリーパーで破り、同年U-JAPANではバトラウ田を3分10秒同じくチョークスリーパーで破っている。そして今年のUFC大会でのバンクラスの高橋との試合は超有名!対戦者は安生、バトスミを破り勢いにのる金原。立ててよし、寝てよし、キングダムの切り札。金原としてはバンクラスの高橋以上の勝利を狙う。ダブルメインのもう一つは笑顔の実力者桜庭がタンク・アボット軍団の刺客ボール・ヘラと対戦。危険な香がする試合です。

パトスミ来襲!キングダム北都2連戦(仮)

12月下旬発売予定 ¥9,870

'97年11月15日両国市民体育館 & 19日札幌中島体育館。今回は何と2大会を1本にまとめた超豪華版。安生、佐野を猛追する金原、高山、桜庭そして山本。キングダムトップ狙い急速な実力アップが試合にも感じられる。それに、狂犬パトリック・スミス、メビウスの折原昌夫の参戦により、激闘が展開された。両大会の注目カードは垣原vsバトスミ、安生vs桜庭、高山vs山本。垣原、バトスミ負けられない両者は好試合を展開。垣原は久々に自身納得した試合をインタビューで語る。札幌大会の注目カードはやはりバトスミ。12/14代々木でのヴァレージ・イズマイウ戦が決定した金原はアルティメットへの闘いをこのパトスミ戦から始動!他にもキングダム挑戦を続ける折原は佐野と対決など今回もグー。

収録予定試合
函館大会...垣原vsバトスミ、安生vs桜庭、高山vs山本、佐野vs折原、金原vs松井、バリーvs豊永
札幌大会...金原vsバトスミ、桜庭vs山本、佐野vs安生、垣原vsバリー、松井vs豊永

FMWオーバー・ザ・レジェンド KAWASAKI

150分 ¥9,990

'97年9/28川崎球場。ビッグマッチ9試合のメインは大仁田vs全村のノーロープ有利鉄線金網電流時雷爆超大型時爆弾デスマッチ時間無制限一本勝負。また今大会のベストマッチ、グラジェーターvs田中のインディペンデントワールド世界ヘビー級選手権。注目目のベイダーvsシャロックの以上3試合はノーカット収録。'97年8/31後楽園の世界6人タッグ戦ラジ組vsハヤブサ組も収録。特別解説はハヤブサ、他。(第8試合のハヤブサ組vs小橋組は収録されていません。)

リングスバトルジェネシス'97 Vol.2

¥6,930

'97年10/14後楽園ホール。日本人vs外人の5試合。注目は成瀬、田村、坂田、大塚、中村、菊田の日本人の闘い。メインは因縁の対決、ピーターズvs成瀬。田村vsシノックは田村が冷たいまでの強さを感じさせるファイト。デレニィを全く寄せ付けない強さを見せた坂田。バトルツの塚原は前回のドクターストップ負けの屈辱を晴らす。田中は世界王者のブロの意地を、菊田はトーナメントオブJの王者の意地のぶつかり合い。濃い内容です。

パンクラス 12月下旬発売予定

ALIVE TOUR後楽園大会

90分 ¥6,930

'97年10/29後楽園ホール。12/20横浜大会vs船木キングオブパンクラスタイトルマッチを控えた王者近藤有己が成長著しいリオン・ダイクをいかに破るかポイント。セミはランキング戦国奥典vsガイ・メツァー。打撃戦となったが体格の差が最後に出、離れ際のハイキックがズバリと決まる。ジョン・ローバーvs渋谷、高橋vs金、伊藤vs美濃輪、山宮vsテリグマン、長谷川vs窪田を収録。

リビングレジェンド 12/17発売

ファンクス伝説生誕50周年

¥6,000

'97年9/11アメリカ、WWF、ECW、FMW、W☆ING、Jdが参加のテリー・ファンク主催興行。WWFヘビー級選手権ベルト・ハートvsテリーをメインイベントに、ハヤブサ & 生 & 田中vsロバーツ & ハンターズ、サブローvsマンカインド、ドリーvsヴァンダム、ダッドリーvsマホーニー、タズvsキャンディート、金村vsロードキルをノーカット収録。他、解説は斎藤彦彦、実況は斎藤充です。

新日本セレクション'97①②

12/22 発売 各 ¥10,200

全試合完全ノーカット初ビデオ化。パート1は・2/9札幌8冠のライガーvs大谷・8/31横浜7冠の大谷vs金本・7/1八戸長州 & 藤田vs後藤 & 野上・7/6真駒内長州 & 橋本vsムタ & 蝶野、他。パート2は・9/20名古屋 佐々木 & 山崎vsムタ & 天山・7/6札幌 小川vs山崎・6/5武道館・8/31横浜 橋本vs武藤、他を収録。

力道山ベルト争奪!天龍vs藤原 初対決(仮)

12月下旬発売予定 ¥9,870

'97年11/24横浜文化体育館。実現しそうでできなかった究極の男気対決。二人とも義理人情に生きている男の中の男、真向勝負で激突必至の対決。それも力道山のベルトを賭けたトーナメントの一番手!WARのもう一人の優勝候補荒谷は難敵黒い呪術師アブドラー・ザ・ブッチャーと対戦。天龍との激闘を展開した荒谷の成長がこの試合で試され、J1での荒谷の活躍を占う一番となる。他にもインターナショナル・ジュニアヘビー級タッグ王座決定リーグ戦最終戦安良岡 & 石井vs折原 & 江川を収録。安良岡vs折原の因縁の対決の勝者がこの王座を奪取するのは?とにかく、今年天龍 & WARを締めくく大会間違いなし!

収録予定試合 天龍vs藤原、北原 & 嵐 & 菊地vs平井 & 望月 & 多留、荒谷vsブッチャー、安良岡 & 石井vs折原 & 江川、ランス & バトルンジャーvs福田 & 小坪、豊田 & 井上vs中西 & 高橋、一宮vs大光

逆襲キングダム!アルティメット撃破

¥9,870

'97年11/3後楽園ホール。メインは現キングダムエース安生vs金原は、金原がヒクソンが高田を破った同じ技、マウントからの腕ひしぎで安生を下す。他、垣原がフェリックス・ミッチェルを秒殺3分26秒足首固めで撃破!桜庭はグレッグ・ダグラスをもっと速い1分26秒で撃破。山健はメビウスの折原に完勝。高山も佐野に初勝利。そしてキングダム生え抜きの豊永のデビュー戦と新しいキングダムを感じさせる大会です。

バス・ルッテンのスーパーテクニック①&②
ファス・バーリ・トゥード①&② 各 ¥5,800

バーリ・トゥードとフリーファイトで最強を誇る2人のテクニックを公開!ルッテン ①スタンス、フットワーク、キック、パンチ(基本テクニック、相手の攻撃に対するカウンター、反撃、テイクダウンなど)。②アームロック、リストロック、エスケープ(様々な体勢での十字固め、腕がらみ、他の技からの移行、フックの外し方など)。ファス ①全身を使った打撃(ヘッドバット、パンチ、エルボー、キック、膝蹴り) ②固めのつめ方とテイクダウン(フットワーク、タックル、ホールディング)。ファスは全7巻ルッテンは全5巻です。

世界最強タッグ列伝'80～'82

12/21 発売 120分 ¥5,040

大ヒットの第1弾に続き充実の第2弾登場!今回は'80年の馬場 & 鶴田vsファンクス、'81年のファンクスvsプロディ & スヌーカ、'82年のファンクスvsハンセン & プロディを収録。見所はやはり今は亡きプロディの雄姿。ハンセンとのタッグ、ミラクルパワーチームの試合や'81年のスヌーカとのタッグの時、ハンセンが乱入、テリーをリアアットでKOし、ハンセン & プロディを予感させるシーンは歴史的名場面13試合ともノーカット。

'97 ジャイアントシリーズ最終戦

全日本プロレス旗揚げ25周年記念大会①② 各 ¥5,040

'97年10/21日本武道館 & 10/11福岡大会の2大会を2巻に分けて収録。一番の見所である三沢vs小橋の三冠戦はVOL.1に収録。TVでは完全に見えなかった32分55秒の全てが見れる。VOL.1の10/11福岡の三沢vsウィリアムスの三冠戦はパワー & テクニックのNEWウィリアムスを三沢は24分21秒で撃破。VOL.2は川田vs高山のシングル戦。田上vsエースの2人のベストマッチも収録!

バーリ・トゥード・ジャパン'97

12月下旬発売予定 ¥6,930(予定価格)

'97年11/29NKホール。'94年 & '95年ヒクソン、'96年ホイヤーとスター選手を生み出したこの大会、そして'97年はエンセン井上ISTのヘビー級王者エンセンがフランク・シャロックと激突。プロレスファン、格闘技ファン注目の大一番。他、佐藤ルミナvsジョン・ルイス、マーク・ウェアvsエド・デクライフ、川口健次vsヤン・ロムルダ、翼宇宙vsジョン・ホーキ、桜井達人vsマセロ・アグア、中尾受太郎vsスティブ・ネルソンを収録予定。

船木誠勝の肉体改造法

60分 ¥3,990

大ヒットした同名書籍のビデオ版。1年あまりを経て、さらに練り上げられ改良された最良された最新のメニューを船木自身が詳細に解説。最も大きな改良点として、肉体改造を3つの段階に分け、その時期にしたがってトレーニングのやり方を変えている点が挙げられる。その他のウエイトトレーニングの細かい動作から食事の取り方まであらゆる範囲に及んでいる。インタビューも豊富に収録!

サスケからダイオキシ

12/22 発売 137分 ¥9,900

'97年10/10両国大会。メインはサスケvsTAKA、デルフィン & 星川 & 薬師vs東郷 & テイオー & 船木、白死vsジ・アンダーテーカー。つまり、トリプルメインイベント!特にサスケvsTAKAは遺恨の軌跡(5/18サスケWWF入り会見～9/18衝突映像!リムジン破壊事件)を収録。他にもデルフィン復活までの軌跡(6/22股割り事件～9/5巻枝での極秘特訓)を収録。LOVE LOVE サニーちゃん from WWF や船木誠勝に会おう!解説サスケ & 篠崎。

★レススルアルバイト募集中!! ☆プロレス・格闘技が好きな、元気な女の子! 詳しくは渋谷店・安原までご連絡を待っています!

★表示価格はすべて税込です。送料はビデオは1本につき¥500、2本以上サービス、グッズは表示に送料が含まれています。

1,000円お買い上げごとにスタンプを一つプレゼント。30個でTシャツ、50個でトレーナー、100個でビデオがもらえる!(店頭・通販共)

【通信販売申し込み方法】

住所・氏名・TEL・希望商品名を明記のうえ現金書留か郵便振込でお申し込み下さい。ビデオ送料は1タイトルにつき500円、2タイトル以上はサービスです。

●郵便振込口座番号 00180-8-65236 レススル通販

通販部 TEL 03-3464-1780

レススル渋谷店
〒150東京都渋谷区道玄坂1-17-2 第2野々ビル TEL 03-3464-0078
レススル池袋店
〒170東京都豊島区東池袋1-36-3 池袋陽光ハイツ306 TEL 03-3989-0056

★最新グッズ情報満載レススルレターをご希望の方は80円切手をお送りください。

★PRIDE.1大会 & ヒクソン・グレイシー グッズ大量入荷!! 在庫確認など、お気軽にお問い合わせ下さい!!

南口徒歩4分
第2野々ビル3F
(1F西側)

井の頭線ガード

渋谷駅

東口徒歩2分
豊島区役所直向かい
池袋陽光ハイツ3F
(1F下り側)

サンシャイン通り

池袋駅

歩道橋
至上野



ガールズ
は
ガールズ

● NOMONOMO column ● NOMONOMO column ● NOMONOMO column

MO column ● NOMONO MO column ● NOMONO MO column ● NOMONO MO column ● NOMO

OWON ● ოვონი OWONOWON ● ოვონი OWONOWON ● ოვონი OWONOWON

営業時

●ビデオ
券を
●店頭
下記
※通
注文

●超マ
●お好
●写真
●非売
●B級
●レッ
●プロ
●サイ

FLAS
BAC

ついに決闘にクランバ
PRIDE
12月17日

'98

○新日本フ
○リング
○パンク
○FMW
○JWP
○井上貴
●ヒクソン
●ヒクソン
●ブライド
●高田 vs ヒク
●高田延彦
●サイコ
●リングス'97
●ZENロゴ
●デビルマ
●U-FILE C

2月 中旬 デ
2月17日 WR
2月17日 LL
2月17日 K-1
2月17日 アー
2月22日 サ
2月28日 FAI
2月16日 '97

レッ
★表示
1,000円
でビデオ
【通信販売
住所・氏名
うえ現金
下さい。ピ
500円、2タ
★最新グッ
とPRIDE

これがプロレス。

長谷川博一

これがプロレス。

四天王は語る

(長谷川博一・編著／主婦の友社)

かボーイなんかではないのである。

その他、三沢の下ネタ愛好ぶりや、川田のダジャレ愛好ぶり、超世代軍の暴走しまくる酒席話など実にいいネタ多数だが、やっぱり最もネタが宝庫なのはボクの大好きな田上であった。

「マウンテンバイクで野山を走り回る」という独自の香気な練習法ゆえなのか、「練習しないでしょ。身体を見ればわかるよ」と山本小鉄どころか永源にまでイヤミを言われるアキラ(田上)。

酔っ払えばオウムのラーメン屋で駄々をこねてドリンクをサービスしてもらったり、警察絡みのバイオレンスを繰り広げたりするアキラ。

試合中は「スラング続出」で怒鳴りまくるが、女房には「あなたのパンツなんか、あのカッコいい大森君(付き人)に洗わせるわけにいかないじゃない!」と逆に怒鳴られてしまうアキラ。

書評は平和ではない
書評は戦いである
武器のかわりが毒舌であるだけで
それは地上における最も激しい敵しい
自らを捨ててかからねばならない
戦いである——(ネール元インド首相の娘への手紙)

「いや、ボクは怒ってないよ。ボクは別に何を書かれてもいいんだけどお、ただOさんがさあ……。いや、ボクはいいんだけどね……」などとキング・オブ・ボンクラリストの名を欲しいままにするShowとやらの影でゴチャゴチャ言われながらも全く気にせず己の道を突き進む、ハイブリッドな書評コーナー。

日佐夫クン人生劇場

書評の星座

PART2

「普段ロックンロールに
ついでに文章を書くことが多い」という筆者が、なぜか全日の王道四天王に「アルティメットのような闘いは新人時代に練習でやってました?」だの「八百長ではないのだと、ここで断言してもいいですよ」だの「得意の関節技は何ですか?」だのとロック魂で聞きまくる奇跡のようなインタビュー集。

高校時代に電話がようやく実家に導入されたほど貧乏だった小橋が、兄貴とカッブスードルを取り合ってフォークで刺された話なんて、涙なしには読めないはず。馬場さんの付き人時代、両手に荷物を持っていたと

「お前にはスキがある」と平手打ちされたという理不尽なエピソードも無茶苦茶泣けるっすよ。結局、小橋は単なるオレンジ色の爽やかボーイなんかではないのである。

「日活顔」でポーズを決める若き日のアキラ。そんなアキラの、馬場のルックスと鶴田の性格を忠実に受け継いだサラブレッドぶりが、とにかく大爆発。誰もが惚れること確実なのだ。

さらに各誌のインタビューで香気な発言を繰り返す理由を聞かれば「喋れないもん、俺」とズバリ言い切り、試合後に香気なコメントをするのについて「疲れてんのにマイク向けるなつちゅうの」とあっさり断罪。自分の職業を聞かれば「俺? 日雇い。その日暮らし」と胸を張って答える「赤いパンツの香気者」に心から乾杯だ。

世間で噂されながらも現実性は非常に薄い新日と全日の対抗戦なんてもうどうでもいいから、こくなったら試合前の舌戦だけでも確実に面白いことになるはずの相撲レスラー頂上対決・田上対安田戦だけでも実現させるしかない、ボクは思う。それならたとえリングサイドが10万円であろうとも、ボクは絶対に自腹で買う。

なお、ボクの心の師匠・門馬忠雄先生も巻末に寄稿している上、そこで三沢に「楽しく激しい」、川田に「激しく激しい」、小橋に「明るく激しい」、田上に「激しく馬場さん」という極めて香気なキヤッチフレーズを付けているだけでも買う価値のありすぎる一冊である。



アウトロー

(神山典士／情報センター出版局)

これまで小室哲哉や前田光世のノンフィクションを手掛けてきた筆者が、なぜか勢いに乗って藤原組長や日明兄さんの人生を大黒摩季やオザケン

と同列に論じてしまった衝撃の一冊。

「新弟子当時、(藤原が)まず先輩から教わったのは、人前ではビールをがばがば飲むこと。美味しいものをたらふく食べること。写真に撮られる時はすごい表情で、背伸びしてでも大きく見せること。そして外で喧嘩することになったら、絶対に負けないこと」

そんな組長の「プロレスなんてシツ、しよせんドサまわりなんだから」というプロ意識溢れる発言までドモリ混じりでリアルに再現するのは非常に文句なしなんだが、旧UWFを「これが、当たった。ファンは長い行列を作るようになった」などと言いつつ、さらにRINGSをこう表現するのはちょっといただけない。

「前田が作った団体でありながら、これまでに三回行われたチャンピオンを決めるトーナメントで前田の優勝は一度しかない。プロレス的に考えればそれは非常識だ。皮肉なことに前田は、負けることによって『強い者が勝つ』スタイルを証明したことになる」

そんなことを言い出したら最後、全日だって新日だってバトラーツだってみちプロだって、社長がめつたに優勝しない「プロレス的に考えれば非常識」な団体になってしまうはず。

昔からUWF信者という人種には、まるで昔の新聞寿チックに他団体を貶めることによってしかUWFのイメージアップを謀ることのできない狂信的な輩も非常に多かったものなんだが、結局はこの作者も同様なのかもしれない。それでいまは前田光世の本を書くほど柔術にかぶれているんじゃないか、と。実際そうだとしたら、つくづく世知辛い世の中である、まったく。

まあ、それでも第二次UWF分裂騒動を克明に追ってくれた功績だけでボクは許そう。

ちなみにフロントの不正を告発し、母親に家を買い予定で貯めた二十万円を選手達の給料袋に自ら詰めた前田に対し、分裂後に給料袋の中身を返してきたのはたった一人だけだったという。

それって、やっぱり山ちゃん(流智美曰く、人が良すぎたために分裂騒動のときも派閥の仲を取り持つべく一人で動き廻り、気が付くとUインターで冷や飯を喰わされていた男)なのか?

やっぱりプロレスが最強である！



やっぱりプロレスが最強である

(流智美/ベースボールマガジン社)

高田が惨敗した後だからこそハートに染み渡ってくる、オールドレスラーたちの夢のようなガチンコ話ばかりが詰まった珠玉の名著。

「何を書くのも自由だが、そのレスラーの前に出て、堂々と見せられるもの以外は書いてはならん」

「人の悪口を書いてメシを喰う人は、私はモノ書きと呼べないと思う」

そんな田鶴浜弘先生(故人)のプロフェッショナルな名言の引用も、これまで流智美が繰り広げ続けてきたUインター批判を思うとどうにも不思議な気がしてならないのだが、そんなことあもうどうだっていいじゃねえか(猪木調)！

とにかく巻頭記事が「流智美VS宮本厚二」の一人二役対談で、しかもサンクラスなんかでキャラクターを微妙に変えてたりするだけでもボクは全て許す。言うまでもないが内容もOKだ。

何が「やっぱり」なのかはよくわからないが、威勢の良さだけでついつい「最強なのかなあ……」と思いつまされてしまうから不思議なのである。



Lucha Mascarada

(都築一貴任編集/アスペクト)

往年のゴンゲ別冊写真集「ミル・マスカラスそ

の華麗なる世界」(最高!!)が高騰を続け、ルチャドールのマスクが渋谷や新宿界隈でデザイン的な見地だけで評価されつつある昨今、ついに小洒落た「マスク写真集」が出版されるまでに至った。内容的にはドクトル・ルチャこと週刊ゴンゲの清水勉氏が原稿を3ページほど書いていて、これで、あとはひたすらプロレスショップ「アメリカン」の高橋店長がコレクションした私物マスクの写真が並ぶ非常にお手軽な作りではあるが、こういうのはやったもん勝ちなのではないだろうか。しかし、我らの竹内宏介先生が手掛けた数々のマスカラス特集本に比べれば、しよせんはプロレスへの愛を全く持たないデザイン業界の人間の片手間仕事。どうにもコクが皆無なのである。



格闘マンガで強くなる!

(木村修/アスペクト)

相変わらずの乏しい漫画知識が光る、木村修の再刊。どうして漫画を強くなるための道具にしようとするのか、そもそもそれ自体がボクにはどうにも不思議でならないのである。

フルコン別冊「格闘技マンガ最強伝説」とネタも図版も重複しまくる安直な作りも含めて軽く叩こうかとも思ったが、ボクが原案協力をした格闘技漫画「ファイティング・ムーン」を若林太郎氏が絶賛し、さらに未単行本化作品のベストワンとして紹介してくれてまでいるので、もう何も言わない。ボクは誉められさえすれば文句なんて全くないのである(まあ、この作品を語ってくれた有り難い対談でも、やっぱり木村修だけは的外れなことしか発言していないんだが)。

とりあえず、未単行本化作品のベストツーに選ばれていたブレ「1・2の三四郎」というべき読切漫画「格闘三兄弟」(小林まこと)が、実は

「それゆけ岩清水」の第2巻に収録されていることをこの場で教えてさしあげることで、御礼に代えさせていただく次第である。



「完全無欠の」前田日明読本

(日本スポーツ新聞社)

正直な話、完全無欠でも何でもありませんが、もはや日明兄さんを怒らせようとしているとは思えない「いまの佐山に前田を語らせる」インタビュを強行しているだけでも素晴らしい一冊。

持ち前のサービスピ精神を過剰に発揮して、新日時代に「弟のように思っていた」「素直ないい子」という前田のバカ話を連発してくれるのだ。

たとえば酔っ払って包丁を投げて暴れ回る前田を荒川が柔道の帯で縛り付けると、すかさず佐山が子守歌代わりに「もうすぐはるすねえ」とキャンディーズのレコードをかけたこと。

「道場にいた新弟子で死んだ奴の霊が、夜な夜なベンチプレスする」と前田を騙して、佐山自ら夜中の三時にベンチプレスをして脅したこと。

「昔、この辺で進駐軍の黒人兵士が殺されて、その幽霊が夜中アメリカ国家を歌う」と前田を騙してジョージ高野に軍服を着せて枕元に立たせたことなど、とにかく佐山の魅力ばかりが嫌というほど伝わってくるのであった。……って、そんなの日明兄さん的には許されることなのか？



女子プロレス崩壊危機一髪

(ロッキー小川/ぶんか社)

全女在籍時から暴露ネタを書かせたら天下一品だったロッキーが、離婚&離脱によって加速度的に暴走開始。千種と二人で「飛鳥を辞めさせてください!」と会長に直訴したことから最近のことまで、くまなく暴露してくれる一冊だ。

なにしろ、京子が本誌前号で「絶対に話せません!」と言い切ったW井上分裂の理由らしきものまで堂々と公開しているから、とんでもない。

この話は、まずギャラの遅配に怒った堀田が選手の手締意としてストライキを決定したことからは始まったのだという。だが、その堀田がフロントと一切話し合わないため、村山大値が親切心からやむなく直訴。ところが首謀者の堀田が「村山にそのかされた」と寝返ったのだ、とロッキーは暴露する。まるで日本プロレス時代の馬場みたいな展開である(あくまでもロッキーの主観による記述なので、堀田や松永兄弟の批判は多いが、離脱組は基本的に絶賛されている)。

続いて京子が日プロ時代の猪木のごとくクレーダー計画を水面下で進めるが、日プロ時代の馬場の助っ手に「全女に残るメンバーの方が多そう……」という打算から何者かがフロントに計画をリーク。結局、京子が責任を取られて辞めざるを得なくなったのだとロッキーは書いています。だからストロングスタイルを旗印に新日本女子プロレスを旗揚げしたというわけなのか。

これも京子が「最初、貴子が出る人間だと思ってたんですよ」「貴子さん! あなたがいちばん分かってるよね?」「一生交わることも、試合することもないと思います」と発言していたことを思えば答えは小学生でもわかってしまいうようなものだが、実名で書かれていない以上、とりあえず真相はまだ永遠に闇の中なのである。

他にも、対談コーナーでの「長谷川咲恵の兄貴、足を切断」だの、全女スター選手の後を伝えるコーナーでの「柳みゆきはアムウェイの会員」だのという衝撃情報が目白押し。

だが、個人的に最も衝撃的だったのは、表紙カバーを外すと中からロッキーとサニーちゃんの巨大なツーショットが飛び出してくるという、実に破壊的で危機一髪すぎる装丁なのであった。

リングのシナジ

今月の汁

鶴田なら……

1月の「フライド2」で、もしホイスVSマーク・クアーが実現しちゃったら(たぶんしないけど)、ズバリ言っちゃってホイス負けそうなのが。体力的にかなり差がある2人なのに、今や柔術までやりだしたクアー相手では、ホイスは分が悪いでしょう。でもこれで、ホイスがクアーに勝ったらホントに凄いです。

クアーなら、ホイスどころかヒクソンにも勝つ可能性があると思う。ただし、ヒクソンと今のアルティメット大会のルール(12分15分一本勝負の判定ありルール)でやった場合と仮定したらただけ……。今のU大会のルールなら判定勝ち狙えると思います。無論、本来のバリー・トワードなら、時間かかるがヒクソン勝つと思います。

今のU大会のルールは、もはやグレイシー天国ではなくグレイシー地獄になっています。体がデカくて体力があり、なおかつ技術もあり、道衣ではなく裸の競技の人にとって天国のルールではないで



という事は、いまこそプロレスラーのチャンスではないのか?

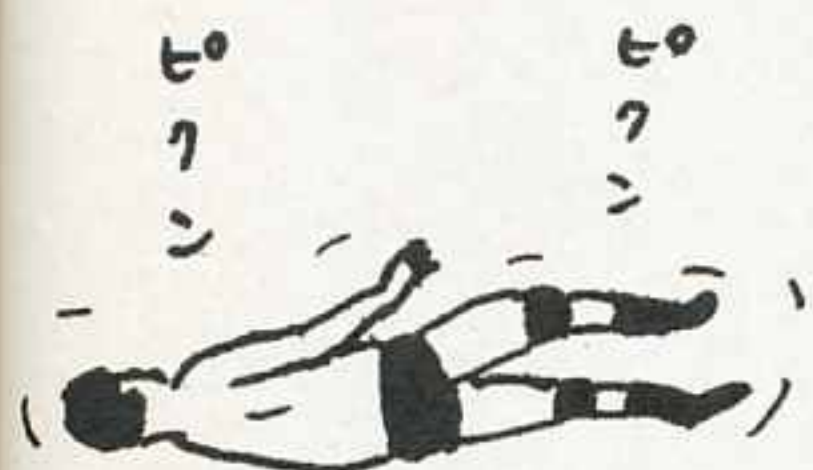
1・体がデカい 2・体力がある 3・技術がある 4・裸の競技

この4つをプロレスラーはもってるはずじゃないですか。

ただ、問題は「3・技術がある」です。まったくなさそうな人(小島、天山タイプや全日系)もいるが、逆にバリバリの実力者達(藤田、小川、高阪、桜庭など)もいるし、いちがいにプロレスラーは技術がない、あるとは言えないんですね。これは、ボキャブラ芸人などダメだと言えないのと同じである(爆笑問題や松本ハウスなど実力者がいるため)。

しかし、たとえ技術がなくとも、体のデカさと体力があれば、今のU大会におけるいかにもバカっぽいアメリカンナイズな判定(技術うんぬんより、上からパンチ数発打つてれば優勢みたいなので、勝てる可能性もあると思うんですよ)。

アルティメット大会は、もう15、16回ぐらいやってるのに、未だに日本人プロレスラーで出場したのは高橋と北尾のみとは、昔から「なんでもありならプロレス最強」と言ってきたプロレスとして情けないんじゃないですか(出場表明したのが、まったく相手にされず書類審査で落ちたようなターザン後藤はもっと情



リングのシナジ

加藤賢崇の
いい人見つけた♡

ファルーク

9・23 FMW川崎球場での疑似アルティメットではベイダーに打ちのめされて血を吐いて無惨に倒れたウエイン・シャムロックでしたが、実はその3日くらい前、ファルークにヒドイ目にあわされてボロボロだったのだ。ぼくはTVで見ました。

『週プロ』で吉田七瀬さんも書いてましたが、ケーブルTVやパーフェクトTV系で見れるスターTVという香港モノのチャンネルがあって、そこでWWF中継がアメリカの1週間遅れくらい、ほとんどリアルタイムで見れるのです。



ンプとしてWCWのベルトのベルトを巻いていた「黒い種馬」ロン・シモンズのことだ!

当時はベビーフェイスでアメリカマツトで蝶野と王者タッグを組んだり、新日の東京ドームでもトニー・ホーム相手に防衛戦やったり、日本にもなじみ深いハズなのに、なんか印象の薄い生真面目で面白味のない選手だったけど、ぼくはひそかに実力者じゃないか、と注目してました。

「タフ」とはどういう事かわかるか? タフとは冬の寒い朝に兄弟で一枚の毛布を奪い合うことだ! コレが、ファルークの泣かせる言葉。

ファルークとは? あの蝶野が2度目のG1に優勝してNWAチャンピオンになり、高田に「おれに挑戦したいならリスク代1000万円よこせ。そしたら厳流島でバトルロイヤルやってやる」とすごく変な因縁をつけていた時期に、ベア・キヤットライト以来の黒人世界チャ

そしてWWFに移籍し、いくつもある軍団抗争の中のヒールの中核、ドミネーションのリーダーとなり、元ソウルテイカーのカマヤサビオ・ベガなどを従え、ココで180度転換して生まれ変わった! 彼らは観客に向かって「お前らみんな黒人をバカにしてるな」と叫んだり、前述みたいな味のあるセリフまで、黒人は全部ピンボでハングリーという、時代錯誤な被差別意識をモチーフに闘う姿は、イーストウッドとかの映画に出てくる黒人ギャングのボスのようで、実に頼もしい。たぶんバカ力儀儀な性格で、マクマホンのプランそのままだを演じてるうちに入り込んだ、って感じがイイんですよ。ベビーからヒールに転向していきいきする人はたくさんいますが、特にハマってる。そしてインタコンチネンタル王座を巡るトーナメント1回戦で「世界一アブナイ男」シャムロックをツブシてしまったのです。

不愉快

”Show”大谷泰頭



たかがプロレス、されどプロレス。常にそういった気持ちを持ちつつ、日夜取材活動に励んでおります。最近ではドラマ『不機嫌な果実』の石田ゆり子がお気に入り。月に一度、『ペントハウス』で取材するノリカッチ（藤原紀香）の出てくる『ラブ・ジェネレーション』はいつも見逃してしまいます。サダハルンバ谷川氏（自称トレンドドラマ評論家）によれば、『それは君が日常じゃなくて、非日常の人間だからだよ』とのこと。ホントにそうなのでしょうか？

ところで突然ですが、自分のことを「変態」だと思っただけが、自分のことを「変態」というのも私は、何の気なく放った一言が人を「不愉快」にさせてしまうことが多々あるようなのです。

しかも、それが普段からお世話になっている人や、思い入れの強い人だと、最

悪の結果を招きます。途端に「そんな人だと思わなかった」的な態度を示されてしまうのです。まさに「友達をなくすぞ」の典型です。つくづく自分の変態さ加減に愛想がつかます。先日取材中、前田日明問題を終結させたばかりの船木誠勝選手の前でその話を持ち出し、「またその話ですか……」と、ムツとされてしまいました。きつと試合前ということもあり、こちらが思っているよりも、ずっとナーバスになっていたのだと思うのですが、その場の空気を読めない自分にホトホト嫌気がさしてきます。おそらく、その一言のみで相手を不愉快にさせたのではなく、普段から知らぬうちにボディブローを入れていたのではないかと、と自己分析したりもするのですが、どちらにしても表立ってからは、ようやく事の重大さに気づくという自分の鈍感さ。自分で言うのもおかしいけれど、とても活字の世界に生きていられると思えません。究極を言えば、単なる「自分勝手」であり、「変態」でも「不愉快部門」所属なのではないかと、いまさらしょうがねえや」と開き直れるかと言えは、「また人を傷つけてしまった……」と、他のことに手がつけられなくなるほど、心底ショックを受けてしまう、意気地無しな自分。表面上は平静を装っているつもりでも、じつは「ああ、これからどうやって生きて行こうか」と、

半端でないほどのダメージが全身を襲い、心根の部分まで落ち込んでしまうのです。きつと、自覚が足りないのだと思います。「いい意味で、覚めて物事を見てみたらどうですか？ それと、普段よく話をする友人は誰ですか？ この業界は際限なく常識がなくなってきたから、気をつけた方がいいですよ」それに関しては、船木選手からこうアドバイスまでいただきました。さすがにマッド界の常識人集団の頂上を張る者の発言。肝に命じる所存です。とはいえ、本当に困ったものです。もしも何かいい解決策があるようでしたら、『紙のプロレス』編集部まで一報ください。ところで、その『紙プロ』ですが、前号は全体的に「……」でした。ターザン山本氏のようには「あれじゃあ『紙プロ』の命日だよ」とまではいりませんが、確かに今年は何と言っても高田延彦vsヒクソン・グレイシーに尽きるとはいえ、私はいまでもあの日、深夜に訪れた『紙プロ』編集部の空気が忘れられません。私に負けて劣らず変態集団のはずなのに、「不愉快」というよりも「不可解」な感じがしました。それでも、あんな山口昇氏の姿を体験してしまっただけで、『紙プロ』を読む気がなくなってしまう。実際、まともに読みはじめたのは、ここ数日になってから。ただ、あいつた山口氏

を垣間見してしまうと、いくらボロクソに言われても、また嫌になれなくなってしまいうから不思議です。最後に『紙プロ』こそマッド界の不愉快そのものの媒体ですが、前号の『書評の星座』において、私が原案を担当した『船木誠勝物語』に関して、私自身についてならばともかく（それでも「いい加減にしないと、キレますよ」by日明兄さん）、私を通してパンクラスを揶揄するのは「反則」だと思えます。当然、パンクラスに限らず、特定の団体に対してのそういった記述も不愉快千万。『紙プロ』にとっても、マッド界にとってもマイナスにしかありません。ぜひとも今後は改めていただきたい。その前に、このページの構成者の「日佐夫くん」だけならまだしも、同一人物と思われる吉田豪ちゃんにも揶揄されると、「四方八方から」という印象を与えること自体が不愉快です（それが狙いなのか？）。それでは、これからレンタルビデオ屋さんで借りてきた『義務と演技』（全11話）を見ますので、また今度。

しょう■埼玉県生まれ。パンクラス公式読本企画立案者。最近、単なる「世迷い人」から「格闘技解剖家」も兼任。また肉体改造により、3カ月で12キロのウエイトダウンに成功。主に「スコラ」などで活躍中。

けない。12月に日本でやるんだし、ここらで誰かに出てほしいです。でも実力者系の人達では、当たり前すぎて、かえってつまらない。コテコテのプロレスライターに出てもらいたい。たとえば、小島だ。普段リング上で騒々しいあのキャラが、オクタゴンの中でどうなるのか、想像しただけで面白い。うおー見てーぞ。小橋も見たい。一体あの中で何ができるのか？ まったく思いつかないぞ。力づくのヘッドロックか？ 川田も見たいぞ。キックは当たるのか？ ああいつ見ても不思議な関節技（ガバガバのヒザ十字など足関節系）は極まるのか？ いつも吠えている天山は？ 海援隊

は？ TAKAは？ 橋本は？ 健介は？ ……もう面白すぎます。誰も勝てそうにないけど……。そしてジャンボ鶴田だ。唯一例外で、鶴田ならある意味ヒクソンにも勝てる。じりじりと間合いをとるヒクソンに対し、「オオー（小さめ）」とおどろいた顔を客席に向けて鶴田。ヒクソンのチョークスリーパーに対し、両手をナハナハと広げる鶴田。ヒクソンのチョークに絞め落とされる鶴田。その時!! 鶴田がいつものあのピクピクとしたケイレンをしたならば、これはある意味鶴田の勝ちである（もちろん記録上は負け）。

不愉快

もともと肝臓に疾患があるとか、パンクラス参戦時も「ボディが弱そう」と言われたシャムロックですが、その日はファルークのパワーボムをくらっていきなり動けなくなりました。その前に腹へのパンチとか入ったような気もする。必死に起きあがろうとして、また亀の状態になって動かない。レフェリーも「あれー？」という表情、アナウンサーも「どうしたんでしょう」とただならぬ事態な雰囲気。ファルークは先日フットボラー時代の功績が認められて表彰を受けました」と関係ないイイ話を始めたり、ファルーク自身も攻めるのをやめ腰に手を当て困惑している表情に見えるが、ぼくはもう「アクシデントに見せかけたセメントを仕掛けたな！ にくいよ、この！」と大喜び。その後シャムロックは場外へ

エスケープして体勢を立て直し、ヨロヨロしながらリングにあがる。ファルークはロープに振られてフロント・スープレックスで投げられず、すぐにフオールされ試合には負けましたが、シャムロックはこのときすでに口から血を吐いてグッタリしていた。ホントにただの事故だったのか？ それとも嫉妬か恨みか試合前にトラブルでもあったのか？ そういうウレしい想像をさせてくれるレスラーが数少なくなった今、ファルークは貴重な人なんだなあ。

加藤賢崇（かとうけんそう）■ゆかいなCD-ROMゲーム「がんばれ！ いぬちゃん・ロケッポロ編」が「がんばれ！ いぬちゃん・世界の旅」は、パンダイビジュアルからインストアナウ！

『RADICAL』は 素敵な抗争を歓迎します！

プロレス界、今年の流行語大賞をご存じですか？ えっ、知らない？
これを読んでるあなただけにこっそり教えちゃいましょう。それはズバリ、「磁場狂ってるよぉ」です。女子プロレス界にとっては大きなターニング・ポイントとなった今年、RADICALは「活字女子プロレス」の確立を目指して立ち上がりました！ しかし！ ミイラ取りがミイラになるとは、まさにこのこと。磁場が狂った女子プロレス界に、磁場を狂わされました。路線を変えます。活字女子プロレス確立へ向けての第一歩です。だから、これは活字女子プロレスでも何でもありません。あしからず。

(坂井ノブ)

新団体
何か？
女子プロレスの見方

まず、11月14日にアルシオンが記者会見を開き、アジャ・コングが「目指すはプロレス界の小室哲哉」とファイティング・プロデューサー宣言



「磁場狂ってるよぉ」
これこそが今年のプロレス界の流行語大賞である。言われてみれば、今年の下半期のプロレス界は磁場が狂いっぱなしである。高田の惨敗、リングスvsパンクラス抗争、みちプロ経営危機、中村カタブツ君(34歳)の失踪……そして、女子プロレス界も磁場が狂った。全女の経営悪化による大量離脱が発生し、新たに2団体が誕生。両団体とも、本格的な旗揚げ戦は来年なので、具体的な実体が提示されていない以上、断片的な情報でしか推測出来ない。一般誌による愛のかけらもない女子プロバッシングで、女子プロレスへの蔑視は改めて確認できた。混乱を極めた女子プロレス界ではあるが、『紙

のプロレスRADICAL』では、その両団体の情報をかき集めながら、本誌なりの女子プロレス他団体時代の見方を提示しようと思う。
先月、まず動いたのはロッシー小川である。HYPER VISUAL FIGHTING『ARSION(アルシオン)』を旗揚げした。パリジェンヌがクロワッサンを頬張りながら口ずさんでしまっような、オシヤレなネーミングである。新人募集を見ると「明日のビジュアル・ファイターを育成する」そう。ビジュアル・ファイターとは何か？ かわいくて、強いのか？「パンクラリスト」みたいなものか？ 謎は深まるばかりである。



磁場狂ってるよお～ それをいい方向へ 向ける！

「あえて女子プロレスとは名乗らないと思う」とロッキーは『別冊宝島プロレス読本』のインタビューで語っている。パンクラスは、その試合を「ハイブリッド・レスリング」と表現し、「秒殺」と「ハイブリッドボディー」という2つを打ち出したことで従来のプロレスとの差別化を図った。アルシオンの手法は、これを思い出させる。『週プロ』によれば、府川や玉田が現在は「某格闘技道場でマスコミ立ち入り禁止の極秘トレーニング中」で、おまけに「肉体改造中」なのだそう。旗揚げしたら、女子プロ界に新しい衝撃が走るかもしれない。今から非常に楽しみである。ベールに包まれたものは中を見たくて気になるものだ。さらに、どうでもいいことなのだが、アルシオンも難しい漢字をリングネームに使う「ハイブリッド改名法」を実践したようで、府川由美が府川唯未に、玉田りえが玉田凜映となった。『磁場狂ってるよお』と一瞬ぼやきたかったが、何事もやりすぎるぐらいがちょうどいいとボクは思う。是非、このまま突っ走ってもらいたい。これで、ロッキーの『別冊』誌上の「自分たちがこれからやることの理想は全日本プロレスやパンクラス」という発言にも頷ける。ロッキーが「理想」と語る全日&パンクラスは外部との関わり合いは極力避けて、ひとつのコンセプトを掲げて、そのコンセプトに沿ったものたちの空間を作り出した。そのコンセプト作りをロッキーとアジアで行なうのだろう。現在はヘッド・ハンティング宣言をして、団体のカラーに沿ったレスラーを狙っている。引き抜き問題に関しても、女子プロ界の小室哲哉こ

とアジア・コングは本誌のインタビューで「凄いことが出来ない団体はやめろ」と爆弾発言。実際にしから大向と二上をヘッド・ハンティング（ヘッドか!?）さらにJWPの福岡と久住へも引き抜き攻勢をかけたという噂が流れた。さすがにこれにはJWPが激怒。全女と手を結び、「JWP&全女スベシャル・プレゼンツ みんな仲良し!!」という、これまた「磁場狂ってるよお」なタイトルの交流戦開催を発表した。JWPの山本代表も目明兄さんよろしく「JWPのJの字も出して欲しくない!」と激怒したとか。ウチと全女は仲良しだけど、お前

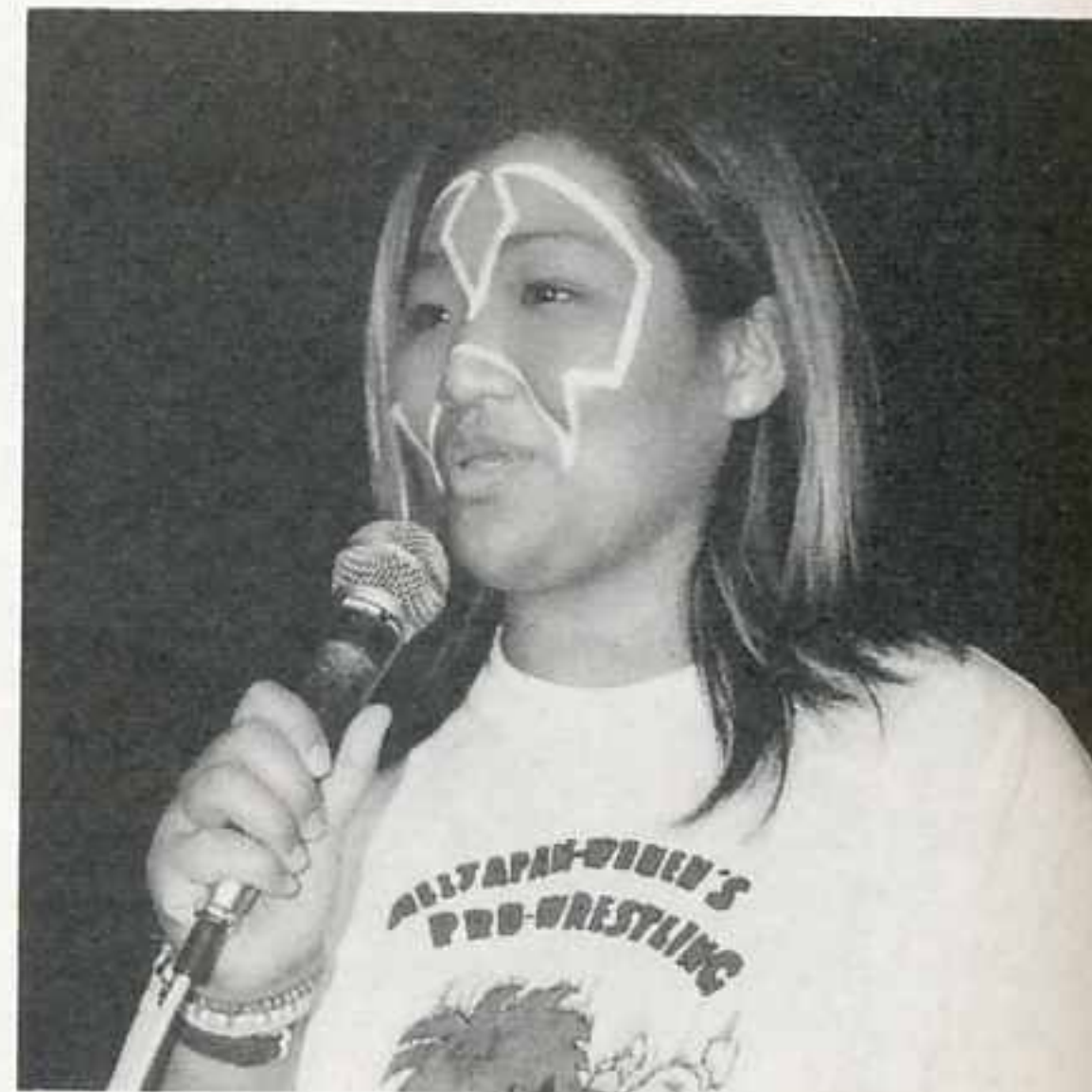


ロッキーの著書『女子プロレス崩壊危機一髪』で退団理由が明らかになった京子。11月25日に『新日本女子プロレス』旗揚げ記者会見を開いた。新団体へは一選手としての参加だが、中核になるのは間違いない

は仲間ハズレだよという痛烈なタイトルである、かわいいけど。パンクラスvsリングス抗争をそのまま女子プロ界に持ってきたような壮絶な抗争になりそう。アイドルレスラーを多数抱える元祖・ヴィジュアルプロレス団体のJWPだけに真っ向からぶつかり合うだろう。刺激を受けたJWPが何を提示するのか？

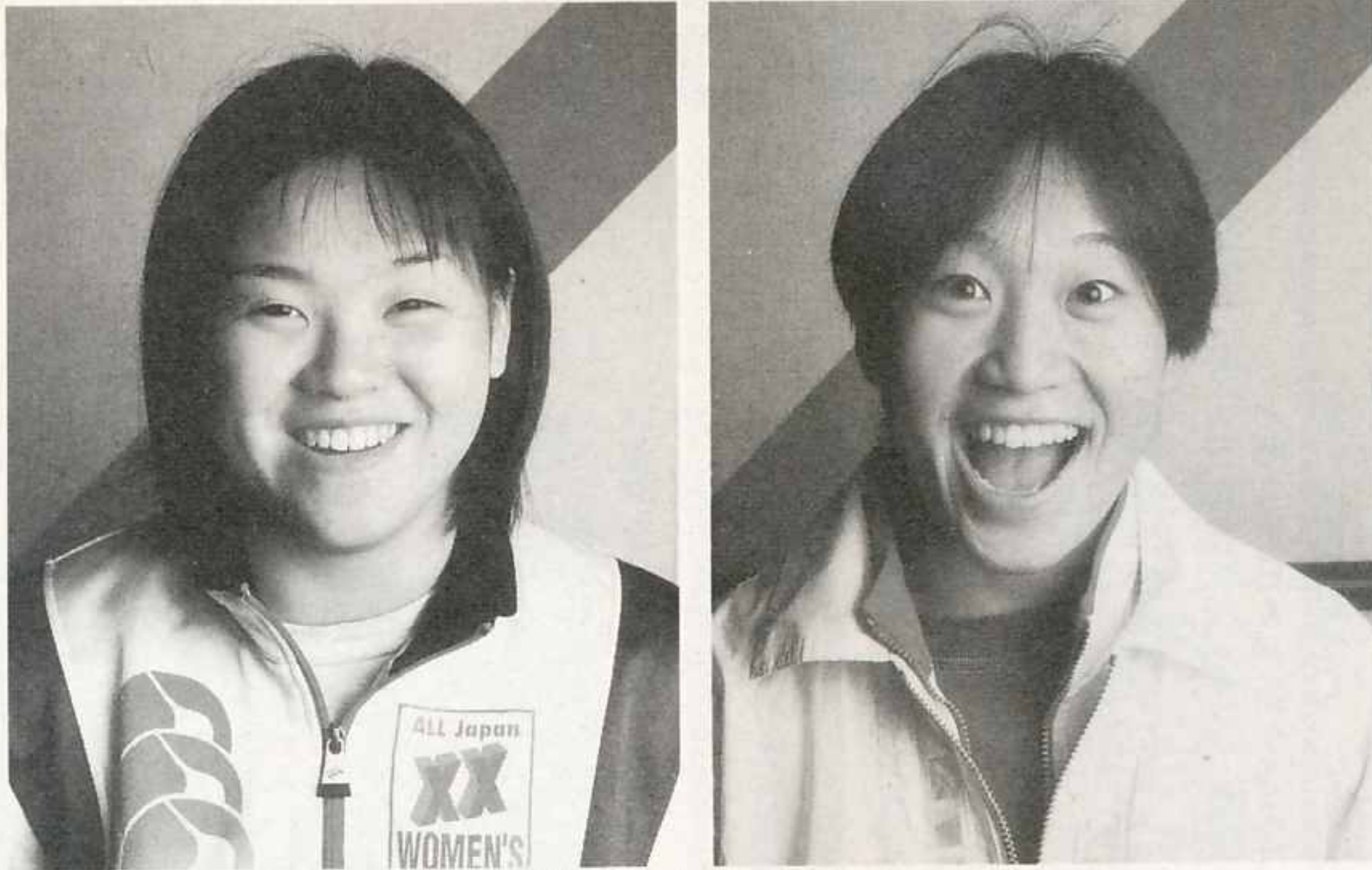
一方、京子派と言われていた『新日本女子プロレス』旗揚げ記者会見の際に配られたプレスリリースには、「ご丁寧に「通称」まで書いてあった。」新女「ではなく、『NEO LADY'S』である。こちらは全女を離脱した京子、ラスカチヨ、チャパリータ、椎名、元氣、タニー、田村といったメソッドである。

記者会見では、アルシオンと水面下で争奪戦が繰り広げられたというチャパリータASARIも発言。「京子さんについていくために全女を辞めました」と泣かせる発言。タニー・マウスが「プロレスが出来ずにバイトをして生活していた」と辛すぎる数カ月



間のことを語り出すと、京子もタニーも涙を流した。

そして団体のコンセプトは「BE HA P P Y !」。幸せになろうよ、ということらしい。組織から飛び出し、「ホント、切符の買い方が分からなくて地下鉄にも乗れなかった」(京子談)というだけあって、世間の荒波に揉まれまくった経験を活かした、地に足のついたコンセプトである。上がるリングのないレスラーがバイトして生活していた状況だったのだから、ファンとしてはレスラーに幸せになってもいいところだ。そんな「ネオ・レディーズ」の旗揚げ戦はアルシオンよりも早く、1月9日後楽園ホールである。そのタイトルが何と!『First Kiss』である。もはや、女子プロレス界の磁場は狂い咲いた! 団体が増えたとか、レスラーが移籍したとかいう、勢力分布ではなくて、発想が従来の女子プロレスとは異なってきた。も



大量離脱後の全女を引っ張るのは中西 & 高橋だ。素晴らしいので必見!

っと、言っちゃえば脳味噌が変質した! だがしかし! これで「磁場狂ってるよお」と嘆いていたのでは、時代に乗り遅れているのかもしれない。「男に負けちゃいけない」というブル・イズムを受け継ぐ京子の視界には、当然

男子プロレスが入っている。夢はでっかく「全日本プロレス」出場である。しかし、名前は「新日本プロレスさんみたいになりたかったから命名した」と語るだけあって、理想は「この団体がプロレス界のトップになって、一般人にもプロレスを認めてもらうようになること」と志は高い。京子はフロントとしてではなく、一選手として参加するという。巡業は地方を中心に月10試合程度に抑え、道場のでの練習に力を注いでいくという。

以上、両団体の毛色の違いはこんな感じである。それぞれの決定的な違いは一体何なのか?

『アルシオン』は「ヴィジュアル・ファ

イティング」という方向性を打ち出し、他団体とは一線を画した。はじめにコンセプトありきである。アジャ・コングが「ファイティング・プロデューサー」として手腕を振るい、女子プロ仕掛人と言われたロッシー小川が社長である。「理想としてのパンクラス」というのも頷ける。ヘッド・ハンティングや大がかりなイメチェンなど、ある程度大きな冒険もするようだ。

男子の新日本にあやかっつけたという『新日本女子プロレス』は道場での練習に重きを置く名実ともにストロングスタイルである。京子は「アルシオンさんとも他の団体さんとも仲良くやっていく」方針らしいので、その分、安定しているとも言えよう。

★磁場狂ってるなりの総括!

混乱の女子プロレス界を本誌が総括する! そう思ったのはいいんですが、まだどっちの新団体も見えてねえんでなんにも言えませう。えっ? お前の磁場が狂ってるって? そのとおり! 所詮、『紙プロ』が時流に乗ったタイムリーな総括をやるのが間違ってるのです。総括は出来ませんが、要するに弱肉強食か? 共存共栄か? ということです。アルシオンのヘッド・ハンティング宣言で潰し合いの時代に突入しました。女子プロレス界は、10団体(男女混成を含む)を超えてしまいい、必然的に食い合う方向に向かうでしょう。どうせリング外で抗争をするんだつたら、ぜひ、女子プロレス界が活性化するようにな抗争方をしてもらいたいです。そんな素敵な抗争だつたら歓迎します。狂っちゃった磁場だからこそ、そこらいい方向に転がっていいだけのことなんです。



リング外の抗争もそれが
女子プロレス界の活性化に
つながるのであれば
それは素敵な抗争である!

プラムの事故

全女倒産

新団体旗揚げ

…今だからこそ問う

女子プロとは何か?

戦慄の2部構成

「世間の中の女子プロレス」
アジャ・コング

「アタシの女子プロレス」
ジャガー横田

プラムの死、全女の経営悪化&大量離脱、一般週刊誌による「援助交際女子レスラー」バッシング、そして新団体が相次いで旗揚げ……息つく暇もなく荒波に揉まれまくった今年的女子プロレス界。本誌も「女子プロは興味ない」「ムダなページは使うな」などといった読者からの声には一切耳を貸さず、何度か女子プロレスネタを取り上げてきた。そもそも女子プロレスは男子プロレスとは何が異なり、何が同じだというのか? 「男子の下」という位置づけで見られがちだが、果たしてそれは正しいのか? 一体、女子プロレスの本質には何があるのか? かつてない混迷を迎えた今だからこそ、本誌は改めて女子プロレスを掘り下げます! また、今後も引き続き「女子プロレスとは何か?」特集を組む予定です!

振り回されている！

世間はプロレスに

平成のイ・ハクニギハ・ハント・ギン・マスター
世間の中の女子プロレスを語る

アジャ・ゴンダ

(フリー／アルシオン)

インタビュー

聞き手／坂井ノブ
interview by Nobu Sakai
撮影／斉藤ユウリ
photographs by Yuri Saito

—アジャさん、今日は寝起きですか？ 眠そうですね。

アジャ 早起きをして、一仕事して、バタバタと。芸能の仕事で打ち合わせが一本あったんで。

—大変ですね。もともと、芸能はやりたかったんですか？

アジャ プロレスに入ってくる最初の目的として「有名になりたい」というのがありますから。やっぱりTVに出たりするのは喜ばしいことですよ。自分の子供の頃なんか、「こういうことを出来るのは特別な人だけなんだろうな」って思ったんで。自分じゃプロレスやる気なんか全然なかったですからね。

—あ、そうなんですか？

アジャ 痛いのが嫌いなんです（笑）。

—それがどうしてプロレスに入ろうと思ったんですか？

アジャ 長与（千種）さんに憧れてですね。ダンブさんにやられてやられて、それでも血を流しても起きあがって、最終的には勝ったりして。見事にプロレスの勧善懲悪の世界にはまっちゃったって感じですけど。それを見て「人間、諦めなきゃどうにかなるのかな」って。自分を活かすにはこの世界かなって思っただけ。

—活かす？

アジャ ハーフだとかいうことで、いろいろコンプレックスもあったわけ。だから、「自分は表に出ちゃいけないんだ」って思ってたから。

—そこまで思ってたんですか。

アジャ でも、そういう長与さんの姿を見てたら、逆に表に出て、自分を見

女子プロレスは何か?

下してきたようなヤツらを見返してやるうって。後は有名になって、ブラウン管の中から、自分を見下してた人間に「ザマアミロ!」って絶対言ってるうと思ってる。

——気持ちいいでしょうね。

アジャ 羨望の眼差しで見られるわけじゃないですか? 「どうだ、見たか! ザマアミロ!」って、絶対言ってるんだと思ってる。それには凄いと

思われる人にならなきゃって思ってる。——コンプレックスがバネになった部分って大きいですか?

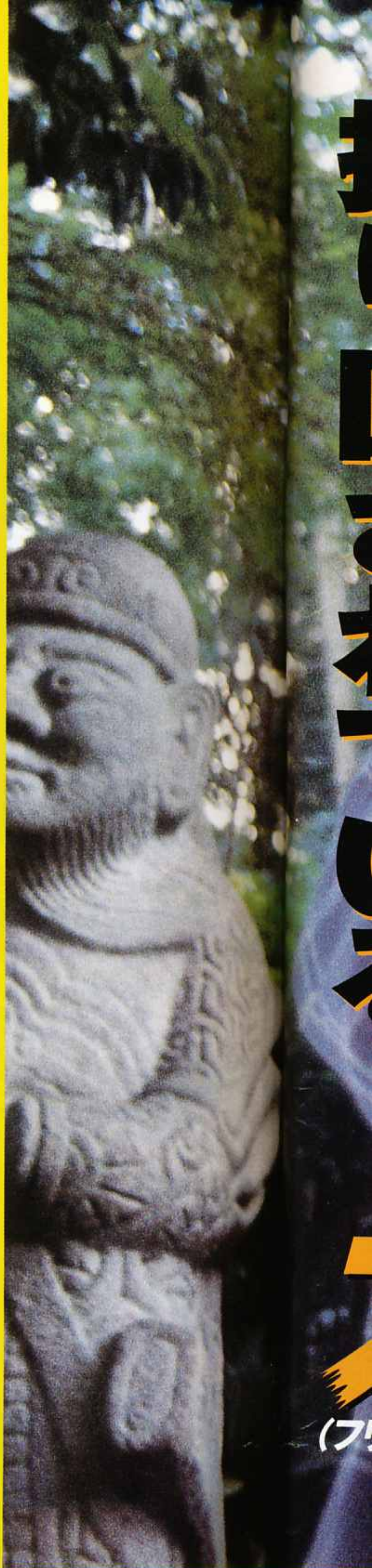
アジャ それはやっぱりありますね。

——力道山先生もそういう巨大なコンプレックスを抱えてたんですよね。コンプレックスは、ある程度以上の大きな存在になるためのエネルギーなん

でしょうね。

アジャ いつか世間にザマアミロって言ってるやりの人たちが強いのかと思いますよね。

——背負ってるものも違うわけですからね。そういうバネがあったから



こそ、今のアジャ・コングなんですね。昔はベビーフェイスってキレイで痩せてて華やかなプロレスをしてましたよね。一方、ヒールには一目でそれと分かる人たちが入ってたりして。見た目でも背負ってるものの違いがはっきり分かりましたよね。

アジャ 役割分担じゃないけど、見た目でそういうふうになされてね。でもね、今考えるとダンブ松本とかあいう人たちはすごい人だったなと思いますよ。あんだだけ人を嫌な気分になせるのは、今で言ったらシャーク土屋ですよね。だから期待を裏切らない人たちですよ。

——真面目な悪役ですよ。

アジャ うん(笑)。私の人間との付き合い合いの判断基準は信頼できるかできないかなんです。そういう部分では、土屋も信頼できますよね。そういう期待を背負って、毎度毎度嫌なこととしてくれますから(笑)。期待を裏切らない悪役ですよ。そこもひとつのレスラーの凄さですよ。

——信頼を守ってるということですね。

アジャ レスラーの凄さって、ある意味信頼を守ることにもあるのかなって。プロスポーツってみんなそうじゃないですか? イチローも「打率トッパで打点王を取るだろう」という期待

に依って、タイトルを取ってくれたりすると人気にも繋がってくるんだと思いますよ。期待をかける方は勝手に期待をかけてるんですけど、それを守ってくれると「やっぱり凄いよね」ってなるじゃないですか。

——アジャさんは信頼のポイントはどこに置いてますか?

アジャ 自分のやりたいことしかやらないよっていう、わがままさ。

——やりたくないことを強いてくる相手はいませんでしたか?

アジャ うーん、いたけど……リング上で自分を押し通してしまったら、自分の勝ちですから。

——自分を押し通そうとして、負けたことはないですか?

アジャ ないですね。意地でも勝ちますから、何があっても。「リング上でやったもん勝ちだよ」とか思っちゃいますからね。お客がそれで認めちゃったらそれでありですからね。「私を止めたかったら体を張って止めて下さいよ」って。そこで体を張って止めようとしたのがブル中野じゃないですか?

を見てたら、逆に表に出て、自分を見

——リングの上で主張をしあってたわけですね。出る杭は、リング外で打たれることが多いんですか?

アジャ そうですね……中野さんだけです。中野さん、リングの上で押さえつけてきたのは。

——お客を納得させてという部分も含めてですね。話題は変わるんですけど、世間の中の女子プロレスについて考えてみたいと思います。ここ最近、週刊誌などでは女子プロバッシングが凄くないですか?

アジャ でも、実際にこうなり始めたのは8月にブラム選手のことであって……それまでは女子プロレスなんて誰も見向きもしなかったじゃないですか? それが事故ひとつでこうも変わっちゃったのは……面白い世界だなと思いますよ。女子プロレスに誰も見向きもしないという状況だったら、あそこまでの大騒ぎにはならなかっただろうし。何だかんだ言いながら「みなさん女子プロに興味あるんじゃないの?」って感じですよ。プロレス自体が、「スポーツなのか? 格闘技なのか?」って聞かれたら、「プロレスはプロレスだよ」って言うしかないですからね。

プロレスっていう分類ですよ。それこそ街頭テレビの時代に力道山の試合を群がってみんなが見てて、プロレス自体は日本の国民に受け皿が出来てるはずなんですけどね。「好きなものは好

結局、プロレスは 大衆のものなんですよ

き」でいいじゃん。

「好きなのにこういう取り上げられ方しかされないのは、なんか悲しいですね。」

アジャ おじさんたちは女子高生見るのと同じ感覚なんじゃないかな。

「若い水着のお姉ちゃんが飛んだり跳ねたりっていう（笑）。こういう形で出てくる世間の蔑視はどうですか？」

アジャ それはずっとついて回ってきたものだし、「プロレスはこうなんですよ」って説明しても、いきなり相撲とか野球みたいな扱いにはならないだろうなって思いますよ。表舞台には十分出てると思うんですよ。ただ、地位を確立していくのは各団体のやる作業であって。プロレス全部をひっくり返して「こういう地位なんだ」っていうところに持っていくのは一生かかってもムリだと思いますよ。各団体が自分たちでどれだけ差別化を計っていくのか、なっている部分だし。プロレスっていうことを考えると、プロレスは良くも悪くも庶民に愛される。

ほおっ！

アジャ すごく好きなんだけど、好きだからこそメチャメチャなことを言ってみたりして。愛情の裏返しですよ、世の中の人は。

大衆から愛されるプロレス！

アジャ うん。結局、大衆のもののなんでしょうね。大衆の一番の娯楽なんだろう、きっと。

「アジャさんとしては「プロレスを通じて終生大衆に尽くす」って感じですか？」



(上) ブルと抗争を続けたアジャ。当時はかなりトンパチだった。盲腸手術からの復帰第一戦で、金網でっぺんからのボディプレスで失敗して手術跡が開いてしまい大出血。他にもフジTVアナウンサーの肋をヘシ折ったり、会場のイスを半分以上なぎ倒したりとイカれた暴れっぷりだった(下) フリーになってからは、シャク土屋と抗争中。この抗争ではアジャがベビーフェイスになってしまいうから面白い

アジャ 大衆に尽くしてるふりをしながら、最終的には自分が尽くされてる(笑)。尽くしてるふりして、「お前ら最終的には私に振り回されてたんだ！ザマアミロ！」って(笑)。

「そこでもザマアミロですか(笑)。」

アジャ 週刊誌がこういうことを書くっていうのは、いかにプロレスに振り回されてるかってことですよ。そういうことをネタにすれば雑誌は売れる。結局、世の中の人はみんな知りたがってる。素直になろうよって(笑)。

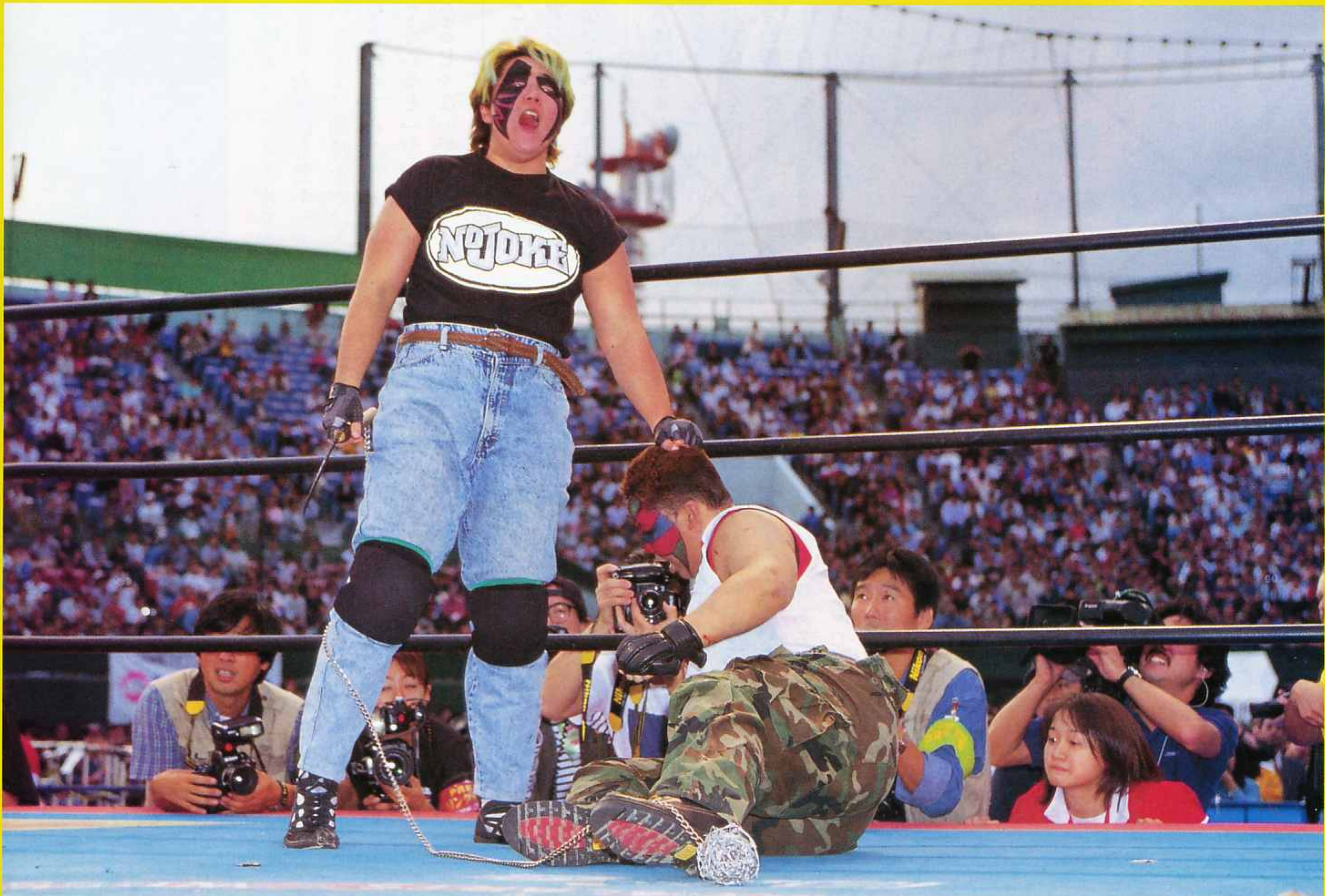
素直じゃない人たちが数多くいるからプロレスって面白いのかなとも思いますが。見る方も、やる方も素直じゃプロレスって出来ないですよ。

「素直にやっちゃったらプロレスはつまらないですよ。」

アジャ 素直にやるのは野球とかサッカーにまかしたときやいいんですよ。みんながヒネくれたものの見方をするところ、プロレスっていうものがあれば、そこがプロレスのポジションじゃないかと思えますよ。

「いや、女子プロレスでそこまで考えてる人は珍しいですよ。」

AKA KING



見る方も、やる方も素直じや プロレスは出来ません

アジャ 考えなくても別にいられますけどね。考える方が変といえは変なのかもしれないけど(笑)。でも、そういう位置づけにありながらも、いざっていうときになったら「プロレスって凄げえな!」って言われれば、それで満足ですから。

——プロレスラーの凄さを伝えるのが、アジャ・コングのプロレスですか。
アジャ うん。

——では、アジャ・コングにとって女子プロレスとは何ですか?

アジャ 女子プロレスは良くも悪くも一生付いて回るものかな。一生、尽くし尽くされて、夫婦みたいなもんですよ(笑)。

——ハハハ。

アジャ でも、最近「レスラーって凄げえな」って言われることって少ないと思うんですよ。特に女子プロレス

すね。それで、先日アルシオン設立記者会見では『引き抜き宣言』をブチ上げたそうですね。
アジャ はい。

——長い目で見れば、それが女子プロレス界の活性化につながると思うんですが。そこまで考えてました?

アジャ 考えてないです。自分のところが良けりゃいいと思ってるんで(笑)。「活性化するならすれば?」って感じですよ。出来ないとしたらいいんじゃないの?

——消しますか。

アジャ 自分のところで凄げえこと

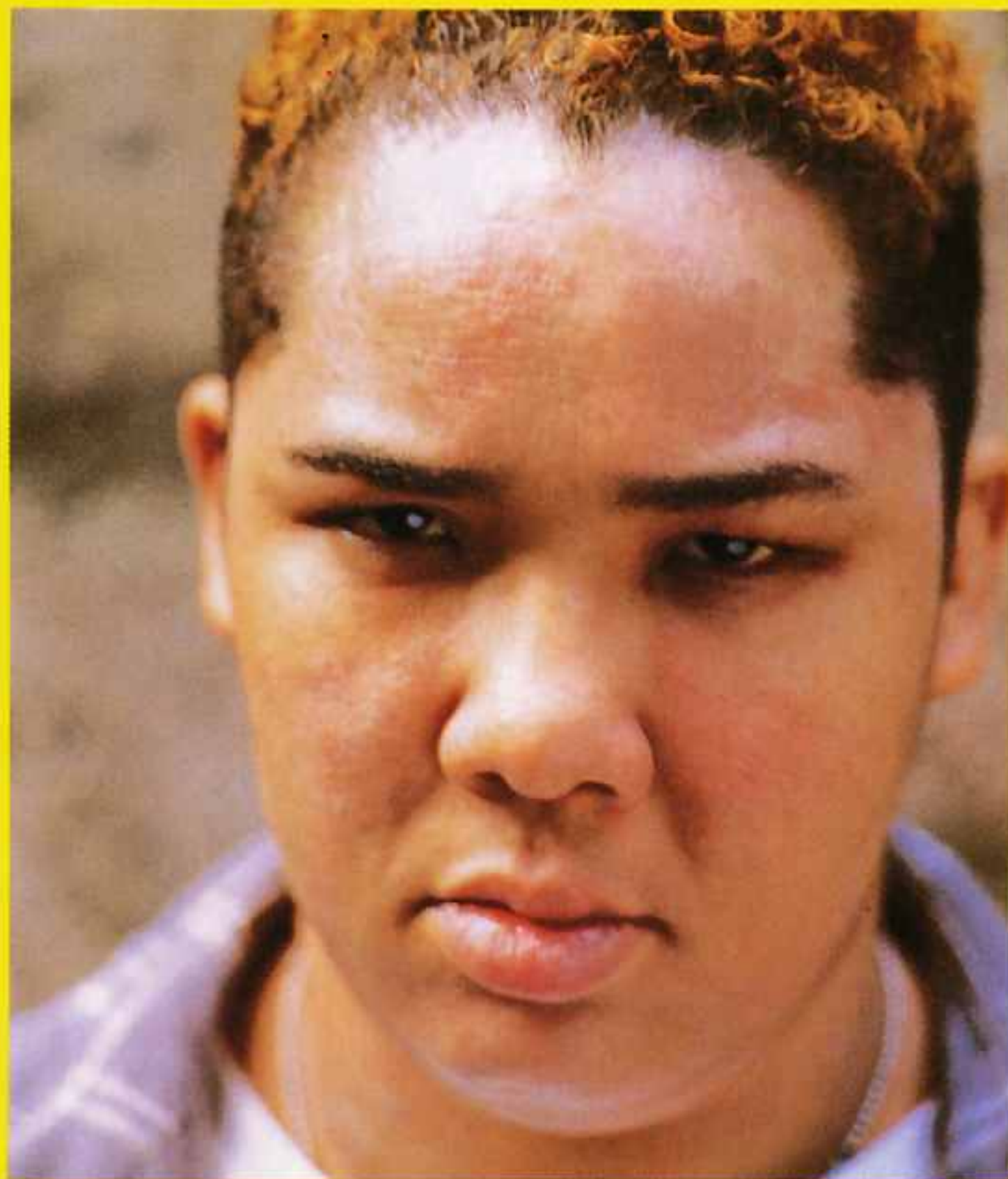
出来ないヤツは「いいよ、辞めな」って感じ。

——凄いですね(笑)。

アジャ プロレスラーっていう名前だけに寄り掛かって、楽しってるヤツらはみんな「サヨナラ」しなさいって感じですよ。

——そこまで他団体に言い切りますか?

アジャ 他団体からの憎まれ役ですから。もう大ヒールですから。陰でコソ



かなりプロレスについて考えているアジャ。新団体アルシオンでは、ファイティング・プロデューサーとして手腕を振るう。レスラーとしてはフリーの立場で参加する。

コソ文句を言ってる、あっちとくっついたりこっちとくっついたりして。その時点でキミたちの負けだよって感じ。でも、最終的に何を見せて、誰が一番凄いかを見せるだけですから。選手に關しては、各個人が自分のやりたいことを極めてくれればいいです。例えば、関節技を極めたい人は極めてくれればいいし、ルチャ極めたい人は極めてくれればいいし、デスマッチ極めたい人は極めてくれればいいし。ただし、「私は関節技は出来るけどルチャには付き合いません」っていうのはなしね。

——お互いを認め合ってくださいね?
アジャ そう。「関節技の人とルチャの人が当たったときにも、キツチリしたレベルの試合は見せてください。この人と当たったらい試合が出来るけど、あの人はダメっていうのはレスラーとしてしちゃいけないことなんだから」って。そのためにはルチャを極める人も関節技は最低限きっちりやってもらわなきゃならないし。でも、自分の活かせるいちばんの部分を好きなだけ伸ばしてってくださいっていう団体なんです。

——えらい実験的な団体ですね。
アジャ だから、記者会見翌日は新聞ごとに「女子版リングス」って書いてあったり、「女子版パンクラス」って

書いてあったり、「女子版みちプロ」って書いてあるところがあって(笑)。
——ハハハ、何が何だか(笑)。
アジャ 確かにそうなんです。だから、そういうのが全部入ってるもの。

——それは馬場さんのプロレス観に近いんですね。「すべてを含んだものがプロレスなんだ」っていう。

アジャ そうかもしれないです。どれもプロレスですから。どっちもプロレスなんだからいちばんいいものを見せようって。選手はキツイと思いますけどね。だから居心地はいいけどキツイと思いますよ。今みたいな話をして、「どうですか?」って選手に言うしかないんで。「おもしろおかしく生きるにはどっちがいいのかは自分で考えてね」って感じですね。ウチの団体のコンセプトとしては「みんな働いて、みんな儲けよう」っていうことですから。

——昔の建設会社の親方みたいですね。その気つぶの良さは。

アジャ だから、団体にお金がいっぱい入るようになって、会社でどうにかするっていう発想じゃなくて、みんな分けようって。

——全女での教訓が生きてるんですね?

アジャ うん。「働いたら働いた分だけお金がもらえるよ。でも、プロなんだから当然だよ」って。

——なるほど。今日はどうもありがとうございます。
アジャ はい。新団体、頑張ってます。

【97年11月18日、東京・都ホテルにて収録】

「強い」とか「怖い」っていう
イメージだけでいいと思ってた

孤高の女帝が語る
「アタシの女子プロレス」

ジャガー横田 (Jd')

インタビュー

聞き手／坂井ノブ
interview by Nobu Sakai
撮影／浜田孝一
photographs by Koichi Hamada

女子プロレスで大事な三拍子は「スピード」「華麗さ」「テクニク」

——そもそもプロレスを始めたきっかけって強さへの憧れからですか?

ジャガー 全然ないですね。ただ、非凡に生きたいとは思ってましたから。

——非凡に!「他人がやらないことを敢えてやる!」みたいな?

ジャガー そうですね。ただ、それがプロレスじゃなくても良かったのかもしれないですけど、たまたま見つけてしまったのがプロレスだったってことだと思いますよ。

——その非凡好きところが女子初の髪切りマツチなんかにつながっていくんですかね?

ジャガー あれは、会社からそういう話があったから、「あー、面白いですね」って。

——面白いですか! (笑)

ジャガー 人が出来ないようなことを経験するのは、チャンスであり刺激でありますし。

——髪切りマツチなんか初めてやったときはみんな驚くじゃないですか。他人を驚かすことで自分の快感になつていくんですか?

ジャガー 髪切りマツチに関しては、

レスラーですから。レスラーしかこんな経験しないじゃないですか!? 女性であまり坊主にしないですよ。

——山田邦子ぐらいですかね。

ジャガー あの人も芸能人ですから。一般人じゃないですからね。頑張った証が坊主であれば、それはそれで良かったと思つたんで。

——それはそれで良かった!

ジャガー 負けるとベルトと髪を共に失うことになりましたから。悲しいと思うよりも、こういう意義がある試合をさせてもらった喜びの方があつたんでね。自分なりに、負けてもベルトを取り返すと思つてましたから。

——ジャガーさん、女子プロレスラーは強くなければならないと思ひますか?

ジャガー 三拍子じゃないですか?

——え? 何ですか、三拍子って?

ジャガー 女子の場合は「スピード」「華麗さ」「テクニク」っていう三拍子があつたんですよ。男子にないもの

WWWA シングル王座に長く君臨したジャガー。ハワイ旅行に行った時も、両親を部屋から出してトレーニングをしたという伝説はあまりに有名



Jaguar Yokota

って「華麗さ」じゃないですか。でも、今は「パワー」が女子でも出てきてますけど。昔は「スピード」「華麗さ」「テクニク」の三拍子揃ってればいいレスラーになれるんじゃないかっていう時代だったんですね。

——他の選手が、どんなことしてるのか、どんなトレーニングしてるかっていうのは興味ないですか?

ジャガー あんまり興味を抱かないですね。「アタシはアタシ」っていう考

え方なんで。

——そこがジャガーさんの独自さの原因ですかね?

ジャガー わからないけど。今は雑誌で情報を流してるから、必要なことかもしれないんですけど……そういうこととして「アタシにとって必要な」って思っちゃったものだから。

——必要ない (笑)。じゃあ、逆に必要なものってなんですか?

ジャガー ハングリー精神ですね。そ

ういうものがないと試合に出てくるだろなって。「潰してやるぞ!」っていう強い気持ちを持った時代があつたものだから……。

——実際、やりました?

ジャガー やってましたよ! だから、負けなかつたんじゃないですか! 出る杭は打つじゃないですけど、後輩には絶対抜かれまいと思つてやってきたわけですから。それが自分を守ってきた証じゃないですか? 今は、立場の違いもあるんでしょうけど、「この子に抜かれたらどうしよう」って、そんなこと思わないですからね。

——J, d は新人が多いですからね。

ジャガー だから、負けたことが抜かれたことになるのかっていうと、別問題になってきますから。そういう部分でかき立てられるものが少ない。ベルトを巻いたことで、いろんな意味でかき立てられたことはありますよ。

——ハングリー精神って、強さへの憧れって意味でのハングリー精神ですか? それともお金が欲しいとか、いい服着たいとか、強くなりたいとか、いろんな要素でのハングリー精神ですか?

ジャガー いろんな意味だと思いますけど。お金に対する欲は昔からなかったですけど、繋がっていくじゃないですか? 「これだけ給料を取りたい」と思ったら、実力と共にそうなるっていった時代はありますから。タイトル持てば、タイトル戦が多くなるわけですから、そうなれば自然に付いてくることじゃないですか? だから、気持ちの中ハングリーがいちばん必要だと思



10・22後楽園ホールでは、ライオネス飛鳥を破り、TWF王座を奪取した。観客の期待をいい意味で裏切るので、ジャガーの試合は見逃せない

いますよ。

——気持ちの中のハングリー？

ジャガー 何て言うのかな……アタシってプロレスのことに關しては負けず嫌いだったと思うんですよ。だから、今はそういう気持ちってどこまであるのか考えたときに、アタシが3試合目だった4、5試合目よりはいい試合してやろうとかね。

——ああ、食ってやろうと。

ジャガー それだけはいまだにありません。1試合目に出てもしばしばインパクトのある試合をしよう。

——なるほど。最近、アルティメット大会というものが出てきてるんですけど、ご覧になってますか？ 最近はずいぶん盛んですけど。ジャガー 何回か見てます。プロレス

とは違いますけど、あれなりの部分がありますからね。バリバリの時代だったら挑戦してたかもしれないですね。

——バリバリの時代に見たかったですね！ ジャガーさんのバリ・トゥードは。ボクなんかが見てると、これジャガーさんが出たら勝てるんじゃないのかって思っちゃうし。

ジャガー 出て、勝ちちゃってホントに強いイメージがつくと疲れちゃいますからね。ずいっと、強いイメージのまま、それを崩さないために頑張ってます。

——そこは気を使っていましたか？

ジャガー 使っていましたよ！ 普段から。

——例えば？

ジャガー 笑わない！

——ガハハハハ！ 普段から笑わなかったんですか。

ジャガー 会場に行ったら余分な口を開かないとか。

——ブスーとしてたんですか？

ジャガー 「強い」とか「怖い」っていうイメージだけでいいと思ってましたから。近寄りたいたと話しかけにくいというものをずっと持っていましたから。

——うわー。じゃあ、街を歩いてたとしても。

ジャガー そういふのは自然に出ちゃったんじゃないですか。

——じゃあ、常にプロレスラーとして生きてたんですね。

ジャガー プロレスラーを背負ってるといふのはありましたね。三禁があったから、飲屋街には行かなかったです。ウーロン茶とか飲んで「何だ、お酒飲んでるじゃん！」って言われるのが、すごくイヤだったんで。

——でも、俗っぽい状況の中にいたらジャガー横田の魅力が出てこなかったんじゃないですか？

ジャガー そうかもしれないですね。興味も抱かなかったですから。だから、ジャガー横田が出来たんだと思いますけど。でも、ある程度の歳になると、それを否定したくなるわけです。『人間なんだよ』って。復帰してから、人間らしさを出した上で、プロでありたいみたいな部分があるから。

——背負ってるプロレスラーという重荷をちよっと軽くしたんですね。

ジャガー もし、弱く見えても弱さの中に何を出して行こうとかね。いまだ

に弱いっていうイメージはないかもしれないですけど。

——絶対ないです（笑）。

ジャガー でも、今はいつやられてもおかしくない体しか持っていないから、逆にやられたときは「やられてかわいそう」って思われないです。

——そうなんですか！（笑）

ジャガー 昔は絶対思われなかったんですよ。前の現役中は、やられても「いつかやり返すから全然平気」って思われたんですよ。プロとしては「やるとときは強く。やられてるときにはかわいそう」じゃないと見てる人が面白くないじゃないですか？ やられてるのに平気そうにしてたら、面白くないですよ。

——それはそれで、ありですけどね。

ジャガー まあ、アタシの体では否定することになるわけじゃないですか？ 現に痛いものですか。でも、プロレスは奥が深いですからね。最高のものってないじゃないですか？ そのためにいつまでもやれると思うんですけど。頂点に向かってね。納得しちゃうたら終わるときですから。

——じゃあ、ジャガーさんが目指す形ってどんな感じですか？

ジャガー 毎回毎回自分の試合が、「今日の試合の中でいちばんよかったぞ」って言われ続けることじゃないですか？ それを目標に一試合一試合やるってことが大切じゃないですか？

——例えば、緩慢な空気の中でもリングに上がって、観客の首根っこを掴まえて自分の方に目を向けさせるといふ作業がジャガー横田のプロレスである

八百長があるなら、アタシがジャッキー佐藤に勝てるわけがない

ということですか?

ジャガー 自然に引き寄せるものだと思えますからね。

——相手とプロレスしても、常に観客と闘ってるという意識ですか?

ジャガー 相手であり、客であり、ですね。「飽きさせないプロレス」ですね。

——ジャガーさんはいろいろ一般誌の取材も受けてこられてましたけど、「八百長なんですか?」って質問は多かったんじゃないかと思うんですが、そんな時はどうしてたんですか?

ジャガー 「八百長じゃないです」って。ただ、「ルールに基づいて、受ける」ところから始まってますから」とは言います。

——何でこんなことを聞くかと言うとですね、ウチの雑誌で世間にはびこる

「プロレス八百長論

議」に牙を剥こう

というところで、プ

ロレスファンじゃ

ない人にアンケー

トしたんですよ。

そしたら、半数以

上が「プロレスは

八百長だ」って回答

しているんですよ。

ジャガー あまり、

見ない人に限って

言うわけですから。

それで、八百長って言ったって、「あ

なた、この世界に入ったことあるの?」

っていう話になるでしょ? 現にアタ

シはWWWAのベルト

をジャッキー佐藤さん

から取ったわけだけ

ど。もし、八百長があ

るならば、アタシがビ

ューティー・ペアのジ

ヤッキー佐藤に勝てる

わけがないわけです

し。ルールに基づいた

試合の中で、勝負を挑

んで、勝ったら金星の

ように、アタシは取れ

たわけですから。その

現実にはアタシ自身が知

っていることだから、言

えるわけです。少なく

ともアタシ自身はね。

——当事者の言葉です

ものね。こういう論調

って、ある種プロレスへの蔑視だと思

うんですけど、そういう見方に対して

牙を剥くことはしませんか?

ジャガー 人気の表れなんじゃないで

すか? だって、賛否両論、人気のあ

る人も大嫌いな人も極端にいるわけ

ですよ。松田聖子にしてもそうですし。

そういう部分で、反響がないよりあつ

たほうがいいんじゃないですか?

(八百長って) 言うのは簡単ですよ。



「目から闘っていた」というジャガー。「顔が笑っていても、目が笑ってない」と言われることもあるそうだ。しかし、それもプロレスラーだからこそでなのある

そうじゃなきゃ好きでケガしてまで、やってないですから。

——そんなジャガー

横田のプライドって

何ですか? 「これが

なくなったらジャガ

ー横田じゃない」っ

ていうものはありま

すか?

ジャガー スピード

がなくなったらアタ

シじゃないんじゃない

いですかね? でも、

自分で自分を早いと

は思っていないです

から、別に。スピー

ドっていうのは技と技

の間隔が短いことが

「スピード」って言う

んですよ。

——そうなんですか?

ジャガー ダブルア

ームやってからフォ

ールにいたり、フ

ォールを返されてか

らパツとコブラツイ

ストに入るスピー

ドですよ! それがノ

タノタしてると

遅いんです。

——そこがジャガーさんにとってのプ

ライドなんですか?

ジャガー プライドじゃなくて、みん

なが早くなること。

——じゃあ、ジャガーさんだけのプラ

イドって何ですか?

ジャガー 何だろう?

事務局長の信包さん プロレスに関し

ては、絶対に妥協しないですからケン

カになりますよ。

——例えば?

信包さん さっき言った「プロレス

って八百長でしょ」みたいなことを、

すっごく怒りますよ。怒らせようと思

って、わざと言うんですよ。本気で言

ってるわけじゃないですよ。

ジャガー 「じゃあアンタ、早くリン

グに上がんな!」とか言っちゃうん

ですよ。

——そういうところをボクらは見たい

んですよ! 女子プロレスラーも怒っ

てほしいですよ。

信包さん ボクはよく蹴られますよ。

ジャガー 信包さんはぶっ飛ばしたく

なるタイプなんですよ。口が悪くて、

ムカつくんですよ! 年下のくせし

て! (笑)

——やっぱり、プロレスをバカにされ

ると荒れるわけですね。

ジャガー プロレスを知らない人が何

を言っても仕方ないと思います。知っ

てるヤツが影で言うのと、レスラーじ

やないのに知ったかぶるヤツは嫌いで

す。

——「ああしろ、こうしろ」というの

は違うよと。

ジャガー その部分はやったことのな

い人間が言っても、言うことは聞けな

いじゃないですか? 経験者が語るこ

としか言うことを聞かないということ

です。

【97年11月7日、赤坂のアマンドにて

収録】

世界で一番
ニクイ奴!

理不尽大王こと

冬木 将軍到来

聞き手／のものも
interview by Nomonomo

撮影／浜田孝一
photographs by Koichi Hamada

今日はプロレスの話はなしにしよ
うと……、まあ私相手にプロレスを語
ってもねえ（笑）。

冬木 プロレス知らないの？

えっ？ ええ（笑）。

冬木 ホントは何屋さんなの？

の？

はい（またウソをつくのものも）。

なので多々失礼があるかもしれませんが、
が、そのことよろしくお願いします。

で、私が抱いている冬木さんのイメー
ジって、新日本に参戦してた頃で……。

冬木 新日本な
んか行ってない
よ。

え、出てた
じゃないですか
あ。

冬木 ちょこつ
とだけだよ。
その頃です

よ。私の冬木さ
んのイメージが
固まったのは。
すごい嫌われ者
役で（笑）。

冬木 きったね
えなあ（笑）。ア
ンタが嫌いなだ
けだろ、別に嫌

われ者役だったわけじゃねえよ。
私ホントに嫌いでしたよ（笑）。

冬木 おい、ホントかよ。なんだよ、
オマエ！

いやあ、あそこまで心底嫌われる

「これは冬木スペシャルだ！ ストレッチプラムとは角度が違うんだ……さすが理不尽
音頭を踊る……あ、踊ってはいませんでした。歌ってる人は言うことが違う！」

ええっ!? それはちよつと言えな
いんですけど（笑）。いいえ、プロレ
スの知識浅いんで……。まだド新人な
んですよ（ウソをつくのものも）。

冬木 じゃあオレが初インタビューな

**オレのことが嫌い？
それよりアンタ
誰なんだ!!（怒）**

人ってすごいですよねえ、ホントに。
会場一致で大・大・大ブーイングだっ
たじゃないですかあ。

冬木 覚えてないもん。

今まで見たヒールの中で、あの頃
の冬木さんがナンバー1ですよ。あそ
こまで嫌われてる人はいないですよ。

冬木 だから何なんだよ。

（無視して）でも今はちよつと変
わりましたね。もしかしていい人？
って思うような所も少しあったりして、
何か違うなあ、私の冬木幻想が崩れて
いくうって思ってたんですよ。でも今
日お会いしてみてもちよつと安心しまし
た。

冬木 何で？
え、怖い人なんで……。

冬木 オレ、怖い？
ええ、怖いです。

冬木 怖くないっしょ、全然怖くない
よ。

特にヒールの方なんて、リング上
はめっちゃめっちゃ怖くても普段は優しい
って方が多いじゃないですか。

冬木 オレは優しいよ。2人つきりに
なったらもつと優しいよ（笑）。

冬木 えへへへ、へへへ。

冬木 それは困るって？
（話を強引に変える）前に邪道・

冬木 じゃあオレが初インタビューな

外道選手を取材させてもらったことが
あって、その時に冬木さんとはギャグ
センスが同じだって言っていましたよ。

冬木 同じなわけねーだろ。あいつら
がセンスあるわけねえじゃねえか。つ
まんないことばかり言ってるだけだ
よ。普通の人が恥ずかしいことを平気
で言うだけだよ。

そんな人達の上にいるのが冬木さ
んじゃないですか。

冬木 仕事一緒にしてるだけだよ、あ
いつらと私生活まで一緒にじゃねえよ。
でも普段から仲がいいって聞いて
ますよ。

冬木 ひと言も口聞かぬーよ。
あああ、どうしてですか？ 外
道選手なんてCWCで活躍したりと、
結構いい働きしてんじゃないですか。

冬木 ……（無言）。
CWC？ あれ、WCWだ（笑）。
冬木 関係ねえだろ、オレには。
でもギャラは冬木軍に入るわけで
すよね？ もちろん冬木さんが何%か
抜いて……。非常においしいじゃない
ですか（笑）。

冬木弘道

冬木 そんなことしねえよ。
冬木軍って会社なんですか？

冬木 そうだよ。
じゃあ冬木さん自ら営業とかやら
れる場合もあるんですか？

冬木 あるよ、人いないもん。
一応、社長なんですよね？

冬木 そうだよ、一応“って何だよ。
お金持ちなんですか？

冬木 なんだだよ（笑）。

だってこないだ1千万円見せびら
かしてたじゃないですか（笑）。

冬木 そういうこと言うなよ。金の話はするな！ 金はない！ 1円もないんだ！

1円もない？ だって1千万円あったじゃ……。

冬木 あれはテリー・ファンクの金！ オレの金じゃねーんだよ。

でも負けたら大仁田さんに取られちゃうんですね。大変ですねえ。ホントの所、大仁田さんのことは、どう思ってますか？

冬木 どう思ってるって？

ホントは一緒に試合するのも嫌なくらい大嫌いとか？

冬木 そんなことねーよ、別に。

話題になればなんだってやるよ。

そういうところが”小ずるい理不尽大王”って言われる所以なんでしょね。

冬木 誰が？ 誰が言ってるんだよ、そんなこと！

みんな言ってますよ。

冬木 ウソつけえ。アンタが言ってるだけだろ。誰一人、そんなこと言

ってねえよ、初めて聞いたよ、今。

ええ、たぶん私しか言っていないんですけど（笑）。でもずる賢いイメージありますよ、冬木さんって。

冬木 ずる賢くなんかいないよ、ホントのこと言ってるだけだよ。”小ずるい理不尽大王”か、初めて聞いたよ。どっかで使おう（笑）。でも全部オマエの勝手なイメージだよな。よっぽどオレのことが嫌いってことだな。今日も来るの、嫌で嫌でしょうがなかったんだろ？

いや、そ、そんなことないですよ。楽しみでたまらなかったです。

冬木 ウソだあ（笑）。

いや、これホント！ で、話は変わりますが、今回J、dと一緒に巡業されたわけですが、冬木さんって何かと女子プロと縁が深いんですよね？

冬木 ええっ、まあ言われてみればそうだなあ。深い意味は何にもないよ。

女子と巡業行く方が楽しいのかなんて思ってたんですが……。

冬木 何にも関係ねえよ。

試合終わった後、飲みに行ったりとかしないんですか？ ギャルと飲む酒はうまい！ とか言ってる（笑）。

冬木 ……試合終わって、リング片付

オレのこと、「日本のプロレス界で一番いい人だ」って、みんな言ってるよ。

けて帰るの毎日11時、12時頃で、次の日の出発が7時とかそんな時間なんだぞ。遊んでる暇なんかねえたる！

はあ、顔に似合わず地味な巡業なんですわねえ。しかもリングの撤収作業までやられてるなんて驚きです！

冬木 リング片づけはJ、dの女がやるよ、J、dのリングだから。オレは手伝うだけ。

それにしてもイメージ違いますねえ。試合終わったら誰よりも早くサツサと帰る人だと思ってました（笑）。

冬木 何バカなこと言ってるんだ、そんなことできるわけないだろう。

らしくない発言ですねえ（笑）。しかしなんでまた冬木軍初巡業の地が北海道なんですか？

冬木 それ喋ったらそれだけで1時間経っちゃうから言わない。

北海道が好きなんですか？

冬木 嫌いだよ。オレ、寒いとこ嫌いだもん。

浜松（インタビュー場所）は暖かいですねえ。

冬木 暖かいつて言ったらハワイだよ。そう！ ハワイですよ。でもハワイで試合やつても誰も来ませんよ（笑）。

冬木 バカ、ハワイには遊びに行くん

だよ。

ああ、遊びに行くんですかあ。そういえば以前、冬木軍でハワイに遊びに行っていましたよね。普通は合宿とかやるんじゃないんですか？

冬木 いいんだよ、ハワイは遊びに行く所なんだから。

そういう所、冬木さんらしいですよ。ファン目から見たら「練習しないで遊んでばっかで、そのくせ何エバってんだよ！」と、ますます嫌な奴度アップって感じで（笑）。

冬木 何言ってるんだよ、随分オレを悪い奴に仕立てあげてるなあ。

冬木弘道

冬木軍をちゃんとした団体にするつもりはないんですか？

冬木 オレは最初っから団体なんか作る気なかったんだよ。小っちゃい団体なんてあってもなくても一緒だからな。たまたま会社でやる方が都合が良かっただけで、そしたら団体って言われるようになっただけなんだから。オレはこの会社がなくなるのが潰れようがどうだっていいわけ。もっと大きいもの



ができればそれでいいわけ。それに向かってこちょこちょと小さい仕事とかもやってるんだよ。

ゆくゆくはどういうポジションになりたいんですか？

冬木 別に社長じゃなくてもいいんだよ。ただオレは引退してもプロレス界に関わっていたいだけ。相撲で言う引退＝廃業じゃなくて、引退したいだけ。えっ、引退したいんですか？

よ。楽しみでたまらなかったです。

なことができるわけないだろう。

い奴に仕立てあげてるなあ。

えっ、引退したいんですか？

冬木 そりゃあできたら引退したいよ
(笑)。できねえからやってんじやねえ
か。そりゃ40歳までに引退したいよ。

身体キツイんですか？

冬木 そんなんじゃないでな、やつぱ
40歳過ぎてんのに人前で裸さらすのは
よくないよ。

— そんなあ、40過ぎてても現役の人、
いっぱいいるじゃないですかあ。

冬木 オレから言わせると、ああいう
のは見苦しいよ。

— グラン浜田さんとかなんか、まだ
まだすっごいじゃないですか。

冬木 あゝん？ 小人だもん、しょう
がないよ。

— じゃあかつての師匠、馬場さん
は？

冬木 ……。

— ノーコメントで逃げますか(笑)。

冬木 言いうないだろ、あそこまで
いったら。何を言うんだ、アンタ。じ
ゃあアレ見て『格好いい♡』とか思う
のか？(笑)

— うわあ、激辛なコメントですねえ
(笑)。では、かつての師匠パート2、
天龍さんは？ 天龍さんはもう50歳過
ぎてますよね？

冬木 ぬう？ すごいな(苦笑)。天
龍さん、まだ47歳だよ。めちやくちゃ
だな、アンタ(笑)。

— あはははあ、天龍さんって、まだ
40代なんですかあ。

冬木 スゴいな、おまえは(笑)。おま
え、親指長いな。

— ええっ、突然何ですか!?

冬木 オレは短いんだよ。

— 冬木さん、手エ小っちゃいすね



え。私の方が大きいですよ。
冬木 そんなワケねえだろ(笑)。親指
の長さとアソコの長さは比例するらし
いよ。

— ええっ!? じゃあ冬木さん、短い
ってことは……。

冬木 短いのが嫌いかっ!

— っって言うか、セクハラするところも、
やっぱりイメージ通りですねえ。でも
今日は私の抱いてる“冬木イメージ”
が壊れなくて良かったですよ。

冬木 だからアンタだ
けだって、そう思っ
てんのは! 「日本のプ
ロレス界で一番いい人
ですよ」って、みんな
言ってるよ。

— まあ、冬木さんみ
たいなキャラは、実は
いい人でなくちゃいけ
ないんですけど……。
冬木 いい人だろ?
でも嫌いなんだよなあ
(笑)。

— いい人じゃヒール
は務まりませんからね
(笑)。でも、嫌いじゃない……、と思
いますよ(笑)。

冬木 じゃあ好きなのか?

— ええ、嫌い嫌いも好きのうちって
言いますから(笑)。

冬木 さっきから勝手なことばかり
言いやがって。何なんだよ、このイン
タビュは! いい加減にしねえと、
このテーブルひっくり返すぞ!

【97年11月15日・浜松市体育館にて収録】

EMPEROR'S URBAN NIGHT

海援隊★DX

MEN'S テイオー、 帝王学を語る

ケイエイ

聞き手／のものも

interview by Nomonomo

撮影／斉藤ユーリ

photographs by Yuri Saito

合写真／遠藤政文

photographs by Masafumi Endo

今、一番リアルな話題といえは、やはりみちプロの経営危機問題になるわけですが。

テイオー おお、いきなり確信に迫っちゃうんですか(笑)。

——ええ(笑)。でも、正直言つていうか、ホントつい最近まで「これはみちプロの陰謀だ、大がかりなギャグだ」と思ってたんですけど、どうやら大マジみたいですねえ(笑)。

テイオー そうですね。そうですね。って何か他人事みたいですけど。何か他人事っぽいんですよね。だって、サスケが一番最初に記者会見したじゃないですか、アレも知らなかったんですよ。だから夜、記者の方から電話をもらって「お宅の社長がこんなこと言ってたけど、本当ですか？」って聞かれた。ちやうど、本当ですか？」って聞かれた。見やったことも知らないから(笑)。

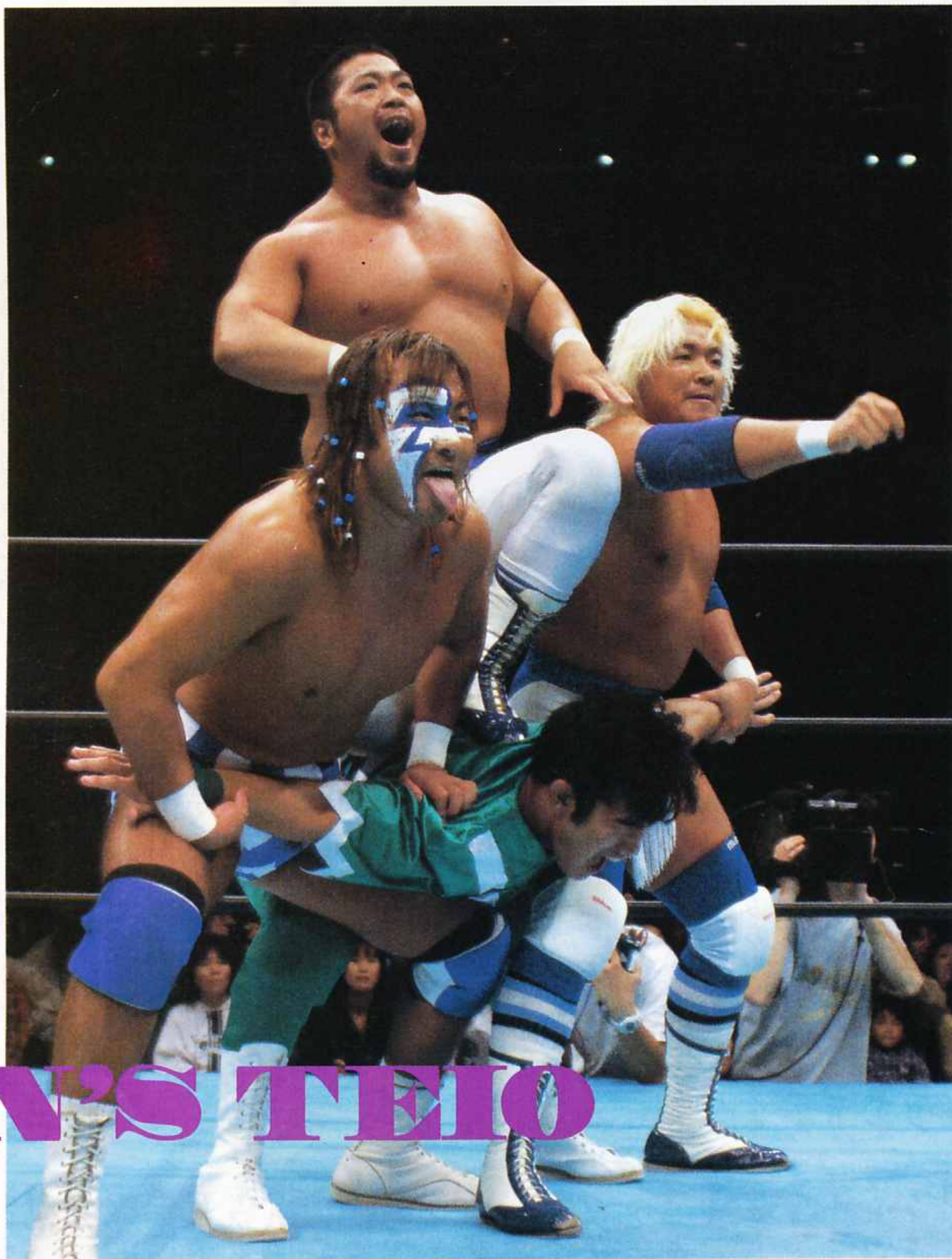
——寝耳に水だったわけですね(笑)。

テイオー そう(笑)。でもウチらはレスラーであって、役員でもなんでもないから経営的なことは何にも知らされてないわけですよ。言われてたのはギャラのことだけ、「もうちょい待ってくれ」とかそういうことだったから、逆にその記者の人に「もうちょいと詳しく教えて下さい」って聞いてたくらいで(笑)。

——ナハハハハハ、そりゃ気になりますもんね。

テイオー でもね、どこまで本当かどうかわかりませんが、「赤字の原因は海援隊の台頭」みたいなことを第一にあげてたじゃないですか。あれはちよっとカチンと来ましたね(笑)。

ああいう言い方するんだったら 海援隊はみちプロから抜けるよ



——海援隊のせいでお客さんが減ったということなんですか？

テイオー そういうことですよ、でも違うと思うんですけどねえ。だって今年の夏なんて12人で興行やってたんですよ。最終戦の仙台なんて10人で

よ。全5試合、シングル：

……UWFじゃないんだから(笑)。それでなくてもウチは6人タッグで売ってる団体なのにね。それで12人で興行やんなくちゃいけない

MEN'S TEIIO

なって、誰がいるのかと思つたら、サスケはいない、デルフィンはいない、人生もいないでしょ。それでウチらだけでやらされて。それでも少ない人数でも頑張つてやりましたよ、みんなね。でも頑張つた奴らに向かつて、あんな事言つてね、じゃあアンタらだけでやればって感じですよ。

——それは解せないですよ。

テイオー ええ、だからそこそ東郷さんと話すのは、ああいう言い方するんだつたら、じゃあウチら海援隊はゴソツと抜けるよと。それこそサスケ&デルフィンでやってみればって。まあ1カ月くらいは、お客さんも入るかもしれないけど、それを1年、2年続けてごらんないって。

実際、ここ1、2年間、ずーっとみんなないでしょ。サスケは頭蓋骨折つてからしょっちゅう休むし、人生は他団

体行っちゃうし、デルフィンはいなくなっちゃうし、タイガーもケガして、浜田もケガしてって、そしたら残ってる奴ほとんどいないよ(笑)。

——しかも3人戻ってきて、ドカーン

と客足が伸びたわけでもないし……。
テイオー そうですよ、3人が戻って
きて、今までの2倍客が入ったって
うならまだしもね、そうじゃないんだ
から。

——東郷さんも「この夏は海援隊なく
してはみちプロは語れないよ」って言
ってましたしね。

テイオー この夏というより、ここ2
年は海援隊だと僕は思ってますから。
話題を出してるのも、常にウチらから

MEN'S TEIO

海援隊スタイルはみちプロが 大事だからこそ打ち出したのに

の発信であってね。それを正當に評価
しないウチの会社のスタイル、そうい
うのはちよつと飽き飽きしている所は
ありますよね。ホントに如何に会社に

嫌われているかっていうことをつくづ
く感じますね。

——海援隊って、都合よく使われちゃ
ってる感がありますよね（笑）。

テイオー そうなんですよ。

——でもそう思っていないながら
も、外へ出て行こうとは思えず、
みちのくにとどまってる海
援隊って、個人的には非常に
好感持てますけどね。

テイオー 気が弱いんですよ。

——ナハハハハ、そんなキャ
ラじゃないって（笑）。

テイオー そろそろ出ていく
かもしれないよ（笑）。今な
んか会社の対応も悪いし、ギ
ヤラも遅れているしね。じゃ
あ何で残ってるかと言えば、
ウチらもみちのくなんですよ
ね。別にみちのくプロレスが
嫌いなわけじゃないですから
ね。そりゃ正規軍と抗争はし
てますよ。でもそれはレスリ
ングスタイルやポリシーの違
いで言い合ってるだけであつ
てね。だって「吉本興業みた
いなプロレスがしたいんだ！」
って言う人がそこにいて、ウ
チらは「それは違うんじゃない
い」って言うてれば、それは

揉めますよね。ただそれだけの話です
から。デルフィンにしたら、やっぱり
みちのくプロレスを愛しているからこ
そ、そういうスタイルがいいと思つて
るんだろし、ウチらもみちのくプロ
レスが大事だからこそ、それじゃ飽き
られるからって海援隊スタイルを打ち
出したわけだし。

——どっちもみちのくを愛しているか
らこそその抗争なんですね。

テイオー そう。今は経営危機だから
この案はできないんですけど、景気が
いい頃から僕がずーつと言ってるのは、
どんどん新弟子をとってね、どんどん
レスラーにしていけばね、例えばサス
ケとデルフィンが楽しいプロレスやつ
て、セミでウチらが激しい試合やるつ
て言ってもできるじゃないですか。ウ
チらとデルフィンが絡まなきゃいいん
ですもん。

——そうですよね。選手層が厚ければ、
それも可能ですよね。

テイオー いちファンとして言わせて
頂くと、興行として一番完成度が高い
のは、やっぱり全日本さんだと思っ
てますよ。まあ、僕が全日本ファンだっ
ていうのもあるかもしれないんですけ
ど（笑）。永源さんと荒川さんの試合み
たいにね、何試合かのうちの1試合は
お笑い系の試合があった方がいいけど、

それがメインでいいかっていったら、

テイオー ぶっちゃけた話をしますと

でね（笑）。

テイオー それはね、全女の残った人

それがメインでいいかっていったら、やっぱり最後はビシッとした試合を見せてもらいたいと思うし。だからそういう興行形態をみちのくもできるのが一番いいと思うんですよ。

——私もお笑い系の試合はあった方がいいとは思いますが。ただし全部が全部そうじゃ嫌ですね、やっぱ。

ティオー——そうでしょ、お笑い系をやりたい人だけがやればいいんですよ。サスケだって今さらやりたくないと思うし、浪花だって嫌々やってるんだと思いますよ。デルフィンがお笑い系やるのは否定しませんよ。ただそのために、みんなが嫌々それをやるのは間違ってますよ。

——うーん、その通りですよね。

ティオー——だからそこそ先行投資をして……、何がリストラだ！ バカ社長（笑）。ね、先行投資をしてね、そういう部分を作ればいいじゃないですか。

——実におっしゃる通りです。ちょうどこの号が出る時は、経営危機を乗り切る大事なシリーズ中なんですよ。ティオー——そうですね。実際はね、全女さんの負債額、10億とか聞いてますけど、それに比べますとウチはそんなに多くはないと聞いてます。だからそういう意味では楽観視できるんで、今回のシリーズで挽回するしかないと思いますけど。

——経営危機に陥った原因は何だと思えます？

ティオー——ぶっちゃけた話をしますとね、儲かった時期はいつなのか？

——2年目じゃないですか。ティオー——2年目っていうのは、僕は当時から言ってたんですけど、ブームですよ。みちプロブームの年だから、その年を参考にしてもしょうがないんじゃないかなって言ってたんですよ。

——おお、実にその通りですね。ティオー——旗揚げした年なんか100人くらいしか入らなかったですよ。それが新日本のJカップ効果で、500人入るようになった。で、翌年は落ち

でね（笑）。——どうりで（笑）。

ティオー——ええ、まあ、そういうことで、会社は余計な所に金をかけ過ぎたんじゃないかなと思うんですよ。例えばリムジンを買ったりとか、あれは解せないですよ。僕は1回も乗ったことないっていう、そういう妬みもあるんですけど（笑）。だからTAKAがあのリムジンを壊した時は嬉しかったですよ。ただ嬉しかったけど、金がない時に壊してどうすんだっていう。——どっちみち修理代は会社持ちでし



て300、200人になりました。それをどちらに取るかですよ。ブームに比べて客足が落ちたと見るか、1年目に比べて100人アップしたと見るか。僕はどっちかという、後者の見方なんですけどね。

——んなるほど。こうやって聞いていると、サスケ社長よりティオーさんの方が経営者に向いてるような感じがしますね（笑）。

ティオー——一応、大卒ですから（笑）。しかも経営工学科っていう、工学部なんですけど、経営学あるとこにいたん

ようからね。

ティオー——盗んで売った方が良かったね（笑）。

——じゃあ最後に、話がまた戻っちゃうんですが、同じ経営危機、給料の遅配を言われてる全女は半分以上の選手が出てしまったわけじゃないですか。同じ状況下において、海援隊がみちプロを出ないっていうのは、先程言ったようにみちプロを愛しているからだ……。

ティオー——いや、それはわかんないですよ。

——あれ。あれっ！

ティオー——それはね、全女の残った人が偉いとか出ていった人が悪いとかっていう意味じゃなくて、レスラーだって人間ですから、生活がかかってくるし、しかもレスラーは通常の仕事よりも身体を酷使するわけですよ。そういう仕事を半年間やって一銭も貰えなかった。で、その間会社から「悪いね」という言葉すらなく、顎で使うようなことされたらね。って全女がどうだったかは知りませんよ。でもそういうことだったら出て行ってもしょうがないと思うし、プロですから。アマチュアで試合やることで満足するんだ

——ごもっともです。ティオー——だからウチで言うところ、タイムリミットは12月ですね。12月過ぎてもギャラが出なかったらウチら（海援隊）だけじゃなく、考えるレスラーも出てくると思いますよ。ただウチらも客が入るように頑張るしかない。ウチらは悲しいかなレスラーだから、いい試合するしかないんですよ。だから今度の全国シリーズで、少しでもいい試合をして、お客さんに喜んでもらえるように頑張るしかないですよ。僕らだってみちプロ潰れて欲しくないですから。

——クウッ、最後まで、実の得たインタビューでした（笑）。

【97年11月14日新宿区アマリコにて収録】

蝶のように舞い、
蜂のように刺し、
カブト虫のように力持ち

格闘探偵団バトラーツ

モハメド ヨネ

聞き手／のものも
interview by Nomonomo

撮影／浜田孝一
photographs by Kuichi Hamada

試合写真／遠藤政文
photographs by Masafumi Endo

ヨネ クフツ、何か照れますね。

ヨネ あ、そうだ。実はこれ私の『紙プロ』ラストインタビューなんですよ。

ヨネ あら、そうなんですか。僕もちゃんとしたインタビューは初めてなんです、最初と最後で、何か運命的なモノを感じますね。社長風に言っと（笑）。

石川 なに？

ヨネ いえ。まさかそちらにいらつしやると思わなかったんで（笑）。

ボンジヨビ島田 もう、早くやって！

あ。い。やっぱりまずは先日改名された、そのモハメド・ヨネというリングネームについてなんですけど……この名前はかなり衝撃的でした。

ヨネ そうですよ。ふざけてるって言われるかもしれませんが、別にふざけてつけたわけじゃないんですよ。モハメド・アリにあやかる部分と、こういう名前だと名前ばかり注目されちゃうわけじゃないですか。それを自分に対して頑張れ、みたいな。

んん？ 何言ってるか全然わからないよ（笑）。

ヨネ わかんないっすよね（笑）。まあ自分を変えたっていうのが一番だったんですよ。

ホントに自分で決めたんですか？

ヨネ そうです。で、どうせ変えるんだったらインパクトのある名前にしたいなって思ってた。今まで本名でやってきたけど、ファンから覚えられてないんすよ。顔と名前が一致しないみたいで。アレクだったなら、スキンヘッドでアレクサンダー大塚、インパクトあるし覚えやすいじゃないですか。最初はアレクも「アレクサンダー大塚あ？」っ

最初もキワモノでも 実力がついてくれば関係ない！

て言われてたんですよ。けど、今はもう実力もついてきて名前だけで判断されなくなるわけじゃないですか。僕も今は「モハメドお？」って言われてても、実力がついてくれば名前なんか関係なくなると思うし。

他にどんな名前が候補にあがってたんですか？

ヨネ クフツ、カロチン米山とか（笑）。

ナハハハハ、カロチン！（笑）

ヨネ あとローリングサンダー米山です。でもコレはあまりにもアレク

サンダーとかぶるんでやめました。あとヨネ・トラボルタ。

ナハハハ、それはふざけすぎだ。

ヨネ まあ何にせよ、最初はやっぱりキワモノと思われちゃうかもしれないがね、でもどんなことにせよ注目されるのが一番だと思うんで。

とりあえずは目立ったもん勝ちです。からね。で、待ちに待った復帰戦を先日11・5、後楽園ホールで行ったわけですが。長かったねえ、8カ月。ヨネ いや、11カ月です。

Mohammed YONE

まあ約1年だ。長かったねえ。

ヨネ もう語るも涙って感じで。そりゃ辛いじゃないわけじゃないもんね。でも普段そういう部分を出さないキャラじゃないですか。実は陰で泣いてたりしてたとか？

ヨネ 結構泣くんですけどね（笑）。そういう部分はあんまり見せたくないなって思いますからね。暗く落ち込んでたりしたら周りの人も嫌じゃないですか。心配されるのも嫌だったんで、会場でも務めて明るく振る舞うようにしてました。

でも逆に明る過ぎて「ホントは何ともないんじゃないか」って思われたりして（笑）。ヨネ それはありますよね（笑）。

ま、それもキャラクターだからしょうがないのかね（笑）。でもケガしてからリング上がるの怖くなったりしませんでしたか？

ヨネ それはいいですよ。これは本当です、別に強がってるわけじゃなくて。

いつ死んでもいいやと？

ヨネ そうですね。

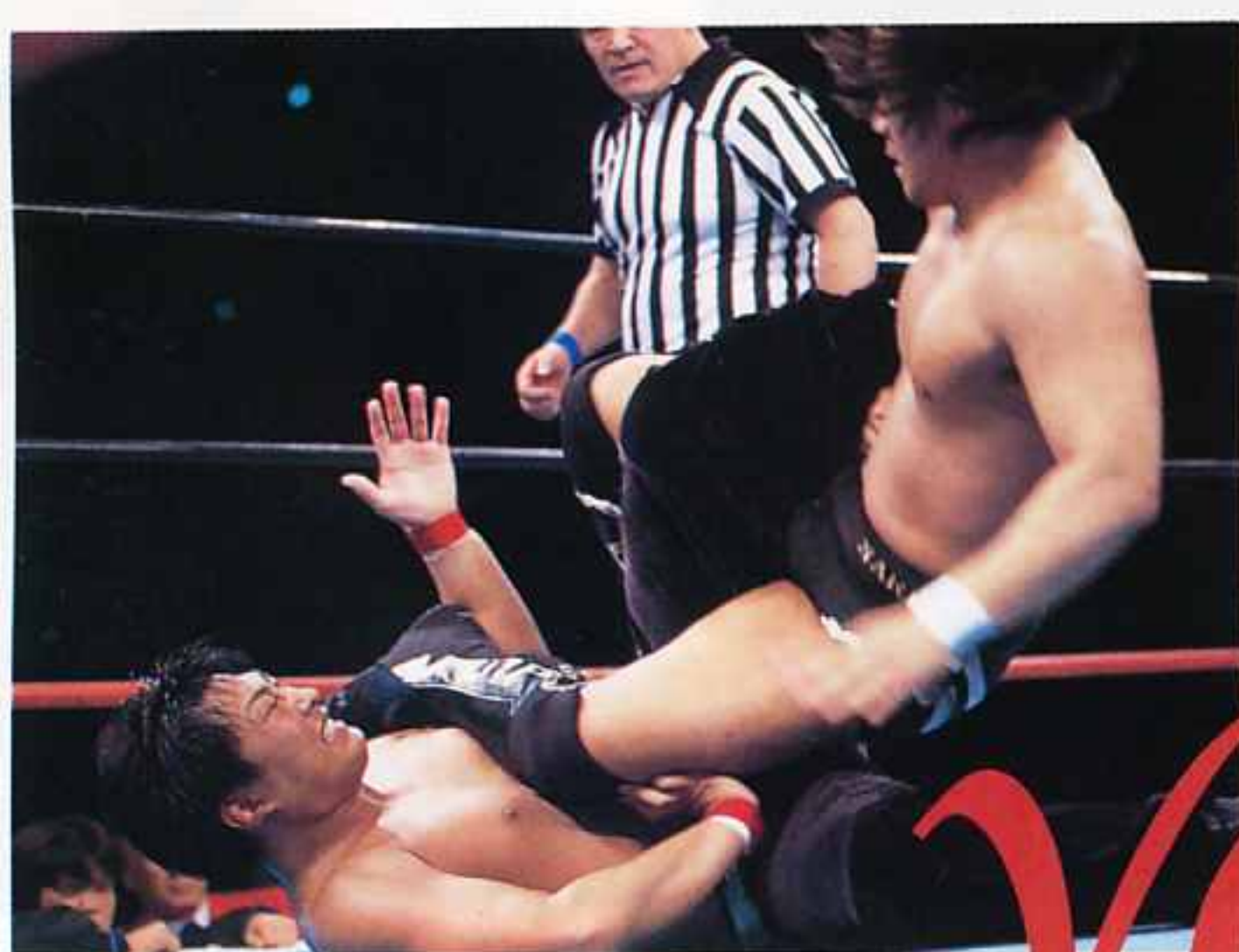
意外とかっこいいこと言いますね（笑）。えっと、じゃあ初インタビューなんで、みんなまだヨネさんのこと知らないと思うので……。

ヨネ 初めまして、モハメド・ヨネと申します。

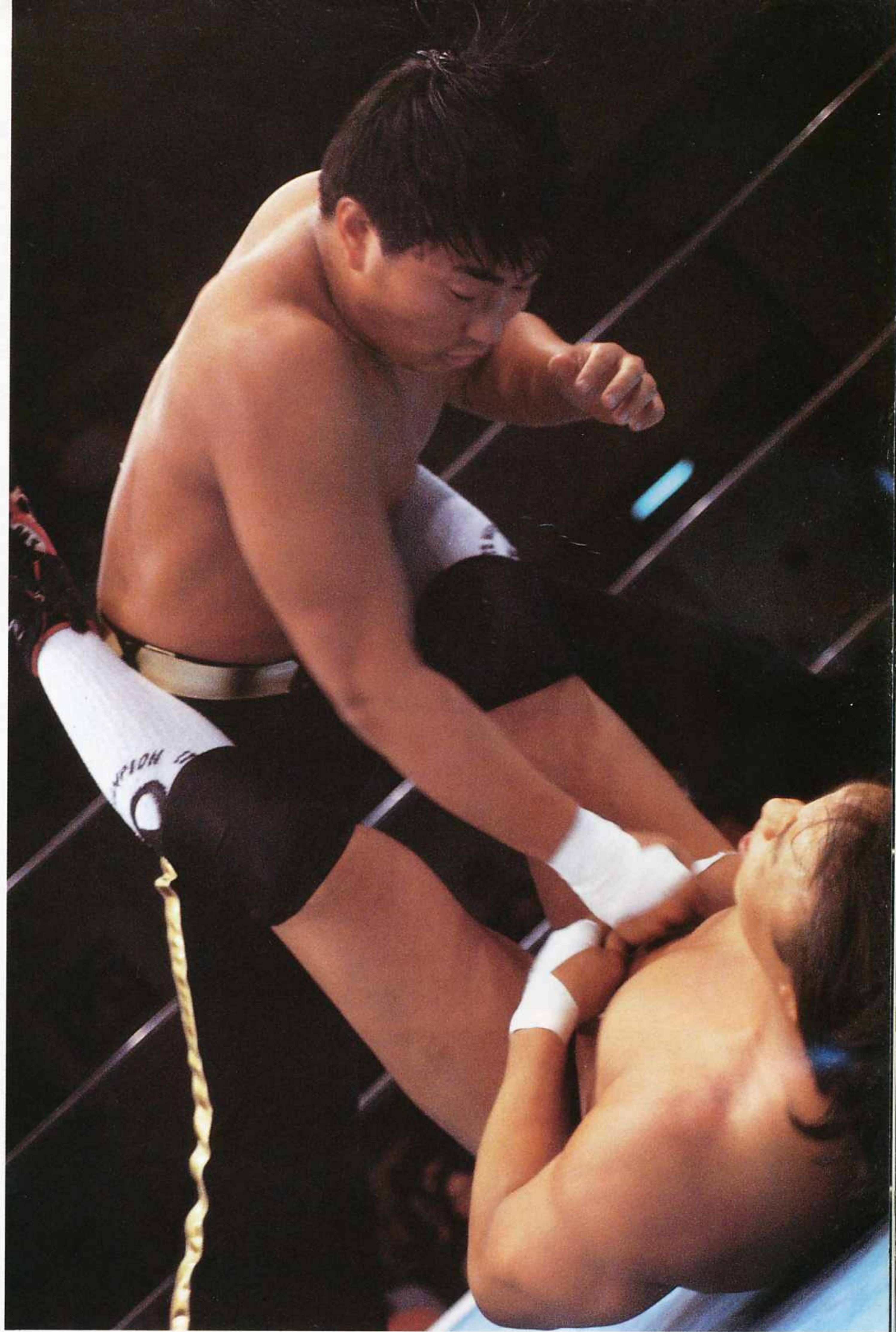
って、そういうことじゃなくて（笑）。そもそもなぜ、藤原組の門を叩



格闘探偵団バトラーツ
モハメド・ヨネ



前日に参戦を知らされた際には、成瀬と激戦を繰り広げたモハ。リングスの会場で「モハメド・ヨネ」のコールが聞けるなんて！



藤原組で、組長の元で学べなきやレスラーになる意味はないと思っていた

いたか？

ヨネ よく島田さんに言われるのは

「近いから来たんだろう」って。

——自宅は埼玉県でしたっけ？

ヨネ そうです、藤原組の道場（当

時・足立区）から、そんなに遠くなか

ったんで、最初は通ってたんですよ、

原付で。

——通いい 凄玉の練習生ですねえ。

ヨネ そうスねえ。でも結局一度泊ま

ったらズルズルと、いつのまにか道場

の番人みたいなね。

——ほおー。で、そもそもなぜ藤原組

に？ というかレスラーに？

ヨネ 小さい頃からずっと見てて

「すごいな、カッコいいな」って思ってた。

——誰に憧れてたんですか？

ヨネ 僕はロード・ウォリアーズが好きだったんですよ。

——ウハハハ、何かイメージ違うなあ。

ヨネ そうスカ（笑）。メチャクチャ強かったじゃないですか。で、高校卒業するくらいにはずっとUWF、組長のビデオばかり見てて。このまま普通の人生は送りたくないなあ、何かやりたいなって思ってた。

——で、やるなら藤原組だと、心に決めたわけですか？

ヨネ 藤原組しか考えてなかったんで。藤原組で、組長の元で学べなきややりたくないって思うほどでして。

——入門テストはあったんですか？

ヨネ 前の日に電話かけたらちやうど石川さんが出て。「明日セミナーがあるから終わるくらいに来たら」って言われて。

石川 そしたらパンタロン履いたすごい格好の男が来て。

島田 すごいパンタロンで、道場の中、バイクでブウーンって回って。

ヨネ 回ってないスよ。高校生の時にも道場1回行ってるんですよ。身長は今とそんなに変わらないんですけど、とにかくヒヨロヒヨロで。「太ってからもう1回来い」って言われて。それで太って高校卒業して関節技セミナーの時に行って、組長、セミナー終わって近くの喫茶店でごはん食べてたんですよ。そこに挨拶しに行ったんですけど、僕が挨拶に行く前に挨拶しに来た奴がいたらいいですよ。そいつは僕よりこつかったらしいですけど「ダメだ

よ」って言われたらしいんですよ。

——バトラーツにかけてみよう。確

思ってたなかったんだ？

——では、最終的には？

——自宅は埼玉県でしたっけ？
ヨネ そうです、藤原組の道場（当

——通いい、凄玉の練習生ですねえ。
ヨネ そうですねえ。でも結局一度泊ま

に？ というかレスラーに？
ヨネ 小さい頃からずっと見てて

よ」って言われたらしいんですよ。

——え!? 何で？

ヨネ その時はちょうどごはん食べる前でイライラしてたんでしょね。僕はタイミグよくて、ちょうどごはん食べ終わってお腹いっぱいになった時だったから「あ、ホント? じゃあ明日から来れば」って言われまして。

——運いいですねえ（笑）。

ヨネ それでその日みなさんに挨拶していきっていうんで、緊張しながら挨拶したら掃除手伝っていくことになって。で、そんな時パンタロンだったんで、それじゃまずいなって思っ、ちよつと折ってパンタロンじゃないように見せてたんですけど。

——ナハハハ、折ってもパンタロンはパンタロンだけだね（笑）。

ヨネ 「すごいパンタロンの奴が来たよー」って言われてましたからね。

——伝説の男だったんですね（笑）。でもヨネさんは環境に馴染むのが早そうだからねえ。

ヨネ クフフ、僕は1週間ではじけちゃいましたからねえ。

——で、一応、一応ってわけじゃないですけど、組長に憧れてこの世界に入ってきた、組長がいないバトラーツに入る。これは、組長好きのヨネさんとしてはかなり悩む決断だったんじゃないですか？

ヨネ ええ。だから即決はしてないんですよ。で、考えたものの、まだレスラーとして何もやってないんでこのまま辞めるわけにはいかないなと。

——バトラーツにかけてみよう。確かにバトラーツは未知なだけにいろんな可能性がありますがもんね。旗揚げ2年目の今でもそうじゃないですか。そして、時期世代を背負う一人がヨネ!

アナタなわけですよ。そんなヨネちゃんにお聞きします。ゆくゆくはどうありたいと思うんですか？

ヨネ ゆくゆくは……やっぱり組長みたいになりたいですね。そうなる、行き着くところは組長ですね。今の組長じゃなくて、僕らが見ていた当時の組長。

——欠場中、アレクにドンドン差を付けられていくのは、めっちゃめちゃ心細かったんじゃないですか？

ヨネ 逆にそれが励みになりましたよ。アレクのこと聞かれるのも全然嫌だと思ったことないです。それが僕の性格なんですよ。だから僕ももっともつと頑張っ、早く復帰して、常にいい方に考えてこれたんで。

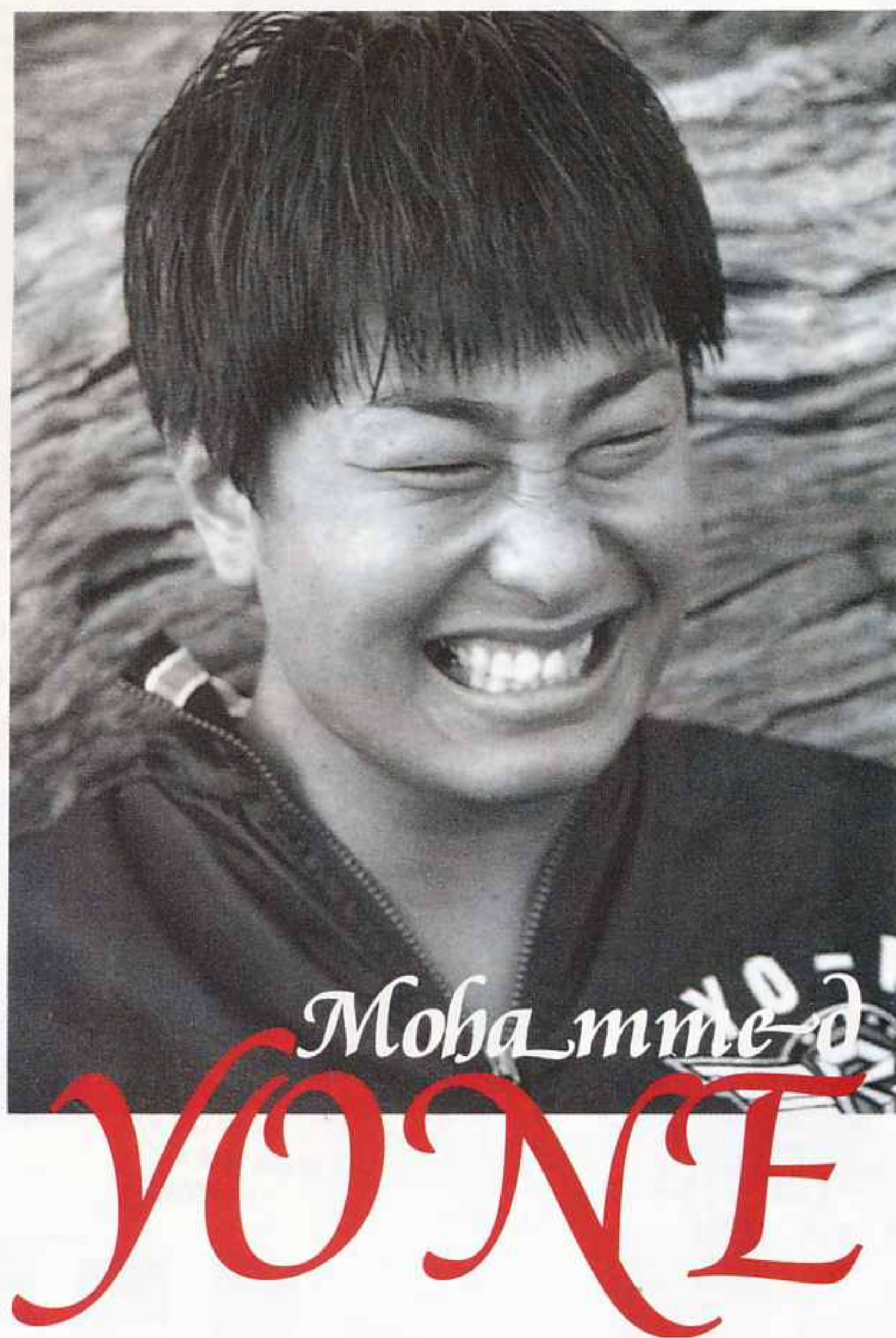
——アレクとは周りがライバルに仕立てあげただけで、本人はそんな風には

思ってたんじゃないか？

ヨネ いや、ライバルですよ。ライバルでもあり、プライベートでも良き友でもあり、僕としては目標でもあります。

——とりあえず身近な目標はアレク。

ヨネ そうですね。高い目標は、以前ある人とある所で「この2人のシングルでメインを張りたいねえ」って言うてたんですけど、もしその人が今でもその気持ちでいてくれたら……。



——今はまだ名前を出すべきでない人なんですか？

ヨネ その人がどう思ってるかわからないんで。

——がいたらいいんですよ。そいつは僕よりこつかったらしいですけど「ダメだ

では、最終的には？」

ヨネ 団体を超越したレスラーになりたいですね。バトラーツのヨネじゃなく、プロレス界にモハメドありと。

——えっ、一生、モハメド・ヨネでいいんですか？

ヨネ ダメですかあ?（笑）

——……では、最後に復帰を心待ちにしていたファンの皆さんに一言。

ヨネ 休んでる間もずっと励ましのお手紙を書いてくれた方、すごい励みになったんで、この場を借りてありがとうございます。あと、後楽園ホールで「お帰り」って垂れ幕を作ってくれた方、あれはすごい嬉しかったんですよ。その方にもこの場を借りてありがとうございます。……ありがとうございます。そしてさようならと。

——ナハハハハ、何で、さようならなんだ（笑）。

ヨネ いやいや（笑）、ホントにあれは嬉しくて、いろいろ聞いて回ったんですけど、誰がやってくれたのか結局わからなくて。キッチンとお礼が言いたかったんですよ、ホントに。

——うん、感動的ですね。

ヨネ 感動的ですよ、官能的じゃないですよ。ちよつと違うだけでエライことになったやうんで、それだけは気を付けて下さい。

——ナハハハハ、結局そんなオチかい（笑）。

【97年11月19日・バトラーツちゃんこ道場にて収録】

最終目標は団体を超越したレスラー プロレス界にモハメドあり!

スペシャル!!



表紙記念
タムタムスペシャル!!

サイン入り

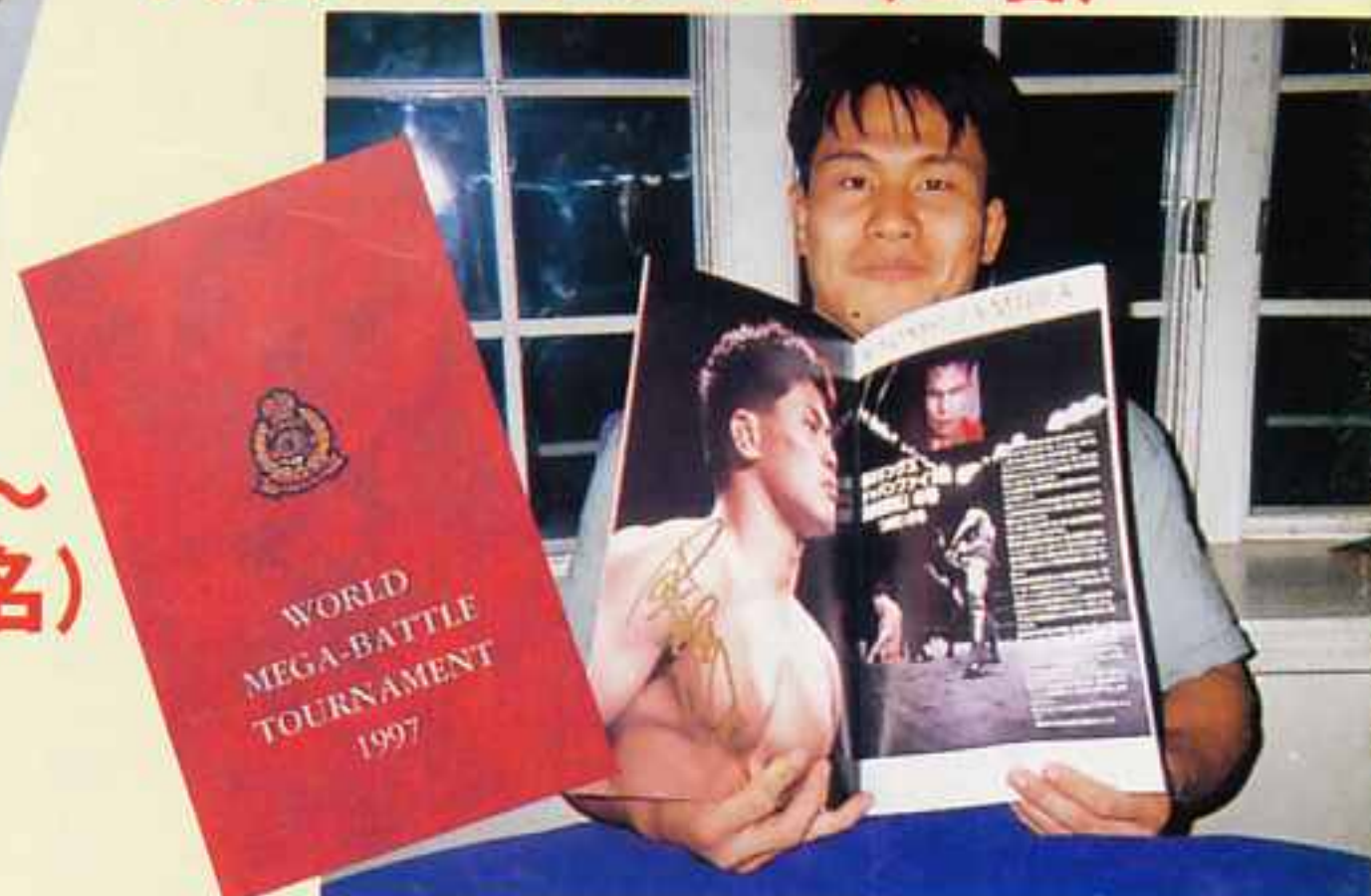
●U-FILE CAMP
Tシャツ (2名)

ジムでしか買えない(つまり会場売りはしていないってことだよ)貴重なTシャツ。胸部分にもロゴがあり、腹のあたりにタムタムのサインが!

〈田村選手提供〉

サイン入り

●RINGS
メガバトルーナメント1997
大会パンフレット (5名)



かっちょいいと大評判のRINGSパンフ。タムタムのサイン入りだよ。これまた貴重なね。〈RINGS提供〉

●田村潔司の単行本が出た〜
『赤いパンツの頑固者』 (3名)



サイン入り

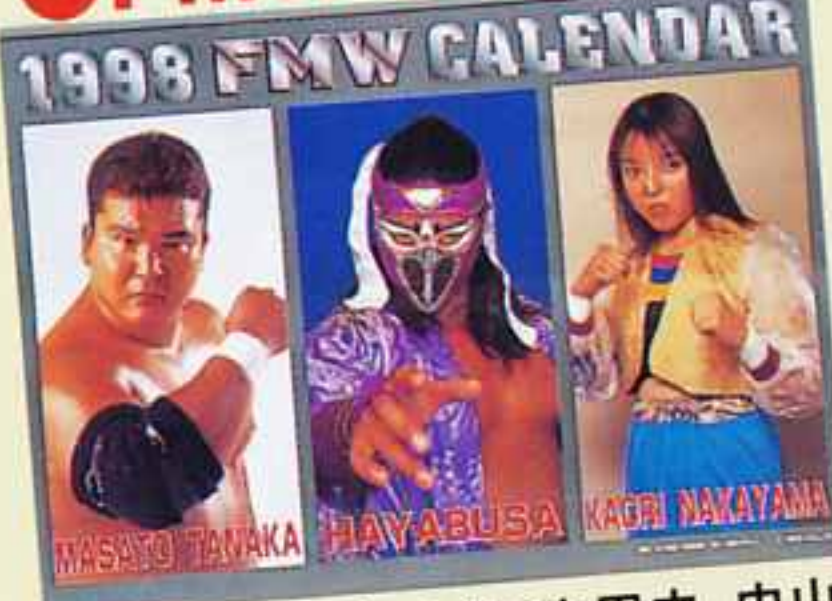
田村潔司、ニックネームはタムタム……。でも今日からは赤いパンツの頑固者! (もしくはバカボン!←日明兄さんとの対談を読めばわかるよ) 〈RINGS提供〉



もうすぐ新春記念
1.2.3ダーツ!!

カレンダーっスペシャル!!

●FMW (3名)



ハヤブサ、弾丸小僧こと田中、中山の3人のカレンダー。ホントにこの3人だけダーツ。それはある意味すごいんダーツ。〈FMW提供〉

●みちのくプロレス (3名)



経費削減! 今年は月めくだけなんダーツ。正規軍いんダーツ。でもかっちょいいんダーツ。〈みちのくプロ提供〉

●新日本プロレス (3名)



長州力、引退まであと23日ダーツ (12月11日現在)。んがっ、もう1カ月きってるんダーツ。それにしても引退試合のカードは、ちと不満ダーツ。〈新日本プロレス提供〉

●RINGS (3名)

べらシブ (べらばーに渋いの略) だった去年と違って変わって、今年はべらサワ (べらばーに爽やかなの略……) になってないけど) なんダーツ。あんまり爽やかさが似合わない人達だと思ふんダーツ。なーんて言ったら怒られちゃうダーツ。〈RINGS提供〉

プレゼント

ド・スーパースター

などもあるよ!

ヤッタネ!!

サイン入り

●格闘探偵団
バトルーツ (5名)

ふざけた団体なのに、カレンダーはかっこいいんダーツ。なんかずるいんダーツ。ちなみに、その時たまたまた、石川社長、大ちゃん、小野ちゃん、アレク、モハのサインが入ってるんダーツ。お得なんダーツ。〈バトルーツ提供〉



●パンクラス (3名)

んがっ、98年のパンクラスのカレンダーは、なんとフロッピーサイズダーツ。さすがハイブリッド団体、カレンダーもハイブリッドダーツ。〈パンクラス提供〉





ののものも結婚&カタブツ君離婚記念 ガツ〜ンとこころで、フィギュアスペシャル!!

●あしたのジョー メタルフィギュア (各2名)

矢吹ジョーが今度はメタルになって登場だぜ。次ははぐれメタルジョーのおでましか? ん〜、んなワケない!! ちなみにコレ、高さ12センチで、けっこう重いです。1月中旬発売予定です。

(メディコム・トイ提供)

©高森朝雄・ちばてつや/講談社・東映映画
対象年齢15歳以上(15歳以下の人は応募しちゃイヤン)

●UNDERTAKER トーキングフィギュア (2名)

全高35センチとかなり存在感があるアンダーテイカー・トーキングフィギュア。そうです、そうです、ソースです! トーキングっちゃうだけあって、このアンダーテイカーは喋るんですが。お喋りなアンダーテイカーってのも、なんだなあ。

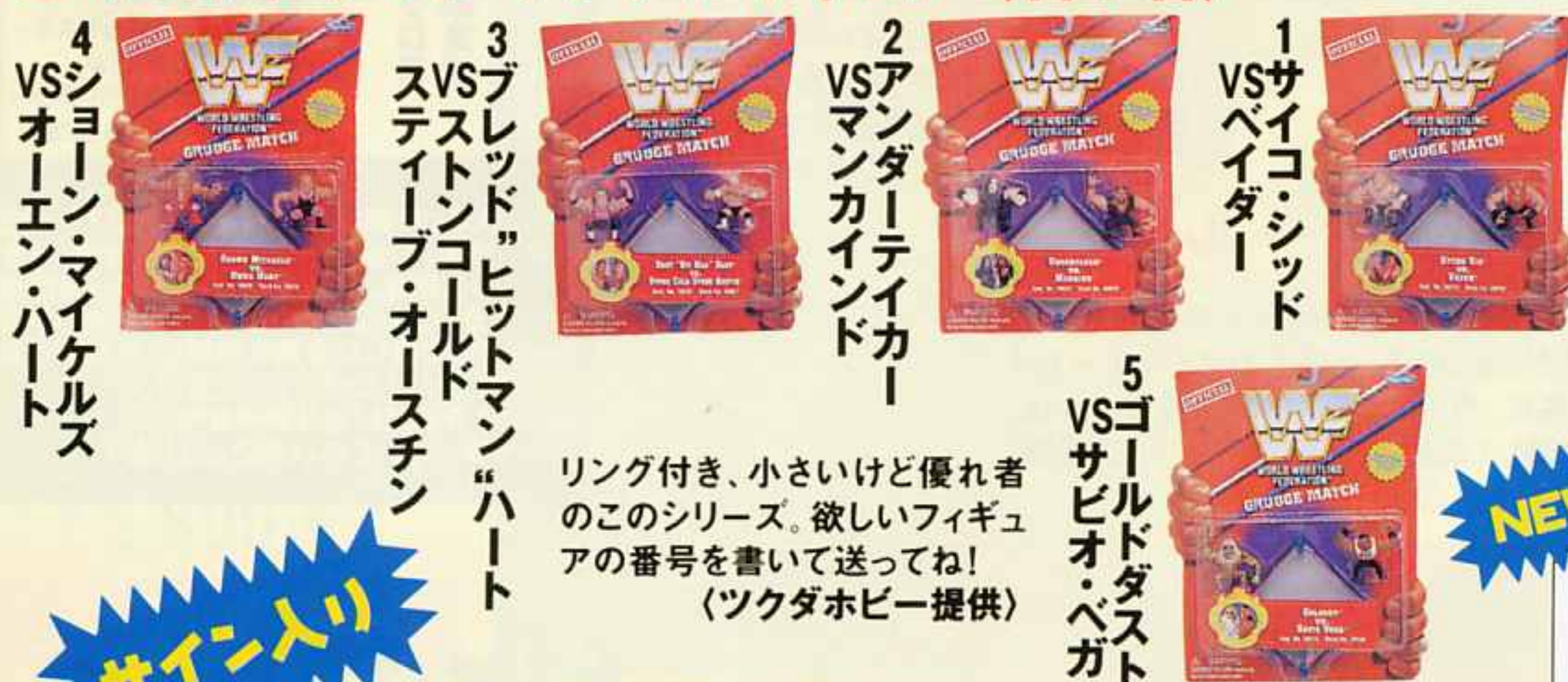
(ツクダホビー提供)

●長州力、ザ・グレート・ムタ、 蝶野正洋フィギュア (各2名)



8月に発売、今でも人気の長州フィギュア、そして新たに鬼ブレイク(大ブレイクのこと)のnWoから、ムタと蝶野フィギュアが加わり、少しずつ充実してきた新日フィギュアシリーズ。破壊王バージョンも出ないかなあ。

●WWFグラッジマッチフィギュア (各1名)



リング付き、小さいけど優れ者のこのシリーズ。欲しいフィギュアの番号を書いて送ってね!

(ツクダホビー提供)

●ディティディティディティ ディティディ海援隊ノスペシャル

●海援隊★DXポラロイド (各1名) (海援隊提供)



ディック東郷、海援隊♪



MEN'S ティオー、海援隊♪



船木勝一、海援隊♪



©田中義画伯



さらば、カタブツ君 バンバンビガロ

●新作サクサクトレーナー (各1名)

RADICAL5号で大反響だった人気Tシャツがトレーナーになったよ! ぶっちぎりのセンスは相変わらずです。やっぱりマサ斎藤よね〜(松坂慶子風)。運悪く当たらず、それでもトレーナーが欲しいという人はお店へGO!

(問・03-3460-1145)

(バンバンビガロ提供)



ひと足早い

クリスマス
他にクリスマス
クリスマス
クリスマス



モハメド・ヨネ記念 バトラーツスペシャル!!

NEWパンフ付き

●98年1月20日 後楽園ホールチケット (5組20名)



性懲りもなく、また後楽園大会を開催しやがるバトラーツ。毎回評判上々なだけに、今回も期待ができるぞお〜。

(バトラーツ提供)

元太の匂い付き!?

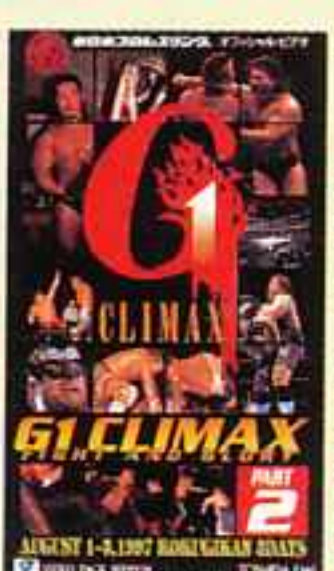
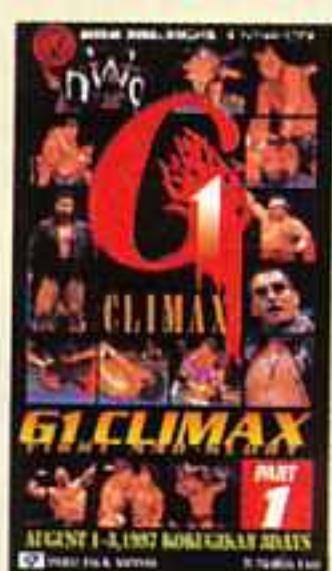
●芳賀元太Tシャツ (3名)

数々の伝説を残し消えた、バトラーツ初代営業、芳賀元太(はがげんた)。おそらく欲しい人なんかいないと思うけど、念のため。応募がなかったら、山口編集長、のものも、ノブの手に渡ります。(パンチ田原氏より提供)

放浪自由人
芳賀元太

毎度毎度すいません記念
ビデオ買ってよ(©カステラ)スペシャル!

●オーバーザレジェンド ●'97G1CLIMAX
KAWASAKI (2名) PART1&PART2 (2名) ●'97格闘CLIMAX
~'97.9.23日本武道館~ (2名)



今年のG1トーナメント
全試合を完全ノーカット、
モザイク一切なしで大放
出! ドン・フライVS
藤田の異種格闘技戦も
収録されてるよ、ヤッタ
ネ! (東芝EMI提供)



ついこないだやったと思っ
たら、もうビデオができ
ちゃったんだ。さすがキメ
イチ、やること早いね!
(東芝EMI提供)

●冬木軍ロード ●nWo
~理不尽編~ (3名) タイフーン (3名) ●エアフォース
ウォーズJ (3名)



これを見れば冬木軍のすべ
てがわかる! 旗揚げから
8.5の札幌まで完全、徹底
一挙収録! ボンボコ大将
の理不尽ぶりをとことん観
アレ! (東芝EMI提供)



相変わらず人気衰えずのn
Woが、大活躍しております
「nWoタイフーン」シリ
ーズを収録 (ヴァリス提供)



ライガー、サムライ、カ
シン、大谷、金本、高岩の
ジュニア6人衆が熱いフ
ァイトを展開! これか
らはカシンに注目です!
(ヴァリス提供)

25周年記念 スチ(スチではない)
全日のCD スペシャル

●三冠選手権・テーマ集 (1名) ●新王道時代 (1名)



鶴田、ハンセン、三沢、ウイ
リアムス、川田、田上、小橋、
この人達に共通してる事
はさあ何だ? このメン
バーのテーマ曲にプラスし
て三冠王者のテーマを2
曲収録。豪華だっ!!



秋山、大森、多聞、エース、
オブライトなど、時期世代
を背負う若者達のテーマ
曲を収録。元気がもりもり
出ちゃうよ! なぜか馳びよ
んのテーマ曲も収録。

さらば、シャコタン記念

●マジックマン、マジックセット (1名)

インチキ世界一のマジックマンの、これまたもの
すっげえインチキ臭いマジックセット。コレ、みち
プロの売店で千円で売ってるのを、わざわざの
ものも買って来たんです。ホント、インチキだね。
(のものも提供)



●パンクラスキャップ (1名)



冬用キャップを1名
に。キャップなのに
温かそうだね。
(パンクラス提供)

●高山善廣サインボール (1名)



キングダムの後楽園ホール大会で、ノブ
がゲットした高山選手のサインボールを
1名に。サインなしボールが欲しい人は、
応募してこないでね。
(ノブ提供)

『蝶野正洋スペシャル』記念
●かっちょいい蝶野のポスター (10名)

ビデオ発売
記念に作られた、シルバ
ーでかっちょいい蝶野選手のポスターを。
そういえば昔、教授こと坂本龍一のシルバーでかっ
ちょいいポスターを持っていた。渋い男はシルバ
ーでかっちょいい。
(ヴァリス提供)



さらば、長州力記念

●長州力本
『さらば長州力』 (5名)

前号「書評の星座」で紹介したことを大変
喜んで下さったらしく、NCYさんのご厚意で
ドンガラガッシュと5名にプレゼント。まあ、
喜んでくれる人もいれば、怒る人もいるって
ことで。
(NCY提供)



さらば、のともも記念

●カラフルスパッツ (各1名)



カラフルなシマスポーツ製スパッツ (ヒ
ザ上) を提供してくれたオフィスTAKA
さんは年末に試合用マスク、ビデオ、
単行本など、全商品の半額セールを
行うそうです。これは行かなきゃ損だわん。
問い合わせ042-566-5407
(オフィスTAKA提供)

応募方法

50	161-□□	東京都渋谷区千駄ヶ谷
(株)ダブルクロス		
「紙プロ」編集部		
「磁場狂ってるよ」係まで		
1.住所	2.氏名	3.年齢
4.希望商品	5.面白かった記事&理由	6.つまらなかった記事&理由
7.好きなプロレス団体	8.好きなレスラー	9.嫌いな団体orレスラー
10.あなたが選ぶ 赤帯が似合うレスラー	11.やってほしい企画	

住所、氏名、年齢、ご希望の商品、面白かった
記事&理由、つまらなかった記事&理由、好き
なプロレス団体、好きなレスラー、嫌いな団体
orレスラー、あなたが選ぶ赤帯が似合うレス
ラー、やってほしい企画を明記し、応募券を貼
付して上記宛てに送ってください。
締切は1月20日(当日消印有効)
※応募券のないものは無効となります

紙のProレス
RADICAL

No.7

1998年1月10日発行
定価:本体648円+税

発売元:株式会社ワニマガジン社
〒160 東京都新宿区内藤町一番地
TEL.03-3357-2911(販売・営業)
発行元:株式会社ダブルクロス
〒151 東京都渋谷区千駄ヶ谷3-11-3-702
TEL.03-3403-5188(編集・制作)

編集兼発行人:山口昇
編集スタッフ:野本のもも真貴子/坂井ノブ/吉田豪
/八木賢太郎(ひと足早いお正月休みのため非番)/坂本何だっけ?
デザイン:ツースリー(出田さん、村松さん、ヒサくん、マツ、出前持ち入江、古川ふるーる)
カメラマン:斎藤ユウリ/浜田孝一
お勘定:林ヘックション一枝
失踪:中村カタブツ君(34歳)
フィニッシュ:ツースリー
印刷:図書印刷株式会社
©DOUBLE CROSS 1998
編集内容等に関するお問い合わせは(株)ダブルクロスにね♥

紙のProレス
RADICAL

No.8は
2月中旬
発売予定

※地域によっては多少発売が遅れます

97年12月。「アユ」解禁

デジタルフィッシングの頂点・・・「ウキウキ釣り天国」最新作



魚を釣り、山菜を採り、アウトドアアクッキングを楽しみながら源流をめざす。美しい季節に彩られた自然との出会い。素朴な人々との出会い。快適なテントでの暮らし。すべてが懐かしく、そして新しい。忠実に、繊細に、そして感動的に自然を描く。河口から源流までの川釣りシミュレーションにアウトドアライフの楽しみをプラスしたシリーズ第4作『川物語』

Mac版: TERM-5845
Win版: TERW-5846
各¥5,800(税別)

近日発売

無敵の釣りシミュレーション「ウキウキ釣り天国」シリーズ 好評発売中 各¥5,800(税別)



1 ウキウキ釣り天国 幻の天狗池

自然と謎にみちた天狗池。そこで語りつがれる伝説とは？

【Win版】TERW-5816
【Mac版】TERM-5801



2 ウキウキ釣り天国 波止の五目釣り

釣り場は人形島の波止だ。メジナ、クロダイ、ハマチ...に挑め！

【Win版】TERW-5811
【Mac版】TERM-5810



3 ウキウキ釣り天国 人魚島のボート釣り

夢のフィッシング・アイランド人魚島で幻の巨大魚を狙え。

【Win版】TERW-5824
【Mac版】TERM-5823

王者たれ!新日本。伝説となれ!テリー。神となれ!サスケ。
さようなら'97年。こんにちは'98年。東芝EMIはかわらず「プロレスの味方」です!「紙のプロレス」も。



企画:新日本プロレスリング株
発売元:株ビデオバック・ニッポン
販売元:東芝EMI株

幾多の名勝負が生まれた1997年。その激闘の中から厳選された11試合を2巻に別けて収録。ファン待望の名勝負が甦る!《完全永久保存版》

新日本プロレスセレクション'97

NEW JAPAN PRO-WRESTLING SELECTION '97



《FULL VERSION》

各巻税込¥10,200 カラー/ステレオ/Hi-Fi

PART.1 TOVH-1325(約110分)

Jr.統一タイトル戦激闘2番と長州の引退ロード特集!

■ジュニア・ヘビー級8冠選手権試合(2/9 札幌中島体育センター)

(王者) 獣神サンダー・ライガー vs 大谷晋二郎

■ジュニア・ヘビー級7冠選手権試合(8/31 横浜アリーナ)

(王者) 大谷晋二郎 vs 金本浩二

■タッグマッチ(7/11 八戸市体育館)

長州 力/藤波辰爾 vs 後藤達俊/野上 彰

■タッグマッチ(7/6 札幌・真駒内アイスアリーナ)

長州 力/橋本真也 vs グレート・ムタ/蝶野正洋 他全6試合

PART.2 TOVH-1326(約120分)

NWO、異種格闘技戦、IWGPヘビー級のベストマッチを厳選!

■三軍対抗タッグ・トーナメント決勝戦(9/20 名古屋・愛知県体育館)

佐々木健介/山崎一夫 vs グレート・ムタ/天山広吉

■IWGPタッグ選手権試合(10/19 神戸ワールド記念ホール)

(王者) 佐々木健介/山崎一夫 vs 武藤敬司/蝶野正洋

■異種格闘技戦(7/6 札幌・真駒内アイスアリーナ)

小川直也 vs 山崎一夫

■IWGPヘビー級選手権試合(6/5 東京・日本武道館)

(王者) 橋本真也 vs 武藤敬司 他全5試合



全試合完全ノーカット初ビデオ化!
12月22日 2巻同時発売

“破壊王”橋本真也が遂に「格闘技ロード」を本格始動させた!
橋本、小川がアルティメット戦士と遂に激突! 1997.9.23の日本武道館大会を異種格闘技戦を中心に5試合ノーカット収録!

'97 格闘CLIMAX

～三大異種格闘技戦～

TOVH-1324 税込¥10,200

カラー/ステレオ/Hi-Fi/約105分収録

■ジュニア・ヘビー級7冠選手権試合

(王者) 大谷晋二郎 vs 高岩 竜一

■タッグマッチ

佐々木健介 vs グレート・ムタ

山崎一夫 vs 蝶野正洋

■三大異種格闘技戦 PART.1

藤田 和之 vs ドン・フライ

■三大異種格闘技戦 PART.2

小川 直也 vs プライアン・ジョンストン

■三大異種格闘技戦 PART.3

橋本 真也 vs ジーン・フレジャー



絶賛発売中

全国のレコード店、書店、プロレスショップおよび 各団体試合会場 他にてお求め下さい。

●内容についてのお問い合わせは:東芝EMI(株)映像部 ☎03-5512-1749
●ご注文についてのお問い合わせは:同 販売3部 ☎03-5512-1558

中村かたぶつ君(34歳)のさらなるご活躍を祈っています。ガンバって/人生/

TOSHIBA EMI

“ファンクス レジェンド(伝説)”生誕50周年。伝説の男“リビングレジェンド”テリー・ファンクが“聖地”アマリロで最後の自主興行/国を越え、団体を越え、スーパースターたちが夢の競演!

Terry Funk Presents

リビングレジェンド

～WRESTLE FEST 50YEARS OF “FUNK”～

スペシャル
プライス
¥6,000
TAX IN



TOVS-1319 カラー/マルチトラック(音声多重)/Hi-Fi/約120分収録
日本語版(主音声) 実況:斎藤 充/解説:斎藤文彦

■シングルマッチ

金村ゆきひろ vs ロードキル

■ECWヘビー級選手権

(王者) “フランチャイズ”シェーン・ダグラス vs トミー・ドリーマー

■シングルマッチ

ドリー・ファンクJr. vs ロブ・ヴァン・ダム

■6人タッグマッチ

ハヤブサ vs ジェイク“ザ・スネーク”ロバーツ

新崎人生 vs ヘッドハンターA

田中将斗 vs ヘッドハンターB

■WWF世界ヘビー級選手権

(王者) “ヒットマン”ブレット・ハート vs テリー・ファンク

他全9試合収録

(ビデオ用特別映像特典)

◆テリー・ファンク「生涯世界ヘビー級チャンピオンベルト」の贈呈セレモニー

◆プロレスの“聖地”アマリロの風景(テリーの自宅 他)

著作・制作:テリー・ファンク&ファンク・マスターズ・オブ・レスリング

発売・販売:東芝EMI株

絶賛発売中

前途多難で迎えた みちのくプロレス'97年最初で最後の東京大会は、数々の名勝負と名シーン、そして感動的なフィナーレで有終の美を飾った! 『ネバー・ギブ・アップ!』プロレスを愛する男たちはすべてのファンに誓った!

サスケからダイオキシン

～'97.10.10 両国国技館～



TOVS-1320 税込¥9,990

カラー/マルチトラック(音声多重)/Hi-Fi/約137分収録

1997年10月10日(体育の日) 東京・両国国技館にて全試合収録!

■トリプル・メインイベント(みちプロ vs WWF) ヘビー級

白 死 vs ジ・アンダー・テイカー

■トリプル・メインイベント(正規軍 vs 海援隊★DX) 6人タッグマッチ

スペル・デルフィン vs ディック東郷

星川尚浩 vs MEN'Sテイオー

薬師寺正人 vs 船木勝一

■トリプル・メインイベント(みちプロ vs WWF) ジュニアヘビー級

ザ・グレート・サスケ vs TAKAみちのく

他全6試合収録

パーソナリティー:ザ・グレート・サスケ/篠塚誠一郎(リングアナウンサー)

(スペシャル・リングアナウンサー:“LOVE LOVE”サニーちゃん from WWF)

(ビデオ用特別映像特典)

◆デルフィン復活までの軌跡 ◆サスケとTAKA遺恨の軌跡

12月22日発売

著作・制作:みちのくプロレス

発売・販売:東芝EMI株

今までの常識を超えた、前代未聞の“プロレス・テーマ曲集”が出現! “みちのくプロレスの世界”がこのCD1枚で体感できる! **みちのくプロレス テーマ曲集**



みちのくプロレス大全集

CD: TOCT-9945 税込¥3,500(全12曲)

■18ページ・カラー・ブックレット(解説・歌詞・対談含む)

■製作総指揮:ザ・グレート・サスケ

オープニング・テーマ曲から、新崎人生、TAKAみちのく、ザ・グレート・サスケ他の選手入場テーマ曲などを会場使用ヴァージョンで完全収録/そしてなんと、「ロクセット」が世界的大ヒット曲を提供!

好評発売中



9784898295755



1929476006486

ISBN4-89829-575-4

C9476 ¥648E

雑誌 69861-64

©DOUBLECROSS 1998 Printed in Japan
印刷:図書印刷株式会社